

# 男女共同参画に関する市民意識調査 結果報告書

太 田 市  
2021年10月



# 目 次

|                                     |    |
|-------------------------------------|----|
| 調査結果の概要 .....                       | 1  |
| I 調査概要 .....                        | 7  |
| 1. 調査の目的 .....                      | 7  |
| 2. 調査の項目 .....                      | 7  |
| 3. 調査の方法 .....                      | 7  |
| 4. 集計の方法・結果の見方 .....                | 8  |
| II 回答者の属性 .....                     | 9  |
| III 調査結果 .....                      | 12 |
| 1. 男女平等について .....                   | 12 |
| 問1 性別役割分担意識 .....                   | 12 |
| 問2 男女の地位は平等になっていると思うか .....         | 15 |
| 問3 男女平等を阻んでいると思う要因 .....            | 33 |
| 2. 男女の仕事と生活への関わり方について .....         | 36 |
| 問4 仕事と家庭・地域活動との望ましい関わり方 .....       | 36 |
| 問5 仕事と家庭・地域活動との現在の関わり方 .....        | 40 |
| 問6 今後、男性が積極的に担っていくために必要だと思うこと ..... | 42 |
| 問7 家庭における役割分担 .....                 | 46 |
| 問8 平日・休日の1日の生活時間 .....              | 65 |
| 3. 就労について .....                     | 69 |
| 問9 現在の仕事を続ける意向 .....                | 69 |
| 問10 働くうえで感じる不安や困難 .....             | 71 |
| 問11 今後仕事をする意向 .....                 | 75 |
| 問12 仕事を辞めたことの有無 .....               | 76 |
| 問13 仕事を辞めた理由 .....                  | 78 |
| 問14 女性が職業をもつことについて .....            | 81 |
| 問15 制度の認知・利用状況 .....                | 84 |
| 問16 育児・介護休業制度を利用したことがない理由 .....     | 88 |
| 4. 地域での男女共同参画について .....             | 91 |
| 問17 地域活動での男女共同参画について .....          | 91 |
| 問18 男女共同参画推進のための法律・制度・事業の認知状況 ..... | 94 |

|                                       |            |
|---------------------------------------|------------|
| <b>5. 女性に対する暴力の防止・被害者支援について .....</b> | <b>109</b> |
| 問19 DV経験・身近で見聞き等の有無 .....             | 109        |
| 問20 配偶者や恋人等から受けた暴力について相談の有無.....      | 111        |
| 問21 DVに関する法律やDV被害者のための相談機関の認知状況.....  | 113        |
| 問22 セクシュアル・ハラスメントの有無.....             | 124        |
| 問23 セクシュアル・ハラスメントが行われた場所.....         | 126        |
| <b>6. 男女共同参画社会の形成について .....</b>       | <b>128</b> |
| 問24 「女性が輝く社会」を実現するために太田市に望むこと.....    | 128        |
| 問25 「男女共同参画社会」を実現していくために太田市に望むこと..... | 130        |
| <b>IV 集計表 .....</b>                   | <b>131</b> |

# 調査結果の概要

## 回答者の属性（問26～28）

- 〈性別〉女性（57.9%）が約6割、男性（40.2%）が4割以上
- 〈年代〉70歳代（21.1%）が2割以上で最も高く、次いで60歳代（18.6%）、40歳代（18.2%）が同程度
- 〈職業等〉女性は「非常勤（パート・アルバイト等）」（27.8%）、「家事専業」（20.6%）が2割以上、男性は「常勤（会社員）」（40.3%）が4割以上で最も高く、次いで「仕事はしていない」（24.9%）が2割以上。「家事専業」「学生」「仕事はしていない」と無回答を除く「従業している人」は、女性（60.7%）が6割以上、男性（70.9%）が7割以上

## 1. 男女平等について（問1～3）

- 〈問1〉性別による役割分担について、全体では「同感できない」（29.7%）が約3割で最も高く、次いで「どちらかといえば同感できない」（23.3%）が2割以上。「同感できない」「どちらかといえば同感できない」を合わせた『否定（同感できない）』（53.0%）は5割以上、「同感する」（7.4%）、「どちらかといえば同感する」（19.4%）を合わせた『肯定（同感する）』（26.8%）は約3割で、『否定（同感できない）』は過去2回の調査（前回47.2%、前々回46.2%）より高い。性別による大きな違いは見られないが、年代による違いが大きく、『否定（同感できない）』は概ね若い年代ほど高い
- 〈問2〉男女の地位を平等と思うか否かについて、8項目の場面のうち「平等」は家庭（38.6%）、学校教育（36.8%）で約4割、職場（37.8%）で3割、政治、社会通念、社会全体では1割程度。「女性の方が非常に優遇」「どちらかといえば女性の方が優遇」を合わせた『女性優遇』はいずれの場面でも1割未満、「男性の方が非常に優遇」「どちらかといえば男性の方が優遇」を合わせた『男性優遇』は政治、社会通念、社会全体で7割以上。また、加重平均値「優遇度」はすべての場面で「男性の方が優遇」が高い。
- 〈問3〉男女平等を阻んでいると思う要因について（問2で社会全体として男性または女性が優遇されていると回答した場合）、全体では「家庭での家事等は女性の役割という考え方・慣習」（71.6%）、「政治や重要な仕事は男性が担うという考え方・慣習」（67.8%）が約7割で同程度に高く、ほとんどの項目が過去2回の調査より高い。性別ではほとんどの項目で女性が男性より高く、「家庭での家事等は女性の役割という考え方・慣習」「女性を軽視・偏見」は特に高い。年代別では40歳代以下、60・70歳代は「家庭での家事等は女性の役割という考え方・慣習」、50歳代・80歳以上は「政治や重要な仕事は男性が担うという考え方・慣習」が最も高い。また、「女性を軽視・偏見」は年代による違いが見られ、80歳以上が低い

## 2. 男女の仕事と生活への関わり方について（問4～8）

- 〈問4〉仕事と家庭・地域活動との望ましい関わり方について、（1）女性の関わり方は、全体では「一がいに言えない」（49.4%）が約5割で最も高く、次いで「家庭・地域と仕事を両立」（24.7%）が2割以上で、過去2回の調査からの大きな変化は見られない。また、性別や年代による大きな違いは見られない  
（2）男性の関わり方は、全体では「一がいに言えない」（36.5%）が3割以上で最も高く、次いで「家庭・地域と仕事を両立」（26.1%）、「仕事を優先」（25.1%）が2割以上で、「一がいに言えない」「家庭・地域と仕事を両立」は過去2回の調査より高い。また、性別や年代による大きな違いは見られない
- 〈問5〉仕事と家庭・地域活動との現在の関わり方について、全体では「あくまで仕事を優先」（35.2%）が3割以上で最も高く、次いで「家庭・地域と仕事を両立」（26.6%）が約3割。性別では女性は合計値『家庭・地域を優先・専念』（33.3%）、男性は合計値『仕事を優先・専念』（65.6%）が高いが、年代による大きな違いは見られない
- 〈問6〉今後、男性が女性とともに家事・育児・介護・看護、地域活動などをより積極的に担っていくために必要だと思うことについて、全体では「固定的な考えを押しつけない」（67.3%）が約7割で最も高く、次いで「夫婦や家族間でのコミュニケーション」（59.9%）が約6割。過去2回の調査からの大きな変化は見られないが、ほとんどの項目が高い。性別ではほとんどの項目で女性が男性より高く、「固定的な考えを押しつけない」「男性自身の抵抗感をなくす」は特に高い。年代別では「固定的な考えを押しつけない」はすべての年代で高く、50歳代は「夫婦や家族のコミュニケーション」も高い。また、「男性自身の抵抗感をなくす」「仕事以外の時間を多く持てるようにする」は70歳以上が低い
- 〈問7〉家庭における役割分担について、9項目の役割のうち、ほとんどで「夫婦同じ位」が2割程度の中、「食事のしたく」は1割程度。また、「生活費を得ること」「地域活動への参加」を除き、合計値『妻が主体』は『夫が主体』より高い
- 〈問8〉平日・休日の1日の生活時間について（記述）、全体では平日は「仕事・学業」が7.0時間で最も長く、次いで「家事」が3.1時間。休日は「家事」が3.8時間、「子育て」が3.6時間で同程度。過去2回の調査より平日・休日とも「仕事・学業」「家事」「子育て」が長時間化し、特に休日の「子育て」が長くなっている。性別では平日は「仕事・学業」が女性より男性で長い一方、「家事」「子育て」は平日、休日とも男性より女性で長く、平日・休日ともに女性が男性より約3時間長い

### 3. 就労について（問9～16）

- 〈問9〉現在の仕事を続ける意向について（現在仕事をしている方のみ）、全体では「続けたい」（65.3%）が6割以上で最も高く、次いで「別の仕事に就きたい」（12.9%）が1割以上で、過去2回の調査からの大きな変化は見られない。性別による大きな違いは見られないが、年代別では「続けたい」は概ね高い年代ほど高く、「別の仕事に就きたい」は若い年代ほど高い
- 〈問10〉働くうえで感じる不安や困難について（現在仕事をしている方のみ）、全体では「特にない」（29.9%）、「仕事上、過重なストレスがある」（26.9%）が約3割で同程度に高く、過去2回の調査からの大きな変化は見られない。性別では女性は「仕事と家事の両立」（27.9%）、「特にない」（26.9%）が約3割、男性は「特にない」（34.0%）、「仕事上、過重なストレスがある」（30.0%）が3割以上で同程度に高い。また、「仕事と家事の両立」は女性、「雇用条件悪化の不安」は男性が高い。性別では18～29歳、60・70歳代は「特にない」、30歳代は「仕事と家事の両立」、40・50歳代は「仕事上、過重なストレスがある」が最も高い。また、「仕事上、過重なストレスがある」「仕事と家事の両立」は年代による違いが見られ、60歳代以上が低い
- 〈問11〉今後仕事をする意向について（現在仕事をしていない方のみ）、全体では「仕事には就きたくない」（32.6%）が3割以上で最も高く、次いで「わからない」（17.7%）、「いずれは仕事をしたい」（16.8%）が約2割で、過去2回の調査からの大きな変化は見られない。性別による大きな違いは見られないが、年代別では60歳代以上は「仕事には就きたくない」が最も高い
- 〈問12〉仕事を辞めた経験について、全体では「辞めたことがある」（63.0%）が6割以上、「辞めたことはない」（26.2%）が2割以上で、過去2回の調査からの大きな変化は見られない。性別では「辞めたことがある」が女性（71.6%）は7割以上、男性（51.0%）は5割以上。年代別では18～29歳を除き「辞めたことがある」が最も高い
- 〈問13〉仕事を辞めた理由について（辞めたことがある方のみ）、全体では「希望通りの労働条件ではない」（20.6%）、「勤め先の都合」（19.0%）が2割程度で同程度に高く、過去2回の調査からの大きな変化は見られない。性別では女性は「家事や子育てに専念」（19.0%）、「家事や子育てとの両立が困難」（18.5%）が約2割で同程度に高く、男性は「希望通りの労働条件ではない」（28.6%）が約3割で最も高い。また、性別による違いが見られる項目が多く、「家事や子育てに専念」「家事や子育てとの両立が困難」は特に女性が高い。年代別では50歳代以下は「希望通りの労働条件でない」、60歳代は「勤め先の都合」、70歳以上は「高齢」が最も高く、「希望通りの労働条件ではない」は概ね若い年代、「高齢」は概ね高い年代ほど高い
- 〈問14〉女性が職業をもつことについて、全体では「子どもが生まれても続ける」（46.8%）が約5割で最も高く、次いで「子どもが生まれたらやめ、大きくなったら再びもつ」（29.5%）が約3割で、「子どもが生まれても続ける」は過去2回の調査より高い。性別による大きな違いは見られない。年代別では70歳代を除き「子どもが生まれても続ける」が最も高く、70歳代は「子どもが生まれたらやめ、大きくなったら再びもつ」が最も高い

- 〈問 1 5〉制度の認知・利用状況について、①育児休業制度は、全体では「知っている。利用したことはない」(74.8%)が7割以上で最も高く、「知っている。利用した」「知っている。利用したことはない」を合わせた認知度(86.6%)は約9割で、過去2回の調査(前回 81.9%、前々回 76.5%)より高い。性別では「知っている。利用した」は女性が高く、認知度は男女とも約9割。年代別では「知っている。利用した」は概ね若い年代ほど高く、認知度は80歳以上が低い
- ②介護休業制度は、全体では「知っている。利用したことはない」(62.7%)が6割以上で最も高く、認知度(66.5%)は約7割で、過去2回の調査(前回 60.7%、前々回 51.1%)より高い。認知度は性別では男性、年代別では50歳代が高く、80歳以上が低い
- 〈問 1 6〉育児・介護休業制度を利用したことがない理由について(制度を利用したことがない方のみ)、全体では「対象となる子どもや家族がいない」(42.8%)が4割以上で最も高く、次いで「家族の協力で対応」(12.9%)、「休める雰囲気がない」(11.3%)が1割以上。性別では男女とも「対象となる子どもや家族がいない」が4割以上、次いで「家族の協力で対応」が1割以上で、「自分の仕事は代わりがいない」は男性(15.9%)が高い。年代別では40歳代以下は「休める雰囲気がない」、50歳代以上は「家族の協力で対応」が高い

#### 4. 地域での男女共同参画について(問 1 7～1 8)

- 〈問 1 7〉地域活動での男女共同参画について、全体では「わからない」(39.6%)が約4割で最も高く、次いで「会長は男性、女性は補助役職に就く慣行がある」(30.3%)が3割以上で、過去2回の調査と比較して大きな変化は見られない。性別では男女とも「わからない」が約4割、次いで「会長は男性、女性は補助役職に就く慣行がある」が3割以上で、「準備や後片付けは女性が行う慣行がある」(22.2%)は女性が高い。年代別では50歳代以下は「わからない」、60歳代以上は「会長は男性、女性は補助役職に就く慣行がある」が最も高く、「わからない」は若い年代ほど高い
- 〈問 1 8〉男女共同参画推進のための法律・制度・事業の認知状況について、7項目すべてで「知らない」が最も高く、「知っている」「見聞きしたことがある」を合わせた認知度は「男女共同参画社会基本法」(42.2%)が4割以上、次いで「群馬県女性相談センター」(31.9%)、「女性活躍推進法」(31.5%)が3割以上。「太田市男女共同参画基本計画(第3次)」は、全体では認知度は1割以上(15.5%)で、過去2回の調査(前回 12.7%、前々回 13.2%)と同程度。性別や年代による大きな違いは見られない



## 5. 女性に対する暴力の防止・被害者支援について（問19～22）

○〈問19〉DV経験・身近での見聞き等の有無について、全体では「テレビや新聞などで問題になっていることは知っている」(72.6%)が7割以上で特に高く、過去2回の調査(前回70.0%、前々回72.1%)からの大きな変化は見られない。性別ではほとんどの項目で女性が男性より高い。年代別では80歳以上は「テレビや新聞などで問題になっていることは知っている」が5割未満(48.1%)で他の年代より低い

○〈問20〉配偶者や恋人等から暴力を受けた時の相談先について（暴力を受けたことがある方のみ）、全体では「友人・知人」(40.6%)が約4割で最も高く、次いで「家族や親戚」(32.8%)、「相談しなかった」(28.1%)が約3割で、過去2回の調査と比較して大きな変化は見られない。

※該当する回答者数が女性55人、男性9人のため、性別、年代別の人数を本編に参考表示

○〈問21〉DVに関する法律やDV被害者のための相談機関の認知状況について、5項目すべてで「知らない」が最も高く、「知っている」「見聞きしたことがある」を合わせた認知度は「DV防止法」(56.2%)、「市役所（市民そうだん課・こども課など）」(51.1%)が5割以上。「市役所（市民そうだん課・こども課など）」の認知度は、全体では過去2回の調査(前回56.5%、前々回47.4%)と同程度で、性別では女性、年代別では18～29歳・50歳代が比較的高い

○〈問22〉セクシュアル・ハラスメントに関する経験について、全体では「ない」(68.1%)が約7割で最も高く、次いで「わからない」(11.5%)、「自分自身が受けたことがある」(9.0%)が約1割で、過去2回の調査からの大きな変化は見られない。性別では男女とも「ない」が約7割で、「自分自身が受けたことがある」は女性(14.8%)が高い。年代による大きな違いは見られないが、「自分自身が受けた」は30歳代以上では若い年代ほど高い

○〈問23〉セクシュアル・ハラスメントが行われた場所について（自分や身近な女性や男性が受けたことがある場合のみ）、全体では「職場」(83.1%)が8割以上で特に高く、過去2回の調査(前回72.4%、前々回78.7%)より高い。次いで「地域」(10.2%)が1割以上だが、前回(19.4%)より低く、前々回(8.4%)と同程度。性別では「職場」は男性(92.6%)が女性(80.0%)より高く、「地域」「学校」は女性(それぞれ12.2%、10.0%)が男性(それぞれ3.7%、3.7%)より若干高い。年代別による大きな違いは見られない

※該当する回答者数が少ない年代がある

## 6. 男女共同参画社会の形成について（問24～25）

- 〈問24〉「女性が輝く社会」を実現するために太田市に望むことについて、全体では「女性の再就職支援」（69.8%）、「離職しないための支援」（65.9%）が約7割で同程度に高く、前回からの大きな変化は見られない。性別による大きな違いは見られないが、年代別では30歳代・80歳以上で「離職しないための支援」が最も高く、「女性の再就職支援」については年代による違いが見られる
- 〈問25〉「男女共同参画社会」を実現していくために太田市に望むことの意見・要望は、別冊「自由回答報告書」参照

# I 調査概要

## 1. 調査の目的

市民による男女共同参画に関する意識を把握し、今後の男女共同参画施策推進のための基礎資料とすることを目的としています。

## 2. 調査の項目

- (1) 男女平等について
- (2) 男女の仕事と生活への関わり方について
- (3) 就労について
- (4) 地域での男女共同参画について
- (5) 女性に対する暴力の防止・被害者支援について
- (6) 男女共同参画社会の形成について

## 3. 調査の方法

|       |                                                               |
|-------|---------------------------------------------------------------|
| 調査名   | 男女共同参画に関する市民意識調査                                              |
| 調査対象者 | 満 18 歳以上の市民                                                   |
| 抽出方法  | 2021(令和 3)年 4 月 15 日現在で太田市に住民票がある満 18 歳以上の市民の中(住民基本台帳)から無作為抽出 |
| 実施期間  | 2021(令和 3)年 5 月 25 日～6 月 21 日                                 |
| 配布方法  | 日本郵便メール便による配布・郵送による回収                                         |
| 配布数   | 2,000 件                                                       |
| 回収数   | 888 件                                                         |
| 回収率   | 44.4%                                                         |

## 4. 集計の方法・結果の見方

- 全体、性別、年代別を主とした集計を行い、各属性の回答者数（n）に占める構成比率を％で図表に表示します。各属性の回答者数（n）は図表中に「○○○」や「（○○○）」または「（○○○人）」と表示します。
- 設問によって、加重平均値を求めて表示します。加重平均値の算定方法は、該当設問のページに示します。
- すべての設問の各選択肢の該当人数（全体）は巻末の集計表に構成比率とともに表示します。
- 集計結果は小数点第二位を四捨五入し、小数点第一位まで表示しています。そのため、表示された構成比率の合計が100.0％にならない場合があります。
- 各設問の問文枠中に示す「1つ回答」と「複数回答」は、それぞれ選択できる数の設定を示しています。また、これらは調査票においては問文の末尾に「1つだけに○」と「あてはまる番号すべてに○」と表示しています。
- 性別「その他」は1人であるため、「Ⅲ 調査結果」では性別による図表に表示しません。
- 年代の「18・19歳」は15人で、他の年代と比較して少ないため、「Ⅲ 調査結果」では20歳代（75人）と合わせて「18～29歳」として図表に表示します。
- 図及び本文中で「前回調査」（前回）、「前々回調査」（前々回）と表示する調査は、それぞれ以下の調査を示します。また、図中では調査年を表示し、本調査については「本調査〈2021〉」、以下の調査についてはそれぞれ「前回調査〈2017〉」「前々回調査〈2012年〉」と表示します。

|       |       |                          |
|-------|-------|--------------------------|
| 前回調査  | 調 査 名 | 男女共同参画に関する市民意識調査         |
|       | 対 象   | 住民基本台帳から無作為に抽出した20歳以上の市民 |
|       | 実施期間  | 2017年6月8日～6月30日          |
|       | 配布方法  | 郵送配布・回収                  |
|       | 配 布 数 | 2,000件                   |
|       | 回 収 数 | 812件                     |
|       | 回 収 率 | 40.6％                    |
| 前々回調査 | 調 査 名 | 男女共同参画に関する意識調査           |
|       | 対 象   | 住民基本台帳から無作為に抽出した20歳以上の市民 |
|       | 実施期間  | 2012年6月8日～6月29日          |
|       | 配布方法  | 郵送配布・回収                  |
|       | 配 布 数 | 3,000件                   |
|       | 回 収 数 | 1,206件                   |
|       | 回 収 率 | 40.2％                    |

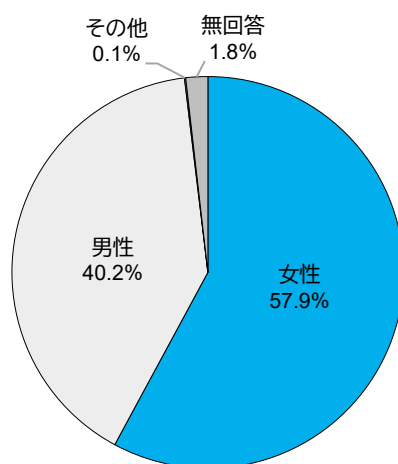
- 図表中で選択肢に示す【新】は、本調査で新たに設けた選択肢を示します。
- 各設問の「その他」や、問25の自由記述欄（ご意見・ご要望など）の記述内容は、別添「自由回答報告書」に示します。
- 設問によって、性・年代別、職業別について図表を示していますが、いずれも回答者が少ない属性が含まれるため、参考表示「〈参考：○○○〉」とします。

## Ⅱ 回答者の属性

### 1. 性別

女性（57.9%）が約 6 割、男性（40.2%）が 4 割以上となっています。

【性別】（1 つ回答）



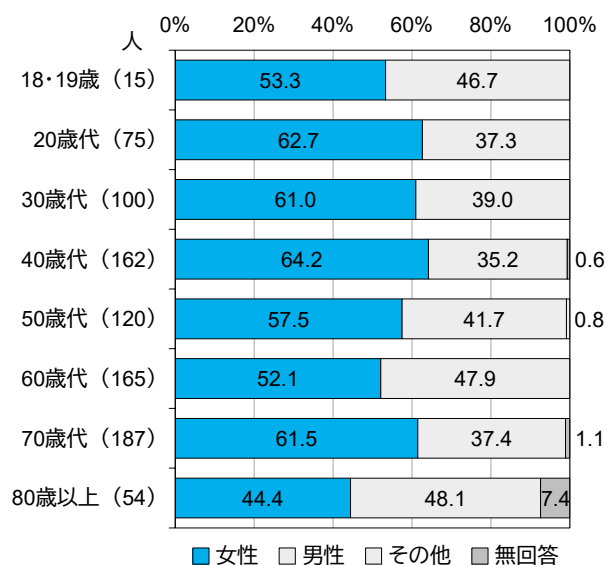
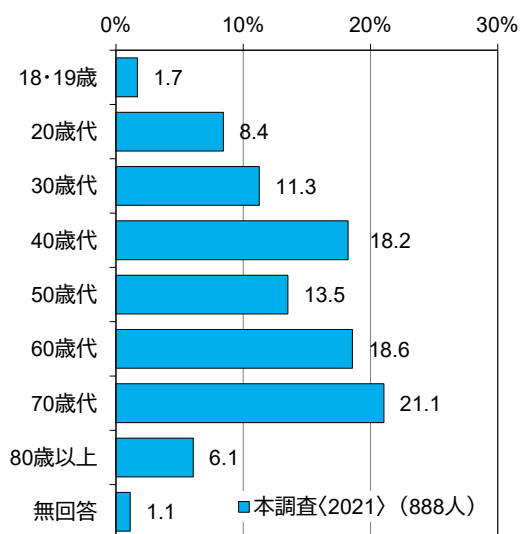
本調査(2021) (888人)

### 2. 年代

70 歳代（21.1%）が 2 割以上で最も高く、次いで 60 歳代（18.6%）、40 歳代（18.2%）が同程度に高くなっています。

性・年代別で見ると、すべての年代で女性が男性より高く、特に 20～40 歳代と 70 歳代では女性が 6 割以上となっています。

【年代】（1 つ回答）



### 3. 職業等（1つ回答）

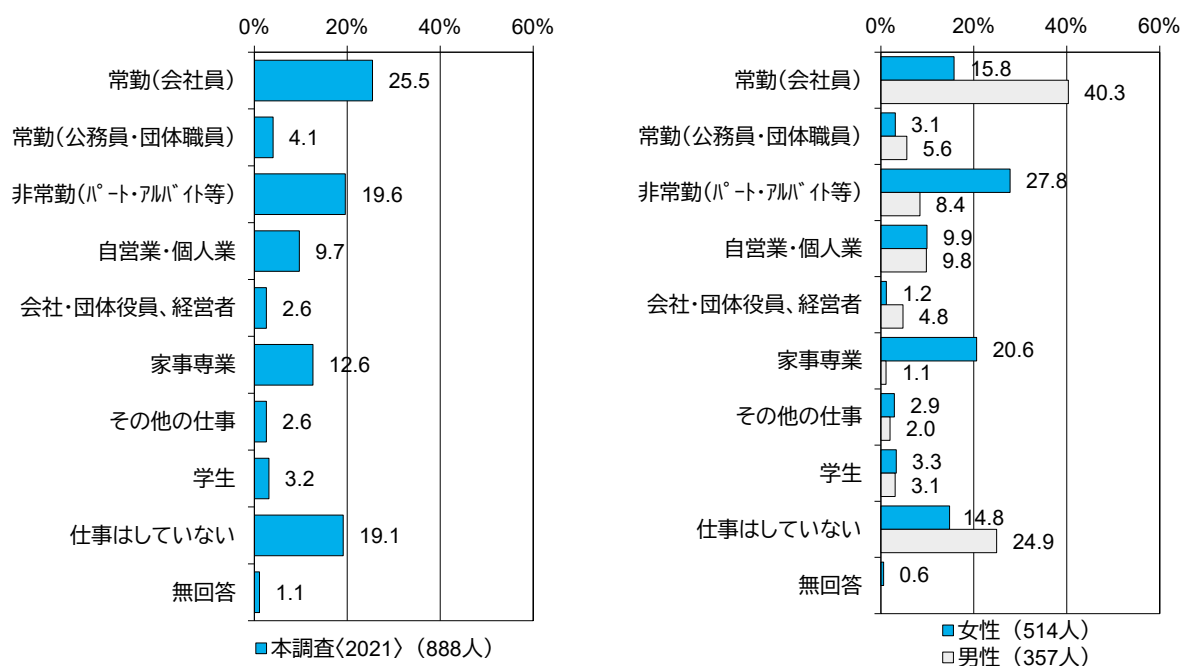
全体では、「常勤（会社員）」（25.5％）が2割以上で最も高く、次いで「非常勤（パート・アルバイト等）」（19.6％）、「仕事はしていない」（19.1％）が約2割となっています。

「家事専業」「学生」「仕事はしていない」と無回答を除く「従業している人」は合わせて6割以上（64.1％）となっています。

性別で見ると、女性は「非常勤（パート・アルバイト等）」「家事専業」（それぞれ27.8％、20.6％）が2割以上となっています。男性は「常勤（会社員）」（40.3％）が4割以上で最も高く、次いで「仕事はしていない」（24.9％）が2割以上となっています。

「従業している人」は、女性（60.7％）が6割以上、男性（70.9％）が7割以上で、男性が女性より高くなっています。

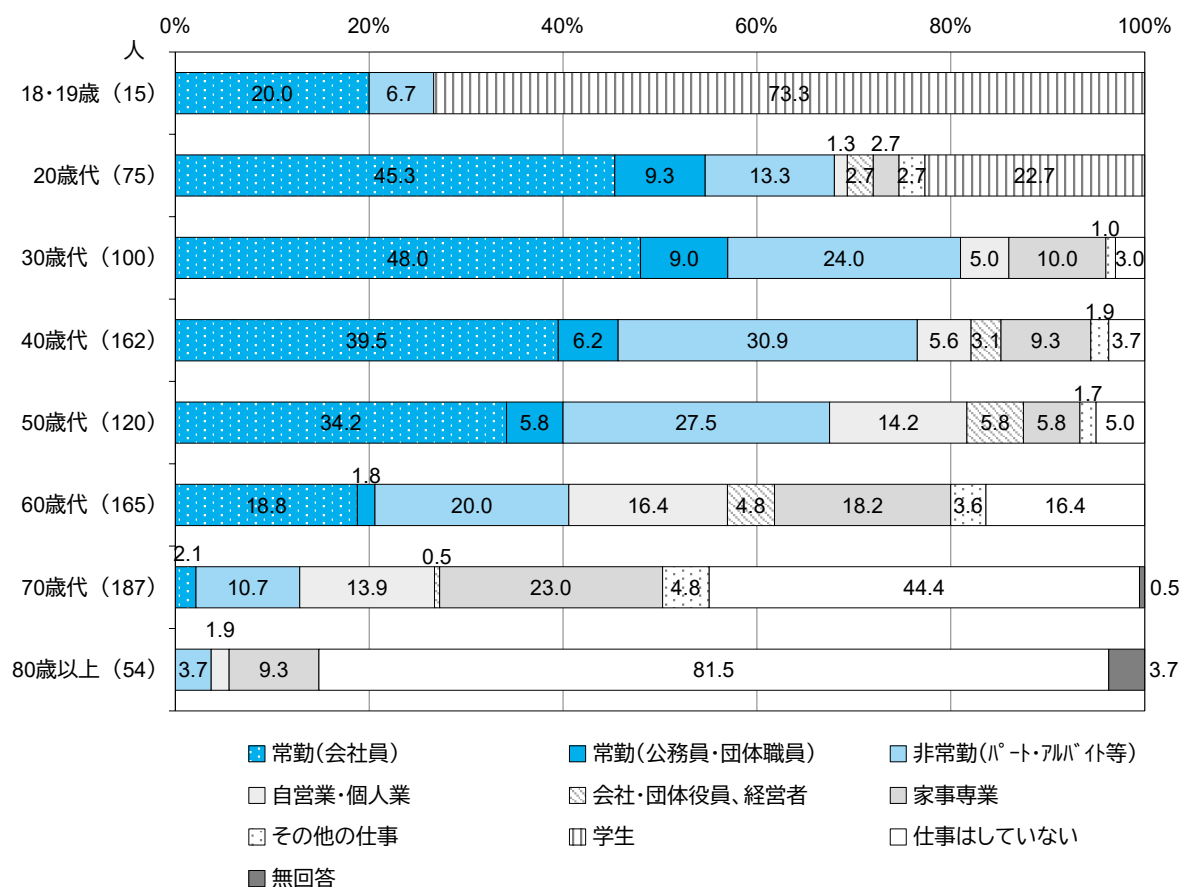
【職業等】（1つ回答）



年代別で見ると、18・19歳は「学生」(73.3%)が7割以上で高くなっています。20歳代から50歳代までは「常勤(会社員)」が最も高く、20歳代(45.3%)は4割以上、30歳代(48.0%)は約5割、40歳代(39.5%)は約4割、50歳代(34.2%)は3割以上となっています。60歳代は「非常勤(パート・アルバイト等)」(20.0%)が2割で、「常勤(会社員)」「家事専業」(それぞれ18.8%、18.2%)も約2割で同程度となっています。70歳代、80歳以上は「仕事はしていない」(それぞれ44.4%、81.5%)が最も高くなっています。

「家事専業」「学生」「仕事はしていない」と無回答を除く「従業している人」は、18・19歳(26.7%)が約3割、20歳代(74.6%)が7割以上、30歳代から50歳代がいずれも8割以上、60歳代(65.4%)が6割以上、70歳代(32.0%)が3割以上で、80歳以上(5.6%)は1割未満となっています。

【年代別職業等】(1つ回答)



### Ⅲ 調査結果

#### 1. 男女平等について

##### 問1 性別役割分担意識

「社会の仕事は男性の役割、家事や子育てや介護は女性の役割」というように性別によって役割を固定的にとらえる考え方がありますが、どう思いますか。（1つ回答）

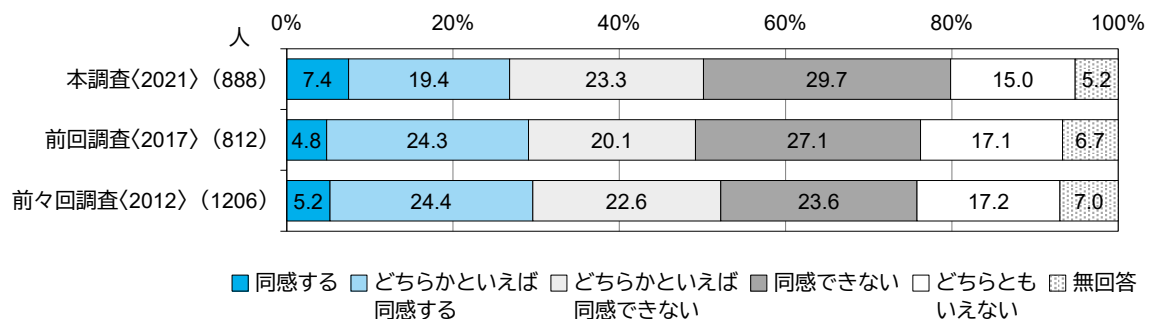
◆「同感できない」が約3割で最も高く、次いで「どちらかといえば同感できない」が2割以上

◆合計値『否定』は5割以上、『肯定』は約3割で、『否定』は過去2回の調査より高い

「同感できない」（29.7%）が約3割で最も高く、次いで「どちらかといえば同感できない」（23.3%）が2割以上となっています。「同感できない」「どちらかといえば同感できない」を合わせた『否定（同感できない）』（53.0%）は5割以上で、「同感する」「どちらかといえば同感する」（それぞれ7.4%、19.4%）を合わせた『肯定（同感する）』（26.8%）の約3割より26.2ポイント高くなっています。

過去2回の調査と比較すると、大きな変化は見られませんが、『否定（同感できない）』は前回（47.2%）や前々回（46.2%）より高くなっています。

【全体／前回・前々回との比較】（1つ回答）





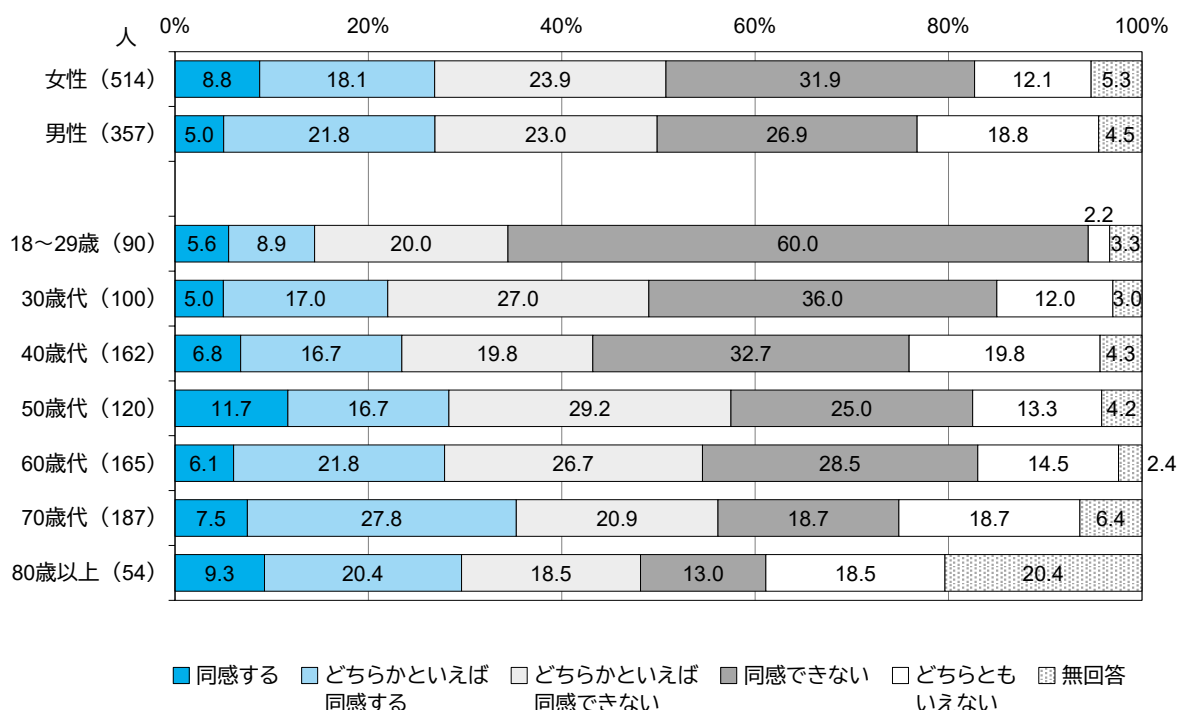
# ◆性別による大きな違いは見られない

# ◆年代による違いが大きく、合計値『否定』は概ね若い年代ほど高い

性別では、大きな違いは見られませんが、『否定（同感できない）』は女性（55.8%）が男性（49.9%）より若干高くなっています。

年代による違いが大きく、特に18～29歳は「同感できない」（60.0%）が6割で高くなっています。『否定（同感できない）』は、18～29歳（80.0%）は8割、30歳代（63.0%）は6割以上、40～60歳代は5割以上と高くなっていますが、70歳代（39.6%）は約4割、80歳以上（31.5%）は3割程度で、概ね若い年代ほど高くなっています。

【性別、年代別】（1つ回答）



※加重平均値で点数化：選択肢に点数を与え、加重平均値を求めて点数としました。点数は-2点～+2点の範囲で、-2点に近いほど「同意できない」、+2点に近いほど「同意する」傾向が強いと言えます。また、無回答を除いて点数化しているため、回答されたもののみによる点数と言えます。  
 加重平均値は、選択肢それぞれに「同意する」2点、「どちらかといえば同意する」1点、「どちらかといえば同意できない」-1点、「同意できない」-2点、「どちらともいえない」0点を与え、回答数に乘じた合計を全回答数（無回答を除く）で除して加重平均値を求めました。

◆「同感度」は過去2回の調査より低下

◆「同感度」は概ね若い年代ほど低く、性・年代による違いが見られる

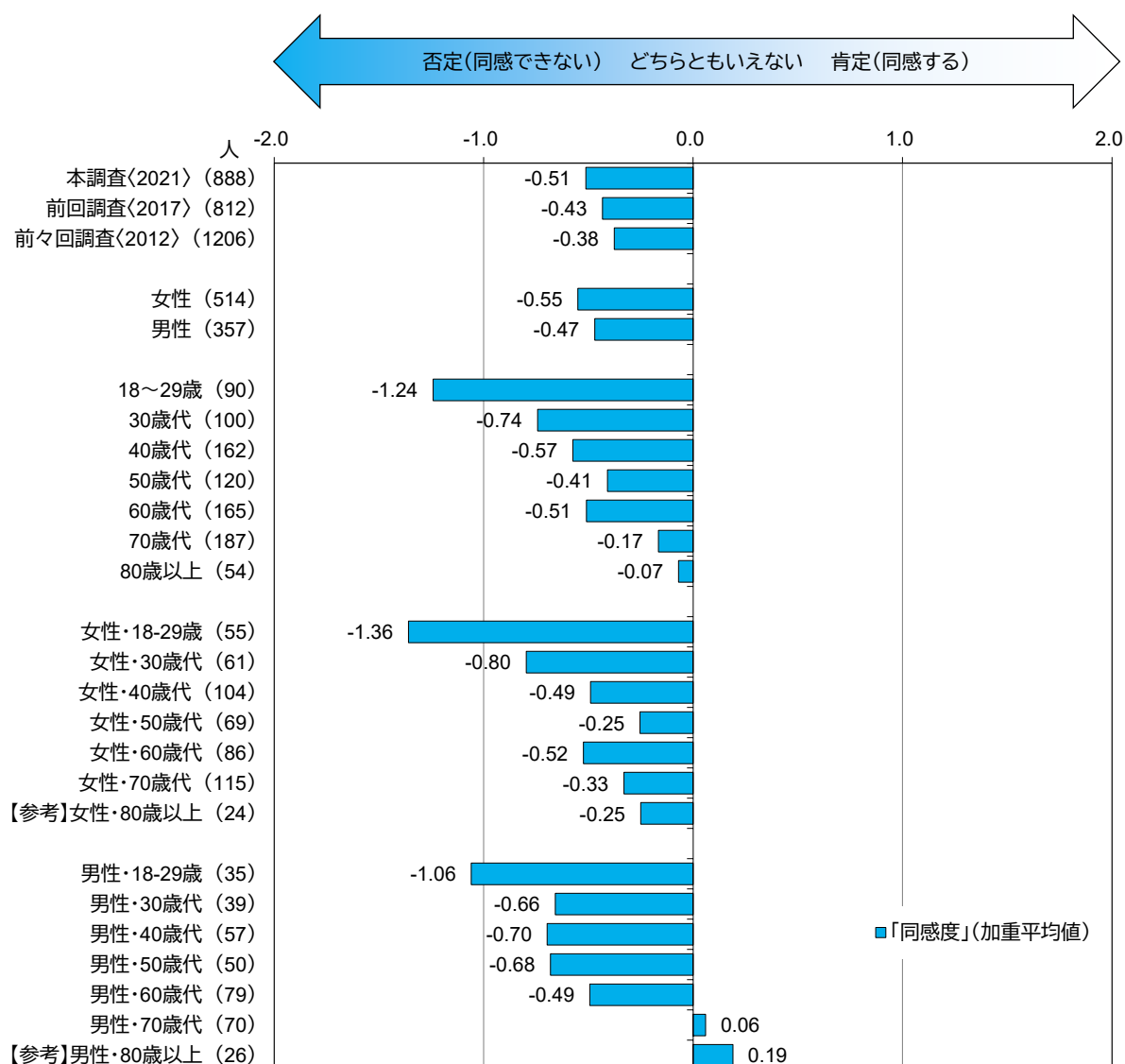
『否定（同感できない）』と『肯定（同感する）』の度合いを把握するために、「同感度」として加重平均値で点数化※して見てみます。

「同感度」は過去2回の調査を含めてマイナスの値で徐々に低下しており、「否定（同感しない）」の傾向が強まっていることがうかがえます。

性別、年代別でもいずれもマイナスの値となっており、『否定（同感できない）』の傾向が強くなっています。また、性別では大きな違いは見られませんが、年代別では違いが見られ、概ね若い年代ほど「同感度」が低く、『否定（同感できない）』傾向が強くなっています。

性・年代別で見ると、18～29歳は男女ともマイナスの値が特に高く、『否定（同感できない）』傾向が強くなっています。一方、男性70歳代以上ではプラスの値となっており、『否定（同感できない）』より『肯定（同感する）』傾向が強くなっています。

【全体／前回・前々回との比較、性別、年代別、性・年代別】（加重平均値）



## 問2 男女の地位は平等になっていると思うか

あなたは次のような場で、男女の地位は平等になっていると思いますか。(各1つ回答)

◆「平等」は家庭、学校教育で約4割、職場で3割、政治、社会通念、社会全体では1割程度

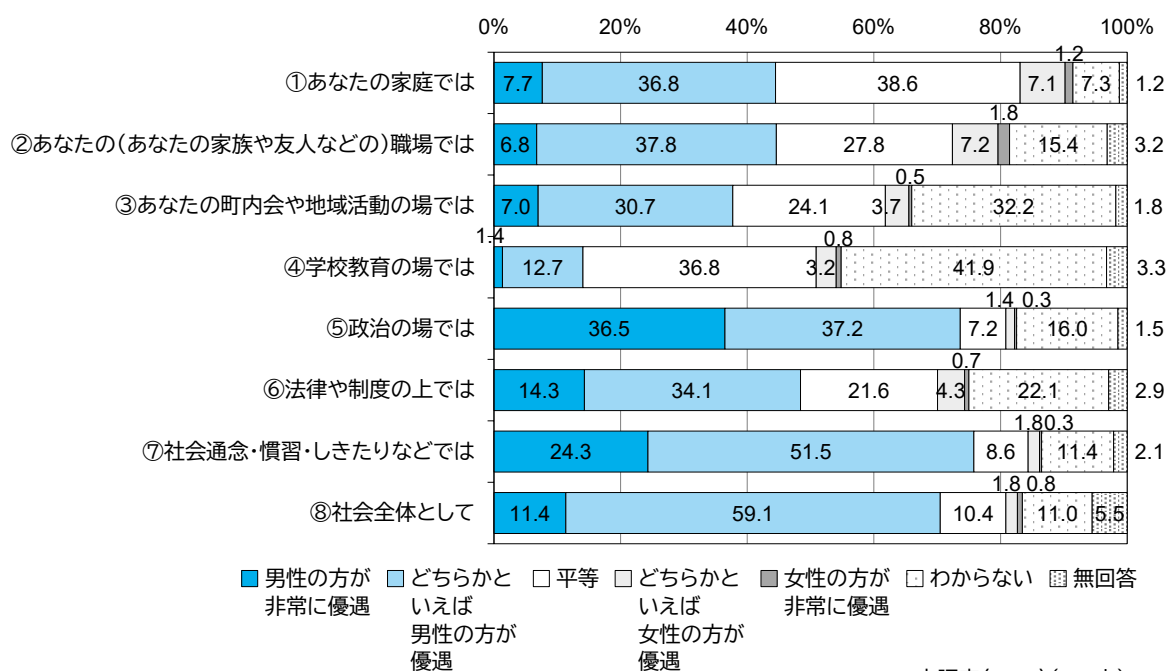
◆合計値『女性優遇』はいずれの場面でも1割未満、『男性優遇』は政治、社会通念、社会全体で7割以上

「平等」は「①あなたの家庭では」「④学校教育の場では」(それぞれ38.6%、36.8%)が約4割、「②あなたの(あなたの家族や友人などの)職場では」(27.8%)が約3割、「③あなたの町内会や地域活動の場では」「⑥法律や制度の上では」(それぞれ24.1%、21.6%)が2割以上となっています。一方、「⑤政治の場では」「⑦社会通念・習慣・しきたりなどでは」「⑧社会全体として」は1割程度で他の項目より低くなっています。

「男性の方が非常に優遇」「どちらかといえば男性の方が優遇」を合わせた『男性優遇』、「女性の方が非常に優遇」「どちらかといえば女性の方が優遇」を合わせた『女性優遇』を見ると、『女性優遇』は①～⑧のいずれの場面でも1割未満となっています。『男性優遇』は「⑤政治の場では」(73.7%)、「⑦社会通念・習慣・しきたりなどでは」(75.8%)、「⑧社会全体として」(70.5%)が7割以上で特に高く、「⑥法律や制度の上では」(48.4%)は約5割、「①あなたの家庭では」「②あなたの(あなたの家族や友人などの)職場では」(それぞれ44.5%、44.6%)は4割以上、「③あなたの町内会や地域活動の場では」(37.7%)は約4割、「④学校教育の場では」(14.1%)は1割以上となっています。

また、「わからない」が「④学校教育の場では」(41.9%)は4割以上、「③あなたの町内会や地域活動の場では」(32.2%)は3割以上で、比較的高くなっています。

【全体】(各1つ回答)

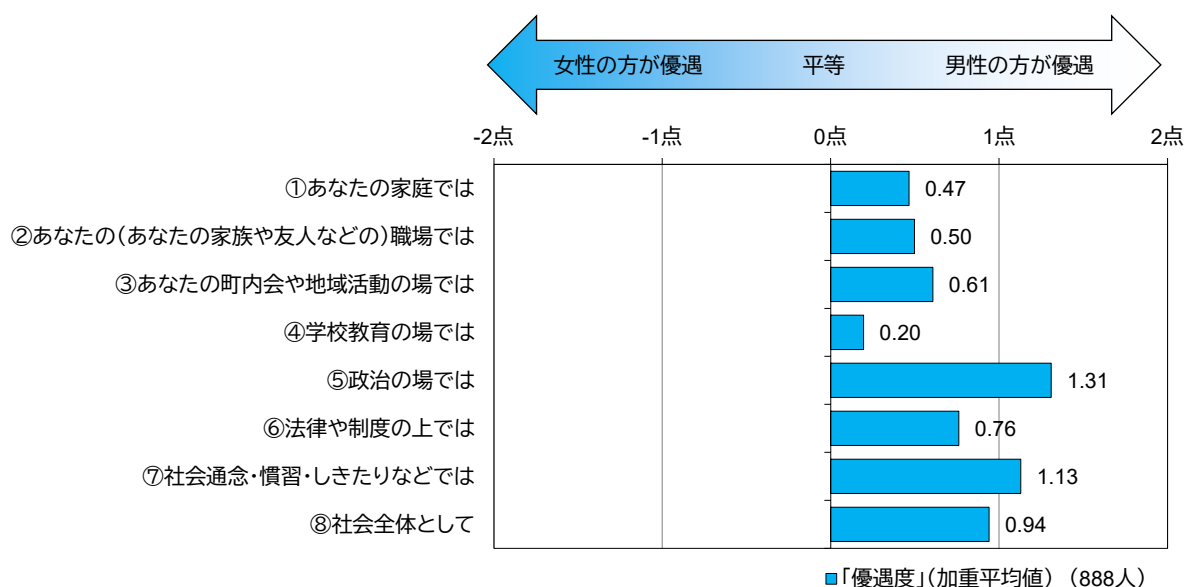


本調査(2021)(888人)

## ◆すべての場面で「男性の方が優遇」が高い

性別による優遇感の度合いを把握するために、「優遇度」として加重平均値で点数化※して見てみます。①～⑧までいずれの場面でも「男性の方が優遇」となっており、特に「⑤政治の場では」(1.31 点)で高くなっています。一方、「④学校教育の場では」(0.20 点)で比較的低くなっています。

【全体】(加重平均値)



※加重平均値で点数化：選択肢に点数を与え、加重平均値を求めて点数としました。点数は-2点～+2点の範囲で、-2点に近いほど「女性の方が優遇」、+2点に近いほど「男性の方が優遇」という傾向が強いと言えます。また、「わからない」とする回答及び無回答を除いて点数化しているため、具体的な回答のみによる点数と言えます。  
加重平均値は、選択肢それぞれに「男性の方が非常に優遇」2点、「どちらかといえば男性の方が優遇」1点、「どちらかといえば女性の方が優遇」-1点、「女性の方が非常に優遇」-2点、「平等」0点を与え、回答数に乗じた合計を「わからない」と無回答を除く人数で除して加重平均値を求めました。

## ①あなたの家庭では

◆「平等」「どちらかといえば男性の方が優遇」が約4割で同程度に高く、過去2回の調査からの大きな変化は見られない

◆女性、50～70歳代は「平等」が比較的低く、合計値『男性優遇』が高い

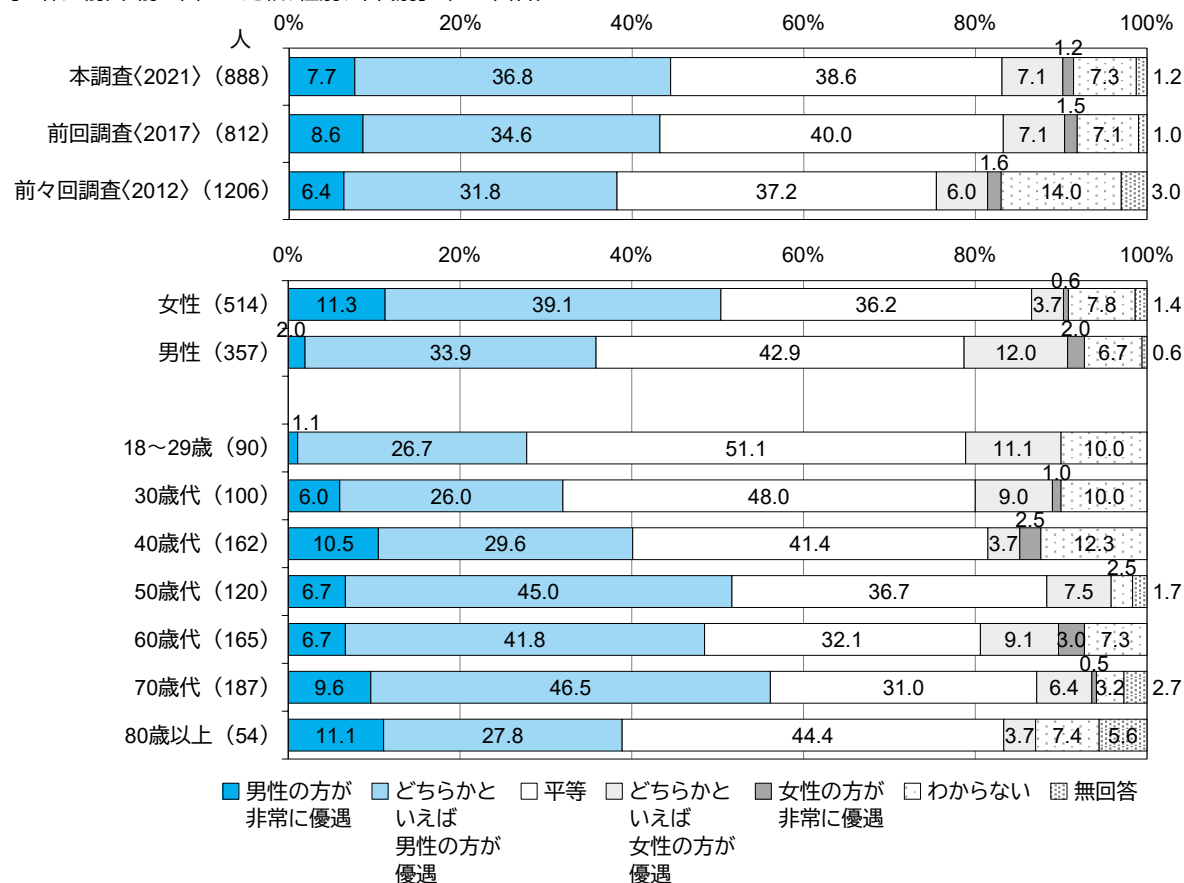
「平等」「どちらかといえば男性の方が優遇」（それぞれ38.6%、36.8%）が約4割で同程度に高くなっています。「男性の方が非常に優遇」「どちらかといえば男性の方が優遇」を合わせた『男性優遇』（44.5%）は4割以上、「女性の方が非常に優遇」「どちらかといえば女性の方が優遇」を合わせた『女性優遇』（8.3%）は約1割となっています。

過去2回の調査と比較すると、大きな変化は見られません。

性別では、「平等」は女性（36.2%）が3割以上、男性（42.9%）が4割以上で、女性が男性より若干低くなっています。『男性優遇』は女性（50.4%）が5割以上、男性（35.9%）が3割以上、『女性優遇』は女性（4.3%）が1割未満、男性（14.0%）が1割以上で、女性は『男性優遇』が高くなっています。

年代別では、「平等」は18～29歳（51.1%）が5割以上、30歳代（48.0%）が約5割で比較的高い一方、50～70歳代は3割台で比較的低くなっています。『男性優遇』は50・70歳代（それぞれ51.7%、56.1%）が5割以上、60歳代（48.5%）が約5割で比較的高い一方、『女性優遇』はいずれも1割程度以下となっています。

【全体／前回・前々回との比較、性別、年代別】（1つ回答）



## ②あなたの（あなたの家族や友人などの）職場では

◆「どちらかといえば男性の方が優遇」が約4割で最も高く、次いで「平等」が約3割で、過去2回の調査からの大きな変化は見られない

◆性別による大きな違いは見られない

◆70歳代は「平等」が比較的低く、40～70歳代は合計値『男性優遇』が高い

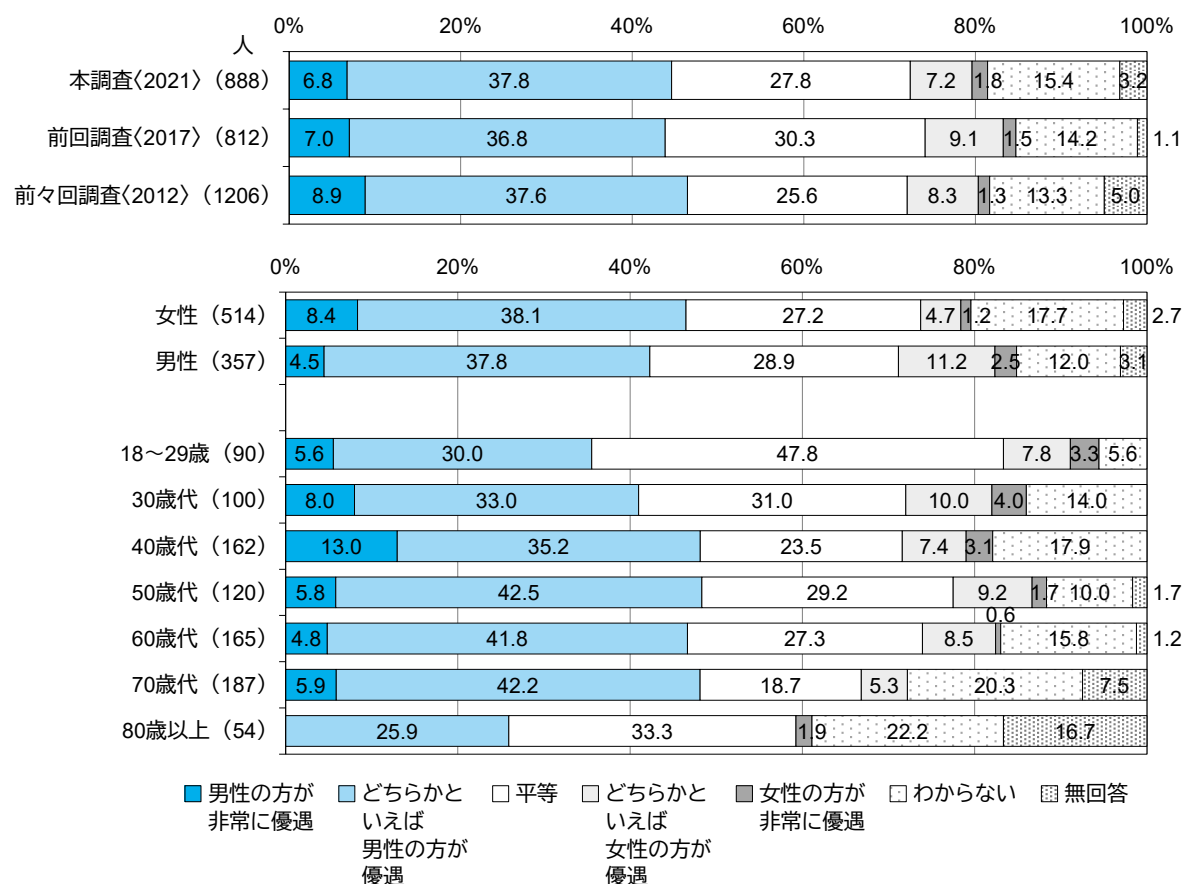
「どちらかといえば男性の方が優遇」(37.8%)が約4割で最も高く、次いで「平等」(27.8%)が約3割となっています。「男性の方が非常に優遇」「どちらかといえば男性の方が優遇」を合わせた『男性優遇』(44.6%)は4割以上、「女性の方が非常に優遇」「どちらかといえば女性の方が優遇」を合わせた『女性優遇』(9.0%)は約1割となっています。

過去2回の調査と比較すると、大きな変化は見られません。

性別による大きな違いは見られませんが、その中で『女性優遇』は女性(5.8%)が1割未満、男性(13.7%)が1割以上となっています。

年代別では、「平等」は18～29歳(47.8%)が約5割で高い一方、70歳代(18.7%)は約2割で低くなっています。『男性優遇』は40～70歳代が約5割で比較的高く、『女性優遇』はいずれも1割程度以下となっています。

【全体／前回・前々回との比較、性別、年代別】(1つ回答)



### ③あなたの町内会や地域活動の場では

◆「わからない」「どちらかといえば男性の方が優遇」が3割以上で同程度に高く、次いで「平等」が2割以上で、過去2回の調査からの大きな変化は見られない

◆女性は「平等」が比較的低く、『男性優遇』が高い

◆「わからない」は若い年代ほど高く、『男性優遇』は70歳代以下で若い年代ほど低い

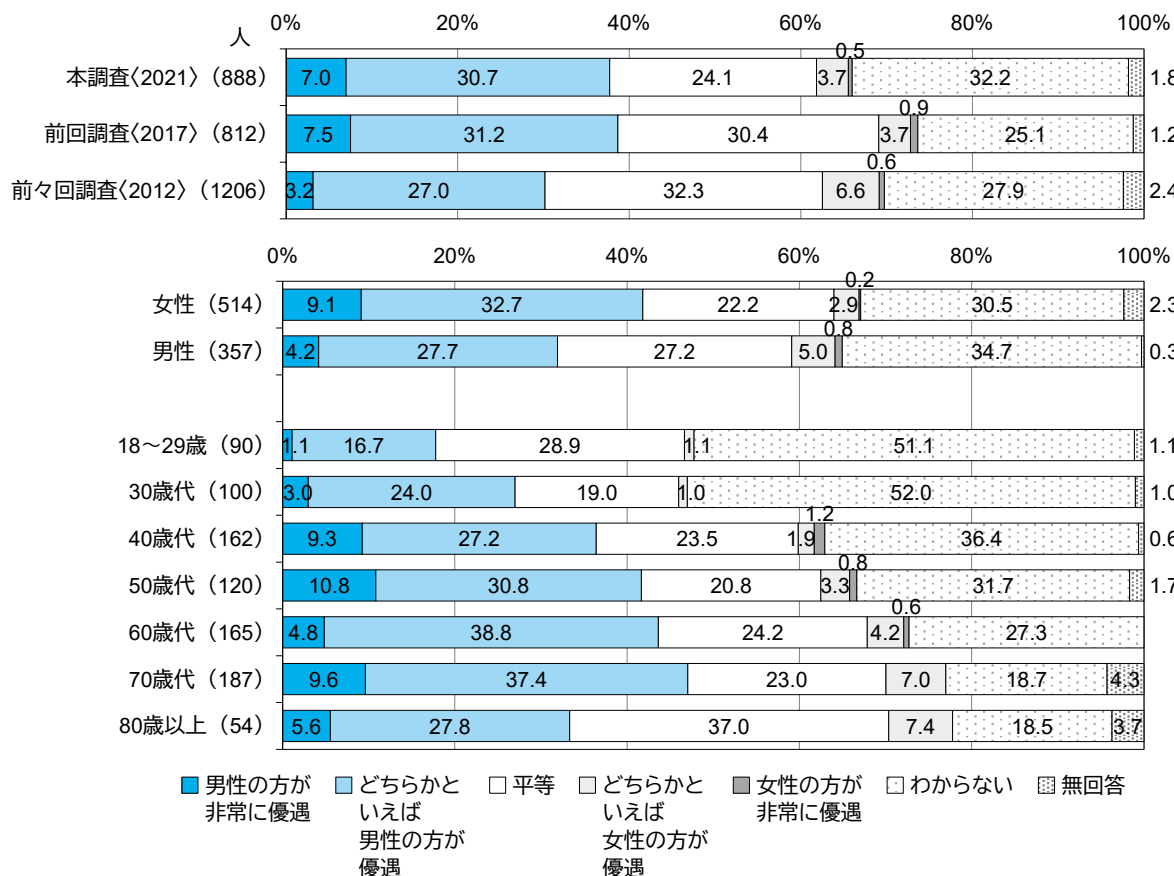
「わからない」「どちらかといえば男性の方が優遇」（それぞれ32.2%、30.7%）が3割以上で同程度に高く、次いで「平等」（24.1%）が2割以上となっています。「男性の方が非常に優遇」「どちらかといえば男性の方が優遇」を合わせた『男性優遇』（37.7%）は約4割、「女性の方が非常に優遇」「どちらかといえば女性の方が優遇」を合わせた『女性優遇』（4.2%）は1割未満となっています。

過去2回の調査と比較すると、大きな変化は見られません。

性別では、「平等」は女性（22.2%）が2割以上、男性（27.2%）が約3割で、女性が男性より若干低くなっています。『男性優遇』は女性（41.8%）が4割以上、男性（31.9%）が3割以上、『女性優遇』はいずれも1割未満となっています。

年代別では、若い年代ほど「わからない」が高くなっています。「平等」は80歳以上（37.0%）が約4割で比較的高い一方、30歳代（19.0%）は2割未満で比較的低くなっています。『男性優遇』は70歳代以下では若い年代ほど低く、『女性優遇』はいずれも1割未満となっています。

【全体／前回・前々回との比較、性別、年代別】（1つ回答）





#### ④学校教育の場では

◆「わからない」が4割以上で最も高く、次いで「平等」が約4割で、過去2回の調査からの大きな変化は見られない

◆性別による大きな違いは見られない

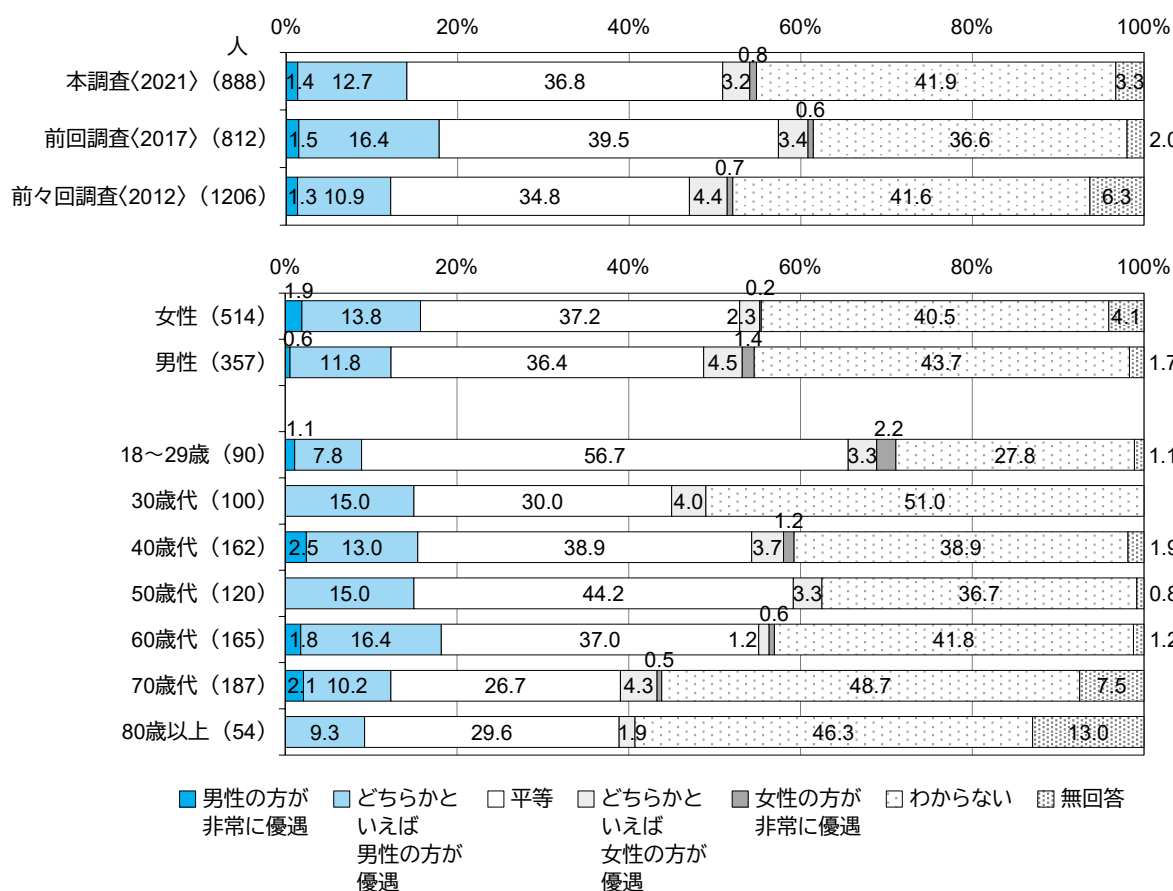
◆「わからない」は多くの年代で高く、「平等」は18～29歳が約6割で特に高い

「わからない」(41.9%)が4割以上で最も高く、次いで「平等」(36.8%)が約4割となっています。「男性の方が非常に優遇」「どちらかといえば男性の方が優遇」を合わせた『男性優遇』(14.1%)は1割以上、「女性の方が非常に優遇」「どちらかといえば女性の方が優遇」を合わせた『女性優遇』(4.0%)は1割未満となっています。

過去2回の調査と比較すると、大きな変化は見られません。また、性別による大きな違いも見られません。

年代別では、「わからない」は多くの年代で最も高く、40歳代(38.9%)は「平等」と同値となっています。「平等」は18～29歳(56.7%)が約6割で特に高くなっています。『男性優遇』は30～70歳代で1割以上、『女性優遇』はいずれも1割未満となっています。

【全体／前回・前々回との比較、性別、年代別】(1つ回答)





## ⑤政治の場では

◆「どちらかといえば男性の方が優遇」「男性の方が非常に優遇」が約4割、「平等」は1割未満で、過去2回の調査より「男性の方が非常に優遇」が高い

◆性別による大きな違いは見られない

◆80歳以上は合計値『男性優遇』が比較的低い

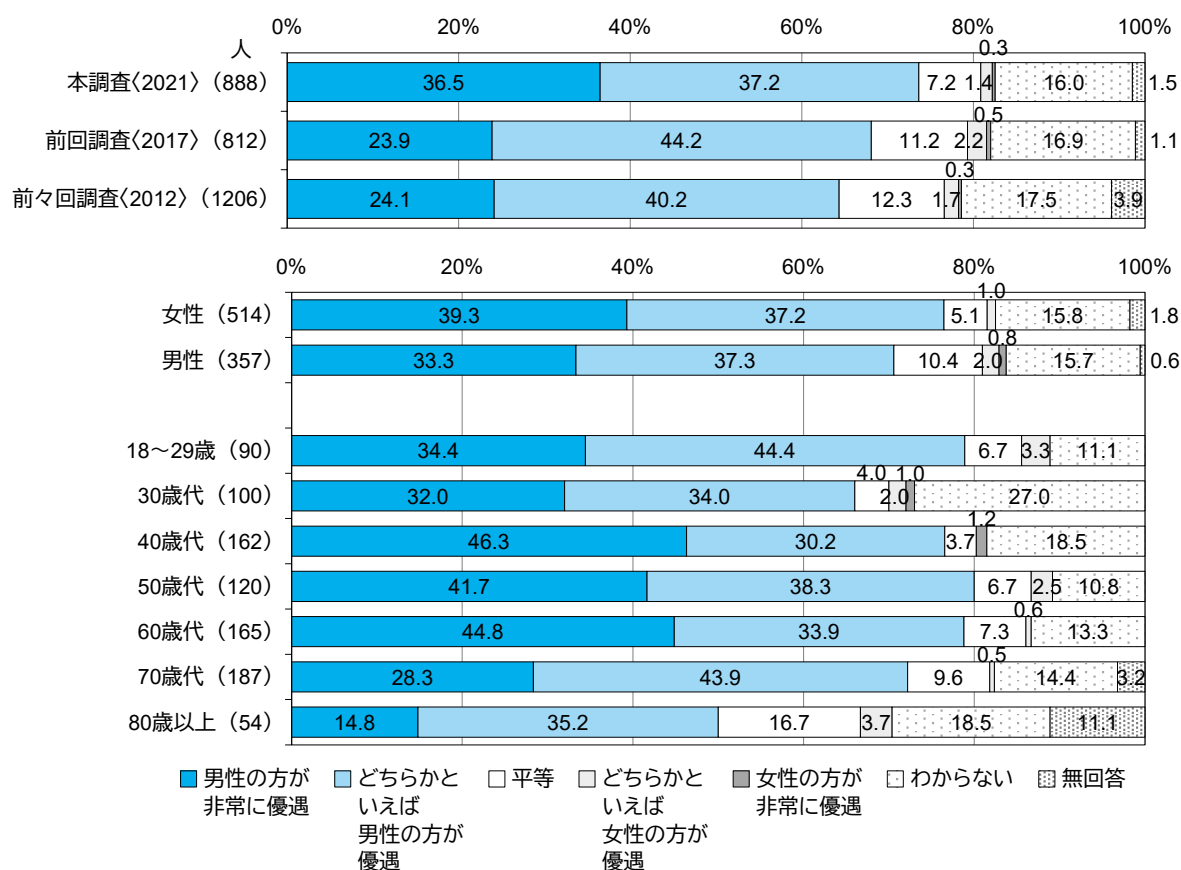
「どちらかといえば男性の方が優遇」「男性の方が非常に優遇」（それぞれ 37.2%、36.5%）が約4割で同程度に高い一方、「平等」（7.2%）は1割未満となっています。「男性の方が非常に優遇」「どちらかといえば男性の方が優遇」を合わせた『男性優遇』（73.7%）は7割以上、「女性の方が非常に優遇」「どちらかといえば女性の方が優遇」を合わせた『女性優遇』（1.7%）は1割未満となっています。

過去2回の調査と比較すると、「男性の方が非常に優遇」が前回（23.9%）、前々回（24.1%）より高くなっています。

性別による大きな違いは見られません。

年代別では、すべて年代で「男性の方が非常に優遇」「どちらかといえば男性の方が優遇」のいずれかが最も高くなっています。「平等」は80歳以上（16.7%）を除き1割未満となっています。『男性優遇』は80歳以上（50.0%）を除き、約7～8割で高く、『女性優遇』はいずれも1割未満となっています。

【全体／前回・前々回との比較、性別、年代別】（1つ回答）



## ⑥法律や制度の上では

◆「どちらかといえば男性の方が優遇」が3割以上で最も高く、次いで「わからない」「平等」が2割以上で、過去2回の調査からの大きな変化は見られない

◆女性は「平等」が低く、合計値『男性優遇』が高い

◆合計値『男性優遇』は18～29歳、50・60歳代で高い

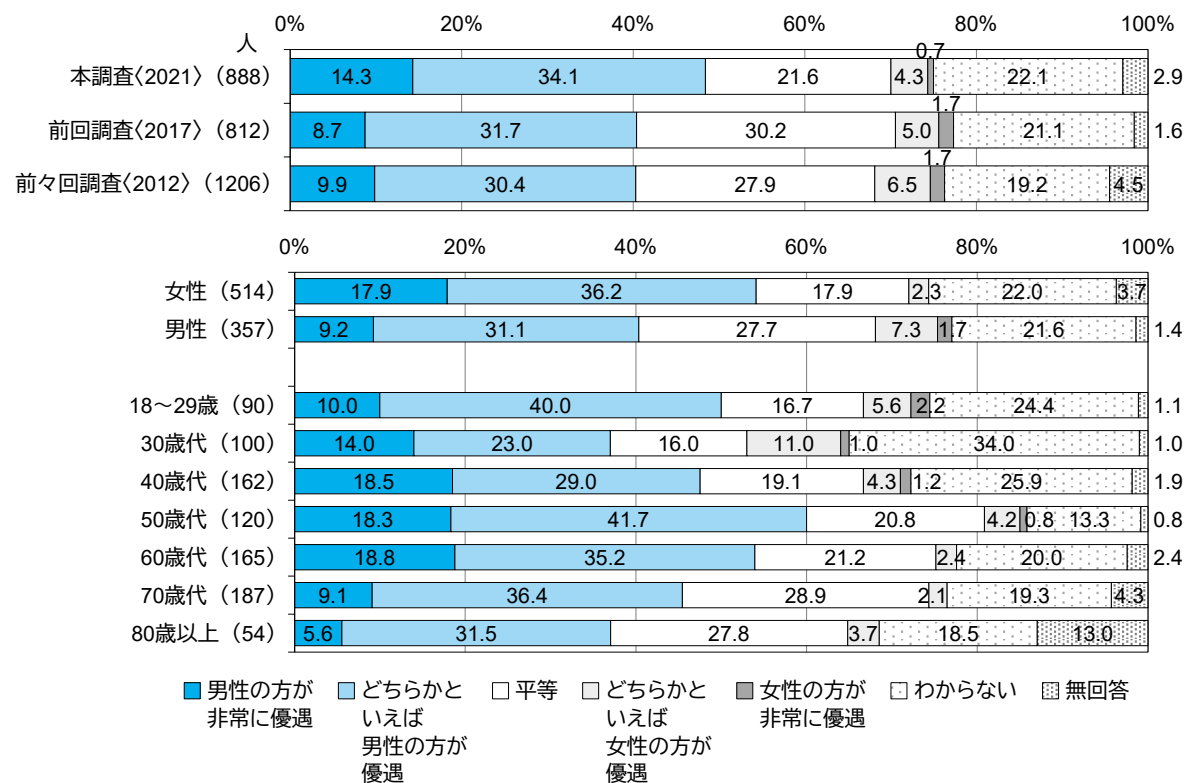
「どちらかといえば男性の方が優遇」(34.1%)が3割以上で最も高く、次いで「わからない」「平等」(それぞれ22.1%、21.6%)が2割以上で同程度となっています。「男性の方が非常に優遇」「どちらかといえば男性の方が優遇」を合わせた『男性優遇』(48.4%)は約5割、「女性の方が非常に優遇」「どちらかといえば女性の方が優遇」を合わせた『女性優遇』(5.0%)は1割未満となっています。

過去2回の調査と比較すると、大きな変化は見られません。

性別では、「平等」は女性(17.9%)が約2割、男性(27.7%)が約3割で、女性が男性より低くなっています。『男性優遇』は女性(54.1%)が5割以上、男性(40.3%)が4割以上、『女性優遇』はいずれも1割未満となっています。

年代別では、30歳代を除き「どちらかといえば男性の方が優遇」が最も高く、30歳代は「わからない」(34.0%)が最も高くなっています。「平等」は70歳代、80歳以上(それぞれ28.9%、27.8%)が約3割で比較的高くなっています。『男性優遇』は50歳代(60.0%)が6割、18～29歳、60歳代(それぞれ50.0%、54.0%)が5割以上で比較的高く、『女性優遇』は30歳代(12.0%)を除き1割未満となっています。

【全体／前回・前々回との比較、性別、年代別】(1つ回答)



## ⑦社会通念・慣習・しきたりなどでは

◆「どちらかといえば男性の方が優遇」が5割以上で最も高く、「平等」は1割未満で、過去2回の調査からの大きな変化は見られない

◆性別による大きな違いは見られない

◆「男性の方が非常に優遇」は40歳代以上で若い年代ほど高い

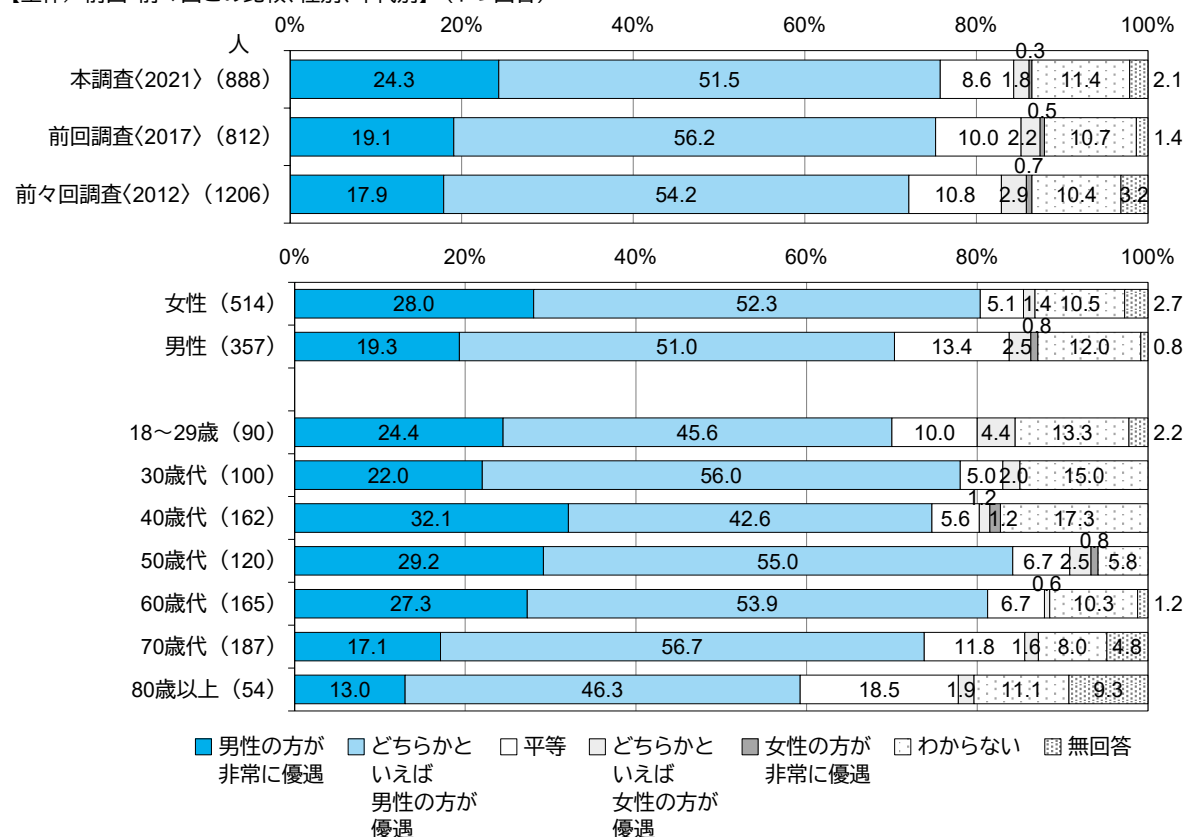
「どちらかといえば男性の方が優遇」(51.5%)が5割以上で最も高く、次いで「男性の方が非常に優遇」(24.3%)が2割以上となっています。一方、「平等」(8.6%)は1割未満となっています。「男性の方が非常に優遇」「どちらかといえば男性の方が優遇」を合わせた『男性優遇』(75.8%)は7割以上、「女性の方が非常に優遇」「どちらかといえば女性の方が優遇」を合わせた『女性優遇』(2.1%)は1割未満となっています。

過去2回の調査と比較すると、大きな変化は見られません。

性別による大きな違いは見られませんが、その中で「男性の方が非常に優遇」は女性(28.0%)が男性(19.3%)より高く、「平等」は男性(13.4%)が女性(5.1%)より若干高くなっています。

年代別では、いずれの年代も「どちらかといえば男性の方が優遇」が最も高くなっていますが、「男性の方が非常に優遇」には違いが見られ、40歳代以上では若い年代ほど高くなっています。「平等」は80歳以上(18.5%)が約2割で比較的高くなっています。『男性優遇』は80歳以上(59.3%)を除き約7~8割で高く、『女性優遇』はいずれも1割未満となっています。

【全体／前回・前々回との比較、性別、年代別】(1つ回答)



## ⑧社会全体として

◆「どちらかといえば男性の方が優遇」が5割以上で最も高く、次いで「男性の方が非常に優遇」「わからない」「平等」が1割未満で、過去2回の調査からの大きな変化は見られない

◆女性 は合計値『男性優遇』が高い

◆「男性の方が非常に優遇」は40歳代以上で若い年代ほど高い

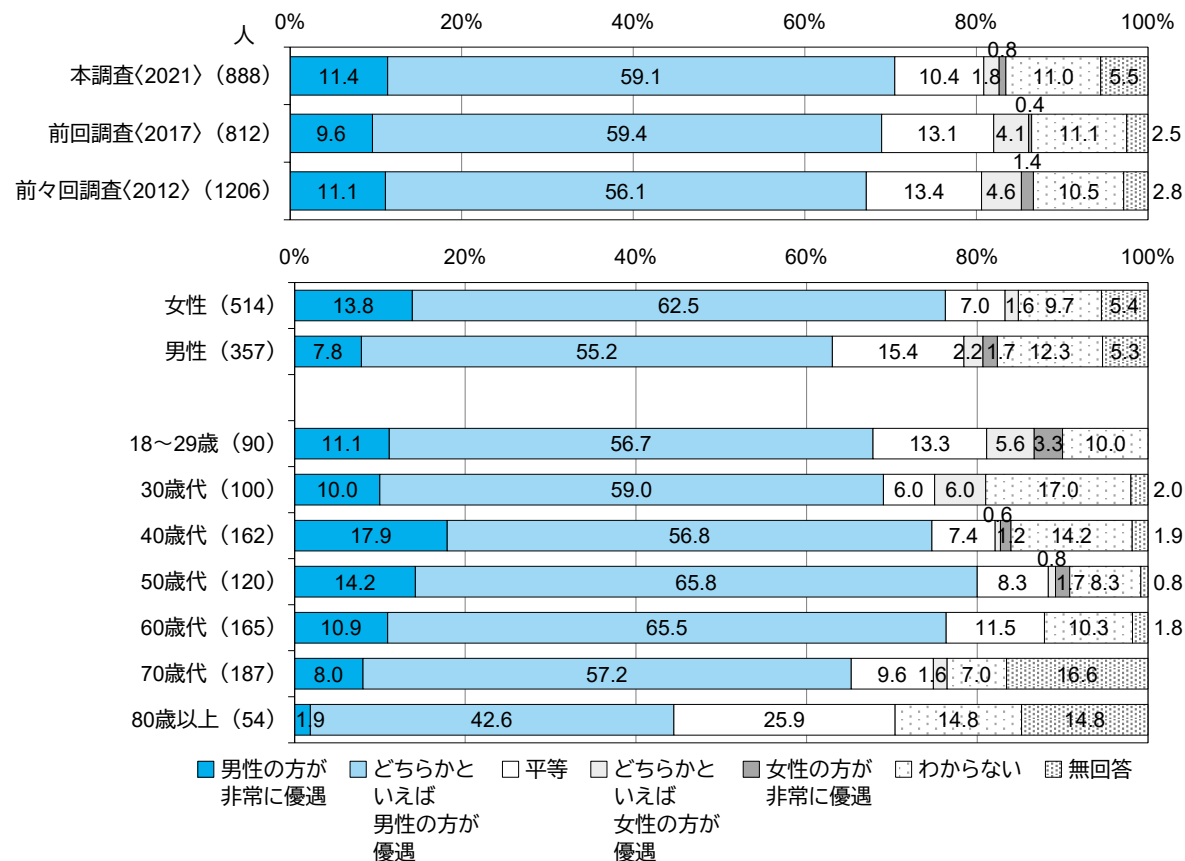
「どちらかといえば男性の方が優遇」(59.1%)が約6割で特に高く、次いで「男性の方が非常に優遇」「わからない」「平等」が1割以上となっています。「男性の方が非常に優遇」「どちらかといえば男性の方が優遇」を合わせた『男性優遇』(70.5%)は7割以上、「女性の方が非常に優遇」「どちらかといえば女性の方が優遇」を合わせた『女性優遇』(2.6%)は1割未満となっています。

過去2回の調査と比較すると、大きな変化は見られません。

性別では、「男性の方が非常に優遇」「どちらかといえば男性の方が優遇」とともに女性が男性より高く、『男性優遇』は女性(76.3%)が男性(63.0%)より高くなっています。一方、「平等」は男性(15.4%)が女性(7.0%)より若干高くなっています。

年代別では、いずれの年代も「どちらかといえば男性の方が優遇」が最も高くなっています。「平等」は80歳以上(25.9%)2割以上で高くなっています。『男性優遇』は40～60歳代が約7～8割で高くなっています。『女性優遇』はいずれも1割未満で、60歳代、80歳以上は回答が見られません。

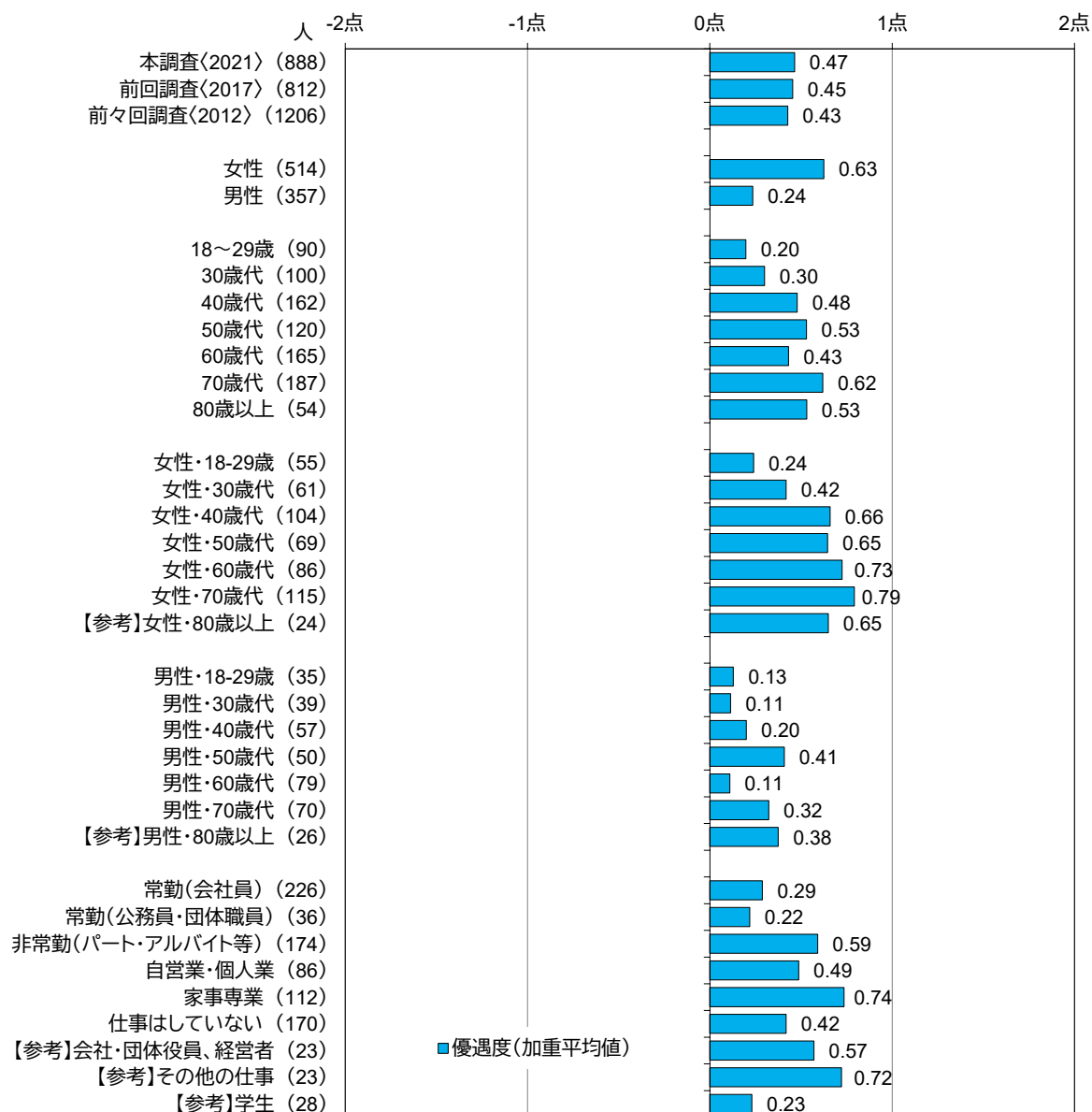
【全体／前回・前々回との比較、性別、年代別】(1つ回答)



〈参考：前回・前々回との比較、性別、年代別、性・年代別、職業別 加重平均値〉

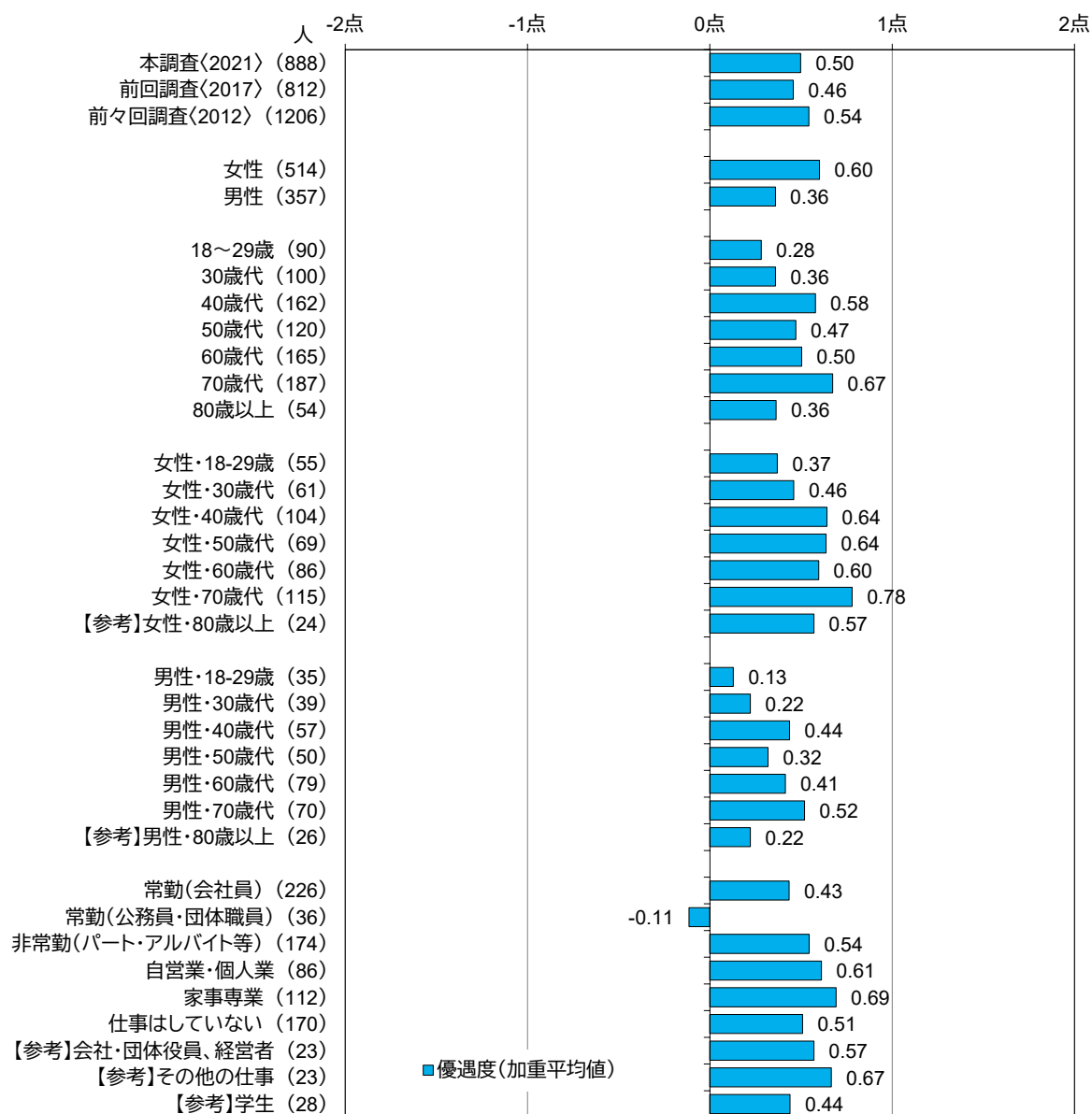
# ①あなたの家庭では

【全体／前回・前々回との比較、性別、年代別、性・年代別、職業別】（加重平均値）



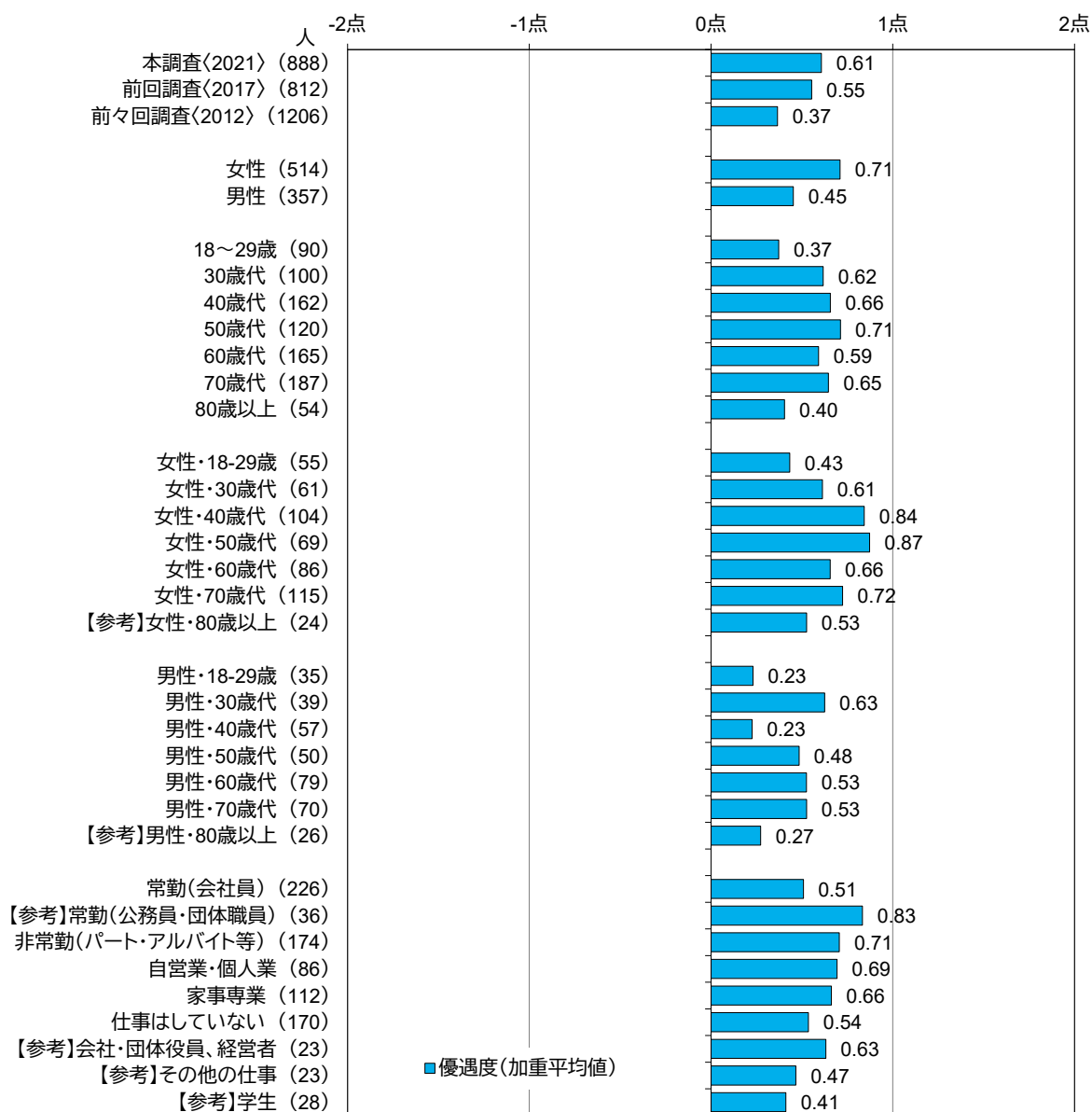
## ②あなたの(あなたの家族や友人などの)職場では

【全体／前回・前々回との比較、性別、年代別、性・年代別、職業別】(加重平均値)



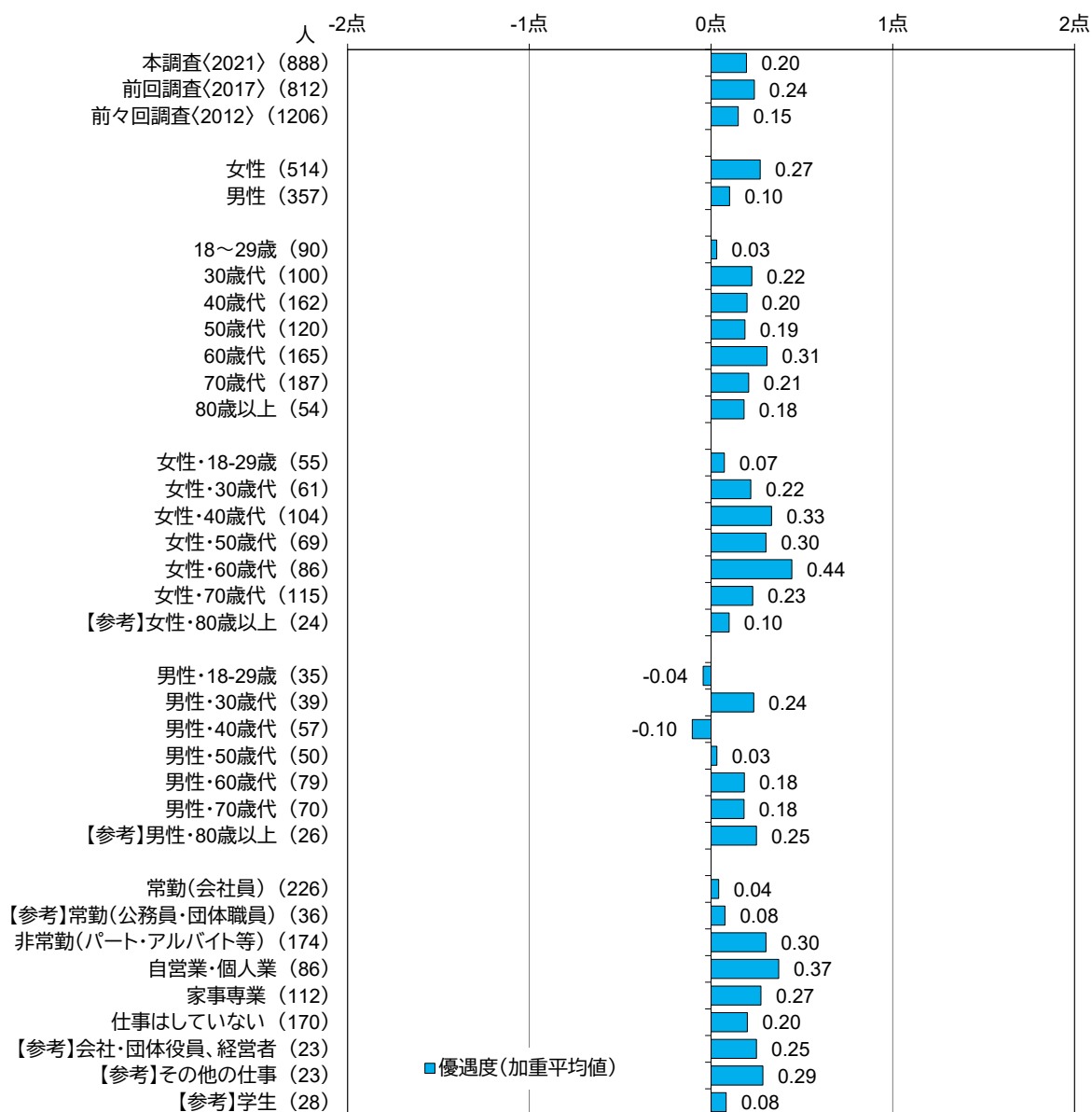
### ③あなたの町内会や地域活動の場では

【全体／前回・前々回との比較、性別、年代別、性・年代別、職業別】（加重平均値）



#### ④学校教育の場では

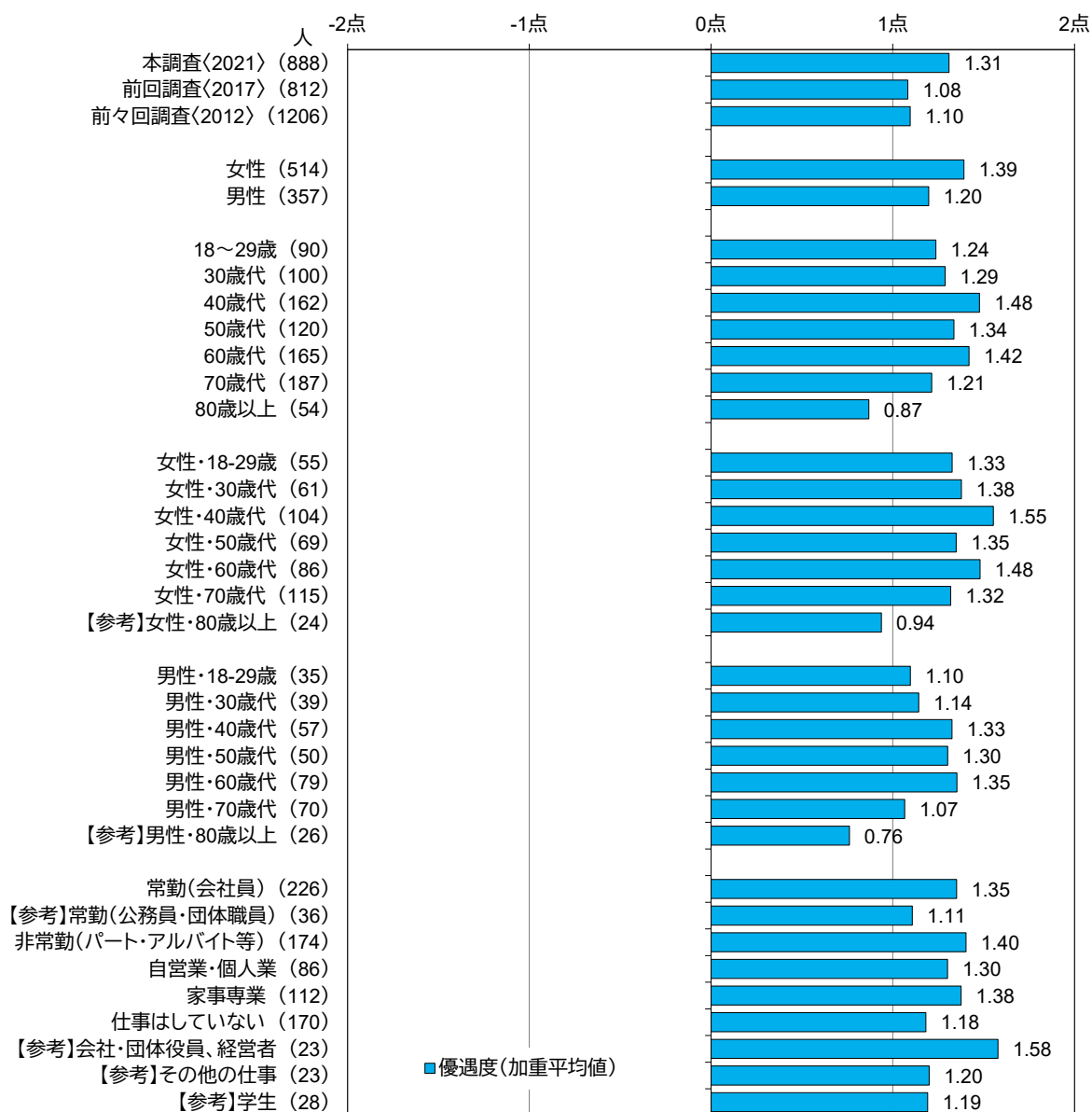
【全体／前回・前々回との比較、性別、年代別、性・年代別、職業別】（加重平均値）





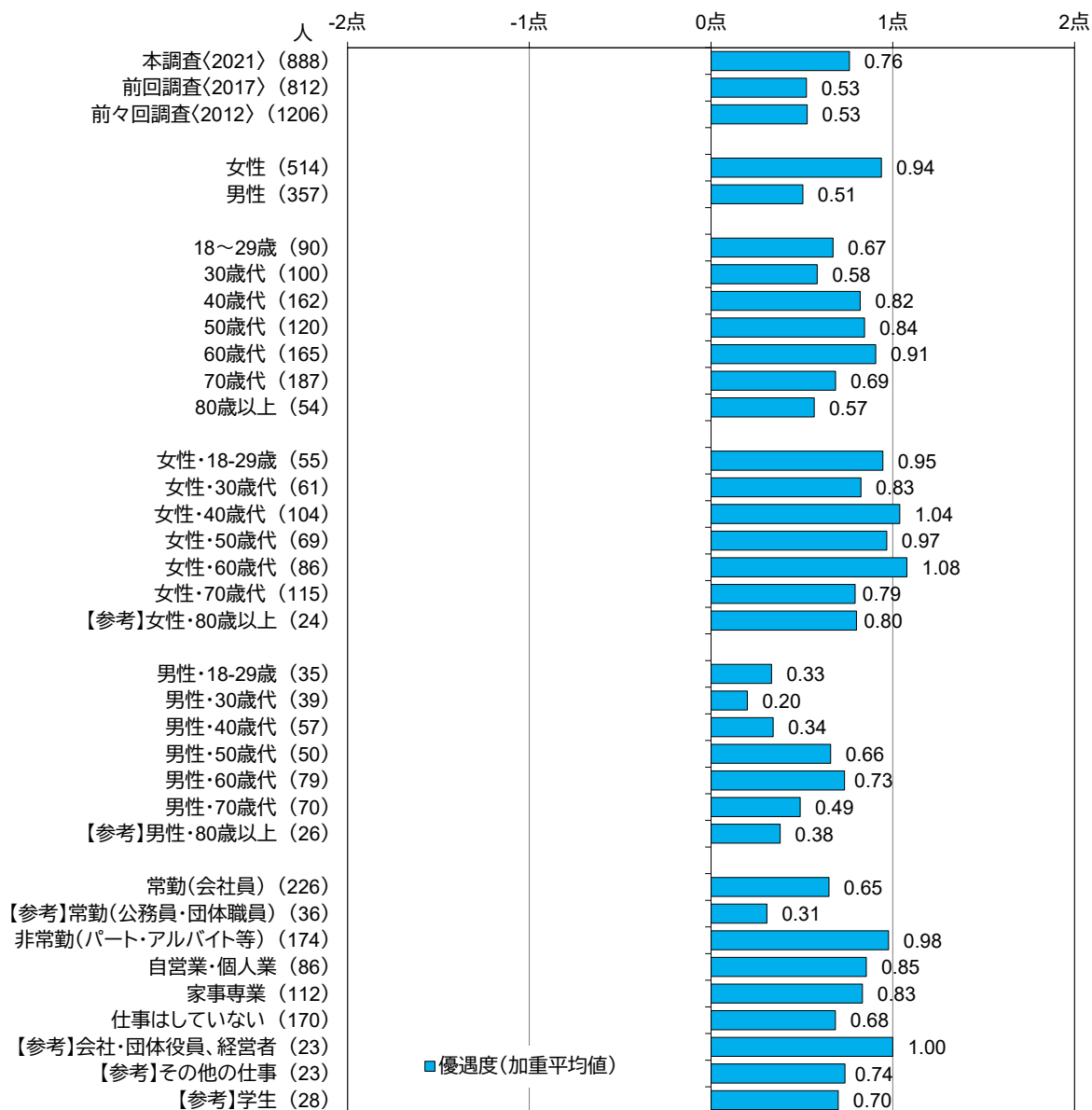
## ⑤政治の場では

【全体／前回・前々回との比較、性別、年代別、性・年代別、職業別】（加重平均値）



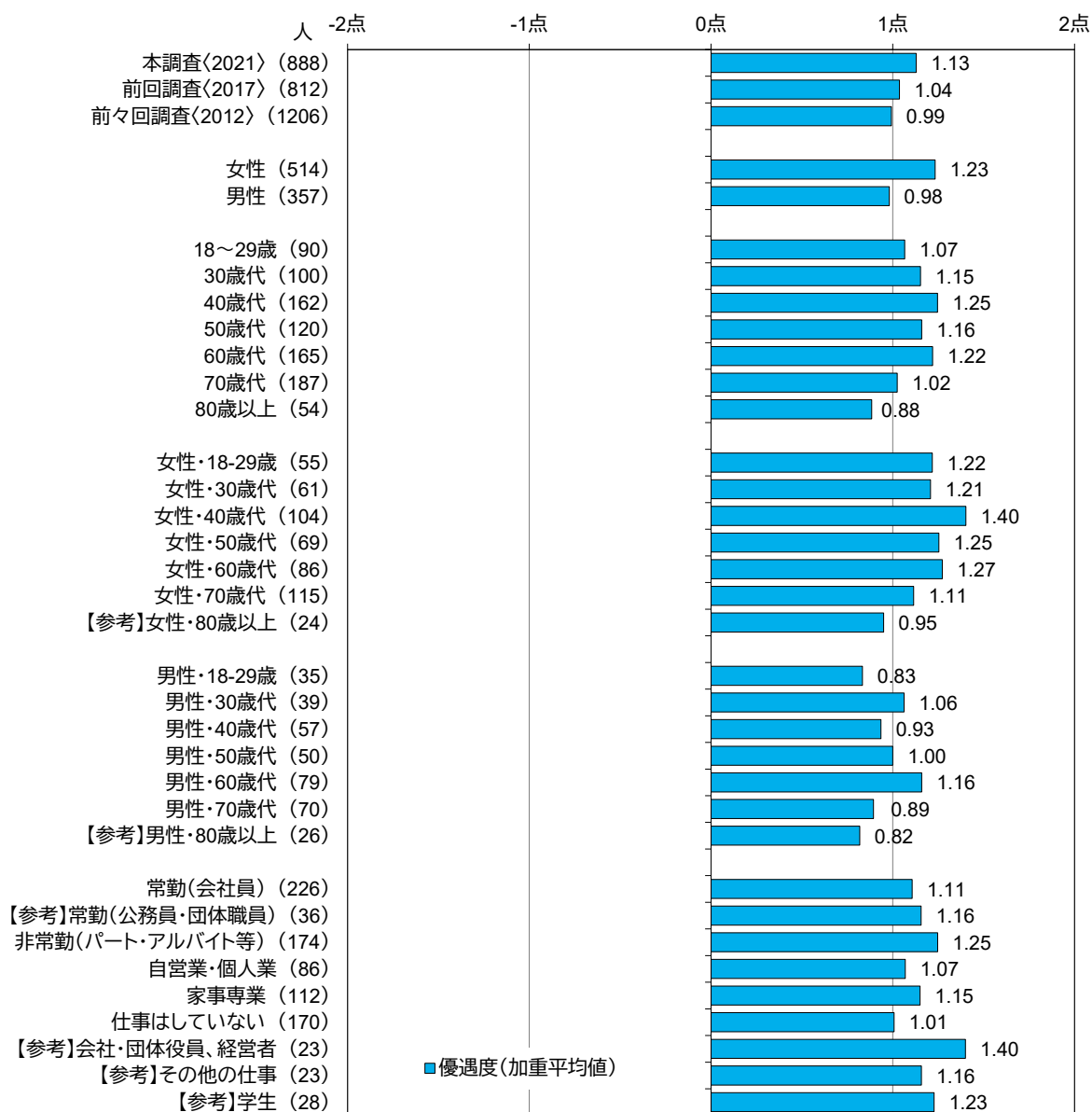
## ⑥法律や制度の上では

【全体／前回・前々回との比較、性別、年代別、性・年代別、職業別】（加重平均値）



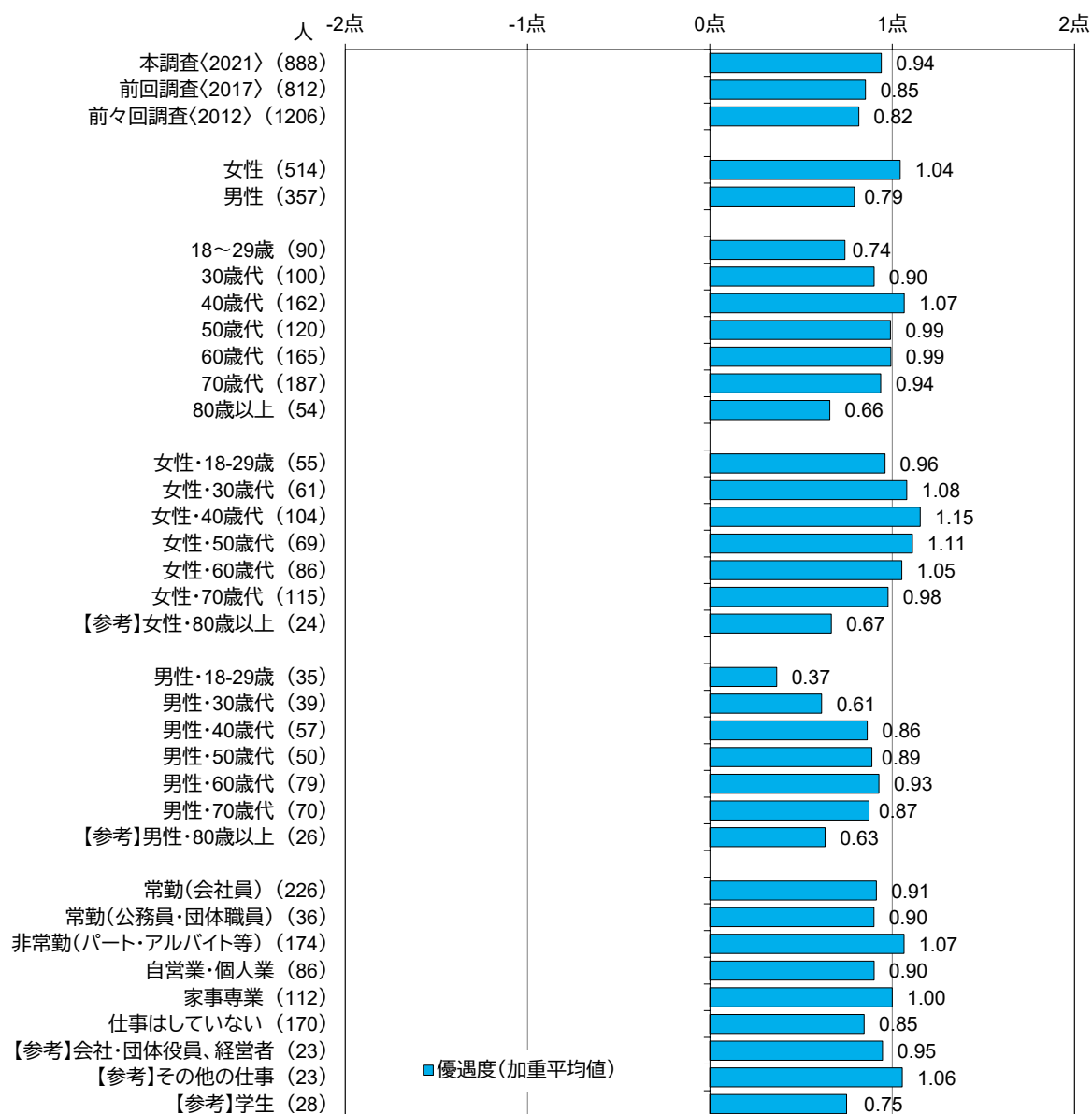
## ⑦社会通念・慣習・しきたりなどでは

【全体／前回・前々回との比較、性別、年代別、性・年代別、職業別】（加重平均値）



## ⑧社会全体として

【全体／前回・前々回との比較、性別、年代別、性・年代別、職業別】（加重平均値）



### 問3 男女平等を阻んでいると思う要因

どのような要因が男女平等を阻んでいると思いますか。(複数回答)

問2⑧で「男性の方が非常に優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」「どちらかといえば女性の方が優遇されている」「女性の方が非常に優遇されている」の選択者のみ

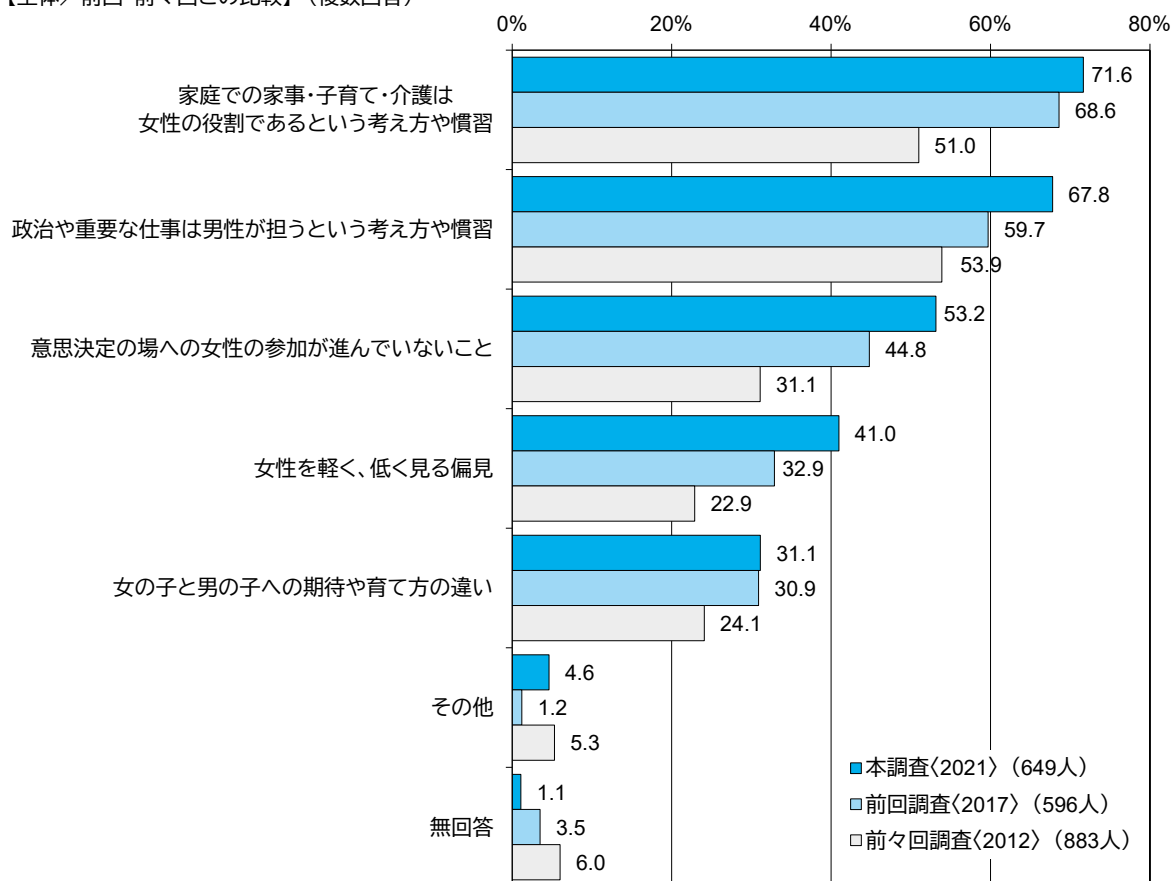
◆「家庭での家事等は女性の役割という考え方・慣習」「政治や重要な仕事は男性が担うという考え方・慣習」が約7割で同程度に高い

◆ほとんどの項目が過去2回の調査より高い

「家庭での家事・子育て・介護は女性の役割であるという考え方や慣習」「政治や重要な仕事は男性が担うという考え方や慣習」(それぞれ71.6%、67.8%)が約7割で同程度に高く、次いで「意思決定の場への女性の参加が進んでいないこと」(53.2%)が5割以上となっています。

過去2回の調査と比較すると、「その他」を除くすべての項目で前回や前々回より高くなっています。

【全体／前回・前々回との比較】(複数回答)

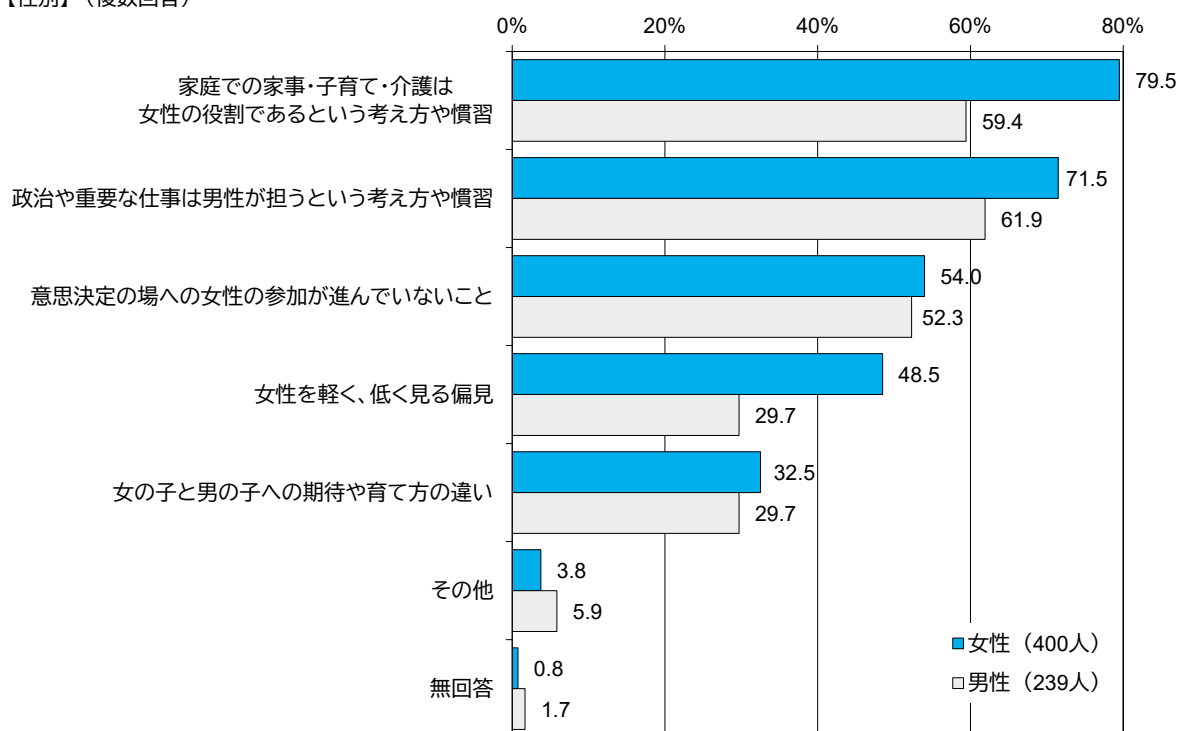


◆ほとんどの項目で女性が男性より高く、「家庭での家事等は女性の役割という考え方・慣習」「女性を軽視・偏見」は特に高い

性別では、女性は「家庭での家事・子育て・介護は女性の役割であるという考え方や慣習」(79.5%) が約 8 割で特に高く、次いで「政治や重要な仕事は男性が担うという考え方や慣習」(71.5%) が 7 割以上、男性は「政治や重要な仕事は男性が担うという考え方や慣習」「家庭での家事・子育て・介護は女性の役割であるという考え方や慣習」(それぞれ 61.9%、59.4%) が約 6 割で同定に高くなっています。

「その他」を除くすべての項目で女性が男性より高く、特に「家庭での家事・子育て・介護は女性の役割であるという考え方や慣習」は、女性が男性より 20.1 ポイント、「女性を軽く、低く見る偏見」は女性(48.5%)が男性(29.7%)より 18.8 ポイント高くなっています。

【性別】(複数回答)



- ◆40歳代以下、60・70歳代は「家庭での家事等は女性の役割という考え方・慣習」、50歳代・80歳以上は「政治や重要な仕事は男性が担うという考え方・慣習」が最も高い
- ◆「女性を軽視・偏見」は年代による違いが見られ、80歳以上が低い

年代別では、40歳代以下と60・70歳代は「家庭での家事・子育て・介護は女性の役割であるという考え方や慣習」が最も高く、60歳代は「政治や重要な仕事は男性が担うという考え方や慣習」(69.8%)が同値、70歳代は「政治や重要な仕事は男性が担うという考え方や慣習」(69.6%)が約7割で同程度に高くなっています。50歳代、80歳以上は「政治や重要な仕事は男性が担うという考え方や慣習」(それぞれ72.7%、62.5%)が最も高くなっています。

「女の子と男の子への期待や育て方の違い」は年代による違いが見られ、80歳以上(8.3%)が1割未満で低くなっています。

【年代別】(複数回答)

|                                 | % | 18～<br>29歳 | 30歳<br>代 | 40歳<br>代 | 50歳<br>代 | 60歳<br>代 | 70歳<br>代 | 80歳<br>以上 |
|---------------------------------|---|------------|----------|----------|----------|----------|----------|-----------|
| 人                               |   | 69         | 75       | 124      | 99       | 126      | 125      | 24        |
| 家庭での家事・子育て・介護は女性の役割であるという考え方や慣習 |   | 81.2       | 72.0     | 72.6     | 69.7     | 69.8     | 71.2     | 58.3      |
| 政治や重要な仕事は男性が担うという考え方や慣習         |   | 59.4       | 64.0     | 67.7     | 72.7     | 69.8     | 69.6     | 62.5      |
| 意思決定の場への女性の参加が進んでいないこと          |   | 44.9       | 41.3     | 50.8     | 62.6     | 58.7     | 57.6     | 41.7      |
| 女性を軽く、低く見る偏見                    |   | 43.5       | 42.7     | 46.8     | 40.4     | 40.5     | 37.6     | 33.3      |
| 女の子と男の子への期待や育て方の違い              |   | 30.4       | 38.7     | 32.3     | 32.3     | 25.4     | 36.0     | 8.3       |
| その他                             |   | 8.7        | 12.0     | 6.5      | 2.0      | 2.4      | 0.8      | 4.2       |
| 無回答                             |   | 1.4        | 1.3      | 0.0      | 1.0      | 0.0      | 2.4      | 4.2       |

※ ■色表示は各年代で最も高い値

## 2. 男女の仕事と生活への関わり方について

### 問4 仕事と家庭・地域活動との望ましい関わり方

あなたは、仕事と家庭・地域での活動にどのように関わるのが望ましいと思いますか。

(1) 女性・(2) 男性それぞれの関わり方についてお答えください。(各1つ回答)

#### (1) 女性の関わり方

◆「一がいに言えない」が約5割で最も高く、次いで「家庭・地域と仕事を両立」が2割以上で、過去2回の調査からの大きな変化は見られない

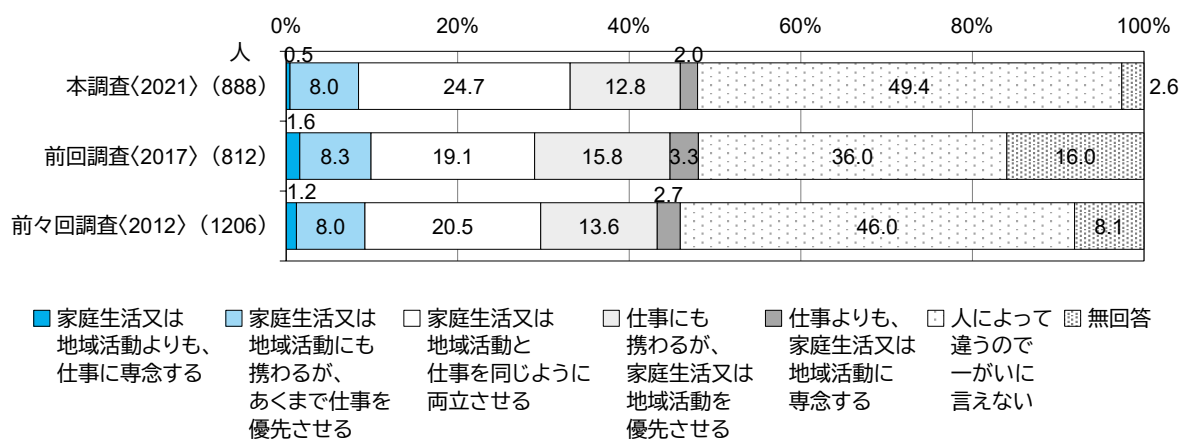
◆合計値『仕事を優先・専念』『家庭・地域を優先・専念』はいずれも約1割

「人によって違うので一がいに言えない」(49.4%)が約5割で最も高く、次いで「家庭生活又は地域活動と仕事を同じように両立させる」(24.7%)が2割以上となっています。

「家庭生活又は地域活動よりも、仕事に専念する」「家庭生活又は地域活動にも携わるが、あくまで仕事を優先させる」を合わせた『仕事を優先・専念』(8.5%)、「仕事にも携わるが、家庭生活又は地域活動を優先させる」「仕事よりも、家庭生活又は地域活動に専念する」を合わせた『家庭生活・地域活動を優先・専念』(14.8%)はいずれも約1割となっています。

過去2回の調査と比較すると、大きな変化は見られません。

【全体／前回・前々回との比較】(1つ回答)



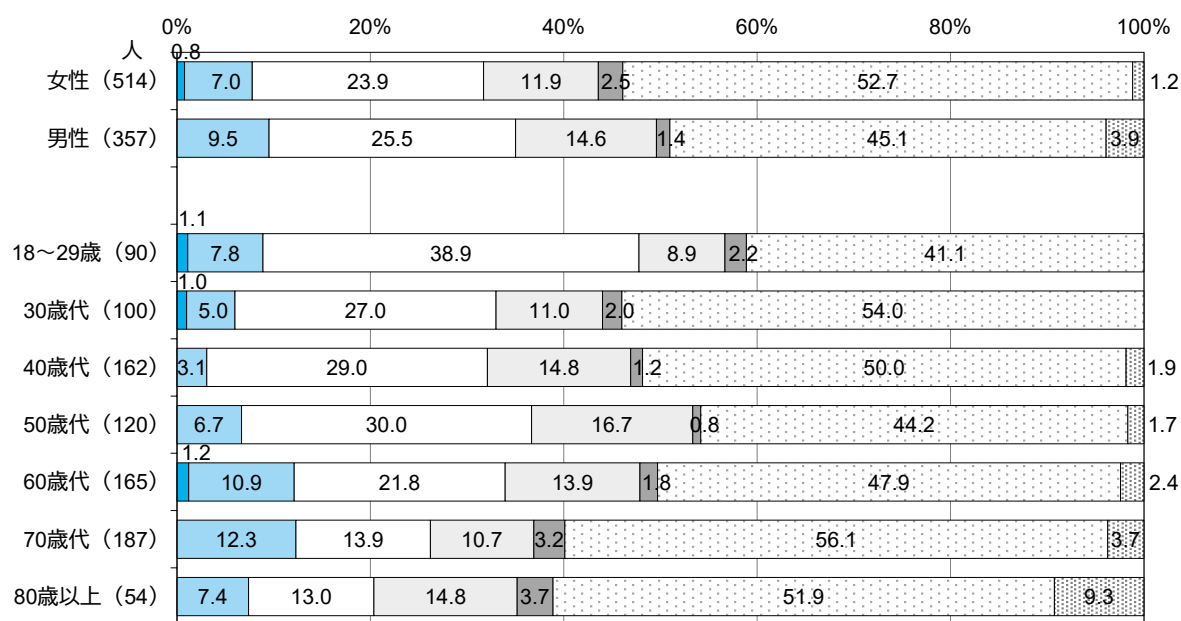


## ◆性別や年代による大きな違いは見られない

性別による大きな違いは見られません。

年代による大きな違いは見られませんが、その中で、18～29 歳は「家庭生活又は地域活動と仕事を同じように両立させる」（38.9％）が約 4 割で比較的高くなっています。

【性別、年代別】（1つ回答）



■ 家庭生活又は地域活動よりも、仕事に専念する
 ■ 家庭生活又は地域活動にも携わるが、あくまで仕事を優先させる
 □ 家庭生活又は地域活動と仕事を同じように両立させる
 □ 仕事にも携わるが、家庭生活又は地域活動を優先させる
 ■ 仕事よりも、家庭生活又は地域活動に専念する
 □ 人によって違うので一がいに言えない
 ■ 無回答

## (2) 男性の関わり方

◆「一がいに言えない」が3割以上で最も高く、次いで「家庭・地域と仕事を両立」「仕事を優先」が2割以上で、「一がいに言えない」「家庭・地域と仕事を両立」は過去2回の調査より高い

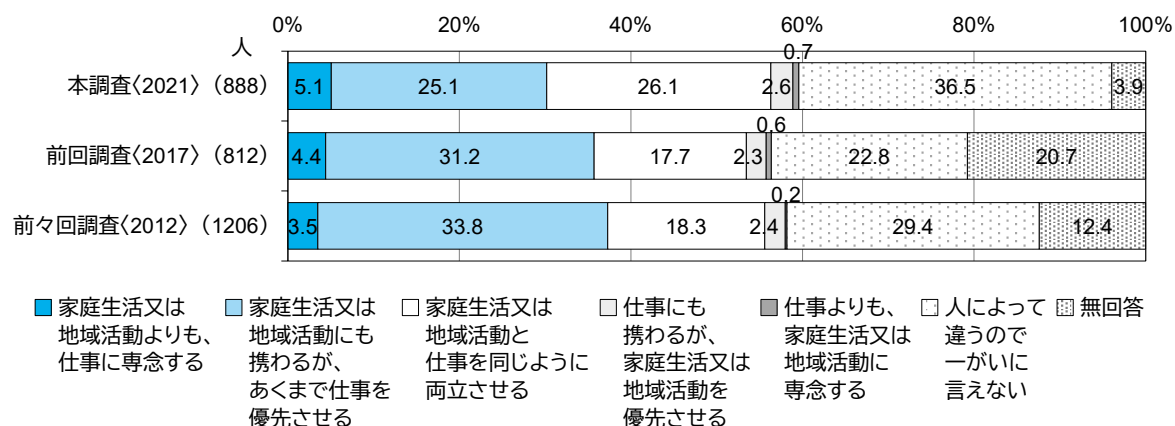
◆合計値『仕事を優先・専念』が3割以上、『家庭・地域を優先・専念』が1割未満

「人によって違うので一がいに言えない」(36.5%)が3割以上で最も高く、次いで「家庭生活又は地域活動と仕事を同じように両立させる」「家庭生活又は地域活動にも携わるが、あくまで仕事を優先させる」(それぞれ26.1%、25.1%)が2割以上で同程度となっています。

「家庭生活又は地域活動よりも、仕事に専念する」「家庭生活又は地域活動にも携わるが、あくまで仕事を優先させる」を合わせた『仕事を優先・専念』(30.2%)は3割以上、「仕事にも携わるが、家庭生活又は地域活動を優先させる」「仕事よりも、家庭生活又は地域活動に専念する」を合わせた『家庭生活・地域活動を優先・専念』(3.3%)は1割未満となっています。

過去2回の調査と比較すると、「人によって違うので一がいに言えない」が前回(22.8%)より13.7ポイント、前々回(29.4%)より若干高くなっています。

【全体／前回・前々回との比較】(1つ回答)

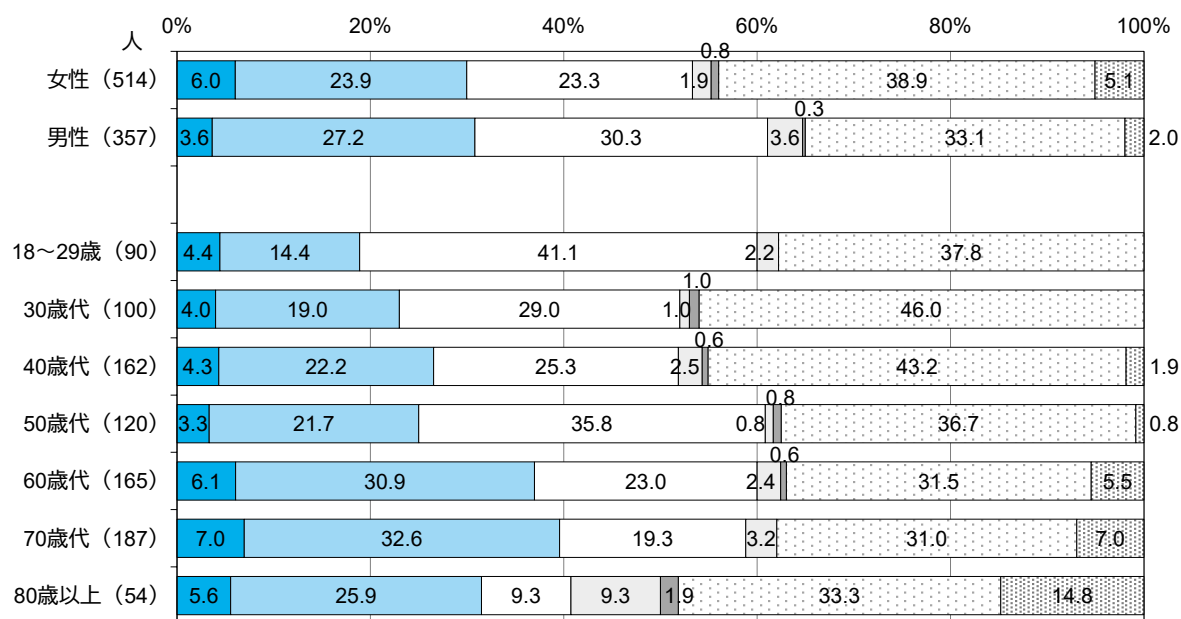


## ◆性別や年代による大きな違いは見られない

性別では、大きな違いは見られませんが、「家庭生活又は地域活動と仕事を同じように両立させる」は男性（30.3%）が女性（23.3%）より若干高くなっています。

年代別では、『仕事を優先・専念』は60・70歳代（それぞれ37.0%、39.6%）が約4割で高く、70歳以下では概ね高い年代ほど高くなっています。また、18～29歳は「家庭生活又は地域活動と仕事を同じように両立させる」（41.1%）が4割以上で比較的高くなっています。

【性別、年代別】（1つ回答）



■ 家庭生活又は地域活動よりも、仕事に専念する
 ■ 家庭生活又は地域活動にも携わるが、あくまで仕事を優先させる
 ■ 家庭生活又は地域活動と仕事を同じように両立させる
 ■ 仕事にも携わるが、家庭生活又は地域活動を優先させる
 ■ 仕事よりも、家庭生活又は地域活動に専念する
 ■ 人によって違うので一がいに言えない
 ■ 無回答

## 問5 仕事と家庭・地域活動との現在の関わり方

現在のあなたの、仕事と家庭・地域での活動の関わり方はどれにあたりますか。(1つ回答)

現在仕事をしている方のみ(問28で「家事専業」「学生」「仕事はしていない」及び無回答を除く)

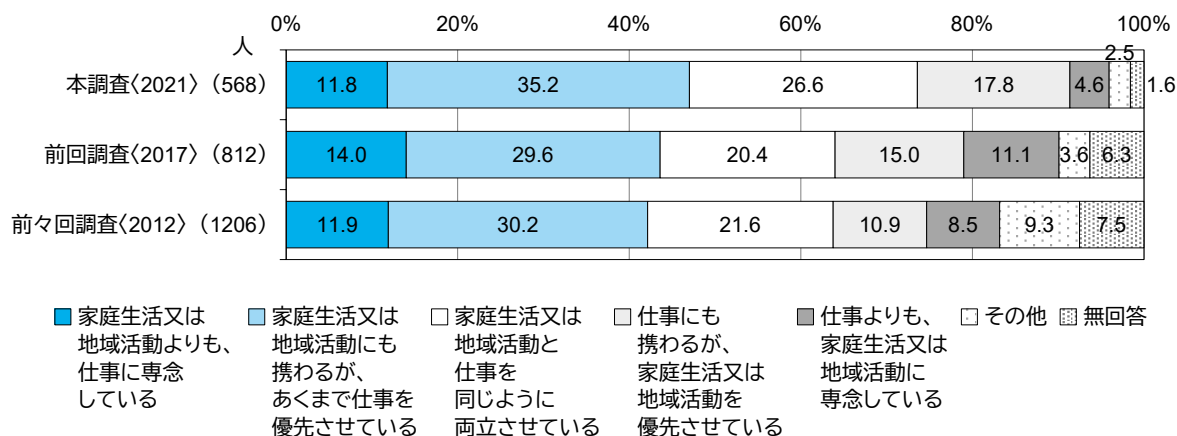
◆「あくまで仕事を優先」が3割以上で最も高く、次いで「家庭・地域と仕事を両立」が約3割

◆合計値『仕事を優先・専念』が約5割、『家庭・地域を優先・専念』が2割以上

「家庭生活又は地域活動にも携わるが、あくまで仕事を優先させている」(35.2%)が3割以上で最も高く、次いで「家庭生活又は地域活動と仕事を同じように両立させている」(26.6%)が約3割となっています。

「家庭生活又は地域活動よりも、仕事に専念している」「家庭生活又は地域活動にも携わるが、あくまで仕事を優先させている」を合わせた『仕事を優先・専念』(47.0%)は約5割、「仕事にも携わるが、家庭生活又は地域活動を優先させている」「仕事よりも、家庭生活又は地域活動に専念している」を合わせた『家庭生活・地域活動を優先・専念』(22.4%)は2割以上となっています。

【全体/前回・前々回との比較】(1つ回答)



※前回調査までは就業状況に関わらず全回答者で集計しているため、参考表示

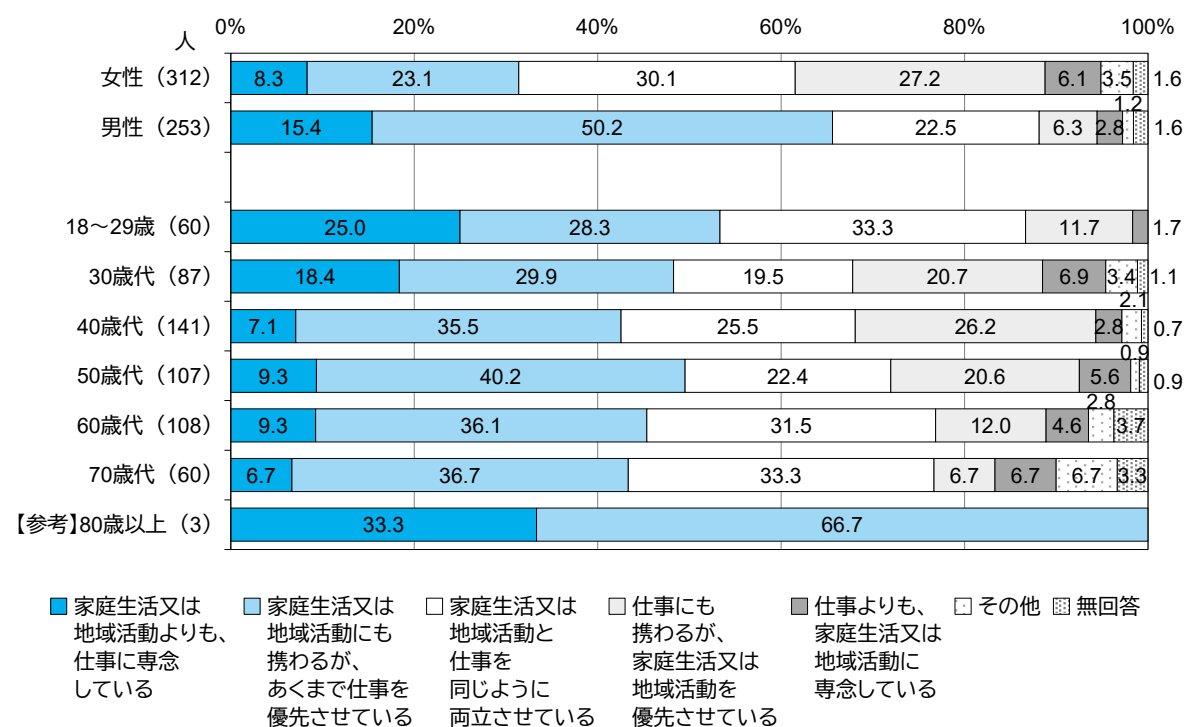
◆女性は合計値『家庭・地域を優先・専念』、男性は合計値『仕事を優先・専念』が高い

◆年代による大きな違いは見られない

性別では、女性は「家庭生活又は地域活動と仕事を同じように両立させている」(30.1%)が3割以上、男性は「家庭生活又は地域活動にも携わるが、あくまで仕事を優先させている」(50.2%)が5割以上で最も高くなっています。『仕事を優先・専念』は男性(65.6%)が女性(31.4%)より34.2ポイント高い一方、『家庭生活、地域活動を優先・専念』は女性(33.3%)が男性(9.1%)より24.2ポイント高くなっています。

年代による大きな違いは見られませんが、その中で「家庭生活又は地域活動よりも、仕事に専念している」は18～29歳(25.0%)が2割以上、30歳代(18.4%)が約2割で比較的高くなっています。

【性別、年代別】(1つ回答)



※80歳以上は対象者が少ないため、参考表示

## 問6 今後、男性が積極的に担っていくために必要だと思うこと

今後、男性が女性とともに家事・育児・介護・看護、地域活動などをより積極的に担っていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。（複数回答）

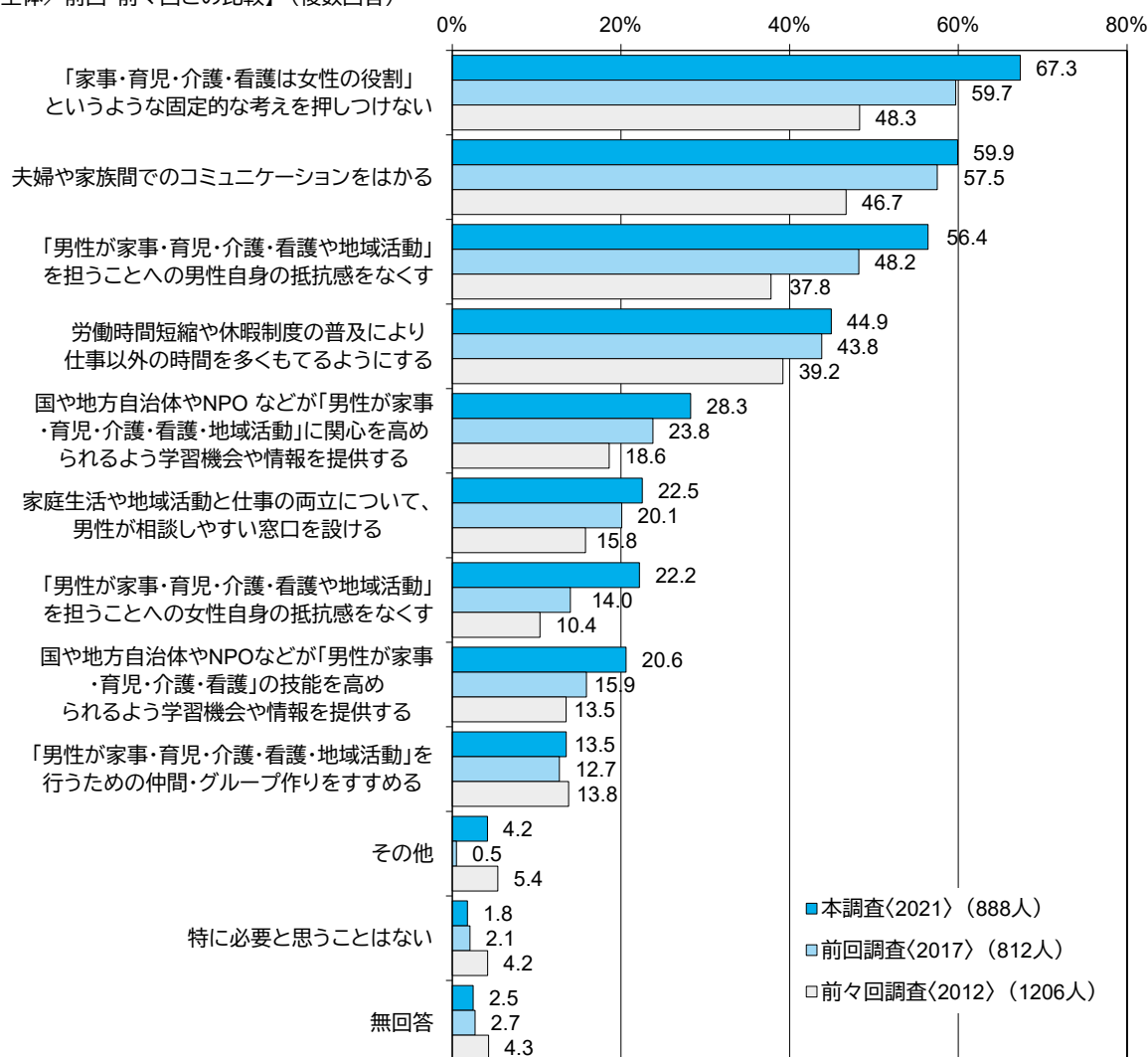
◆「固定的な考えを押しつけない」が約7割で最も高く、次いで「夫婦や家族間でのコミュニケーション」が約6割

◆過去2回の調査からの大きな変化は見られないが、ほとんどの項目が高い

『家事・育児・介護・看護は女性の役割』というような固定的な考えを押しつけない（67.3%）が約7割で最も高く、次いで「夫婦や家族間でのコミュニケーションをはかる」（59.9%）が約6割となっています。

過去2回の調査と比較すると、大きな変化は見られませんが、『男性が家事・育児・介護・看護・地域活動』を行うための仲間・グループ作りをすすめる」「その他」「特に必要と思うことはない」を除くすべての項目で前回や前々回より高くなっています。『男性が家事・育児・介護・看護・地域活動』を行うための仲間・グループ作りをすすめる（13.5%）は前回（12.7%）や前々回（13.8%）と同程度となっています。

【全体／前回・前々回との比較】（複数回答）

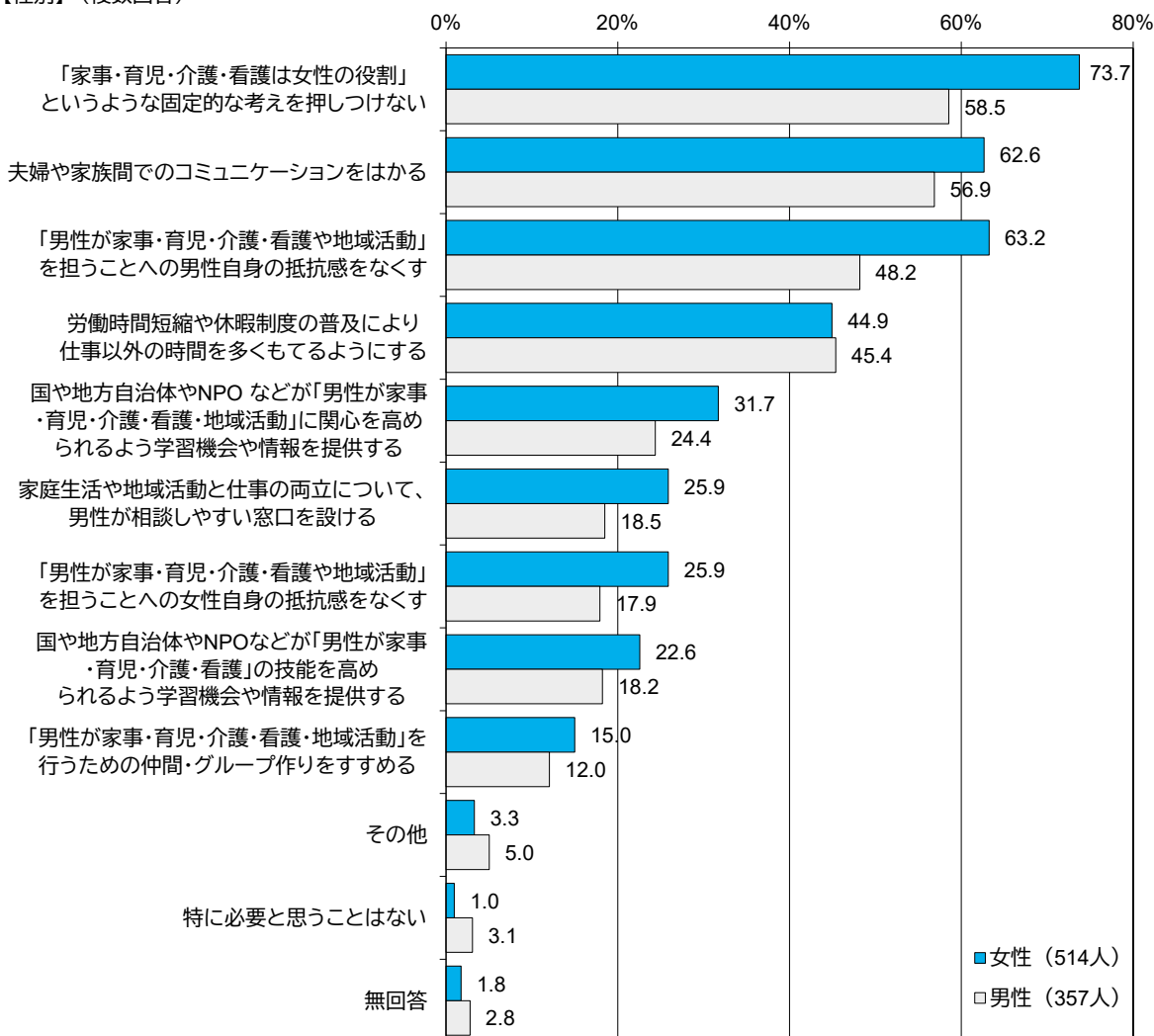


◆ほとんどの項目で女性が男性より高く、「固定的な考えを押しつけない」「男性自身の抵抗感をなくす」は特に高い

性別では、男女とも『家事・育児・介護・看護は女性の役割』というような固定的な考えを押しつけない（女性 73.7%、男性 58.5%）が最も高く、男性は次いで「夫婦や家族間でのコミュニケーションをはかる」（56.9%）が約 6 割で同程度に高くなっています。

「労働時間短縮や休暇制度の普及により仕事以外の時間を多くもてるようにする」「その他」「特に必要と思うことはない」を除くすべての項目で女性が男性より高く、特に『家事・育児・介護・看護は女性の役割』というような固定的な考えを押しつけないは、女性が男性より 15.2 ポイント、『男性が家事・育児・介護・看護や地域活動』を担うことへの男性自身の抵抗感をなくすは女性（63.2%）が男性（48.2）より 15.0 ポイント高くなっています。「労働時間短縮や休暇制度の普及により仕事以外の時間を多くもてるようにする」は女性（44.9%）と男性（45.4%）が同程度になっています。

【性別】（複数回答）



◆「固定的な考えを押しつけない」はすべての年代で高く、50歳代は「夫婦や家族のコミュニケーション」も高い

◆「男性自身の抵抗感をなくす」「仕事以外の時間を多く持てるようにする」は70歳以上が低い

年代別では、50歳代を除くすべての年代で『家事・育児・介護・看護は女性の役割』というような固定的な考えを押しつけない」が最も高く、70歳代は「夫婦や家族間でのコミュニケーションをはかる」(62.0%)と同値となっています。50歳代は「夫婦や家族間でのコミュニケーションをはかる」(70.8%)が7割以上で最も高く、『家事・育児・介護・看護は女性の役割』というような固定的な考えを押しつけない」(69.2%)も約7割で同程度となっています。

『男性が家事・育児・介護・看護や地域活動』を担うことへの男性自身の抵抗感をなくす」「労働時間短縮や休暇制度の普及により仕事以外の時間を多くもてるようにする」は年代による違いが見られ、いずれも70歳以上が低くなっています。

【年代別】(複数回答)

|                                                            | % | 18～<br>29歳 | 30歳<br>代 | 40歳<br>代 | 50歳<br>代 | 60歳<br>代 | 70歳<br>代 | 80歳<br>以上 |
|------------------------------------------------------------|---|------------|----------|----------|----------|----------|----------|-----------|
| 人                                                          |   | 90         | 100      | 162      | 120      | 165      | 187      | 54        |
| 「家事・育児・介護・看護は女性の役割」というような固定的な考えを押しつけない                     |   | 71.1       | 73.0     | 67.9     | 69.2     | 72.1     | 62.0     | 48.1      |
| 夫婦や家族間でのコミュニケーションをはかる                                      |   | 63.3       | 58.0     | 55.6     | 70.8     | 58.8     | 62.0     | 46.3      |
| 「男性が家事・育児・介護・看護や地域活動」を担うことへの男性自身の抵抗感をなくす                   |   | 62.2       | 59.0     | 60.5     | 64.2     | 60.6     | 48.7     | 31.5      |
| 労働時間短縮や休暇制度の普及により仕事以外の時間を多くもてるようにする                        |   | 57.8       | 59.0     | 46.9     | 55.8     | 43.6     | 28.3     | 27.8      |
| 国や地方自治体やNPOなどが「男性が家事・育児・介護・看護・地域活動」に関心を高められるよう学習機会や情報を提供する |   | 22.2       | 21.0     | 25.9     | 23.3     | 36.4     | 36.9     | 16.7      |
| 家庭生活や地域活動と仕事の両立について、男性が相談しやすい窓口を設ける                        |   | 30.0       | 24.0     | 19.1     | 18.3     | 22.4     | 27.3     | 13.0      |
| 「男性が家事・育児・介護・看護や地域活動」を担うことへの女性自身の抵抗感をなくす                   |   | 25.6       | 23.0     | 17.9     | 23.3     | 26.7     | 22.5     | 14.8      |
| 国や地方自治体やNPOなどが「男性が家事・育児・介護・看護」の技能を高められるよう学習機会や情報を提供する      |   | 22.2       | 14.0     | 19.8     | 20.0     | 24.8     | 23.5     | 11.1      |
| 「男性が家事・育児・介護・看護・地域活動」を行うための仲間・グループ作りをすすめる                  |   | 13.3       | 7.0      | 13.0     | 12.5     | 10.9     | 21.4     | 13.0      |
| その他                                                        |   | 4.4        | 7.0      | 6.8      | 3.3      | 3.6      | 1.1      | 1.9       |
| 特に必要と思うことはない                                               |   | 0.0        | 0.0      | 1.2      | 1.7      | 1.8      | 3.2      | 5.6       |
| 無回答                                                        |   | 0.0        | 0.0      | 1.9      | 1.7      | 2.4      | 3.7      | 9.3       |

※■色表示は各年代で最も高い値



# 〈参考：職業別〉

【職業別】（複数回答）

|                                                            | 常勤<br>(会社員) | 常勤<br>(公務員・<br>団体職員) | 非常勤<br>(パート・<br>アルバイト等) | 自営業・<br>個人業 | 家事<br>専業 | 仕事は<br>してい<br>ない | 【参考】<br>会社・団体<br>役員、経営者 | 【参考】<br>その他<br>の仕事 | 【参考】<br>学生 |
|------------------------------------------------------------|-------------|----------------------|-------------------------|-------------|----------|------------------|-------------------------|--------------------|------------|
| 人                                                          | 226         | 36                   | 174                     | 86          | 112      | 170              | 23                      | 23                 | 28         |
| 「家事・育児・介護・看護は女性の役割」というような固定的な考えを押しつけない                     | 70.8        | 66.7                 | 67.8                    | 59.3        | 74.1     | 62.9             | 56.5                    | 69.6               | 71.4       |
| 夫婦や家族間でのコミュニケーションをはかる                                      | 60.2        | 61.1                 | 59.2                    | 60.5        | 58.9     | 61.2             | 52.2                    | 69.6               | 60.7       |
| 「男性が家事・育児・介護・看護や地域活動」を担うことへの男性自身の抵抗感をなくす                   | 59.3        | 58.3                 | 59.2                    | 54.7        | 64.3     | 44.7             | 69.6                    | 69.6               | 50.0       |
| 労働時間短縮や休暇制度の普及により仕事以外の時間を多くもてるようにする                        | 55.8        | 63.9                 | 46.0                    | 39.5        | 35.7     | 33.5             | 47.8                    | 43.5               | 50.0       |
| 国や地方自治体やNPOなどが「男性が家事・育児・介護・看護・地域活動」に関心を高められるよう学習機会や情報を提供する | 22.1        | 19.4                 | 29.3                    | 25.6        | 33.0     | 31.2             | 39.1                    | 60.9               | 21.4       |
| 家庭生活や地域活動と仕事の両立について、男性が相談しやすい窓口を設ける                        | 22.1        | 27.8                 | 20.7                    | 16.3        | 21.4     | 26.5             | 13.0                    | 39.1               | 28.6       |
| 「男性が家事・育児・介護・看護や地域活動」を担うことへの女性自身の抵抗感をなくす                   | 21.2        | 16.7                 | 23.6                    | 19.8        | 25.9     | 20.0             | 26.1                    | 34.8               | 28.6       |
| 国や地方自治体やNPOなどが「男性が家事・育児・介護・看護」の技能を高められるよう学習機会や情報を提供する      | 21.2        | 11.1                 | 21.8                    | 18.6        | 21.4     | 21.2             | 26.1                    | 17.4               | 17.9       |
| 「男性が家事・育児・介護・看護・地域活動」を行うための仲間・グループ作りをすすめる                  | 9.7         | 11.1                 | 12.6                    | 11.6        | 14.3     | 18.2             | 26.1                    | 21.7               | 14.3       |
| その他                                                        | 6.6         | 2.8                  | 4.0                     | 1.2         | 2.7      | 1.8              | 8.7                     | 8.7                | 10.7       |
| 特に必要と思うことはない                                               | 0.9         | 0.0                  | 1.7                     | 1.2         | 2.7      | 2.9              | 8.7                     | 0.0                | 0.0        |
| 無回答                                                        | 1.8         | 2.8                  | 2.3                     | 3.5         | 0.9      | 4.7              | 0.0                     | 0.0                | 0.0        |

※ ■色表示は各職業等で最も高い値（対象者が少ない「会社・団体役員、経営者」「その他の仕事」「学生」を除く）

## 問7 家庭における役割分担

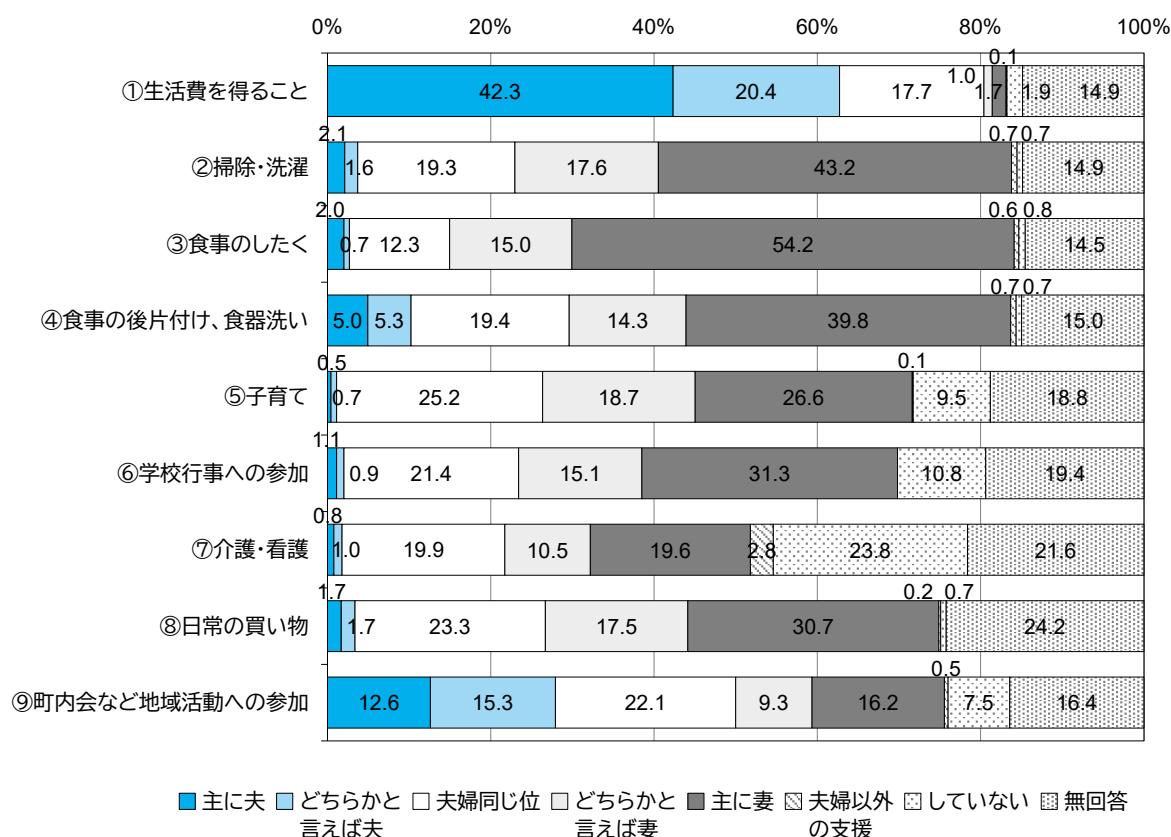
次にあげる家庭生活のことについて、あなたの家庭ではどのように役割分担をしていますか。  
(未婚、お子さんのいない方はお考えをご回答ください) (各1つ回答)

- ◆「夫婦同じ位」はほとんどの役割で2割程度の中、「食事のしたく」では1割程度
- ◆「生活費を得ること」「地域活動への参加」を除き、合計値『妻が主体』が『夫が主体』より高い

「夫婦同じ位」は「⑤子育て」(25.2%)が2割以上で最も高く、「⑥学校行事への参加」(21.4%)、「⑧日常の買い物」(23.3%)、「⑨町内会など地域活動への参加」(22.1%)も2割以上で同程度、一方「③食事のしたく」(12.3%)は1割程度で低くなっています。

「主に夫」「どちらかと言えば夫」を合わせた『夫が主体』、「主に妻」「どちらかと言えば妻」を合わせた『妻が主体』を見ると、②～⑧は『妻が主体』が『夫が主体』より高く、『夫が主体』はいずれも1割程度未満となっています。一方、『夫が主体』は「①生活費を得ること」(62.7%)が6割以上で特に高く、「⑨町内会など地域活動への参加」は『夫が主体』『妻が主体』(それぞれ27.9%、25.5%)に大きな違いは見られません。また、『妻が主体』は「③食事のしたく」(69.2%)が約7割、「②掃除・洗濯」(60.8%)が6割以上で特に高くなっています。

【全体】(各1つ回答)



本調査(2021) (888人)

## ①生活費を得ること

◆「主に夫」が4割以上で最も高く、次いで「夫婦同じ位」は約2割で、過去2回の調査からの大きな変化は見られない

◆性別による大きな違いは見られない

◆「夫婦同じ位」は若い年代ほど高く、合計値『夫が主体』は30・40歳代で7割以上

「主に夫」(42.3%)が4割以上で最も高く、次いで「どちらかと言えば夫」(20.4%)が2割以上、「夫婦同じ位」(17.7%)が約2割となっています。

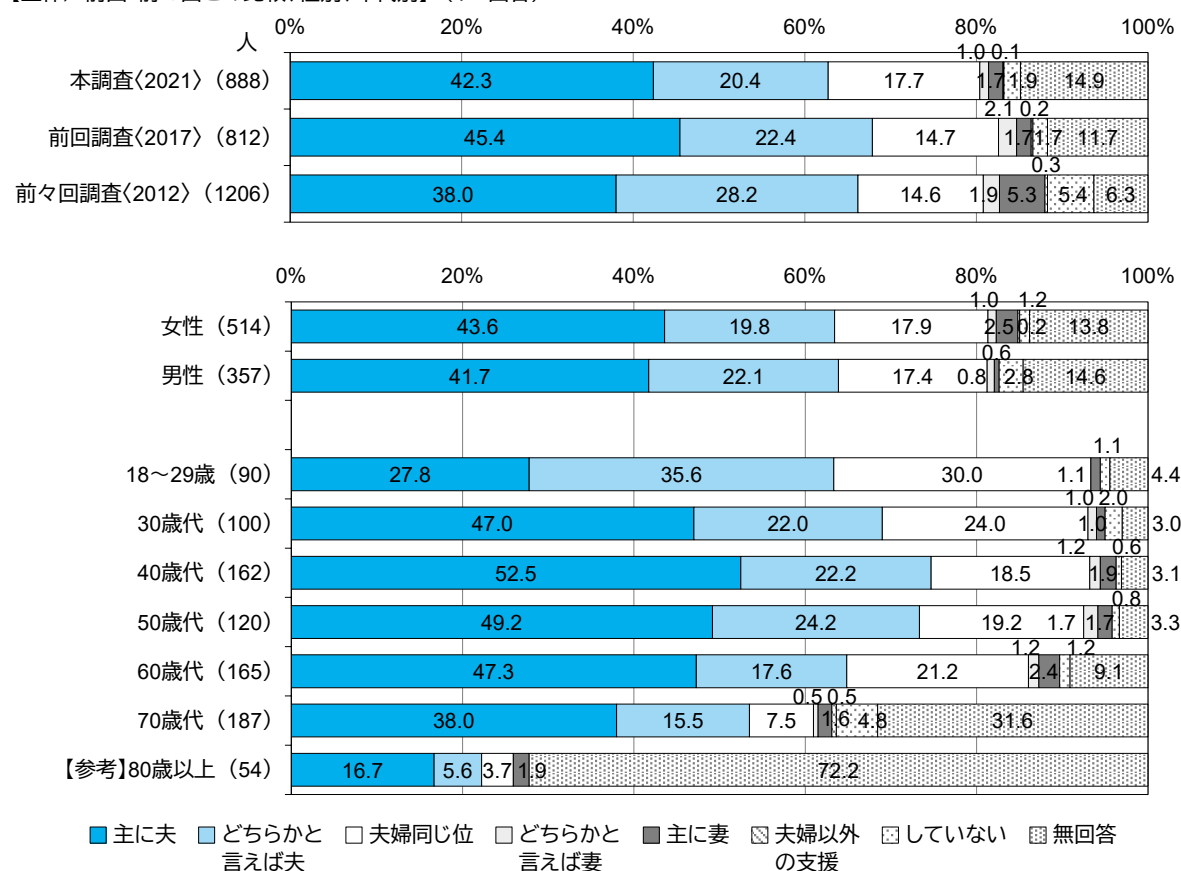
「主に夫」「どちらかと言えば夫」を合わせた『夫が主体』(62.7%)は6割以上、「主に妻」「どちらかと言えば妻」を合わせた『妻が主体』(2.7%)は1割未満となっています。

過去2回の調査と比較すると、大きな変化は見られません。

性別による大きな違いは見られません。

年代別では、「夫婦同じ位」は18～29歳(30.0%)が3割で高い一方、70歳代(7.5%)、80歳以上(3.7%)は1割未満で低く、概ね若い年代ほど高くなっています。『夫が主体』は40・50歳代(それぞれ74.7%、73.4%)が7割以上で比較的高く、『妻が主体』はいずれも1割未満となっています。

【全体／前回・前々回との比較、性別、年代別】(1つ回答)



※前々回調査は「生活費を得ること」は「収入を得ること」として設定  
 ※80歳以上は無回答が多いため、参考表示

## ②掃除・洗濯

◆「主に妻」が4割以上で最も高く、次いで「夫婦同じ位」が約2割

◆過去2回の調査より合計値『妻が主体』が低い

◆合計値『妻が主体』は女性が高い

◆「夫婦同じ位」は概ね若い年代ほど高く、『妻が主体』は50歳代で7割以上

「主に妻」(43.2%)が4割以上で最も高く、次いで「夫婦同じ位」(19.3%)が約2割となっています。

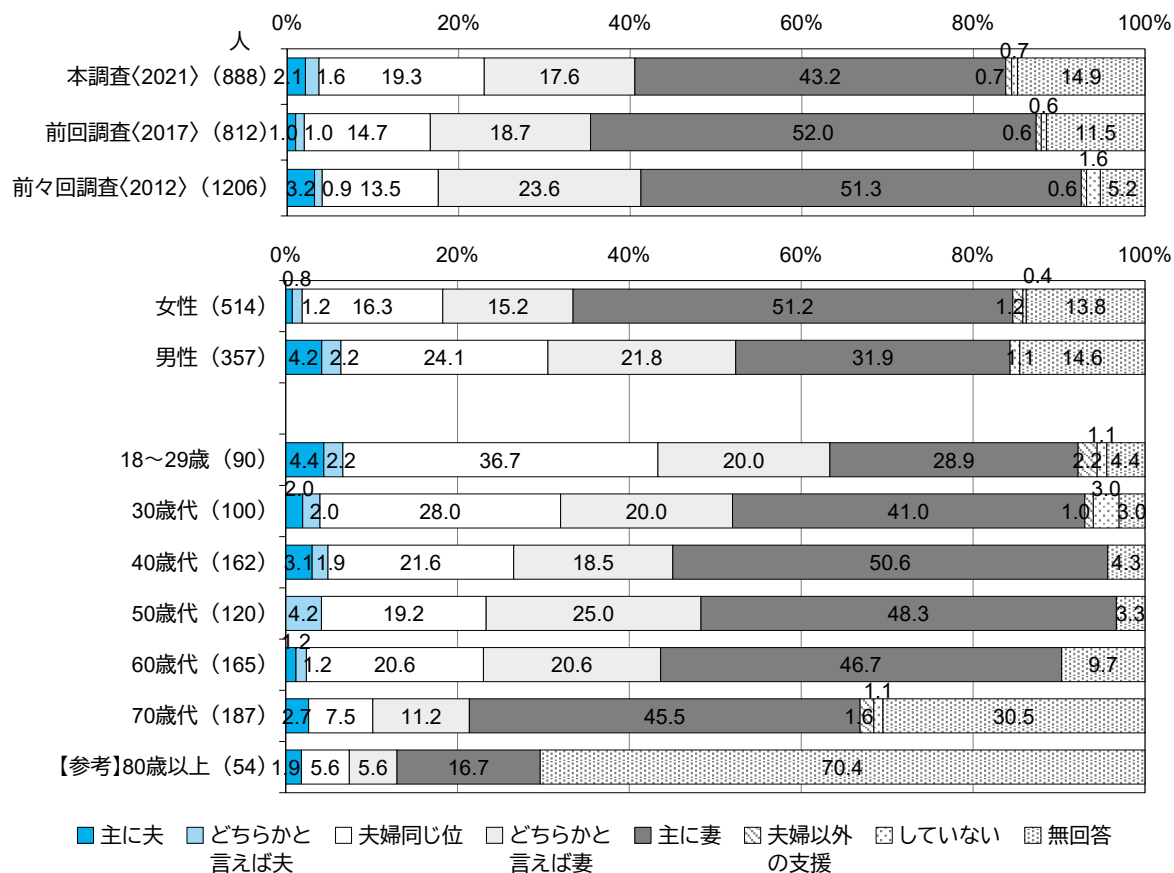
「主に夫」「どちらかと言えば夫」を合わせた『夫が主体』(3.7%)は1割未満、「主に妻」「どちらかと言えば妻」を合わせた『妻が主体』(60.8%)は6割以上となっています。

過去2回の調査と比較すると、『妻が主体』は前回(70.7%)より9.9ポイント、前々回(74.9%)より14.1ポイント低くなっています。

性別では、『妻が主体』は女性(66.4%)が男性(53.7%)より12.7ポイント高い一方、「夫婦同じ位」は女性(16.3%)が男性(24.1%)より若干低くなっています。

年代別では、「夫婦同じ位」は18～29歳(36.7%)が約4割で高い一方、70歳代(7.5%)は1割未満で低く、概ね若い年代ほど高くなっています。『妻が主体』は50歳代(73.3%)が7割以上で高く、『夫が主体』はいずれも1割未満となっています。

【全体／前回・前々回との比較、性別、年代別】(1つ回答)



※80歳以上は無回答が多いため、参考表示

### ③食事のしたく

◆「主に妻」が5割以上で最も高く、次いで「どちらかと言えば妻」「夫婦同じ位」が1割以上

◆過去2回の調査より合計値『妻が主体』が低い

◆合計値『妻が主体』は女性が高い

◆「夫婦同じ位」は概ね若い年代ほど高く、『妻が主体』は50歳代で約9割

「主に妻」(54.2%)が5割以上で最も高く、次いで「どちらかと言えば妻」「夫婦同じ位」(それぞれ15.0%、12.3%)が1割以上となっています。

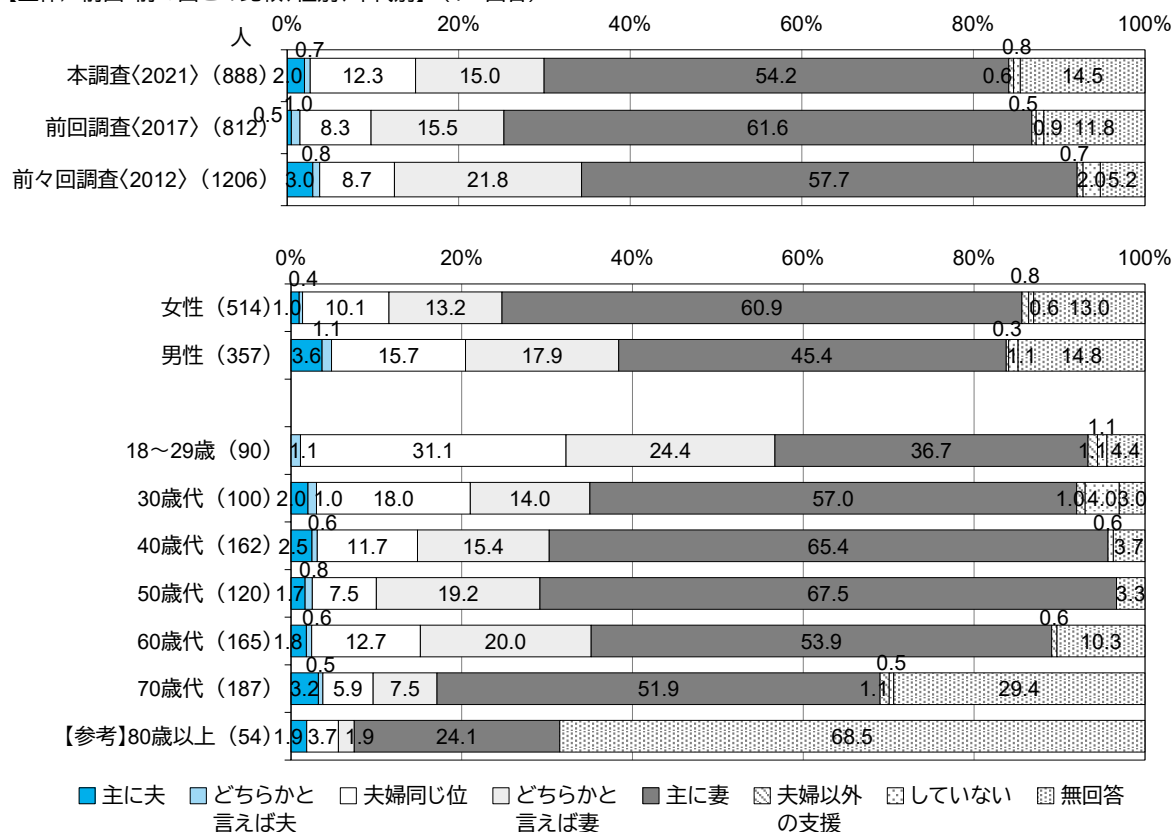
「主に夫」「どちらかと言えば夫」を合わせた『夫が主体』(2.7%)は1割未満、「主に妻」「どちらかと言えば妻」を合わせた『妻が主体』(69.2%)は約7割となっています。

過去2回の調査と比較すると、『妻が主体』は前回(77.1%)より若干低く、前々回(79.5%)より10.4ポイント低くなっています。

性別では、『妻が主体』は女性(74.1%)が男性(63.3%)より10.8ポイント高い一方、「夫婦同じ位」は女性(10.1%)が男性(15.7%)より若干低くなっています。

年代別では、「夫婦同じ位」は18～29歳(31.1%)が3割以上で高い一方、50・70歳代は1割未満で低く、概ね若い年代ほど高くなっています。『妻が主体』は50歳代(86.7%)が約9割、40歳代(80.8%)が8割以上で高く、『夫が主体』はいずれも1割未満となっています。

【全体／前回・前々回との比較、性別、年代別】(1つ回答)



※80歳以上は無回答が多いため、参考表示

#### ④食後の後片付け、食器洗い

◆「主に妻」が約4割で最も高く、次いで「夫婦同じ位」は約2割

◆過去2回の調査より合計値『妻が主体』が低い

◆合計値『妻が主体』は女性が高い

◆「夫婦同じ位」は概ね若い年代ほど高く、合計値『妻が主体』は40・50歳代で6割以上

「主に妻」(39.8%) が約4割で最も高く、次いで「夫婦同じ位」(19.4%) が約2割となっています。

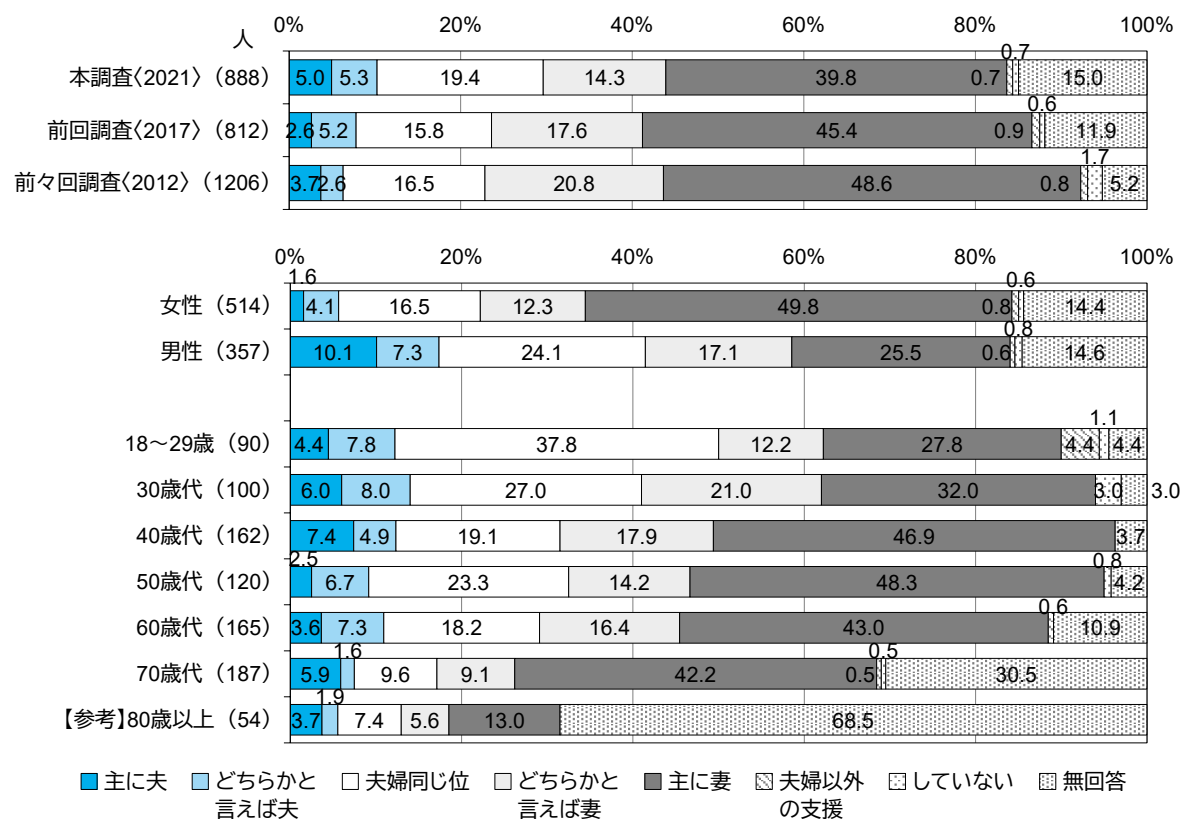
「主に夫」「どちらかと言えば夫」を合わせた『夫が主体』(10.3%) は1以上、「主に妻」「どちらかと言えば妻」を合わせた『妻が主体』(54.1%) は5割以上となっています。

過去2回の調査と比較すると、『妻が主体』は前回(63.0%)より8.9ポイント、前々回(69.4%)より15.3ポイント低くなっています。

性別では、『妻が主体』は女性(62.1%)が男性(42.6%)より19.5ポイント高い一方、「夫婦同じ位」は女性(16.5%)が男性(24.1%)より若干低くなっています。

年代別では、「夫婦同じ位」は18～29歳(37.8%)が約4割で高い一方、70歳代は1割未満で低く、概ね若い年代ほど高くなっています。『妻が主体』は40・50歳代(それぞれ64.8%、62.5%)が6割以上で高く、『夫が主体』はいずれも1割程度となっています。

【全体／前回・前々回との比較、性別、年代別】(1つ回答)



※80歳以上は無回答が多いため、参考表示

## ⑤子育て

◆「主に妻」「夫婦同じ位」が2割以上で同程度に高い

◆過去2回の調査より合計値『妻が主体』が低い

◆合計値『妻が主体』は女性が高い

◆「夫婦同じ位」は概ね若い年代ほど高く、合計値『妻が主体』は30・50歳代で約6割

「主に妻」「夫婦同じ位」（それぞれ26.6%、25.2%）が2割以上で同程度に高くなっています。

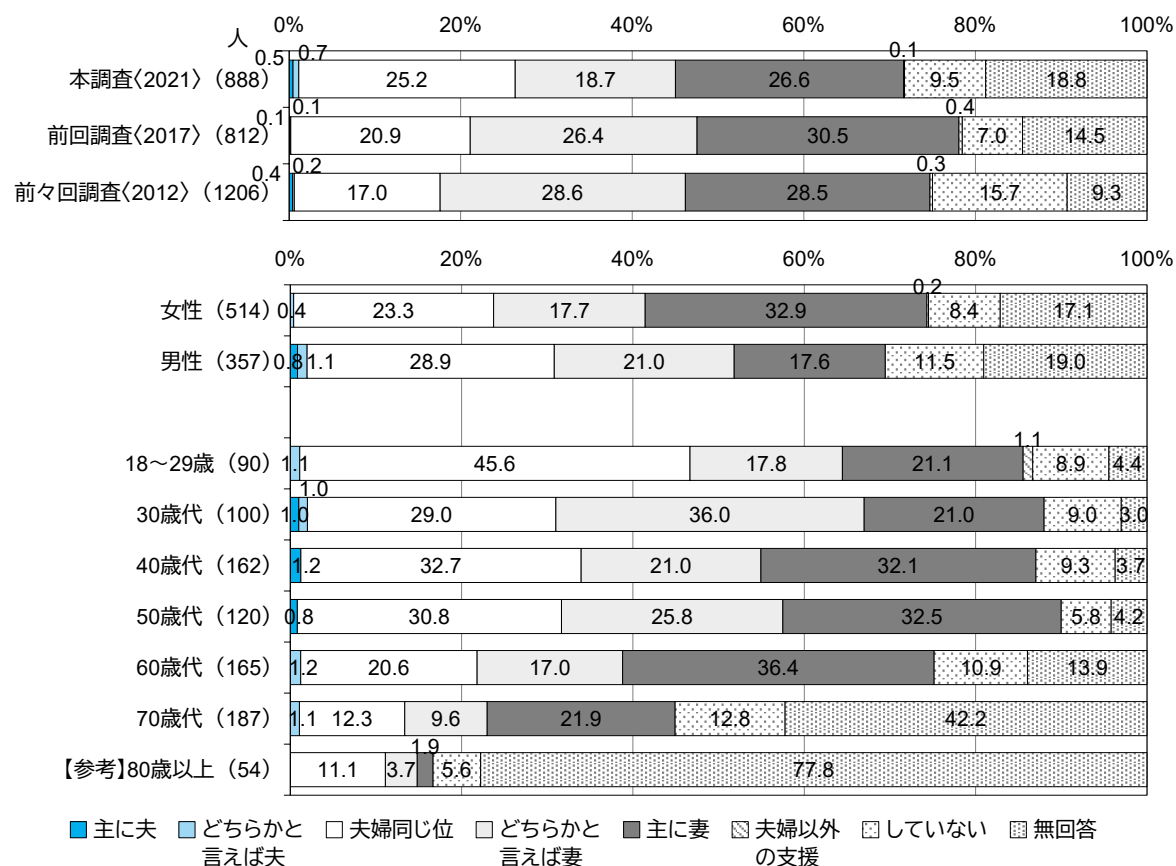
「主に夫」「どちらかと言えば夫」を合わせた『夫が主体』（1.1%）は1割未満、「主に妻」「どちらかと言えば妻」を合わせた『妻が主体』（45.3%）は4割以上となっています。

過去2回の調査と比較すると、『妻が主体』は前回（56.9%）より11.6ポイント、前々回（57.1%）より11.8ポイント低くなっています。

性別では、『妻が主体』は女性（50.6%）が男性（38.6%）より12.0ポイント高い一方、「夫婦同じ位」は女性（23.3%）が男性（28.9%）より若干低くなっています。

年代別では、「夫婦同じ位」は18～29歳（45.6%）が4割以上、30・40歳代が3割程度で高い一方、70歳代（12.3%）は1割程度で低く、概ね若い年代ほど高くなっています。『妻が主体』は30・50歳代（それぞれ57.0%、58.3%）が約6割で高く、『夫が主体』はいずれの年代も1割未満となっています。

【全体／前回・前々回との比較、性別、年代別】（1つ回答）



※80歳以上は無回答が多いため、参考表示



## ⑥学校行事への参加

◆「主に妻」が3割以上で最も高く、次いで「夫婦同じ位」が2割以上

◆過去2回の調査より合計値『妻が主体』が低い

◆合計値『妻が主体』は女性が高い

◆「夫婦同じ位」は概ね若い年代ほど高く、合計値『妻が主体』は50歳代で6割以上

「主に妻」(31.3%)が3割以上で最も高く、次いで「夫婦同じ位」(21.4%)が2割以上となっています。

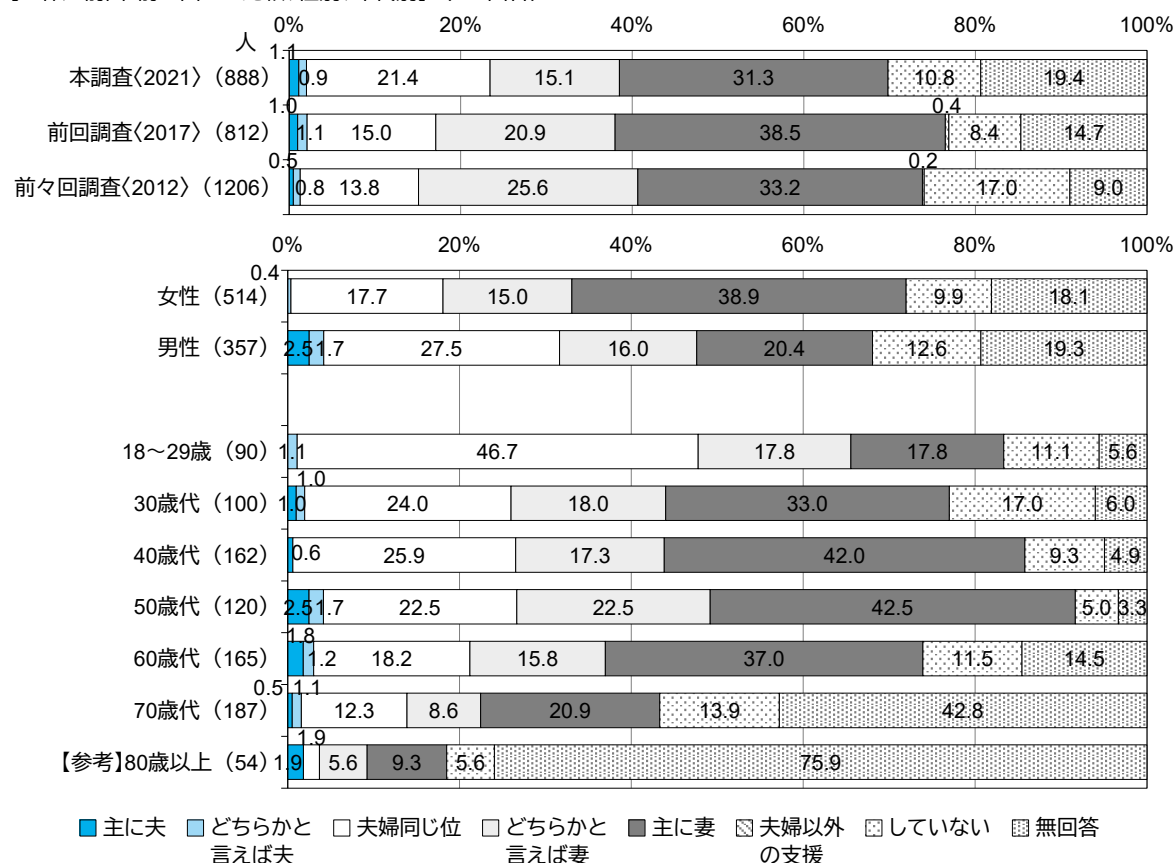
「主に夫」「どちらかと言えば夫」を合わせた『夫が主体』(2.0%)は1割未満、「主に妻」「どちらかと言えば妻」を合わせた『妻が主体』(46.4%)は4割以上となっています。

過去2回の調査と比較すると、『妻が主体』は前回(59.4%)より13.0ポイント、前々回(58.8%)より12.4ポイント低くなっています。

性別では、『妻が主体』は女性(53.9%)が男性(36.4%)より17.5ポイント高い一方、「夫婦同じ位」は女性(17.7%)が男性(27.5%)より低くなっています。

年代別では、「夫婦同じ位」は18～29歳(46.7%)が約5割、30～50歳代が2割以上で高い一方、70歳代(12.3%)は1割程度で低く、概ね若い年代ほど高くなっています。『妻が主体』は50歳代(65.0%)が6割以上で高く、『夫が主体』はいずれの年代も1割未満となっています。

【全体／前回・前々回との比較、性別、年代別】(1つ回答)



※80歳以上は無回答が多いため、参考表示



## ⑦介護・看護

- ◆「していない」が2割以上で最も高く、次いで「主に妻」「夫婦同じ位」が2割
- ◆過去2回の調査より『妻が主体』が低い
- ◆合計値『妻が主体』は女性が高い
- ◆「夫婦同じ位」は70歳代が低く、合計値『妻が主体』は50・60歳代で4割

「していない」(23.8%)が2割以上で最も高く、次いで「夫婦同じ位」「主に妻」(それぞれ19.9%、19.6%)が約2割で同程度に高くなっています。

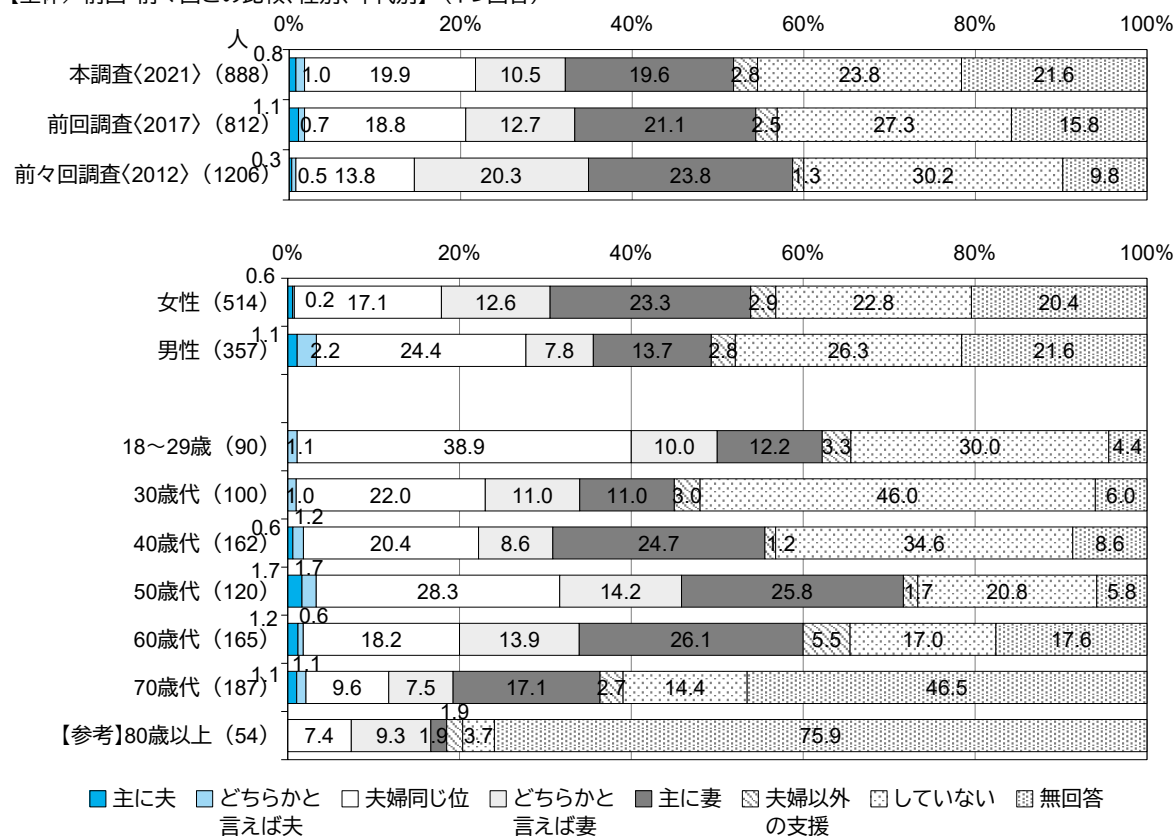
「主に夫」「どちらかと言えば夫」を合わせた『夫が主体』(1.8%)は1割未満、「主に妻」「どちらかと言えば妻」を合わせた『妻が主体』(30.1%)は3割以上となっています。

過去2回の調査と比較すると、『妻が主体』は前回(33.8%)とは同程度で、前々回(44.1%)より14.0ポイント低くなっています。

性別では、『妻が主体』は女性(35.9%)が男性(21.5%)より14.4ポイント高い一方、「夫婦同じ位」は女性(17.1%)が男性(24.4%)より若干低くなっています。

年代別では、「夫婦同じ位」は18～29歳(38.9%)が約4割、50歳代(28.3%)が約3割で高い一方、70歳代(9.6%)は1割未満となっています。『妻が主体』は50・60歳代(40.0%で同値)が4割で高く、『夫が主体』はいずれの年代も1割未満となっています。

【全体／前回・前々回との比較、性別、年代別】(1つ回答)



※80歳以上は無回答が多いため、参考表示

## ⑧日常の買い物

◆「主に妻」が3割以上で最も高く、次いで「夫婦同じ位」が2割以上

◆過去2回の調査より合計値『妻が主体』が低い

◆性別による違いが見られ、合計値『妻が主体』は女性が高い

◆「夫婦同じ位」は概ね若い年代ほど高く、合計値『妻が主体』は50歳代で約6割

「主に妻」(30.7%)が3割以上で最も高く、次いで「夫婦同じ位」(23.3%)が2割以上となっています。

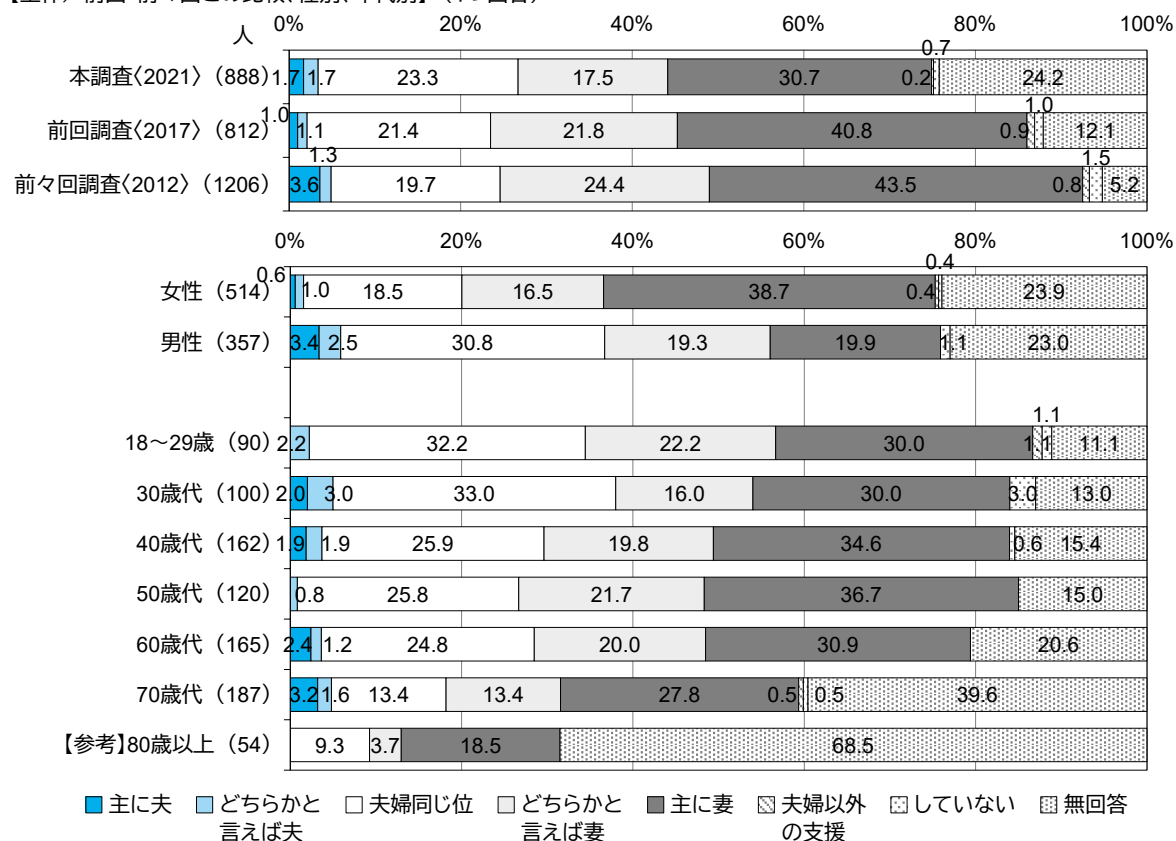
「主に夫」「どちらかと言えば夫」を合わせた『夫が主体』(3.4%)は1割未満、「主に妻」「どちらかと言えば妻」を合わせた『妻が主体』(48.2%)は約5割となっています。

過去2回の調査と比較すると、『妻が主体』は前回(62.6%)より14.4ポイント、前々回(67.9%)より19.7ポイント低くなっています。

性別では、『妻が主体』は女性(55.2%)が男性(39.2%)より16.0ポイント高い一方、「夫婦同じ位」は女性(18.5%)が男性(30.8%)より12.3ポイント低くなっています。

年代別では、「夫婦同じ位」は18～29歳、30歳代(それぞれ32.2%、33.0%)が3割以上で高い一方、70歳代(13.4%)は1割程度で低く、概ね若い年代ほど高くなっています。『妻が主体』は50歳代(58.4%)が約6割で高く、『夫が主体』はいずれの年代も1割未満となっています。

【全体／前回・前々回との比較、性別、年代別】(1つ回答)



※80歳以上は無回答が多いため、参考表示

## ⑨町内会など地域活動への参加

- ◆「夫婦同じ位」が2割以上で最も高く、次いで「主に妻」「どちらかと言えば夫」「主に夫」が1割以上
- ◆前回からの大きな変化は見られないが、前々回より合計値『夫が主体』が高く、『妻が主体』が低い
- ◆合計値『夫が主体』は男性、『妻が主体』は女性が高い
- ◆「夫婦同じ位」は18～29歳が高く、合計値『夫が主体』は50歳代、『妻が主体』は40歳代で約4割

「夫婦同じ位」（22.1%）が2割以上で最も高く、次いで「主に妻」「どちらかと言えば夫」「主に夫」が1割以上で同程度となっています。

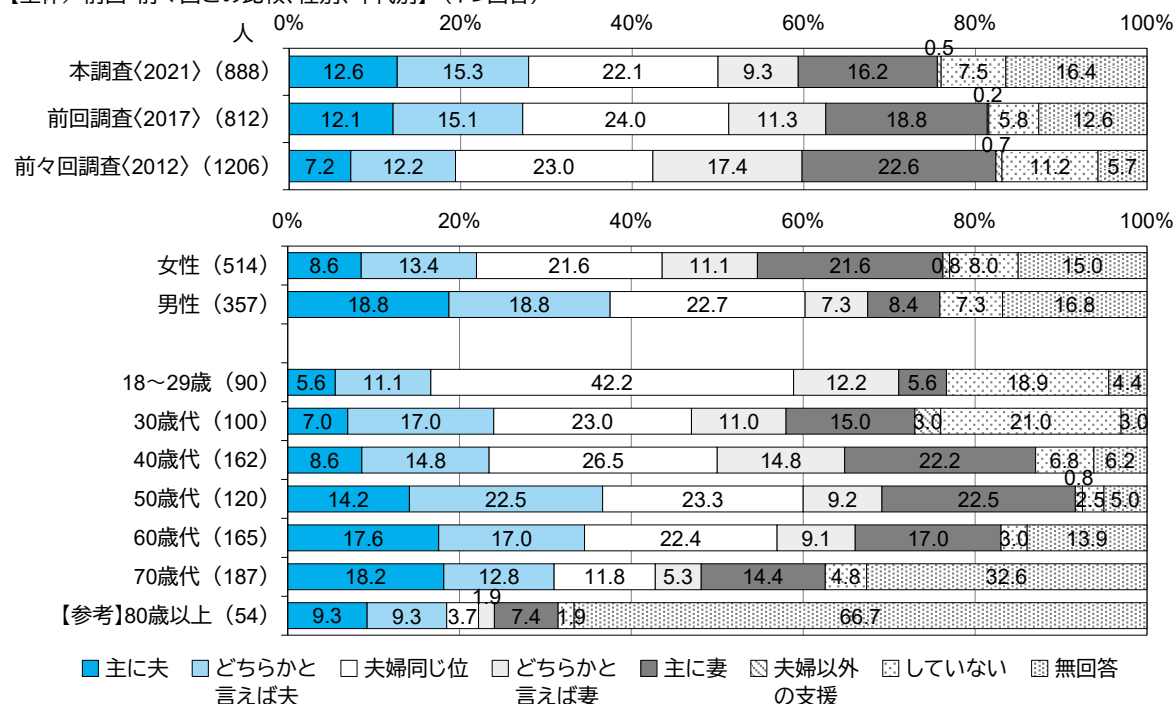
「主に夫」「どちらかと言えば夫」を合わせた『夫が主体』（27.9%）、「主に妻」「どちらかと言えば妻」を合わせた『妻が主体』（25.5%）は2割以上で同程度となっています。

過去2回の調査と比較すると、前回からの大きな変化は見られませんが、前々回より『夫が主体』（前々回 19.4%）は8.5ポイント高く、『妻が主体』（前々回 40.0%）は14.4ポイント低くなっています。

性別では、『夫が主体』は男性（37.6%）が女性（22.0%）より15.6ポイント高く、『妻が主体』は女性（32.7%）が男性（15.7%）17.0ポイントと高くなっています。

年代別では、「夫婦同じ位」は18～29歳（42.2%）が4割以上で特に高い一方、70歳代（11.8%）は1割程度で低くなっています。『夫が主体』は50歳代（36.7%）、『妻が主体』は40歳代（37.0%）がそれぞれ約4割で比較的高くなっています。

【全体／前回・前々回との比較、性別、年代別】（1つ回答）

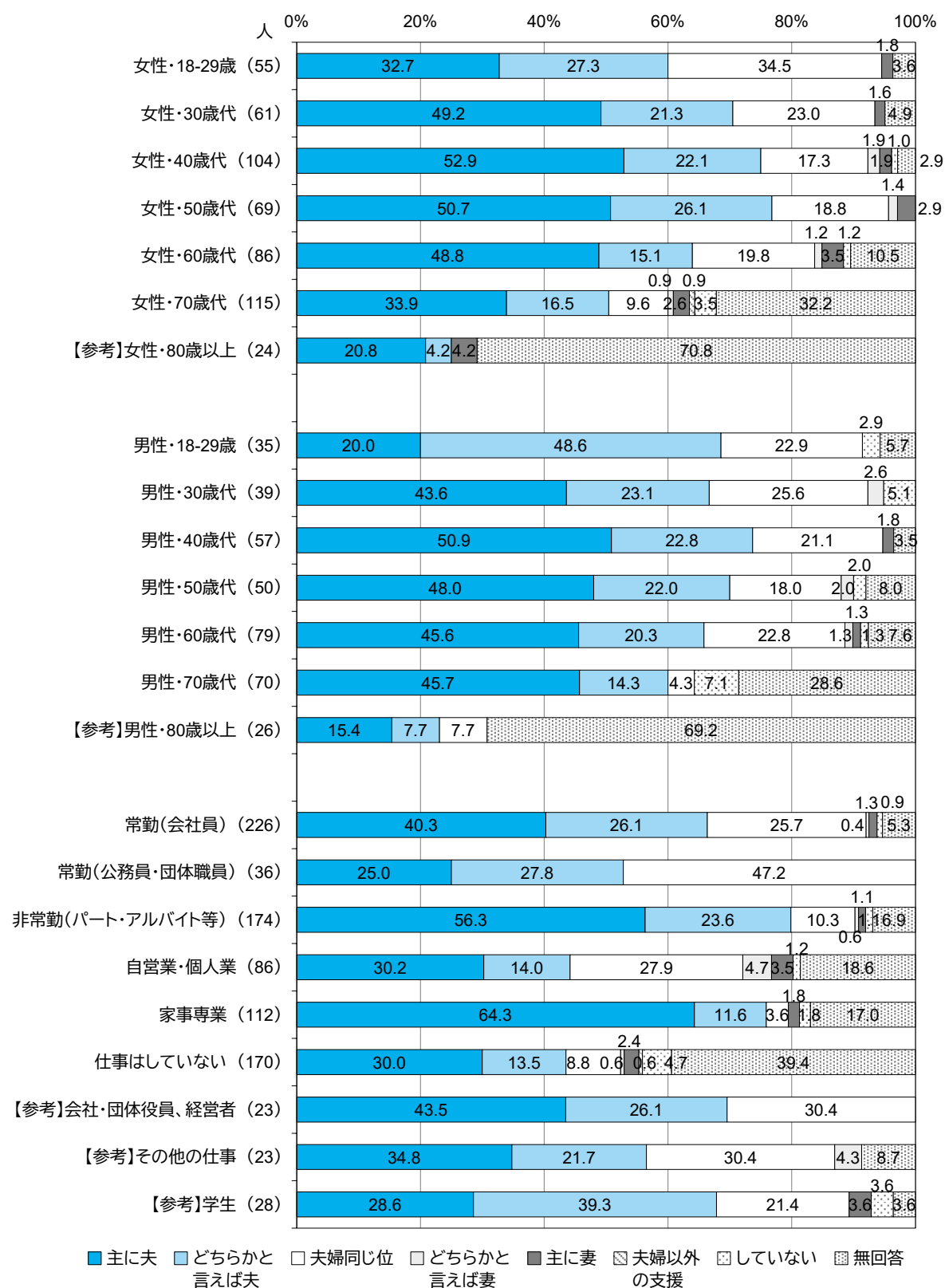


※80歳以上は無回答が多いため、参考表示

〈参考：性・年代別、職業別〉

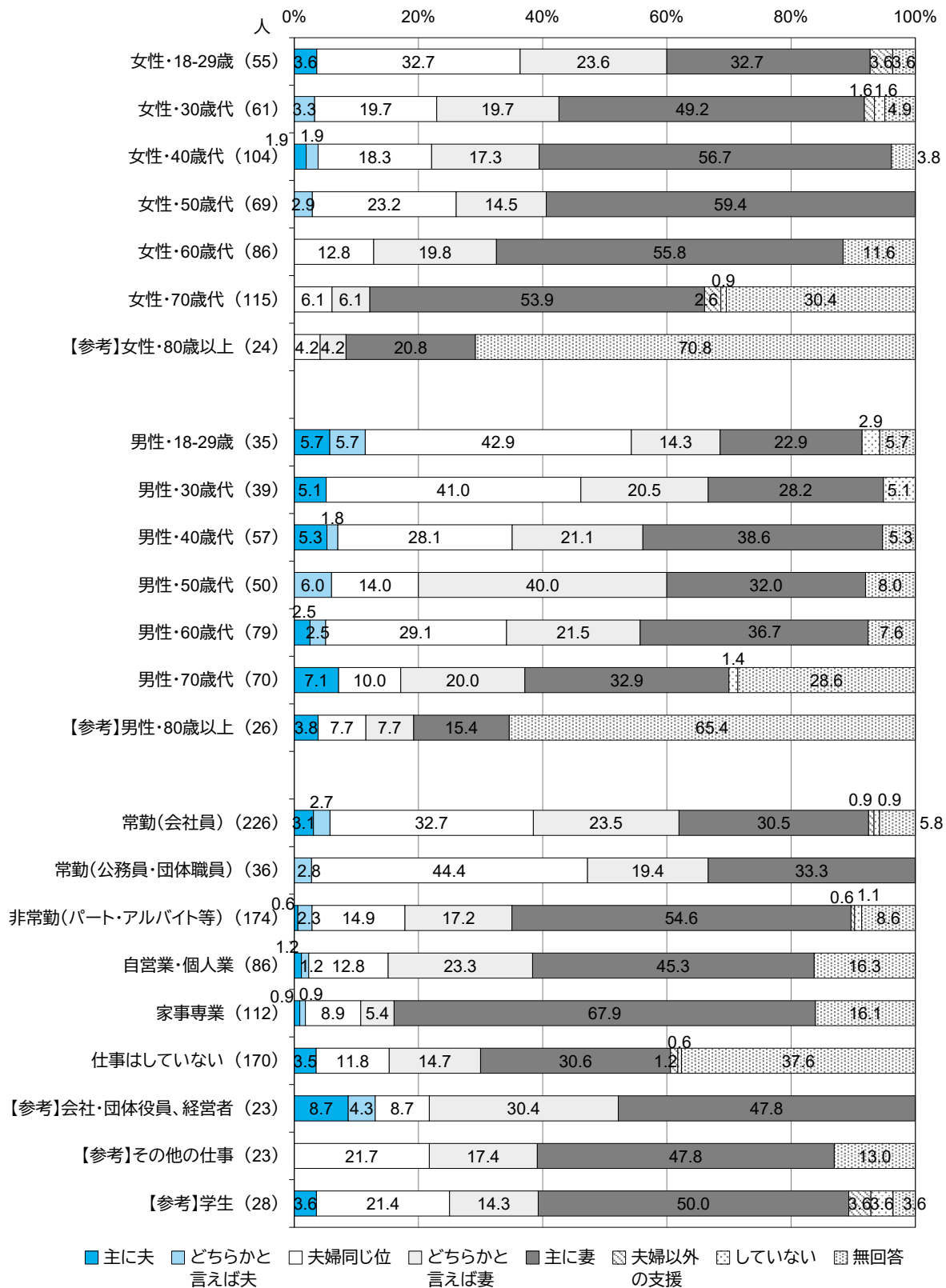
①生活費を得ること

【性・年代別、職業別】（1つ回答）



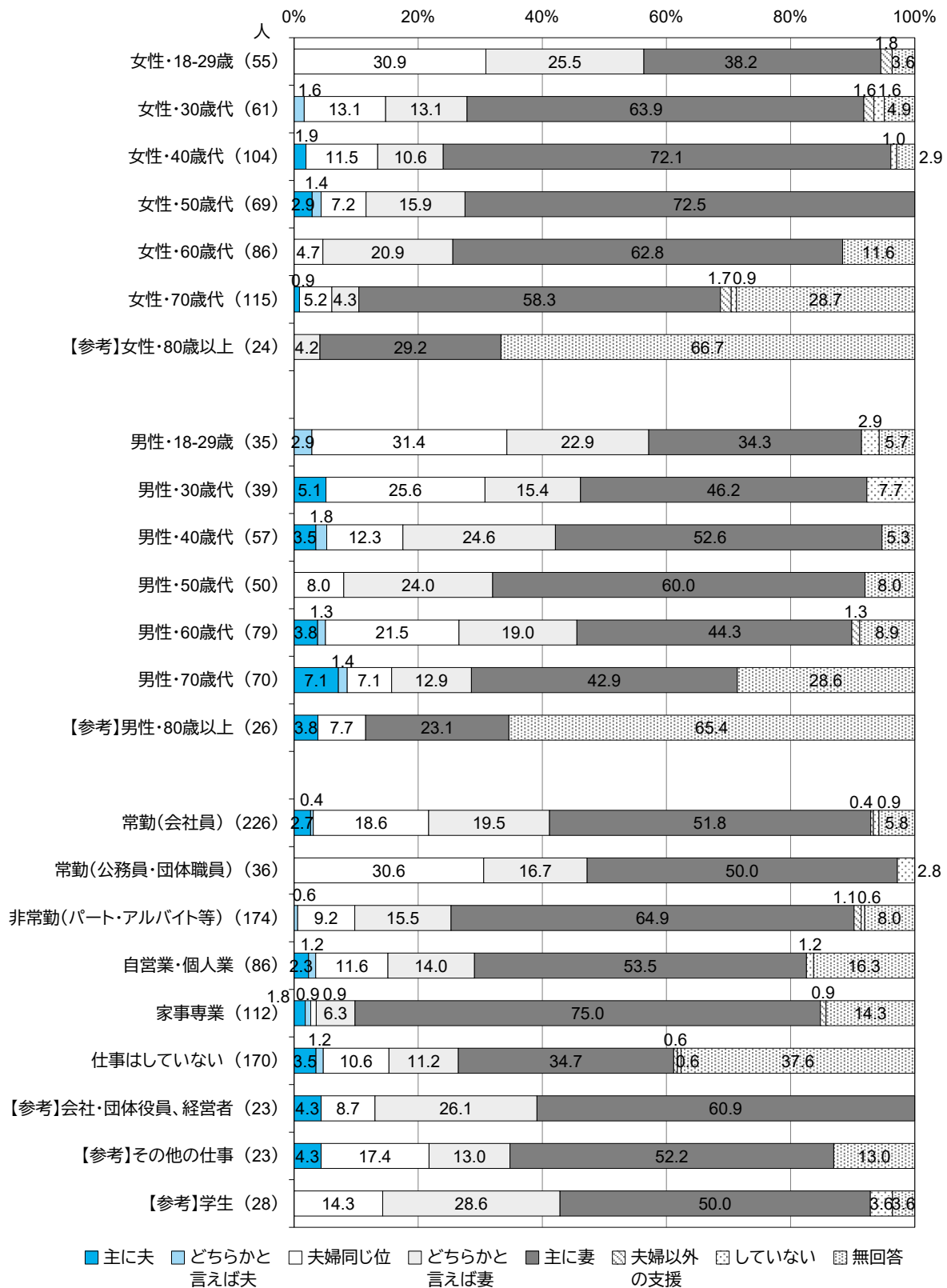
## ②掃除・洗濯

【性・年代別、職業別】（1つ回答）



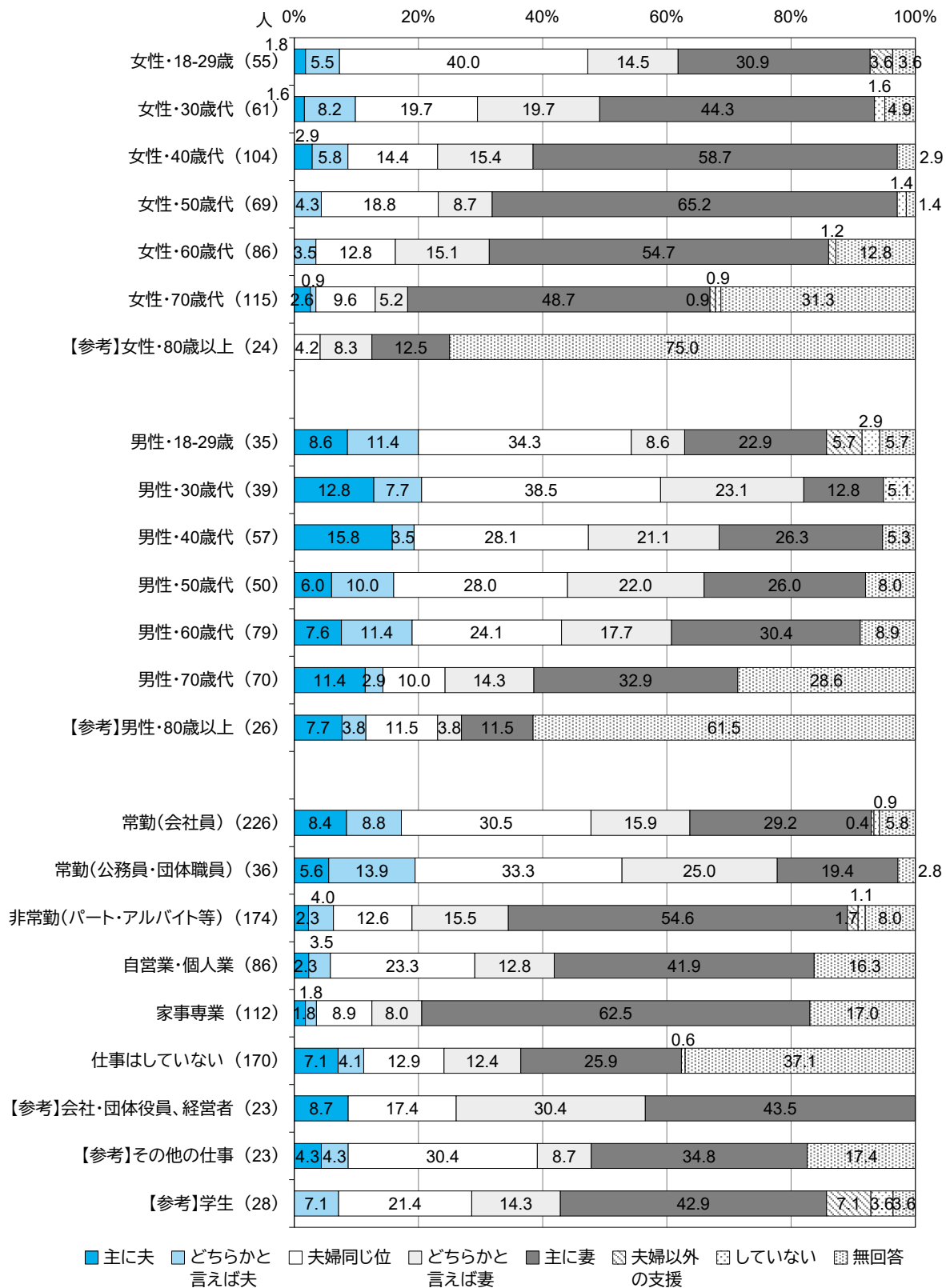
### ③食事のしたく

【性・年代別、職業別】（1つ回答）



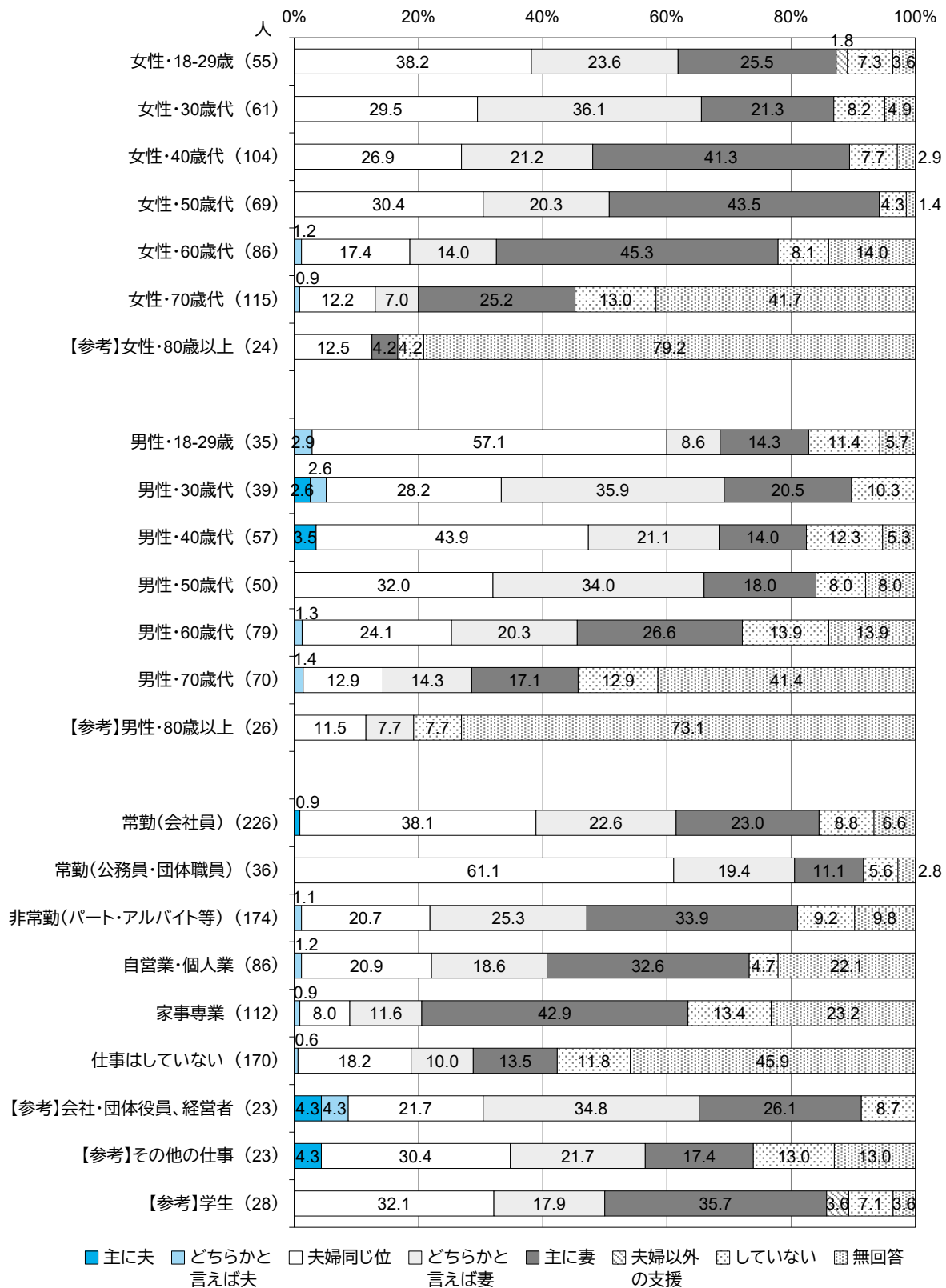
#### ④食後の後片付け、食器洗い

【性・年代別、職業別】（1つ回答）



## ⑤子育て

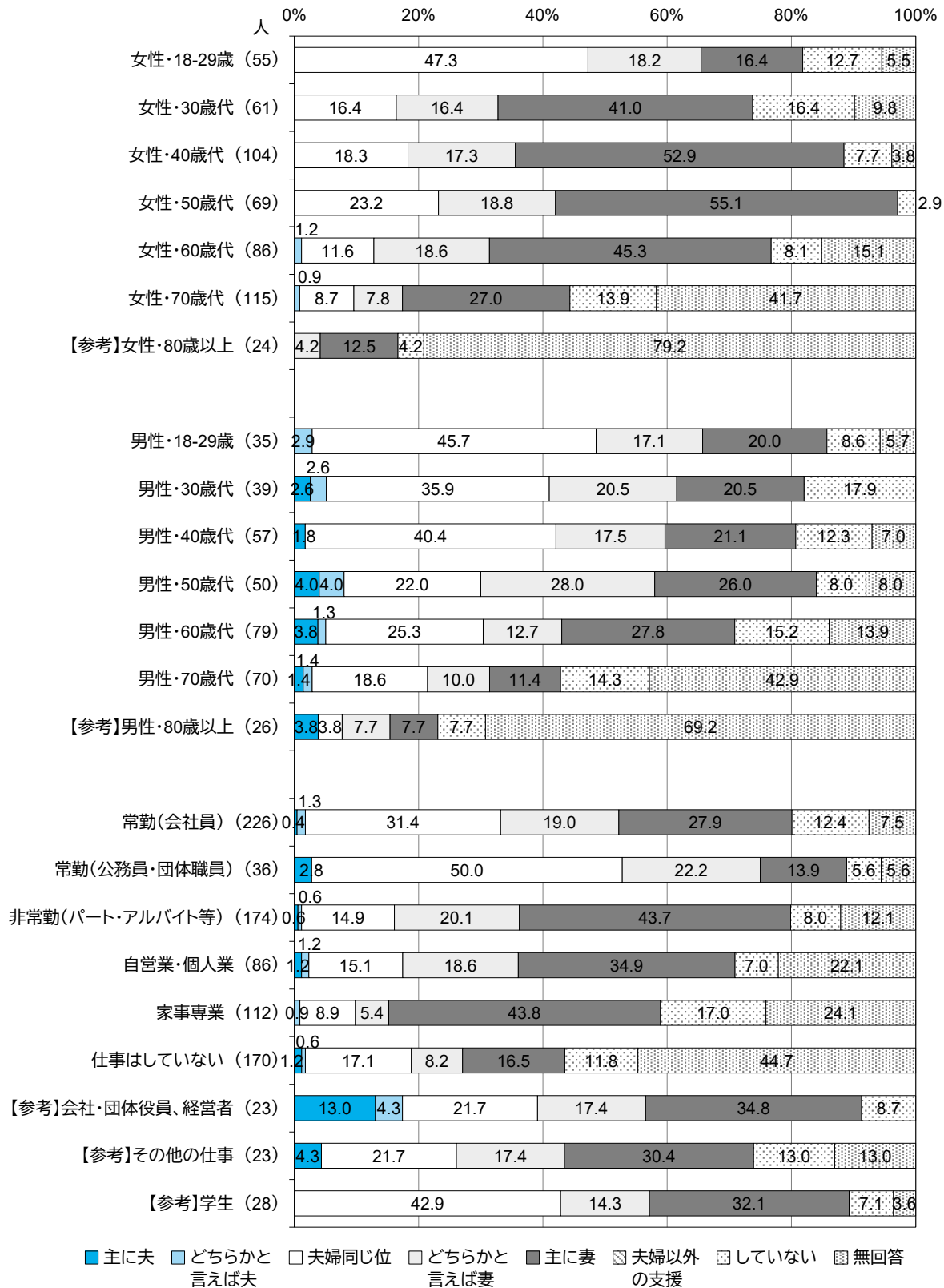
【性・年代別、職業別】（1つ回答）





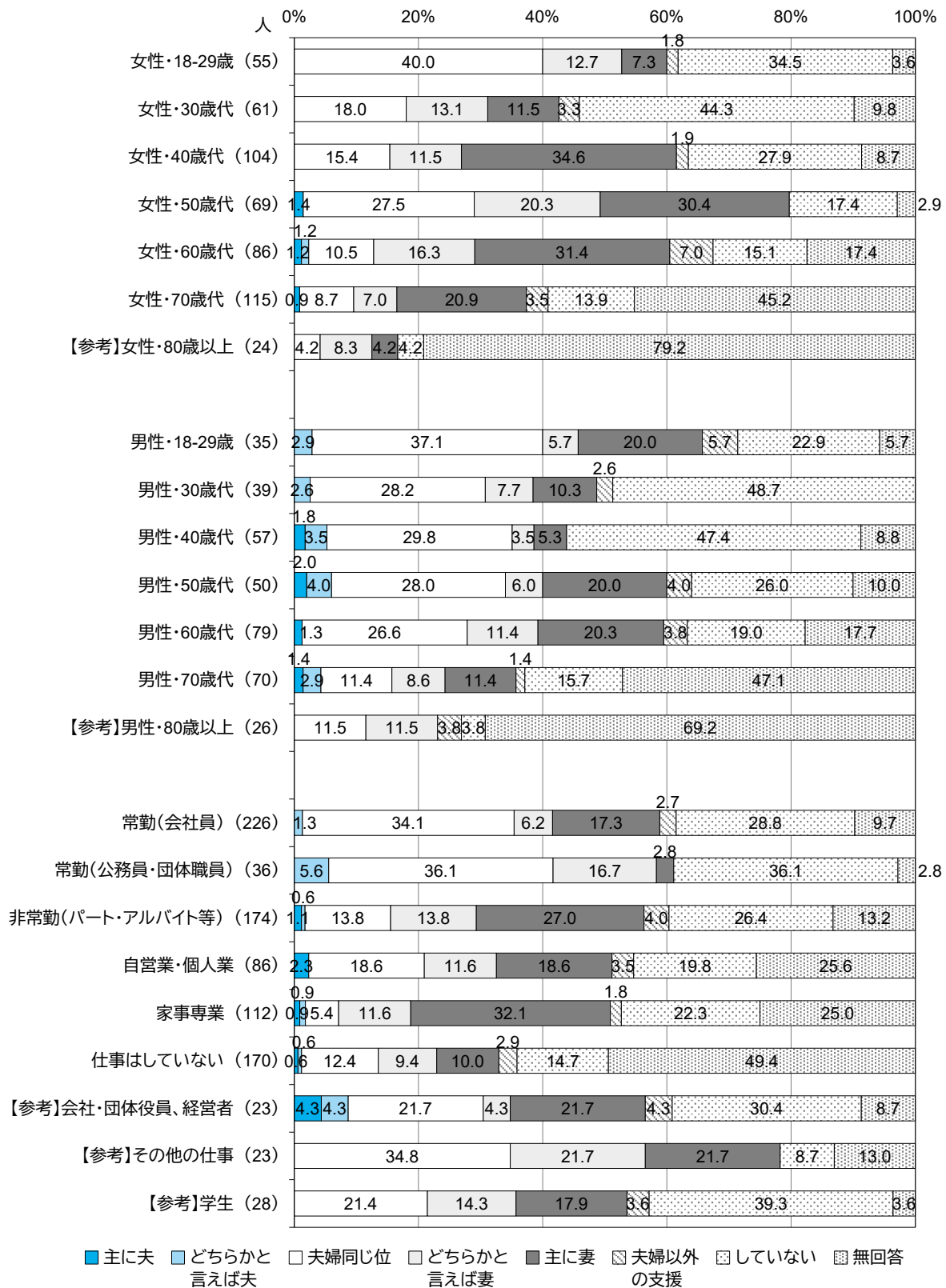
## ⑥学校行事への参加

【性・年代別、職業別】（1つ回答）



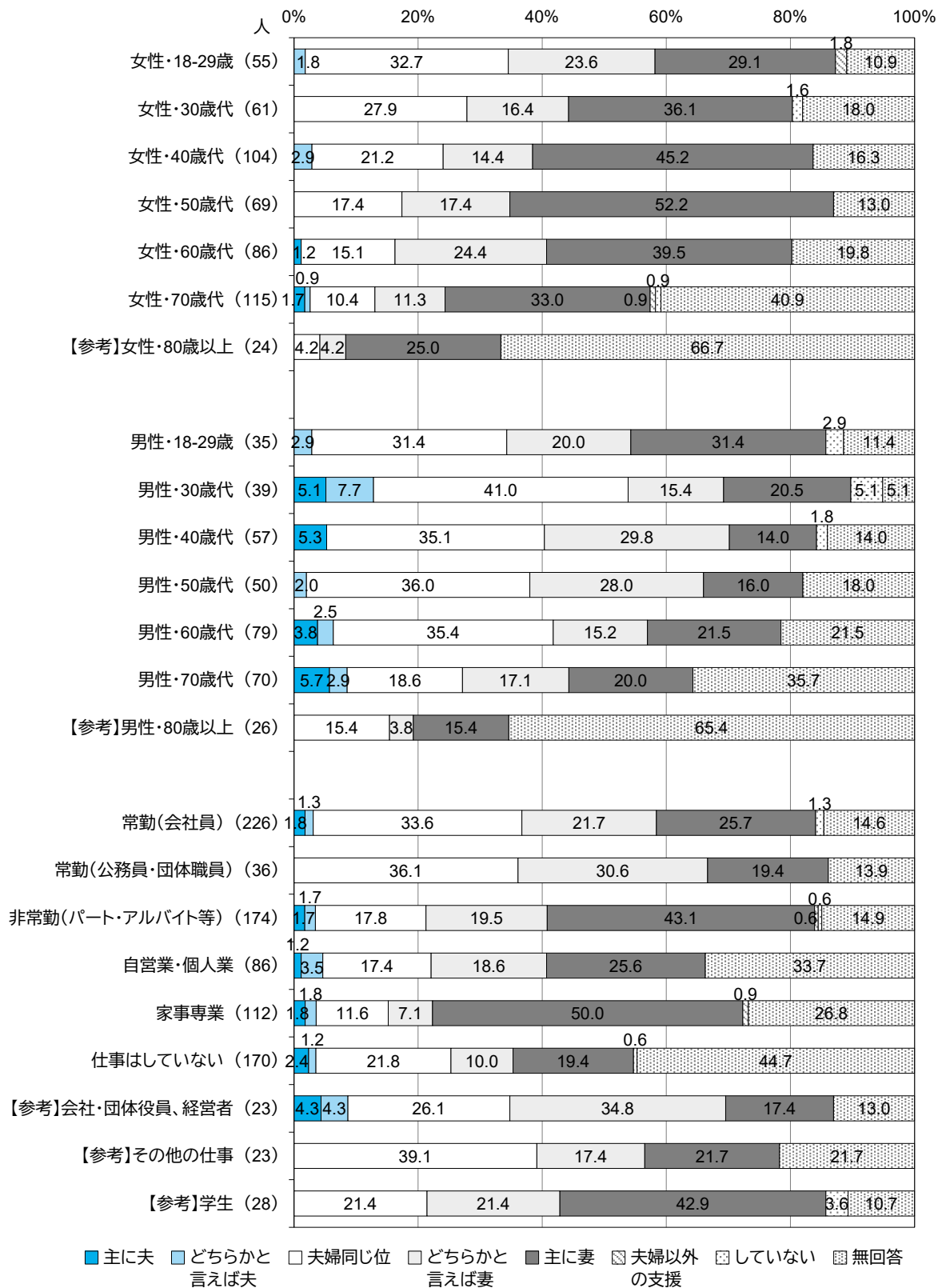
## ⑦介護・看護

【性・年代別、職業別】（1つ回答）



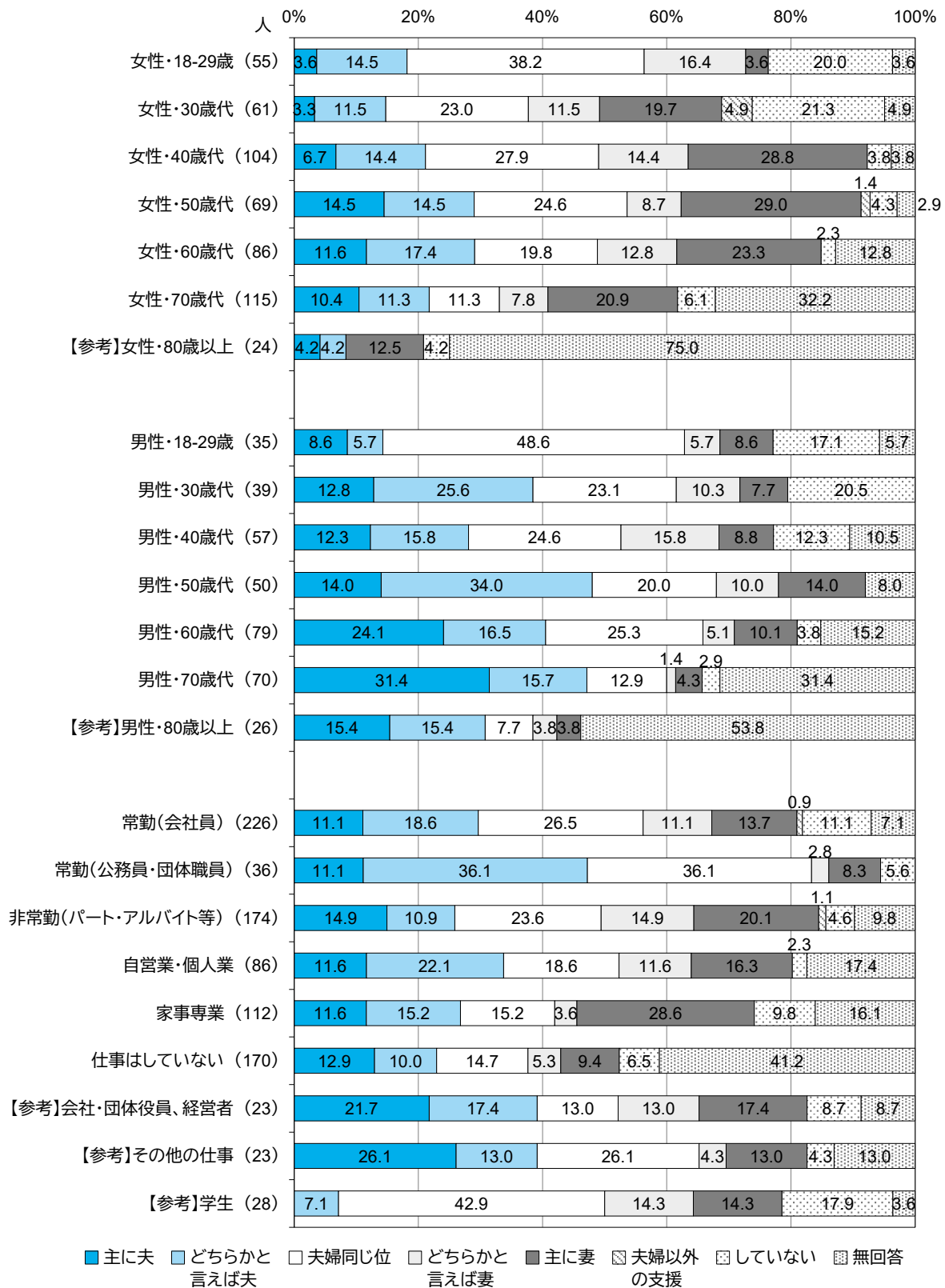
## ⑧日常の買い物

【性・年代別、職業別】（1つ回答）



## ⑨町内会など地域活動への参加

【性・年代別、職業別】（1つ回答）



## 問8 平日・休日の1日の生活時間

あなたの平日・休日の1日の生活時間をご記入ください。(記述)

◆平日は「仕事・学業」が7.0時間で最も長く、次いで「家事」が3.1時間

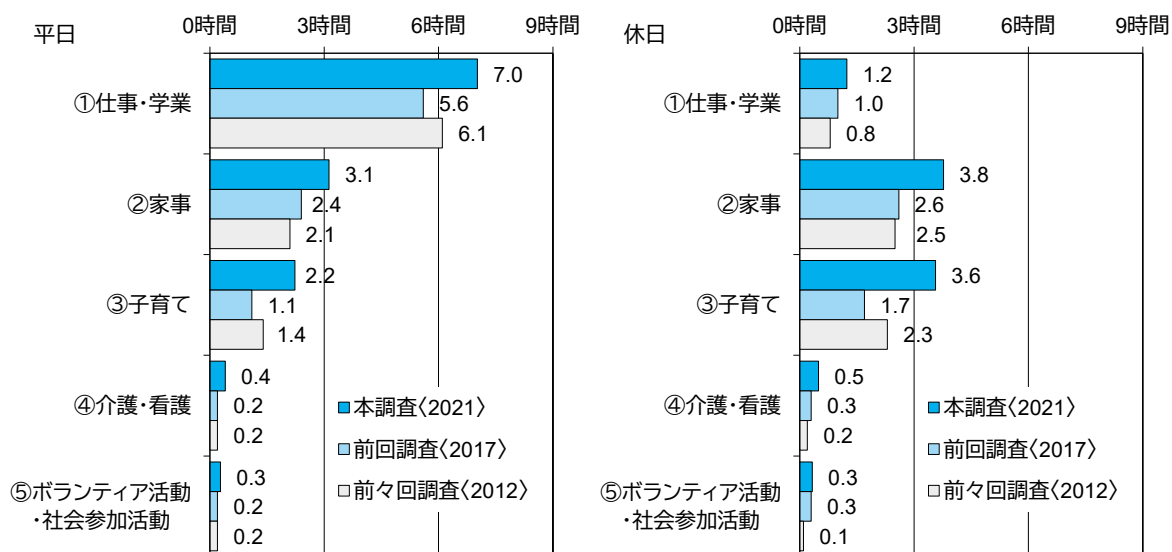
◆休日は「家事」が3.8時間、「子育て」が3.6時間で同程度

◆過去2回の調査より平日・休日とも「仕事・学業」「家事」「子育て」が長時間化し、特に休日の「子育て」が長い

記述された時間の平均値を見ると、平日は「①仕事・学業」が7.0時間で最も長く、次いで「②家事」が3.1時間となっています。休日は「②家事」が3.8時間、「③子育て」が3.6時間で同程度となっています。

過去2回の調査と比較すると、平日、休日とも「①仕事・学業」「②家事」「③子育て」が長くなっており、平日の「①仕事・学業」「③子育て」、休日の「②家事」「③子育て」は前回よりそれぞれ1時間以上長くなっています。特に休日の「③子育て」は前回(1.7時間)より1.9時間長くなっています。

【全体】(記述)



◆平日は「仕事・学業」が女性より男性、「家事」「子育て」が男性より女性で長い

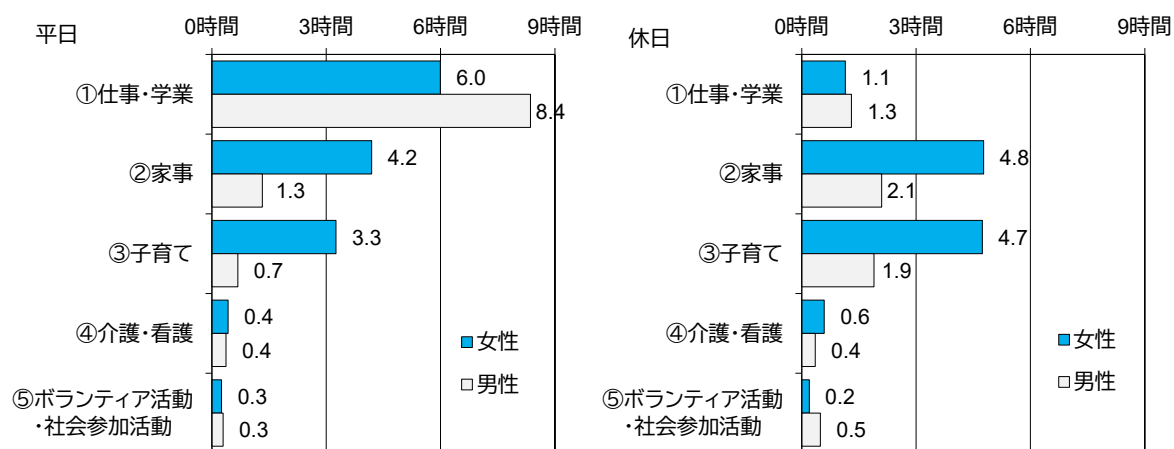
◆休日は「家事」「子育て」が男性より女性で長い

◆「家事」「子育て」は平日・休日ともに女性が男性より約3時間長い

性別では、平日では「①仕事・学業」は男性（8.4 時間）が女性（6.0 時間）より 2.4 時間、「②家事」は女性（4.2 時間）が男性（1.3 時間）より 2.9 時間、「③子育て」は女性（3.3 時間）が男性（0.7 時間）より 2.6 時間長くなっています。

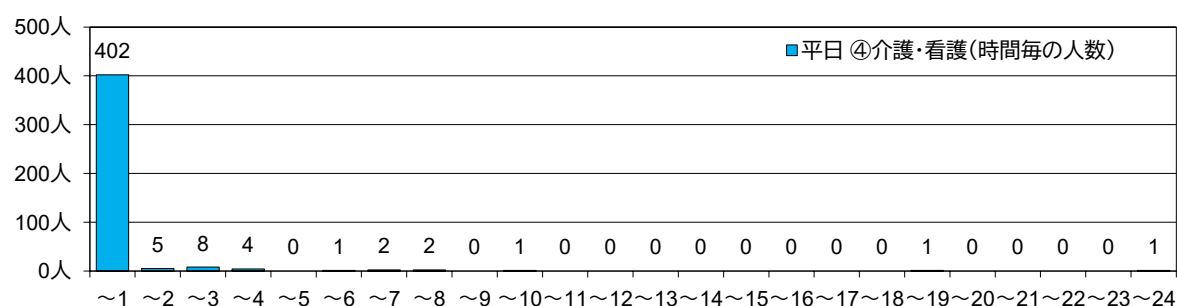
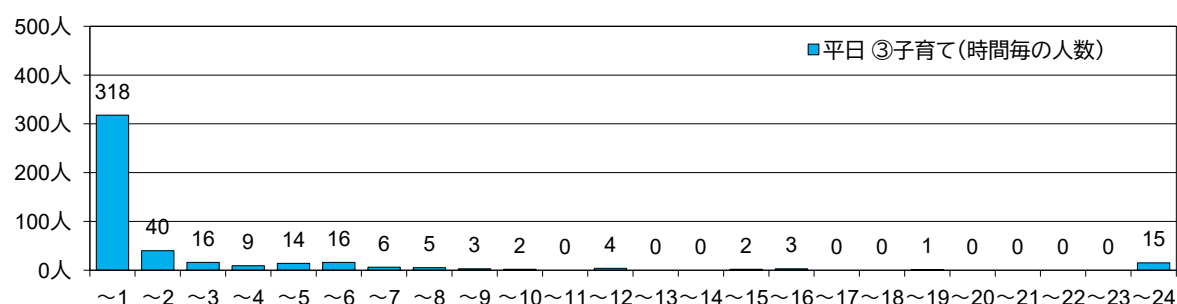
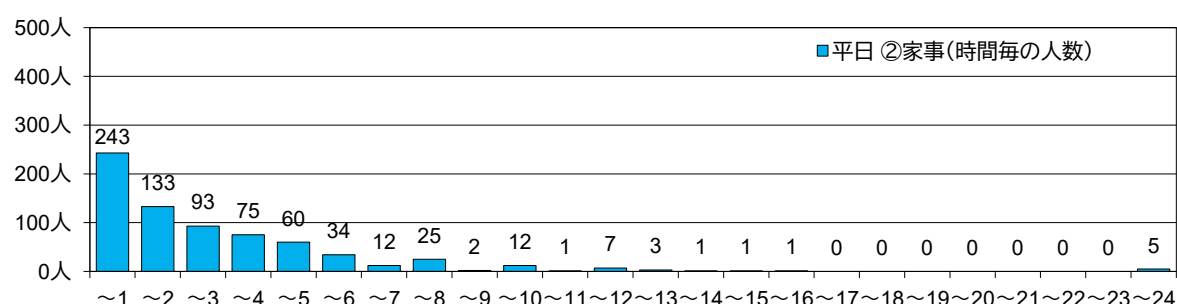
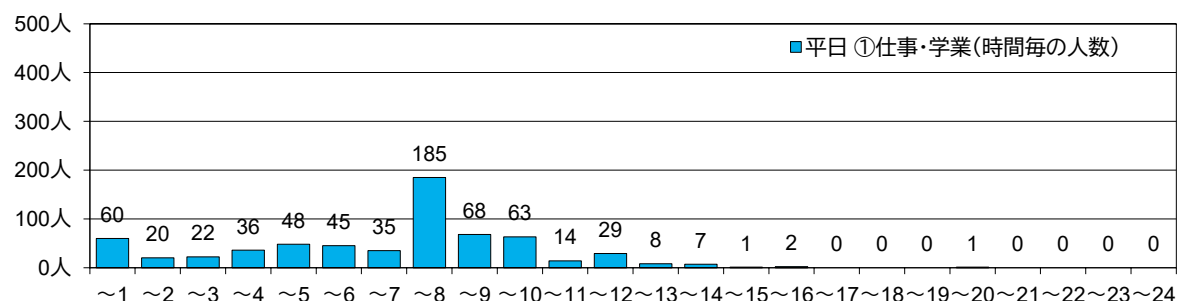
休日は「②家事」は女性（4.8 時間）が男性（2.1 時間）より 2.7 時間、「③子育て」は女性（4.7 時間）が男性（1.9 時間）より 2.8 時間長くなっています。

【性別】(記述)



平日における各項目の時間の分布を見ると、「①仕事・学業」は7時間以上8時間までが最も多くなっています。「②家事」は1時間までが最も多く、それ以上の時間は徐々に少なくなっています。「③子育て」「④介護・看護」「⑤ボランティア活動・社会参加活動」はいずれも1時間までがほとんどとなっています。

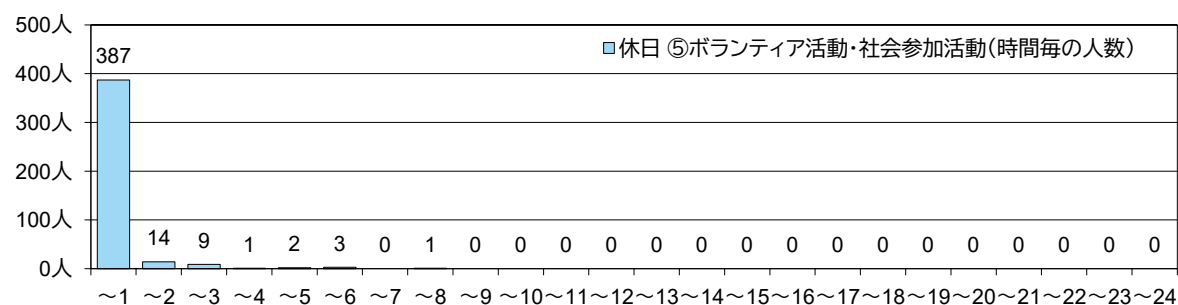
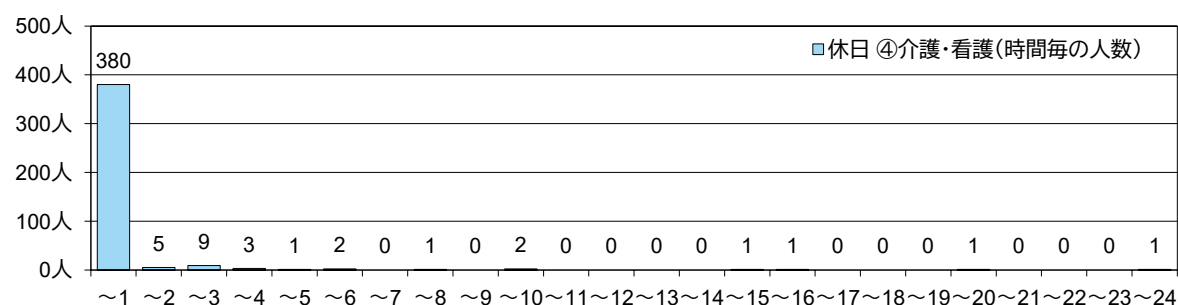
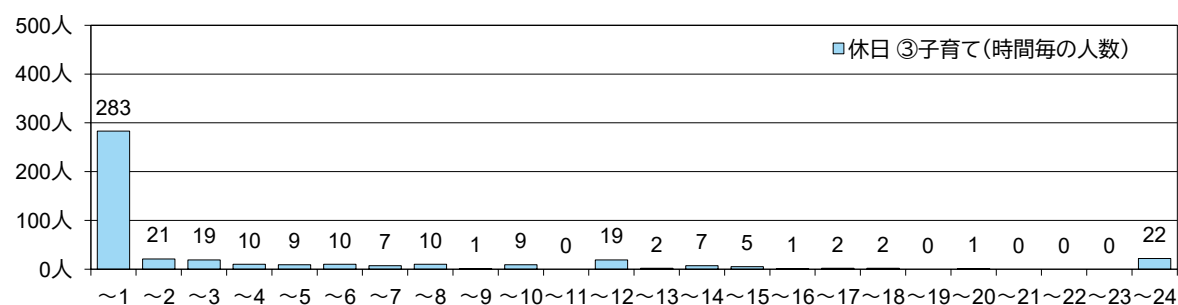
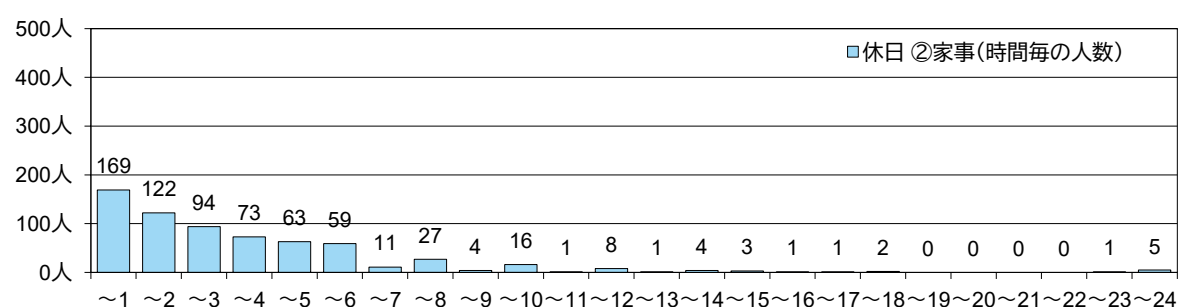
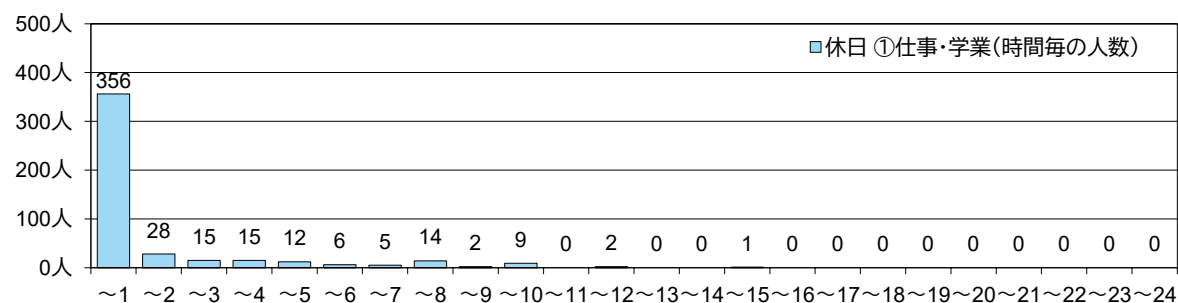
【全体】（時間別人数）



※単位：時間

休日における各項目の時間の分布を見ると、「①仕事・学業」「③子育て」「④介護・看護」「⑤ボランティア活動・社会参加活動」はいずれも1時間までがほとんどとなっています。「②家事」は1時間までが最も多く、それ以上の時間は徐々に少なくなっています。

【全体】（時間別人数）



※単位：時間



### 3. 就労について

#### 問9 現在の仕事を続ける意向

あなたは今後も現在の仕事を続けたいと思いますか。（1つ回答）

現在仕事をしている方のみ（問28で「家事専業」「学生」「仕事はしていない」及び無回答を除く）

◆「続けたい」が6割以上で最も高く、次いで「別の仕事に就きたい」が1割以上で、過去2回の調査からの大きな変化は見られない

◆性別による大きな違いは見られない

◆「続けたい」は概ね高い年代ほど高く、「別の仕事に就きたい」は若い年代ほど高い

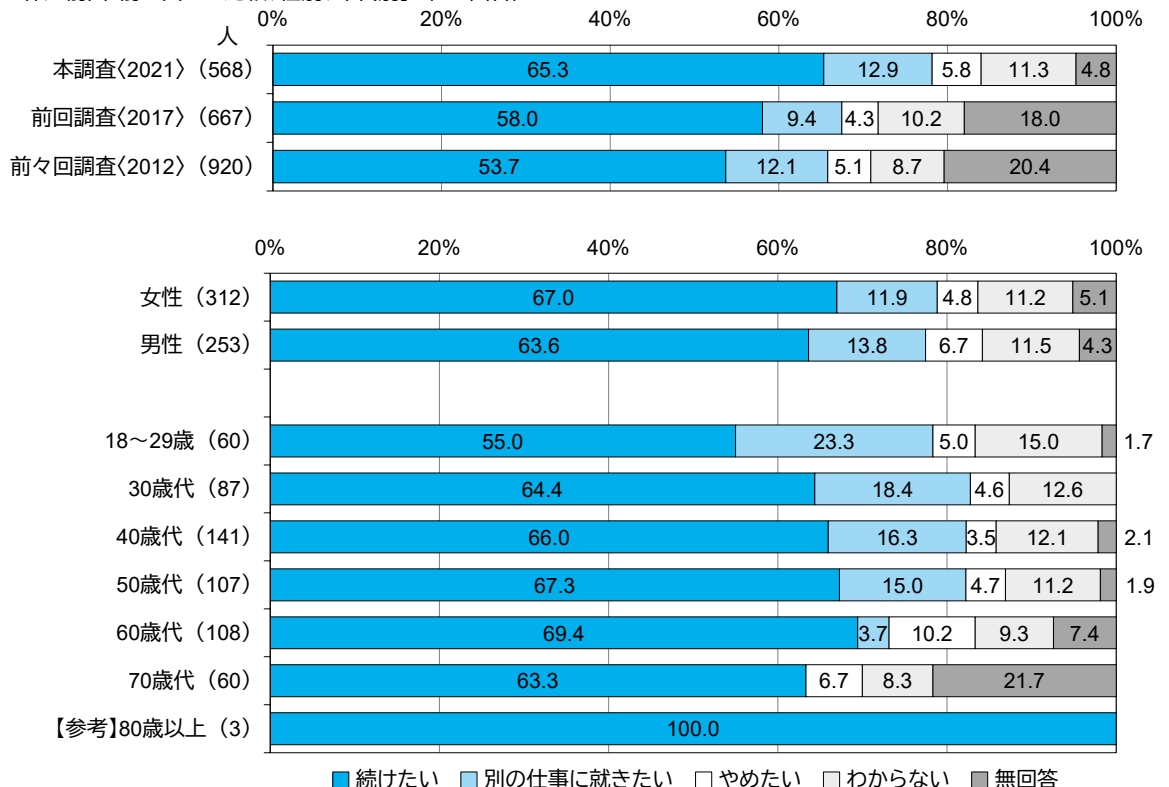
「続けたい」（65.3%）が6割以上で最も高く、次いで「別の仕事に就きたい」（12.9%）が1割以上となっています。

過去2回の調査と比較すると、大きな違いは見られませんが、その中で「続けたい」は前回（58.0%）や前々回（53.7%）より若干高くなっています。

性別による大きな違いは見られません。

年代別では、いずれの年代も「続けたい」が最も高く、概ね高い年代ほど高くなっています。一方、「別の仕事に就きたい」は18～29歳（23.3%）が2割以上で、若い年代ほど高くなっています。また、「やめたい」は60歳代（10.2%）が1割以上となっていますが、それ以外の年代では1割未満となっています。

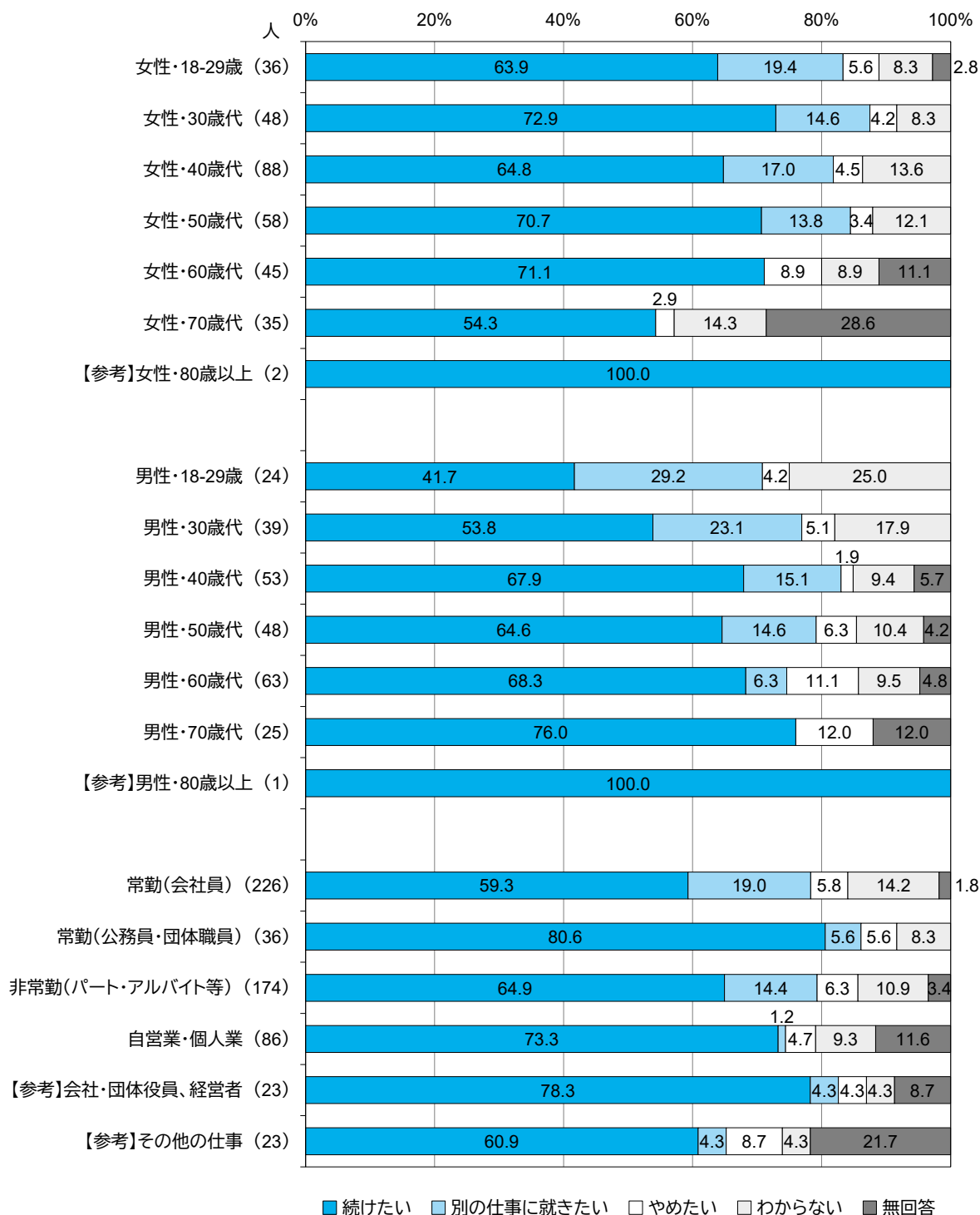
【全体／前回・前々回との比較、性別、年代別】（1つ回答）



※80歳以上は対象者が少ないため、参考表示

# 〈参考：性・年代別、職業別〉

【性・年代別、職業別】（1つ回答）



## 問10 働くうえで感じる不安や困難

あなたは働くうえで不安や困難を感じてことがありますか。(複数回答)

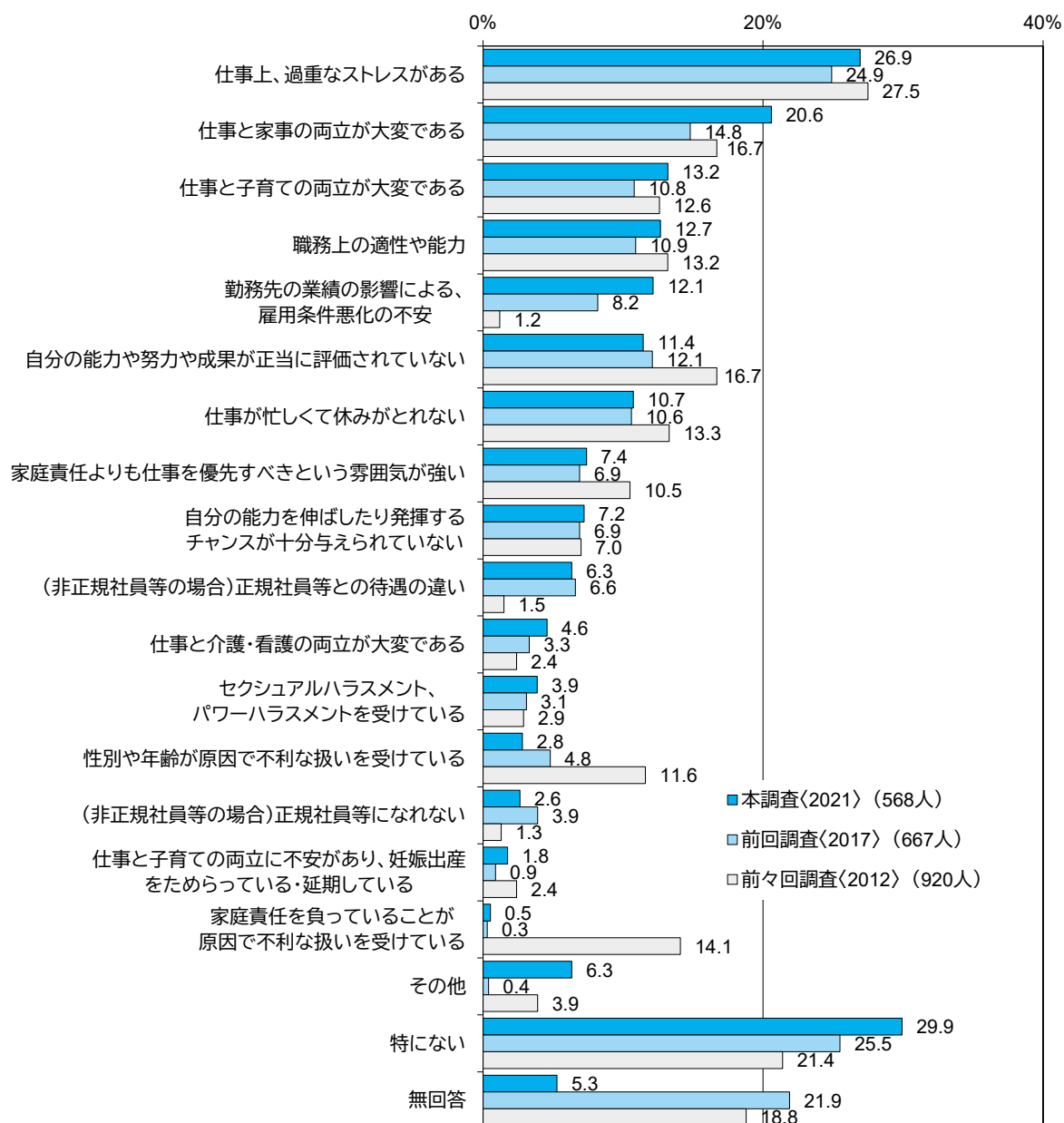
現在仕事をしている方のみ(問28で「家事専業」「学生」「仕事はしていない」及び無回答を除く)

### ◆「特にない」「仕事上、過重なストレスがある」が約3割で同程度に高く、過去2回の調査からの大きな変化は見られない

「特にない」「仕事上、過重なストレスがある」(それぞれ29.9%、26.9%)が約3割で同程度に高く、次いで「仕事と家事の両立が大変である」(20.6%)が2割以上となっています。

過去2回の調査と比較すると、ほとんどの項目で大きな変化は見られませんが、その中で「家庭責任を負っていることが原因で不利な扱いを受けている」(0.5%)は前回(0.3%)と同程度、前々回(14.1%)より13.6ポイント低くなっています。

【全体／前回・前々回との比較】(複数回答)



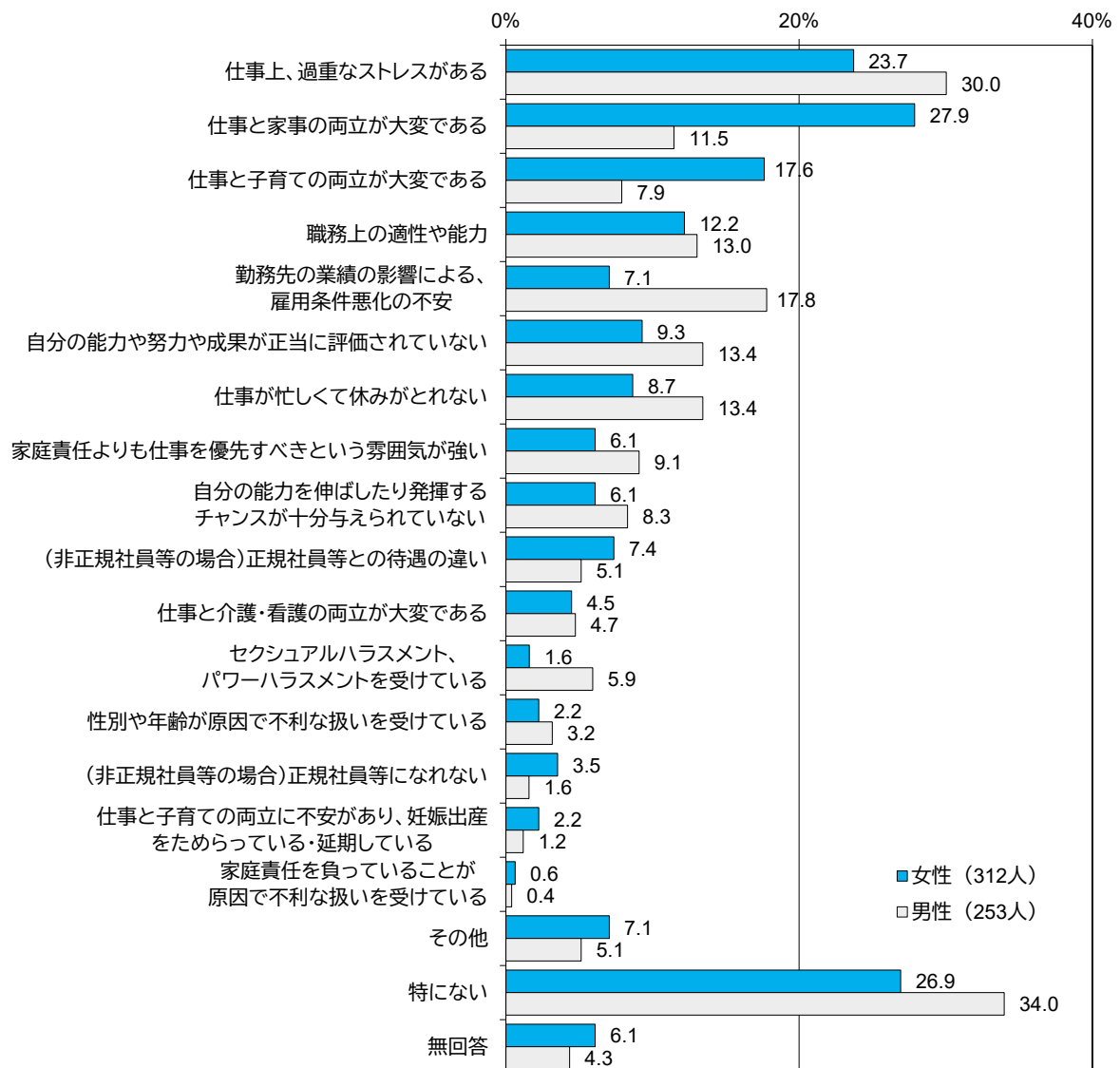
◆女性「仕事と家事の両立」「特にない」が約3割、男性「特にない」「仕事上、過重なストレスがある」が3割以上で同程度に高い

◆「仕事と家事の両立」は女性、「雇用条件悪化の不安」は男性が高い

性別では、女性は「仕事と家事の両立が大変である」「特にない」（それぞれ27.9%、26.9%）が約3割で同程度に高く、男性は「特にない」「仕事上、過重なストレスがある」（それぞれ34.0%、30.0%）が3割以上で同程度に高くなっています。

「仕事と家事の両立が大変である」「勤務先の業績の影響による、雇用や雇用条件悪化の不安」は性別による違いが見られ、「仕事と家事の両立が大変である」は女性が男性（11.5%）より16.4ポイント高く、「勤務先の業績の影響による、雇用や雇用条件悪化の不安」は男性（17.8%）が女性（7.1%）より10.7ポイント高くなっています。また、「仕事と子育ての両立が大変である」も女性（17.6%）が男性（7.9%）より9.7ポイント高くなっています。

【性別】（複数回答）



◆18～29歳、60・70歳代は「特にない」、30歳代は「仕事と家事の両立」、  
40・50歳代は「仕事上、過重なストレスがある」が最も高い

◆「仕事上、過重なストレスがある」「仕事と家事の両立」は年代による違いが見られ、60歳代以上が低い

年代別では、18～29歳、60・70歳代は「特にない」、30歳代は「仕事と家事の両立が大変である」(36.8%)が約4割、40・50歳代は「仕事上、過重なストレスがある」(35.5%で同値)が3割以上で最も高くなっています。

「仕事と子育ての両立が大変である」は年代によって該当者が少ないため、これを除くと「仕事上、過重なストレスがある」「仕事と家事の両立が大変である」は年代による違いが見られ、いずれも60歳第以上が低くなっています。

【年代別】(複数回答)

|                                      | % | 18～<br>29歳 | 30歳<br>代 | 40歳<br>代 | 50歳<br>代 | 60歳<br>代 | 70歳<br>代 | 【参考】<br>80歳<br>以上 |
|--------------------------------------|---|------------|----------|----------|----------|----------|----------|-------------------|
| 人                                    |   | 60         | 87       | 141      | 107      | 108      | 60       | 3                 |
| 仕事上、過重なストレスがある                       |   | 21.7       | 29.9     | 35.5     | 35.5     | 16.7     | 8.3      | 33.3              |
| 仕事と家事の両立が大変である                       |   | 18.3       | 36.8     | 22.7     | 21.5     | 9.3      | 10.0     | 66.7              |
| 仕事と子育ての両立が大変である                      |   | 10.0       | 34.5     | 22.7     | 5.6      | 0.9      | 0.0      | 0.0               |
| 職務上の適性や能力                            |   | 28.3       | 12.6     | 14.2     | 15.0     | 6.5      | 0.0      | 0.0               |
| 勤務先の業績の影響による、雇用や雇用条件悪化の不安            |   | 10.0       | 19.5     | 14.9     | 13.1     | 8.3      | 0.0      | 0.0               |
| 自分の能力や努力や成果が正当に評価されていない              |   | 11.7       | 12.6     | 17.0     | 14.0     | 4.6      | 3.3      | 0.0               |
| 仕事が忙しくて休みがとれない                       |   | 10.0       | 14.9     | 12.1     | 14.0     | 8.3      | 1.7      | 0.0               |
| 家庭責任よりも仕事を優先すべきという雰囲気が強い             |   | 10.0       | 5.7      | 12.1     | 9.3      | 2.8      | 1.7      | 0.0               |
| 自分の能力を伸ばしたり発揮するチャンスが十分与えられていない       |   | 8.3        | 9.2      | 12.8     | 6.5      | 2.8      | 0.0      | 0.0               |
| (非正規社員等の場合)正規社員等との待遇の違い              |   | 0.0        | 3.4      | 5.7      | 8.4      | 13.0     | 3.3      | 0.0               |
| 仕事と介護・看護の両立が大変である                    |   | 0.0        | 0.0      | 6.4      | 9.3      | 5.6      | 1.7      | 0.0               |
| セクシュアルハラスメント、パワーハラスメントを受けている         |   | 3.3        | 5.7      | 5.0      | 3.7      | 2.8      | 0.0      | 0.0               |
| 性別や年齢が原因で不利な扱いを受けている                 |   | 1.7        | 2.3      | 4.3      | 1.9      | 2.8      | 1.7      | 0.0               |
| (非正規社員等の場合)正規社員等になれない                |   | 0.0        | 3.4      | 5.0      | 1.9      | 2.8      | 0.0      | 0.0               |
| 仕事と子育ての両立に不安があり、妊娠・出産をためらっている・延期している |   | 5.0        | 4.6      | 1.4      | 0.9      | 0.0      | 0.0      | 0.0               |
| 家庭責任を負っていることが原因で不利な扱いを受けている          |   | 0.0        | 2.3      | 0.0      | 0.0      | 0.0      | 1.7      | 0.0               |
| その他                                  |   | 8.3        | 2.3      | 5.0      | 5.6      | 8.3      | 10.0     | 0.0               |
| 特にない                                 |   | 30.0       | 19.5     | 26.2     | 23.4     | 40.7     | 46.7     | 33.3              |
| 無回答                                  |   | 1.7        | 1.1      | 1.4      | 0.9      | 10.2     | 23.3     | 0.0               |

※■色表示は各年代で最も高い値

※80歳以上は対象者が少ないため、参考表示

# 〈参考：職業別〉

【職業別】（複数回答）

|                                      | %    | 常勤<br>(会社員) | 常勤<br>(公務員・<br>団体職員) | 非常勤(パ<br>ート・<br>アルバイト等) | 自営業・個<br>人業 | 【参考】<br>会社・団体<br>役員、経営者 | 【参考】そ<br>の他の仕<br>事 |
|--------------------------------------|------|-------------|----------------------|-------------------------|-------------|-------------------------|--------------------|
| 人                                    |      | 226         | 36                   | 174                     | 86          | 23                      | 23                 |
| 仕事上、過重なストレスがある                       | 35.8 | 33.3        | 19.5                 | 12.8                    | 47.8        | 17.4                    |                    |
| 仕事と家事の両立が大変である                       | 19.9 | 25.0        | 21.3                 | 23.3                    | 17.4        | 8.7                     |                    |
| 仕事と子育ての両立が大変である                      | 16.8 | 19.4        | 11.5                 | 8.1                     | 8.7         | 4.3                     |                    |
| 職務上の適性や能力                            | 19.5 | 13.9        | 9.2                  | 2.3                     | 17.4        | 4.3                     |                    |
| 勤務先の業績の影響による、雇用や雇用条件悪化の不安            | 19.0 | 2.8         | 9.8                  | 3.5                     | 0.0         | 21.7                    |                    |
| 自分の能力や努力や成果が正当に評価されていない              | 18.6 | 5.6         | 9.8                  | 0.0                     | 8.7         | 8.7                     |                    |
| 仕事が忙しくて休みがとれない                       | 11.5 | 25.0        | 6.9                  | 5.8                     | 26.1        | 13.0                    |                    |
| 家庭責任よりも仕事を優先すべきという雰囲気が強い             | 14.2 | 8.3         | 2.3                  | 1.2                     | 4.3         | 4.3                     |                    |
| 自分の能力を伸ばしたり発揮するチャンスが十分与えられていない       | 10.2 | 0.0         | 6.9                  | 3.5                     | 4.3         | 8.7                     |                    |
| (非正規社員等の場合)正規社員等との待遇の違い              | 2.7  | 2.8         | 13.8                 | 1.2                     | 0.0         | 17.4                    |                    |
| 仕事と介護・看護の両立が大変である                    | 3.1  | 2.8         | 5.2                  | 7.0                     | 4.3         | 8.7                     |                    |
| セクシュアルハラスメント、パワーハラスメントを受けている         | 5.3  | 5.6         | 2.9                  | 1.2                     | 4.3         | 4.3                     |                    |
| 性別や年齢が原因で不利な扱いを受けている                 | 3.5  | 5.6         | 3.4                  | 0.0                     | 0.0         | 0.0                     |                    |
| (非正規社員等の場合)正規社員等になれない                | 1.8  | 0.0         | 5.2                  | 0.0                     | 0.0         | 8.7                     |                    |
| 仕事と子育ての両立に不安があり、妊娠・出産をためらっている・延期している | 3.1  | 2.8         | 0.6                  | 0.0                     | 0.0         | 4.3                     |                    |
| 家庭責任を負っていることが原因で不利な扱いを受けている          | 0.9  | 0.0         | 0.0                  | 0.0                     | 0.0         | 4.3                     |                    |
| その他                                  | 6.6  | 2.8         | 7.5                  | 3.5                     | 0.0         | 17.4                    |                    |
| 特になし                                 | 22.6 | 36.1        | 30.5                 | 47.7                    | 30.4        | 21.7                    |                    |
| 無回答                                  | 2.7  | 2.8         | 4.0                  | 12.8                    | 4.3         | 17.4                    |                    |

※■色表示は各職業等で最も高い値（対象者が少ない「会社・団体役員、経営者」「その他の仕事」を除く）

## 問11 今後仕事をする意向

あなたは今後仕事をしたいですか。（1つ回答）

現在仕事をしていない方のみ（問28で「家事専業」「学生」「仕事はしていない」の選択者のみ）

◆「仕事には就きたくない」が3割以上で最も高く、次いで「わからない」「いずれは仕事をしたい」が約2割で、過去2回の調査からの大きな変化は見られない

◆性別による大きな違いは見られない

◆60歳代以上は「仕事には就きたくない」が最も高い

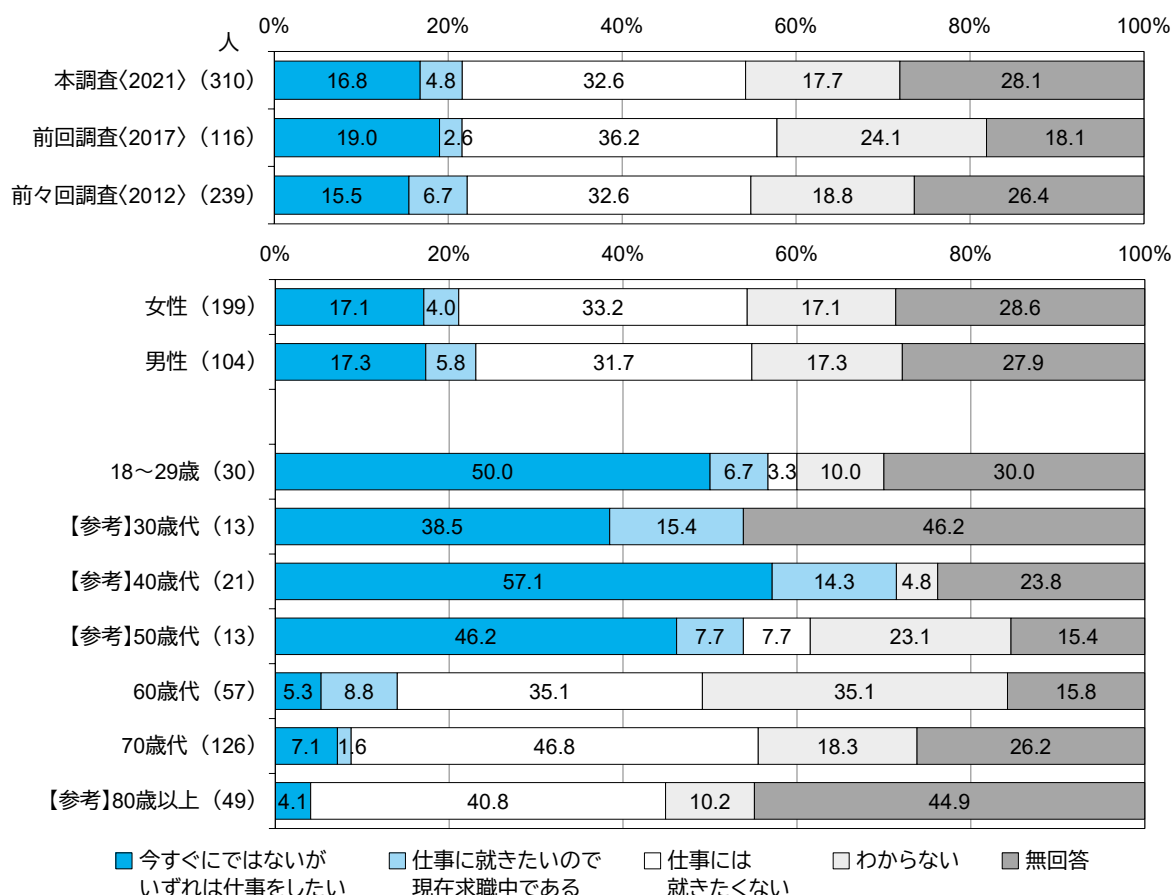
「仕事には就きたくない」（32.6%）が3割以上で最も高く、次いで「わからない」「今すぐにはではないがいずれは仕事をしたい」（それぞれ17.7%、16.8%）が約2割で同程度となっています。

過去2回の調査と比較すると、大きな変化は見られません。

性別による大きな違いは見られません。

年代別では、60歳代以上は「仕事には就きたくない」が最も高く、60歳代は「わからない」（35.1%）も同値となっています。

【全体／前回・前々回との比較、性別、年代別】（1つ回答）



※30・40・50歳代は対象者が少ないため参考表示。80歳以上は無回答が多いため参考表示

## 問12 仕事を辞めたことの有無

あなたはこれまでに、仕事を辞めたことがありますか。(1つ回答)

- ◆「辞めたことがある」が6割以上、「辞めたことはない」が2割以上で、過去2回の調査からの大きな変化は見られない
- ◆「辞めたことがある」が女性は7割以上、男性は5割以上
- ◆18～29歳を除き「辞めたことがある」が最も高い

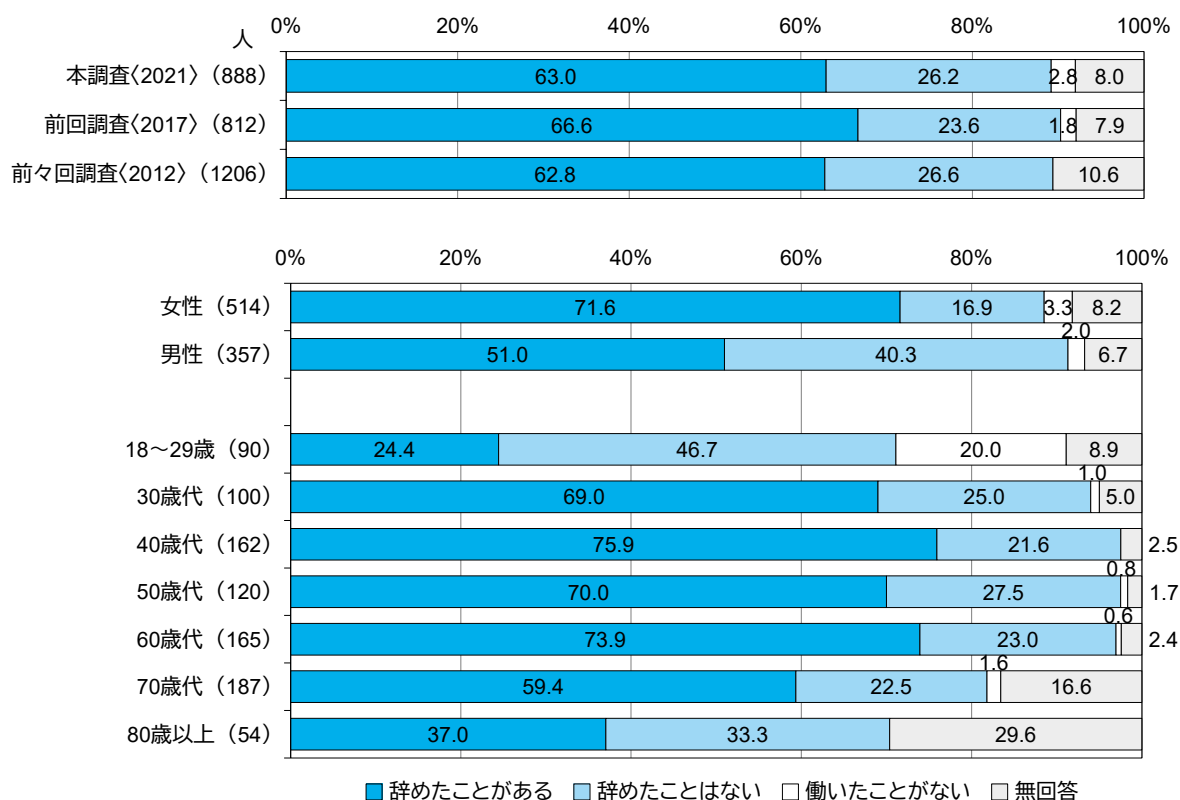
「辞めたことがある」(63.0%)が6割以上で最も高く、次いで「辞めたことはない」(26.2%)が2割以上となっています。

過去2回の調査と比較すると、大きな変化は見られません。

性別では、男女とも「辞めたことがある」が最も高く、女性(71.6%)は7割以上、男性(51.0%)は5割以上となっています。

年代別では、18～29歳を除き「辞めたことがある」が最も高く、18～29歳は「辞めたことはない」(46.7%)が約5割で最も高くなっています

【全体／前回・前々回との比較、性別、年代別】(1つ回答)

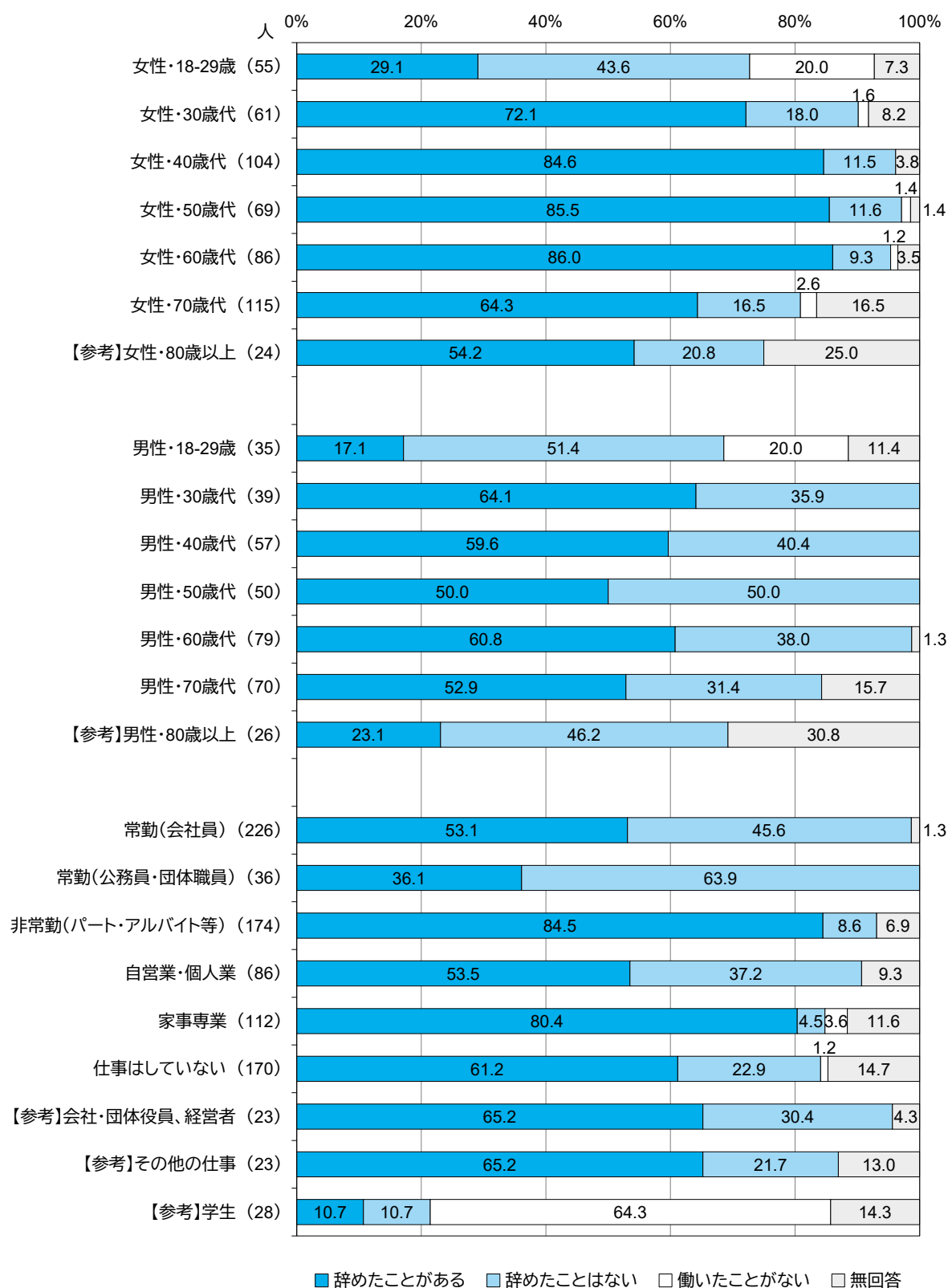


※「働いたことはない」は前回調査から設定



〈参考：性・年代別、職業別〉

【性・年代別、職業別】（1つ回答）



### 問13 仕事を辞めた理由

仕事を辞めた理由は何ですか。（複数回答）

問12で「辞めたことがある」の選択者のみ

◆「希望通りの労働条件ではない」「勤め先の都合」が2割程度で同程度に高い

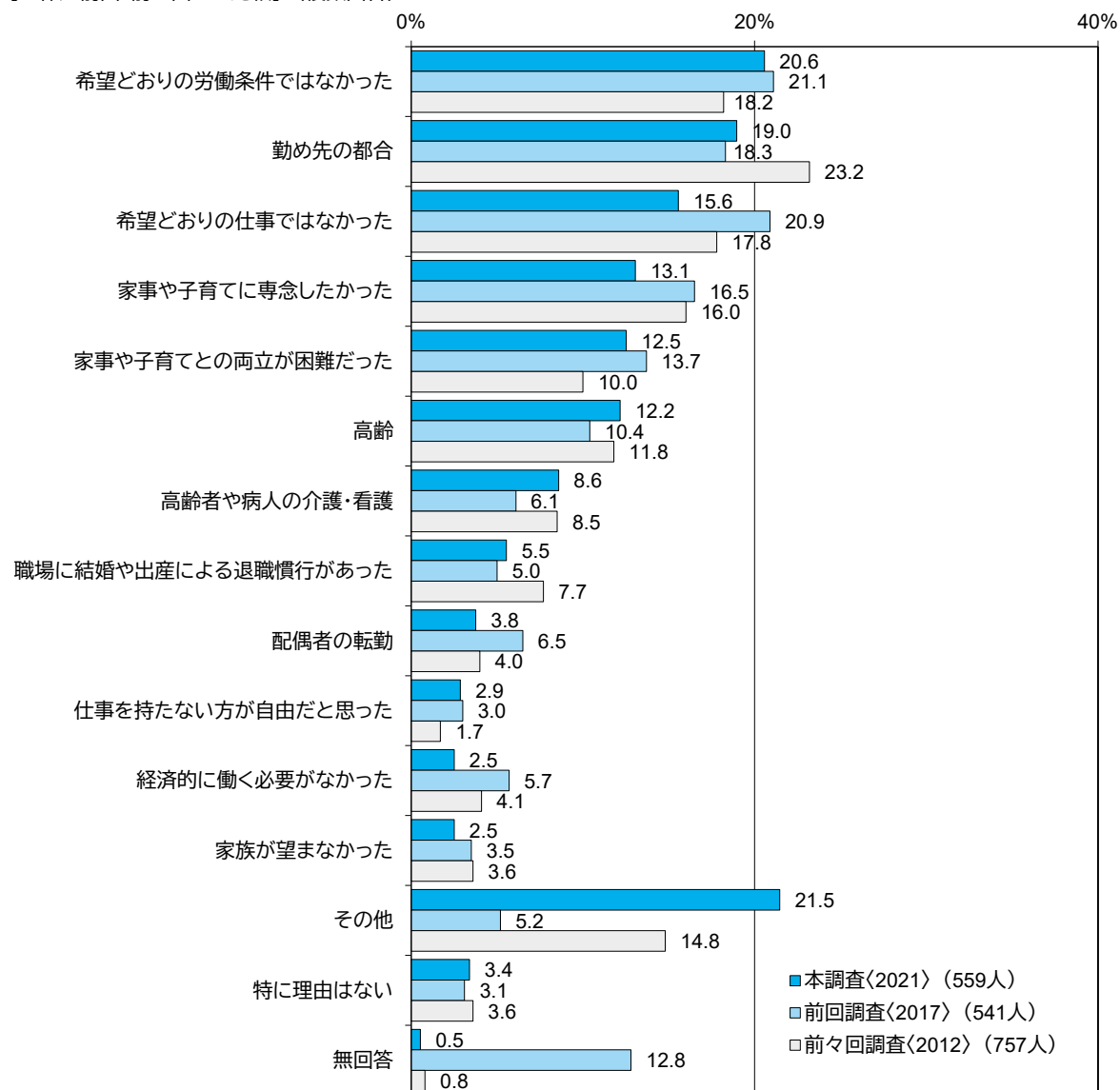
◆過去2回の調査からの大きな変化は見られない

「その他」（21.5%を除き、「希望通りの労働条件ではなかった」「勤め先の都合」（それぞれ20.6%、19.0%）が約2割で同程度に高くなっています。

「その他」の内容は、「健康上の理由」「定年退職」「転職」「転居」「ハラスメント」「人間関係」「結婚」などが比較的多く見られました。（※具体的内容は別添「自由回答報告書」に示します。）

過去2回の調査と比較すると、大きな変化は見られませんが、その中で「その他」が前回（5.2%）や前々回（14.8%）より高くなっています。

【全体／前回・前々回との比較】（複数回答）



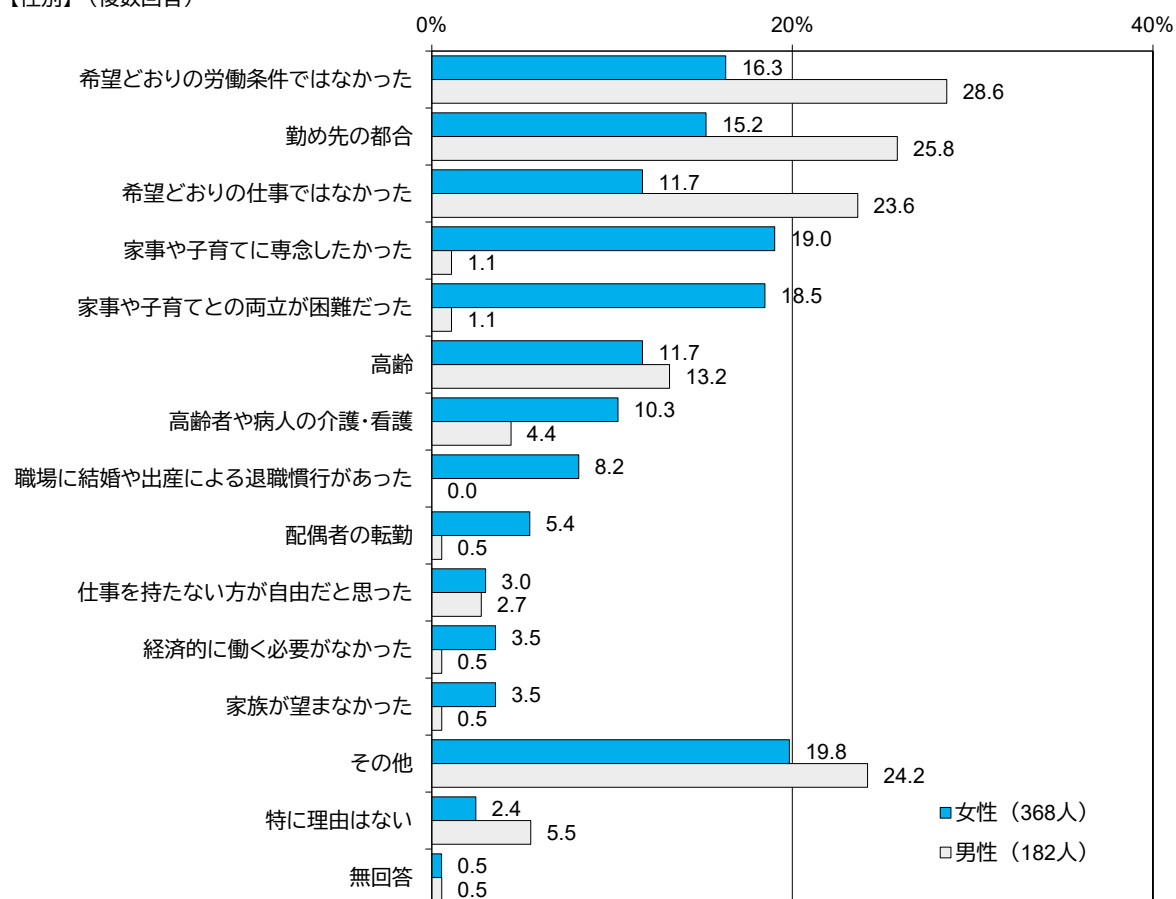
◆女性は「家事や子育てに専念」「家事や子育てとの両立が困難」が約2割で同程度に高く、男性は「希望通りの労働条件ではない」が約3割で最も高い

◆性別による違いが見られる項目が多く、「家事や子育てに専念」「家事や子育てとの両立が困難」は特に女性が高い

性別では、女性は「その他」（19.8％）を除き「家事や子育てに専念したかった」「家事や子育てとの両立が困難だった」（それぞれ19.0％、18.5％）が約2割で同程度に高くなっています。男性は「希望通りの労働条件ではなかった」「勤め先の都合」「希望通りの仕事ではなかった」が2割以上で同程度に高くなっています。

性別による違いが見られる項目が多く、特に「家事や子育てに専念したかった」「家事や子育てとの両立が困難だった」は、男性（1.1％で同値）ではほとんど見られず、女性が男性よりそれぞれ17.9ポイント、17.4ポイント高くなっています。一方、「希望通りの労働条件ではなかった」（女性16.3％、男性28.6％）、「勤め先の都合」（女性15.2％、男性25.8％）、「希望通りの仕事ではなかった」（女性11.7％、男性23.6％）は男性が女性よりそれぞれ10ポイント以上高くなっています。

【性別】（複数回答）



◆50歳代以下は「希望通りの労働条件でない」、60歳代は「勤め先の都合」、70歳以上は「高齢」が最も高い

◆「希望通りの労働条件ではない」は概ね若い年代、「高齢」は概ね高い年代ほど高い

年代別では、「その他」を除くと、50歳以下は「希望通りの労働条件ではなかった」が最も高く、50歳代は「勤め先の都合」(19.0%)も同値となっています。60歳代は「勤め先の都合」(21.3%)が2割以上、70歳代、80歳以上は「高齢」(それぞれ35.1%、65.0%)が最も高くなっています。

「希望通りの労働条件ではなかった」「高齢」は年代による違いが見られ、「希望通りの労働条件ではなかった」は40歳代以下が3割以上で比較的高く、概ね若い年代ほど高くなっています。一方、「高齢」は80歳以上が6割以上で特に高く、概ね高い年代ほど高くなっています。

【年代別】(複数回答)

|                     | % | 18～<br>29歳 | 30歳<br>代 | 40歳<br>代 | 50歳<br>代 | 60歳<br>代 | 70歳<br>代 | 80歳<br>以上 |
|---------------------|---|------------|----------|----------|----------|----------|----------|-----------|
| 人                   |   | 22         | 69       | 123      | 84       | 122      | 111      | 20        |
| 希望どおりの労働条件ではなかった    |   | 31.8       | 36.2     | 32.5     | 19.0     | 11.5     | 9.0      | 5.0       |
| 勤め先の都合              |   | 4.5        | 8.7      | 22.8     | 19.0     | 21.3     | 21.6     | 10.0      |
| 希望どおりの仕事ではなかった      |   | 13.6       | 31.9     | 14.6     | 17.9     | 13.9     | 9.0      | 0.0       |
| 家事や子育てに専念したかった      |   | 13.6       | 10.1     | 16.3     | 15.5     | 11.5     | 13.5     | 0.0       |
| 家事や子育てとの両立が困難だった    |   | 13.6       | 15.9     | 18.7     | 14.3     | 9.8      | 8.1      | 0.0       |
| 高齢                  |   | 4.5        | 0.0      | 0.0      | 1.2      | 11.5     | 35.1     | 65.0      |
| 高齢者や病人の介護・看護        |   | 4.5        | 1.4      | 3.3      | 13.1     | 15.6     | 7.2      | 10.0      |
| 職場に結婚や出産による退職慣行があった |   | 4.5        | 4.3      | 4.1      | 3.6      | 7.4      | 8.1      | 0.0       |
| 配偶者の転勤              |   | 4.5        | 4.3      | 7.3      | 4.8      | 1.6      | 1.8      | 0.0       |
| 仕事を持たない方が自由だと思った    |   | 0.0        | 5.8      | 2.4      | 2.4      | 0.0      | 5.4      | 5.0       |
| 経済的に働く必要がなかった       |   | 0.0        | 0.0      | 2.4      | 4.8      | 4.1      | 1.8      | 0.0       |
| 家族が望まなかった           |   | 0.0        | 1.4      | 0.0      | 4.8      | 4.9      | 1.8      | 5.0       |
| その他                 |   | 40.9       | 31.9     | 23.6     | 15.5     | 20.5     | 15.3     | 10.0      |
| 特に理由はない             |   | 4.5        | 2.9      | 0.8      | 3.6      | 3.3      | 5.4      | 10.0      |
| 無回答                 |   | 0.0        | 0.0      | 0.8      | 0.0      | 0.0      | 0.9      | 5.0       |

※■色表示は各年代で最も高い値

## 問14 女性が職業をもつことについて

あなたは、一般的に女性が職業をもつことについてどのように思いますか。（1つ回答）

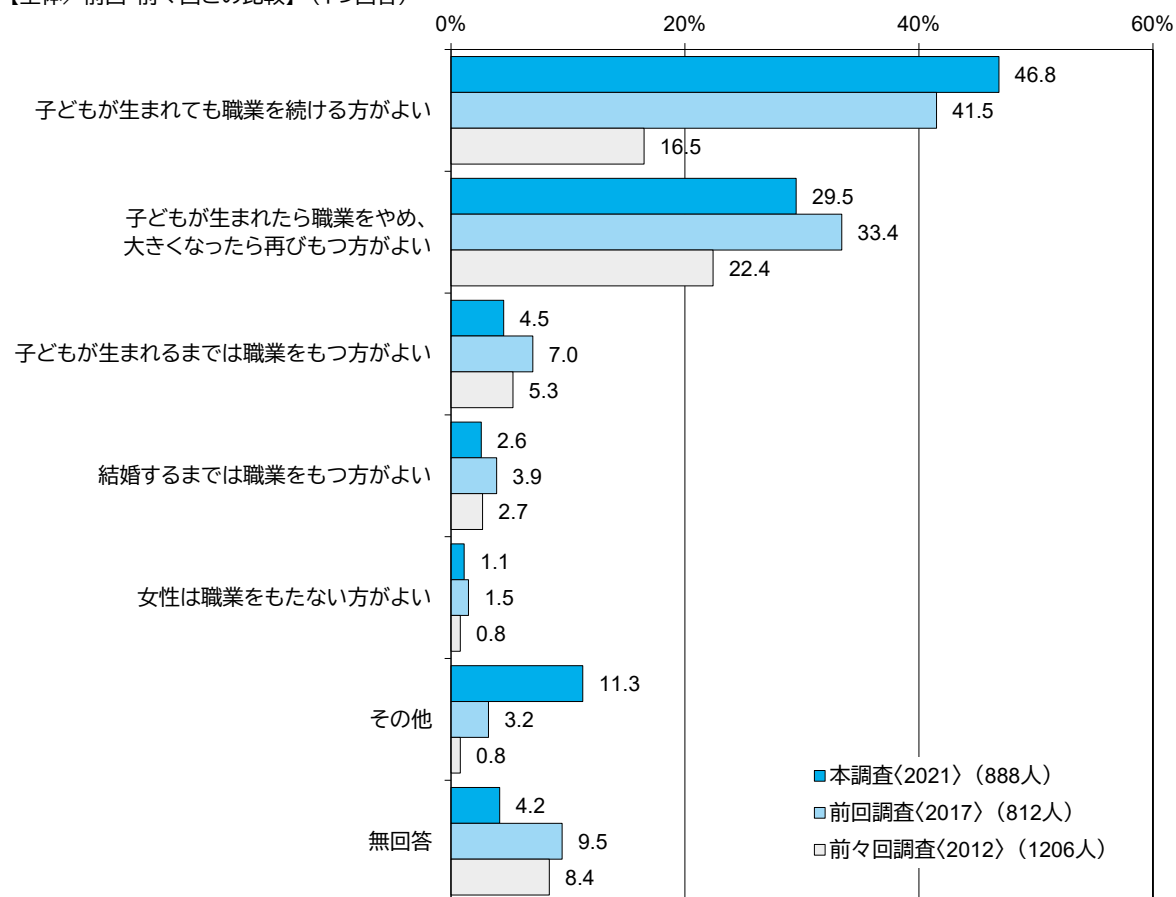
◆「子どもが生まれても続ける」が約5割で最も高く、次いで「子どもが生まれたらやめ、大きくなったら再びもつ」が約3割

◆「子どもが生まれても続ける」は過去2回の調査より高い

「子どもが生まれても職業を続ける方がよい」（46.8%）が約5割で最も高く、次いで「子どもが生まれたら職業をやめ、大きくなったら再びもつ方がよい」（29.5%）が約3割となっています。

過去2回の調査と比較すると、「子どもが生まれても職業を続ける方がよい」は前回（41.5%）より若干高く、前々回（16.5%）より30.3ポイント高くなっています。

【全体／前回・前々回との比較】（1つ回答）

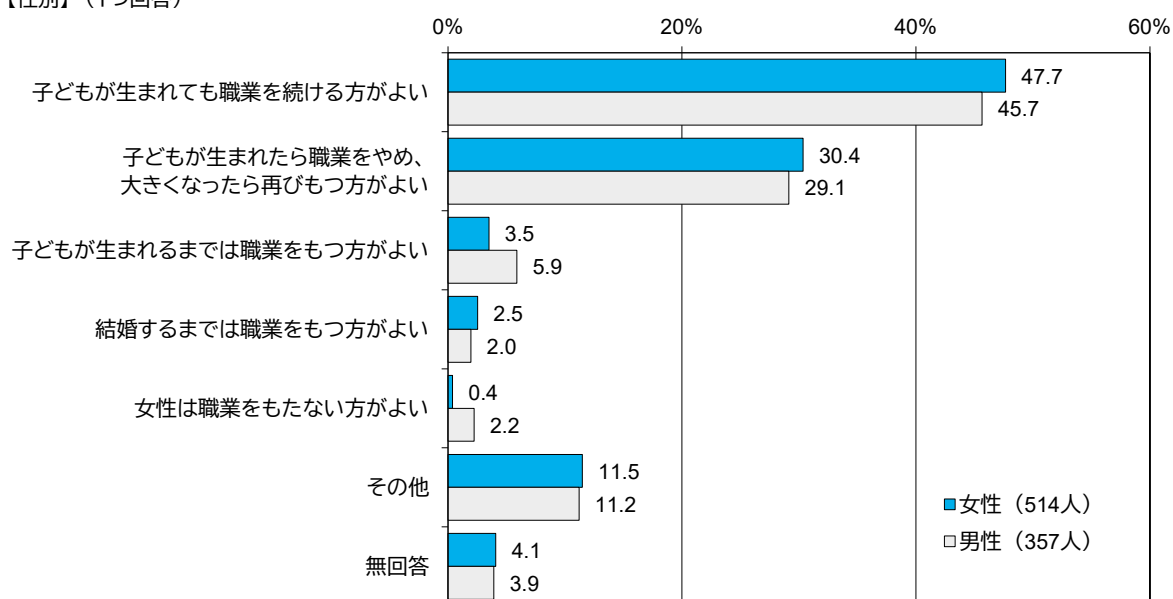


※前々回調査では本調査で未設定の「人によって違うので、一概には言えない」が43.1%で最も高い

## ◆性別による大きな違いは見られない

性別では、男女ともに「子どもが生まれても職業を続ける方がよい」が最も高く、女性（47.7%）は約 5 割、男性（45.7%）は 4 割以上となっています。次いで「子どもが生まれたら職業をやめ、大きくなったら再びもつ方がよい」が約 3 割（女性 30.4%、男性 29.1%）となっています。

【性別】（1つ回答）



## ◆70歳代を除き「子どもが生まれても続ける」が最も高く、70歳代は「子どもが生まれたらやめ、大きくなったら再びもつ」が最も高い

年代別では、70歳代を除き「子どもが生まれても職業を続ける方がよい」が最も高く、70歳代は「子どもが生まれたら職業をやめ、大きくなったら再びもつ方がよい」（39.6%）が約 4 割で最も高くなっています。

【年代別】（1つ回答）

|                                | % | 18～<br>29歳 | 30歳<br>代 | 40歳<br>代 | 50歳<br>代 | 60歳<br>代 | 70歳<br>代 | 80歳<br>以上 |
|--------------------------------|---|------------|----------|----------|----------|----------|----------|-----------|
| 人                              |   | 90         | 100      | 162      | 120      | 165      | 187      | 54        |
| 子どもが生まれても職業を続ける方がよい            |   | 43.3       | 54.0     | 54.9     | 52.5     | 49.7     | 35.8     | 33.3      |
| 子どもが生まれたら職業をやめ、大きくなったら再びもつ方がよい |   | 21.1       | 20.0     | 29.0     | 27.5     | 31.5     | 39.6     | 25.9      |
| 子どもが生まれるまでは職業をもつ方がよい           |   | 3.3        | 3.0      | 2.5      | 5.8      | 4.2      | 5.9      | 7.4       |
| 結婚するまでは職業をもつ方がよい               |   | 2.2        | 0.0      | 0.0      | 0.8      | 3.0      | 5.9      | 7.4       |
| 女性は職業をもたない方がよい                 |   | 2.2        | 0.0      | 0.0      | 1.7      | 1.2      | 1.6      | 1.9       |
| その他                            |   | 22.2       | 20.0     | 13.0     | 11.7     | 9.1      | 4.3      | 1.9       |
| 無回答                            |   | 5.6        | 3.0      | 0.6      | 0.0      | 1.2      | 7.0      | 22.2      |

※■色表示は各年代で最も高い値

〈参考：職業別〉

【職業別】（1つ回答）

|                                | 常勤<br>(会社員) | 常勤<br>(公務員・<br>団体職員) | 非常勤<br>(パート・<br>アルバイト等) | 自営業・<br>個人業 | 家事<br>専業 | 仕事は<br>してい<br>ない | 【参考】<br>会社・団体<br>役員、経営者 | 【参考】<br>その他<br>の仕事 | 【参考】<br>学生 |
|--------------------------------|-------------|----------------------|-------------------------|-------------|----------|------------------|-------------------------|--------------------|------------|
| 人                              | 226         | 36                   | 174                     | 86          | 112      | 170              | 23                      | 23                 | 28         |
| 子どもが生まれても職業を続ける方がよい            | 57.5        | 66.7                 | 51.7                    | 45.3        | 34.8     | 32.9             | 52.2                    | 56.5               | 35.7       |
| 子どもが生まれたら職業をやめ、大きくなったら再びもつ方がよい | 21.7        | 13.9                 | 29.9                    | 37.2        | 43.8     | 32.9             | 30.4                    | 21.7               | 17.9       |
| 子どもが生まれるまでは職業をもつ方がよい           | 4.9         | 0.0                  | 2.3                     | 4.7         | 1.8      | 10.0             | 0.0                     | 0.0                | 3.6        |
| 結婚するまでは職業をもつ方がよい               | 0.4         | 0.0                  | 1.1                     | 1.2         | 5.4      | 6.5              | 0.0                     | 4.3                | 0.0        |
| 女性は職業をもたない方がよい                 | 0.9         | 0.0                  | 1.1                     | 0.0         | 0.0      | 1.8              | 4.3                     | 4.3                | 3.6        |
| その他                            | 14.6        | 19.4                 | 11.5                    | 10.5        | 8.0      | 5.3              | 8.7                     | 13.0               | 28.6       |
| 無回答                            | 0.0         | 0.0                  | 2.3                     | 1.2         | 6.3      | 10.6             | 4.3                     | 0.0                | 10.7       |

※ ■色表示は各職業等で最も高い値（対象者が少ない「会社・団体役員、経営者」「その他の仕事」「学生」を除く）

## 問15 制度の認知・利用状況

あなたは、次にあげる制度を知っていますか。また利用したことがありますか。(各1つ回答)

### ①育児休業制度

- ◆「知っている。利用したことはない」が7割以上で最も高く、認知度は約9割
- ◆認知度は過去2回の調査より高い
- ◆「知っている。利用した」は女性が高く、認知度は男女とも約9割
- ◆「知っている。利用した」は概ね若い年代ほど高く、認知度は80歳以上が4割以上で低い

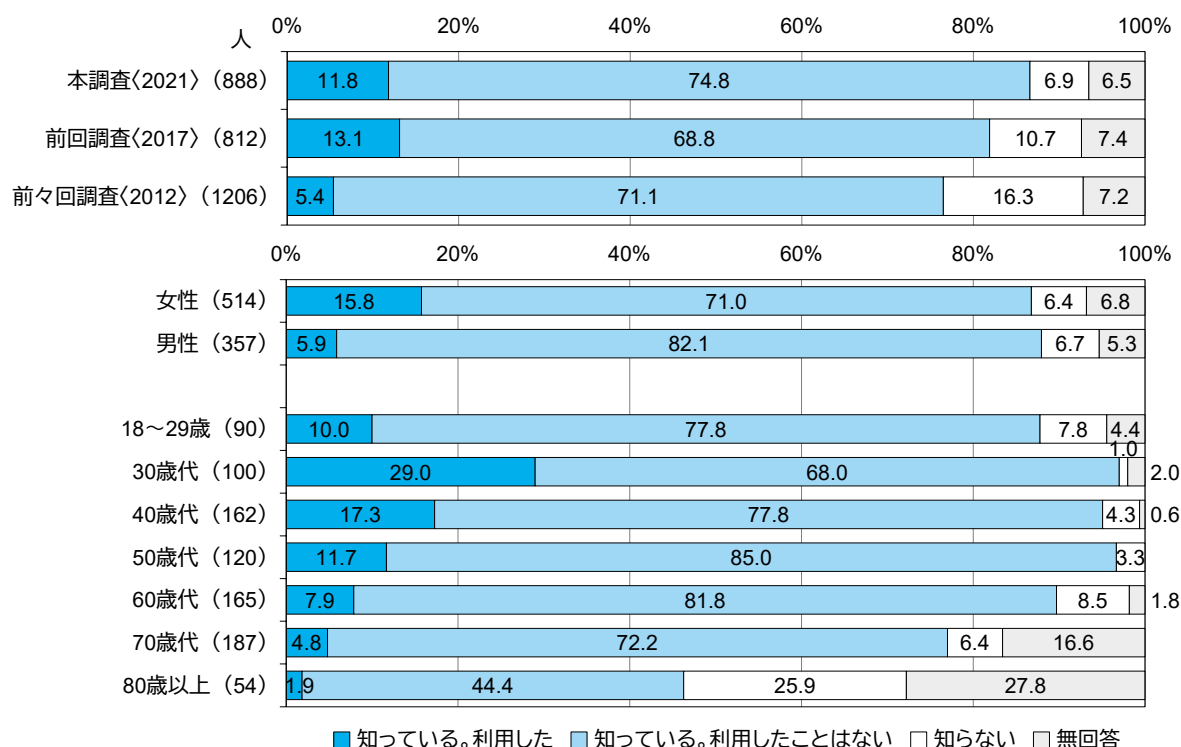
「知っている。利用したことはない」(74.8%)が7割以上で最も高く、次いで「知っている。利用した」(11.8%)が1割以上となっています。「知っている。利用した」「知っている。利用したことはない」を合わせた認知度(86.6%)は約9割となっています。

過去2回の調査と比較すると、大きな変化は見られませんが、認知度は前回(81.9%)や前々回(76.5%)より高くなっています。

性別では、「知っている。利用した」は女性(15.8%)が男性(5.9%)より9.9ポイント高く、認知度(女性86.8%、男性88.0%)は約9割で同程度になっています。

年代別では、「知っている。利用した」は30歳代(29.0%)が約3割で高く、30歳代以上は若い年代ほど高くなっています。認知度は60歳代以下が9割程度以上、70歳代(77.0%)が約8割と高い一方、80歳以上(46.3%)は4割以上となっています。

【全体／前回・前々回との比較、性別、年代別】(1つ回答)





## ②介護休業制度

◆「知っている。利用したことはない」が6割以上で最も高く、認知度は約7割

◆認知度は過去2回の調査より高い

◆認知度は男性や50歳代が高く、80歳以上が低い

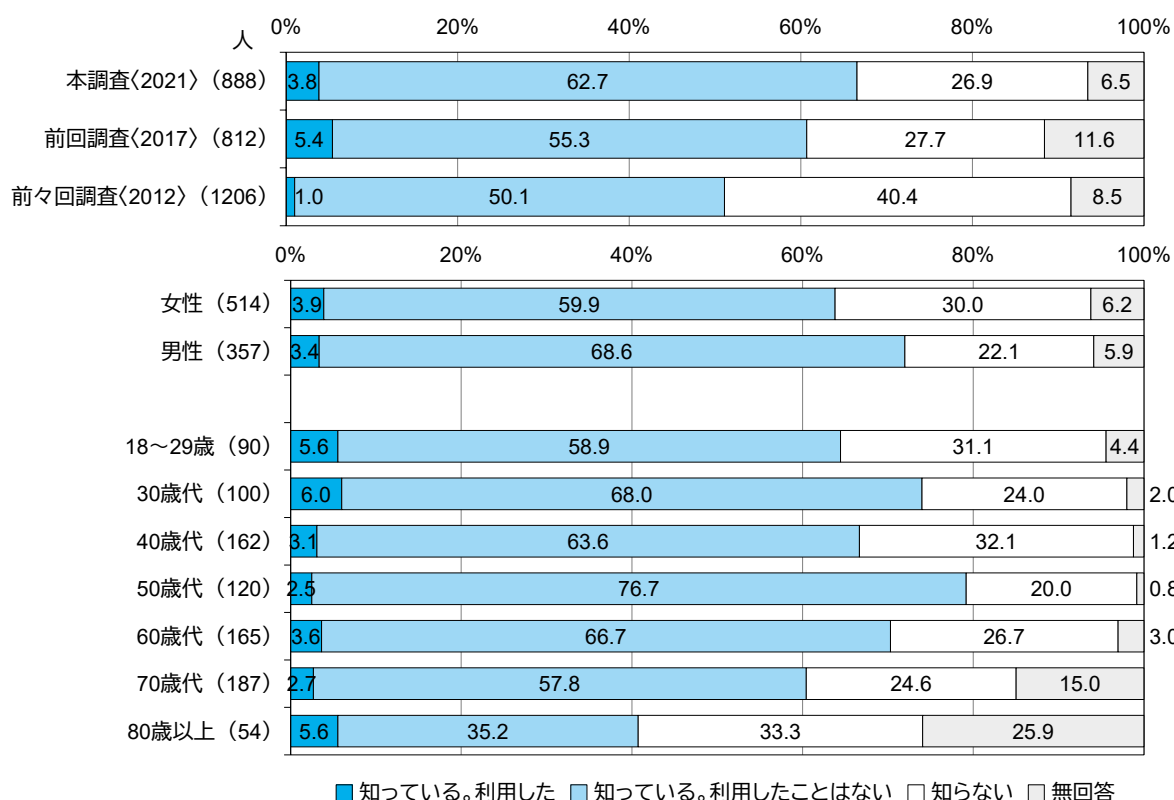
「知っている。利用したことはない」(62.7%)が6割以上で最も高く、次いで「知らない」(26.9%)が約3割となっています。「知っている。利用した」「知っている。利用したことはない」を合わせた認知度(66.5%)は約7割となっています。

過去2回の調査と比較すると、認知度は前回(60.7%)より若干高く、前々回(51.1%)より15.4ポイント高くなっています。

性別による大きな違いは見られませんが、認知度は女性(63.8%)が6割以上、男性(72.0%)が7割以上で、男性が女性より8.2ポイント高くなっています。

年代別では、認知度は50歳代(79.2%)が約8割で最も高い一方、80歳以上(40.8%)は4割程度となっています。

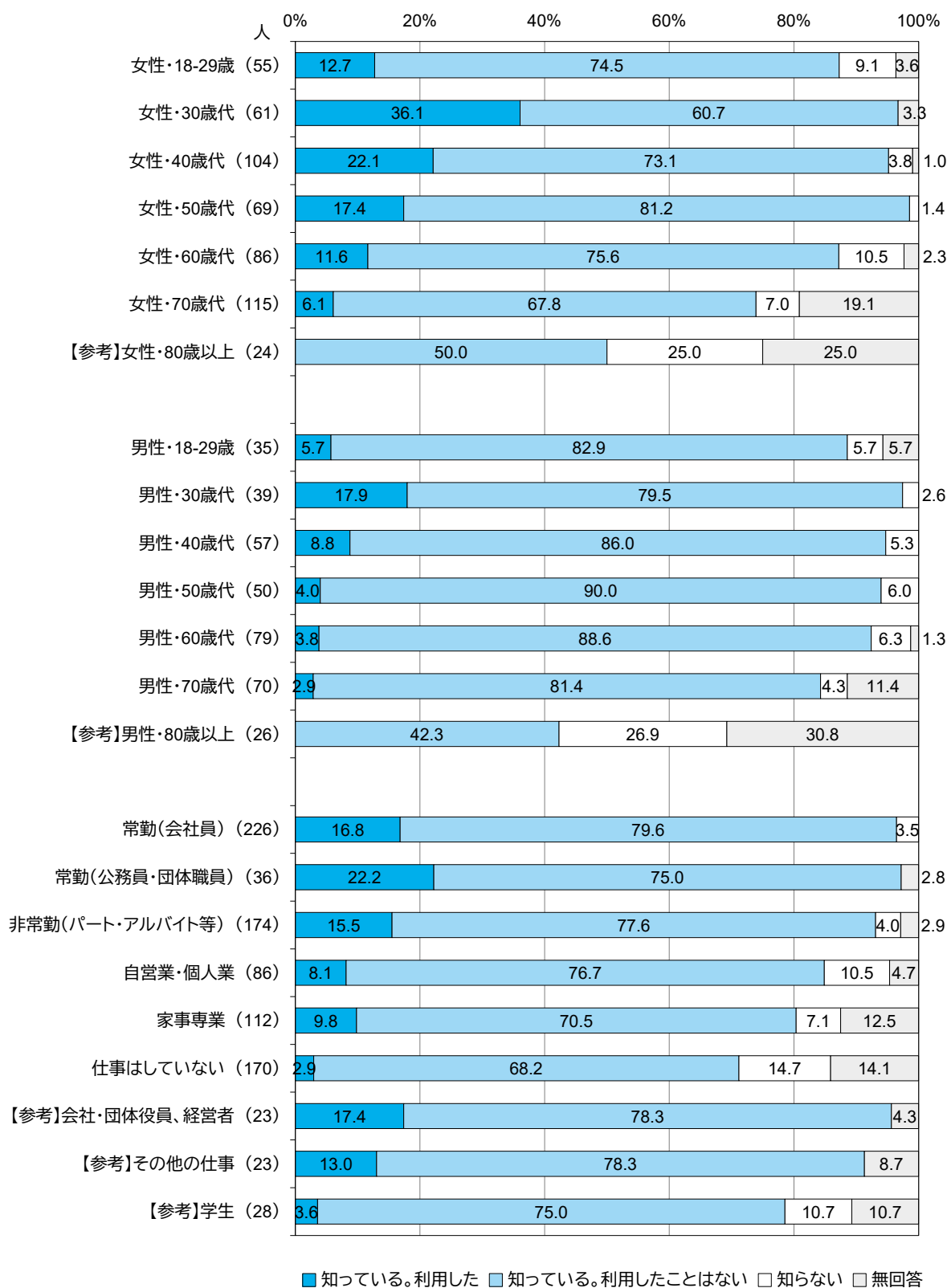
【全体／前回・前々回との比較、性別、年代別】(1つ回答)



〈参考：性・年代別、職業別〉

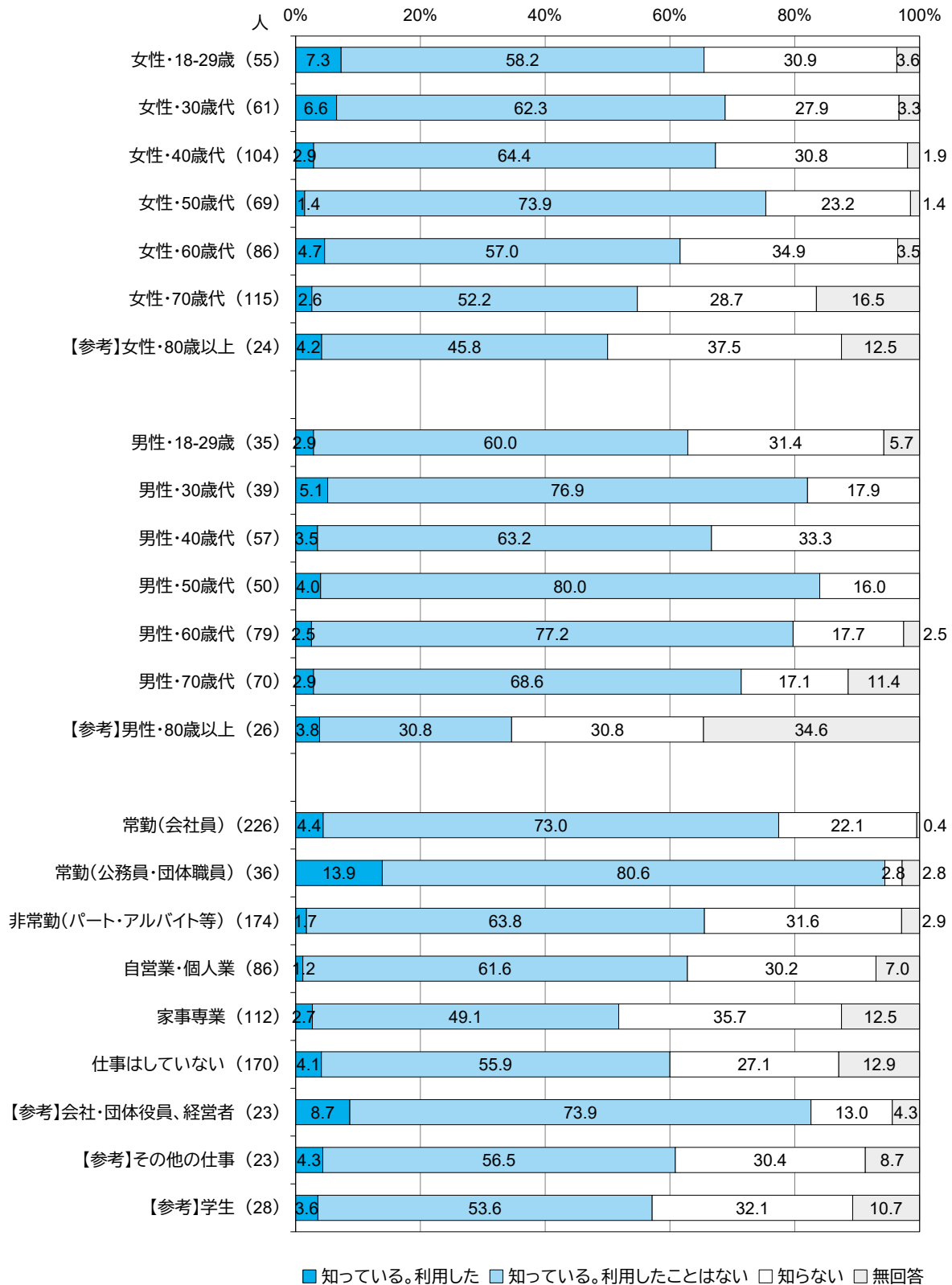
①育児休業制度

【性・年代別、職業別】（1つ回答）



## ②介護休業制度

【性・年代別、職業別】（1つ回答）



## 問16 育児・介護休業制度を利用したことがない理由

育児・介護休業制度を利用したことはない理由は何ですか。（複数回答）

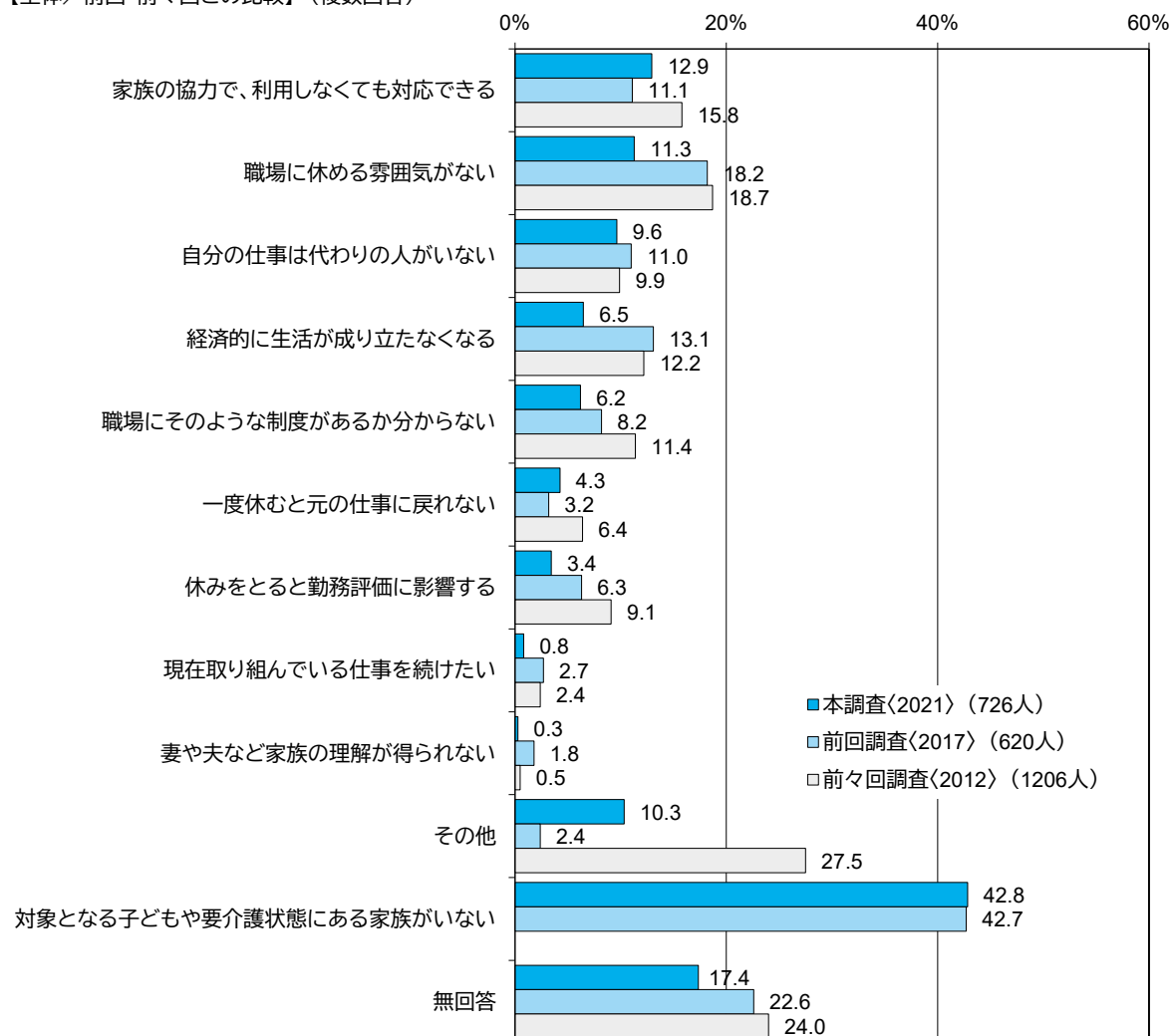
育児・介護休業制度を利用したことがない方のみ（問15①または②で「知っている。利用したことはない」の選択者のみ）

◆「対象となる子どもや家族がいない」が4割以上で最も高く、次いで「家族の協力に対応」「休める雰囲気がない」が1割以上

「対象となる子どもや要介護状態にある家族がいない」（42.8%）が4割で最も高く、これを除くと「家族の協力で、利用しなくても対応できる」「職場に休める雰囲気がない」（それぞれ12.9%、11.3%）が1割以上で同程度に高くなっています。

過去2回の調査と比較すると、大きな変化は見られません。

【全体／前回・前々回との比較】（複数回答）



※前々回調査では、利用経験を問わず、全回答者を対象として構成比率を算出  
 ※「対象となる子どもや要介護状態にある家族がいない」は前回調査から設定

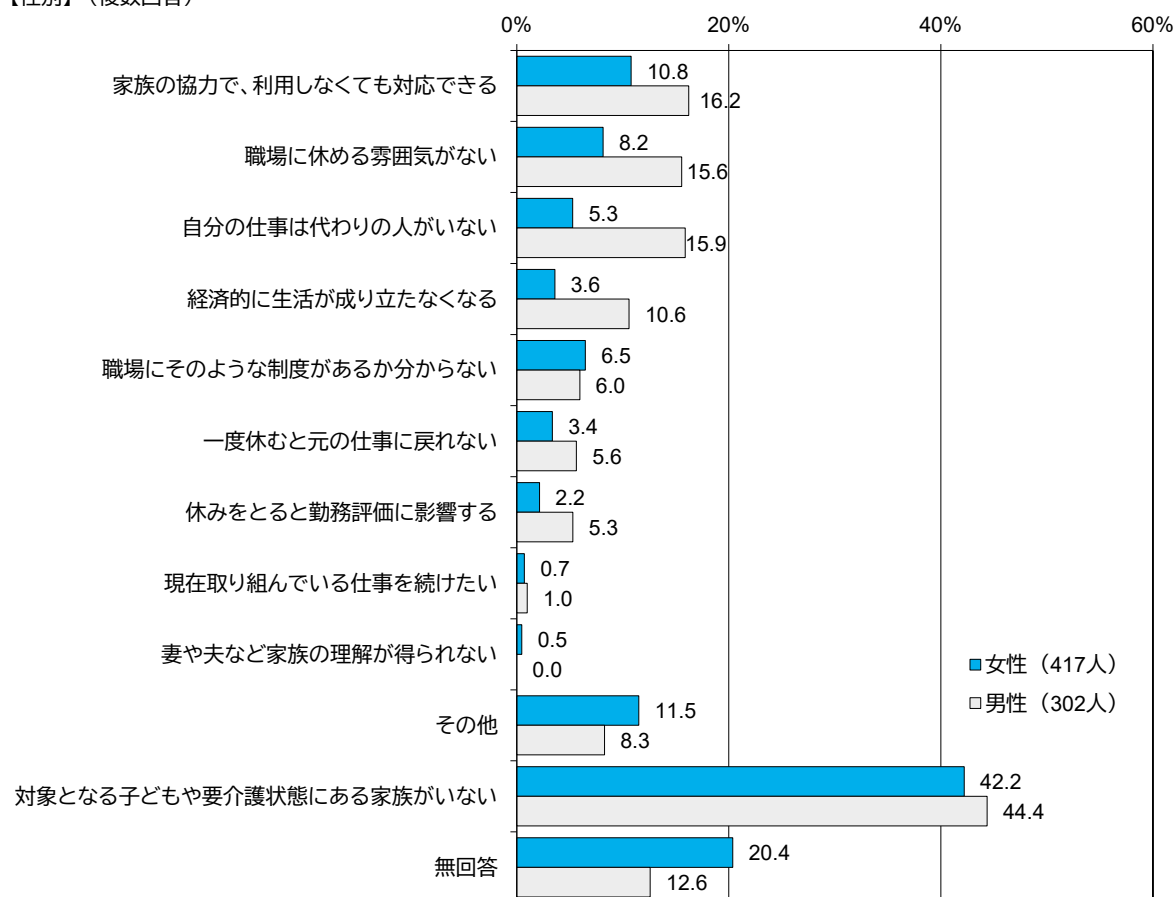
◆男女とも「対象となる子どもや家族がいない」が4割以上、次いで「家族の協力で対応」が1割以上

◆「自分の仕事は代わりがない」は男性が高い

性別では、男女とも「対象となる子どもや要介護状態にある家族がいない」（女性 42.2%、男性 44.4%）が4割以上で最も高く、これと「その他」（女性 11.5%、男性 8.3%）を除くと、男女とも「家族の協力で、利用しなくても対応できる」（女性 10.8%、男性 16.2%）が1割以上で最も高く、次いで男性は「自分の仕事は代わりの人がいない」「職場に休める雰囲気がない」（それぞれ 15.9%、15.6%）が同程度となっています。

「自分の仕事は代わりの人がいない」は性別による違いが見られ、男性が女性（5.3%）より10.6ポイント高くなっています。

【性別】（複数回答）



#### ◆40歳代以下は「休める雰囲気がない」、50歳代以上は「家族の協力で対応」が高い

すべての年代で最も高い「対象となる子どもや要介護状態にある家族がいない」や「その他」を除くと、40歳代以下は「職場に休める雰囲気がない」、50歳代以上は「家族の協力で、利用しなくても対応できる」が最も高くなっています。

【年代別】（複数回答）

|                         | % | 18～<br>29歳 | 30歳<br>代 | 40歳<br>代 | 50歳<br>代 | 60歳<br>代 | 70歳<br>代 | 80歳<br>以上 |
|-------------------------|---|------------|----------|----------|----------|----------|----------|-----------|
| 人                       |   | 72         | 86       | 142      | 113      | 140      | 141      | 27        |
| 家族の協力で、利用しなくても対応できる     |   | 2.8        | 11.6     | 11.3     | 20.4     | 15.0     | 12.1     | 18.5      |
| 職場に休める雰囲気がない            |   | 5.6        | 12.8     | 19.0     | 15.9     | 11.4     | 3.5      | 0.0       |
| 自分の仕事は代わりの人がいない         |   | 1.4        | 8.1      | 9.9      | 15.9     | 14.3     | 5.7      | 3.7       |
| 経済的に生活が成り立たなくなる         |   | 2.8        | 3.5      | 8.5      | 8.8      | 8.6      | 4.3      | 7.4       |
| 職場にそのような制度があるか分からない     |   | 4.2        | 8.1      | 10.6     | 5.3      | 5.0      | 4.3      | 0.0       |
| 一度休むと元の仕事に戻れない          |   | 2.8        | 1.2      | 7.0      | 5.3      | 5.7      | 2.8      | 0.0       |
| 休みをとると勤務評価に影響する         |   | 2.8        | 5.8      | 6.3      | 1.8      | 2.9      | 1.4      | 0.0       |
| 現在取り組んでいる仕事を続けたい        |   | 0.0        | 0.0      | 0.7      | 0.9      | 1.4      | 0.7      | 3.7       |
| 妻や夫など家族の理解が得られない        |   | 0.0        | 0.0      | 0.7      | 0.0      | 0.7      | 0.0      | 0.0       |
| その他                     |   | 5.6        | 11.6     | 4.9      | 11.5     | 10.7     | 16.3     | 7.4       |
| 対象となる子どもや要介護状態にある家族がいない |   | 69.4       | 38.4     | 36.6     | 41.6     | 42.1     | 44.7     | 25.9      |
| 無回答                     |   | 12.5       | 29.1     | 16.2     | 11.5     | 11.4     | 19.9     | 33.3      |

※■色表示は各年代で最も高い値（「その他」、「対象となる子どもや要介護状態にある家族がいない」、無回答を除く）

#### 〈参考：職業別〉

【職業別】（複数回答）

| %                       | 常勤<br>(会社員) | 常勤<br>(公務員・<br>団体職員) | 非常勤<br>(パート・<br>アルバイト等) | 自営業・<br>個人業 | 家事<br>専業 | 仕事は<br>してい<br>ない | 【参考】<br>会社・団体<br>役員、経営者 | 【参考】<br>その他の<br>仕事 | 【参考】<br>学生 |
|-------------------------|-------------|----------------------|-------------------------|-------------|----------|------------------|-------------------------|--------------------|------------|
| 人                       | 203         | 31                   | 154                     | 67          | 87       | 120              | 19                      | 19                 | 21         |
| 家族の協力で、利用しなくても対応できる     | 9.4         | 19.4                 | 13.6                    | 17.9        | 14.9     | 13.3             | 21.1                    | 15.8               | 0.0        |
| 職場に休める雰囲気がない            | 17.2        | 19.4                 | 9.7                     | 9.0         | 11.5     | 5.0              | 5.3                     | 10.5               | 4.8        |
| 自分の仕事は代わりの人がいない         | 11.8        | 9.7                  | 1.3                     | 23.9        | 5.7      | 7.5              | 42.1                    | 15.8               | 0.0        |
| 経済的に生活が成り立たなくなる         | 9.9         | 0.0                  | 5.8                     | 9.0         | 4.6      | 3.3              | 10.5                    | 10.5               | 0.0        |
| 職場にそのような制度があるか分からない     | 5.9         | 3.2                  | 9.1                     | 1.5         | 8.0      | 5.0              | 5.3                     | 10.5               | 4.8        |
| 一度休むと元の仕事に戻れない          | 5.9         | 3.2                  | 3.9                     | 7.5         | 3.4      | 1.7              | 0.0                     | 10.5               | 0.0        |
| 休みをとると勤務評価に影響する         | 6.4         | 0.0                  | 2.6                     | 1.5         | 0.0      | 4.2              | 0.0                     | 10.5               | 0.0        |
| 現在取り組んでいる仕事を続けたい        | 0.0         | 0.0                  | 1.3                     | 1.5         | 1.1      | 1.7              | 0.0                     | 0.0                | 0.0        |
| 妻や夫など家族の理解が得られない        | 0.0         | 0.0                  | 0.6                     | 0.0         | 1.1      | 0.0              | 0.0                     | 0.0                | 0.0        |
| その他                     | 6.9         | 3.2                  | 8.4                     | 14.9        | 16.1     | 13.3             | 10.5                    | 15.8               | 4.8        |
| 対象となる子どもや要介護状態にある家族がいない | 47.8        | 41.9                 | 44.8                    | 32.8        | 32.2     | 40.8             | 42.1                    | 42.1               | 81.0       |
| 無回答                     | 17.7        | 22.6                 | 16.2                    | 10.4        | 23.0     | 19.2             | 5.3                     | 10.5               | 4.8        |

※■色表示は各職業等で最も高い値（「その他」、「対象となる子どもや要介護状態にある家族がいない」、無回答を除く・対象者が少ない「会社・団体役員、経営者」「その他の仕事」「学生」を除く）

## 4. 地域での男女共同参画について

### 問17 地域活動での男女共同参画について

町内会、ボランティアなどの「地域活動」での男女共同参画についてどのように思いますか。  
(複数回答)

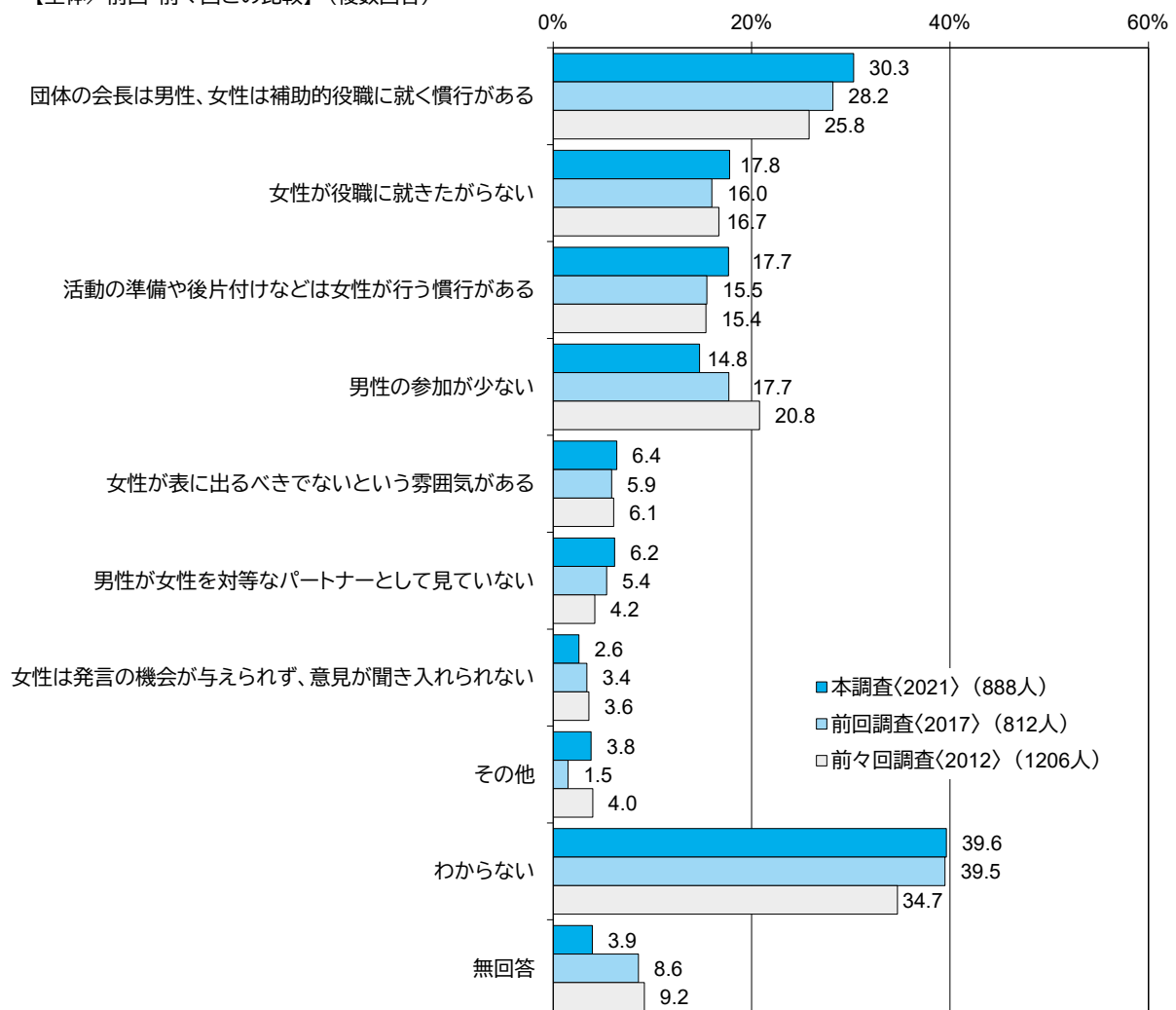
◆「わからない」が約4割で最も高く、次いで「会長は男性、女性は補助役職に就く慣行がある」が3割以上

◆過去2回の調査と比較して大きな変化は見られない

「わからない」(39.6%)が約4割で最も高く、次いで「団体の会長は男性、女性は補助的役職に就く慣行がある」(30.3%)が3割以上となっています。

過去2回の調査と比較すると、大きな変化は見られません。

【全体／前回・前々回との比較】(複数回答)



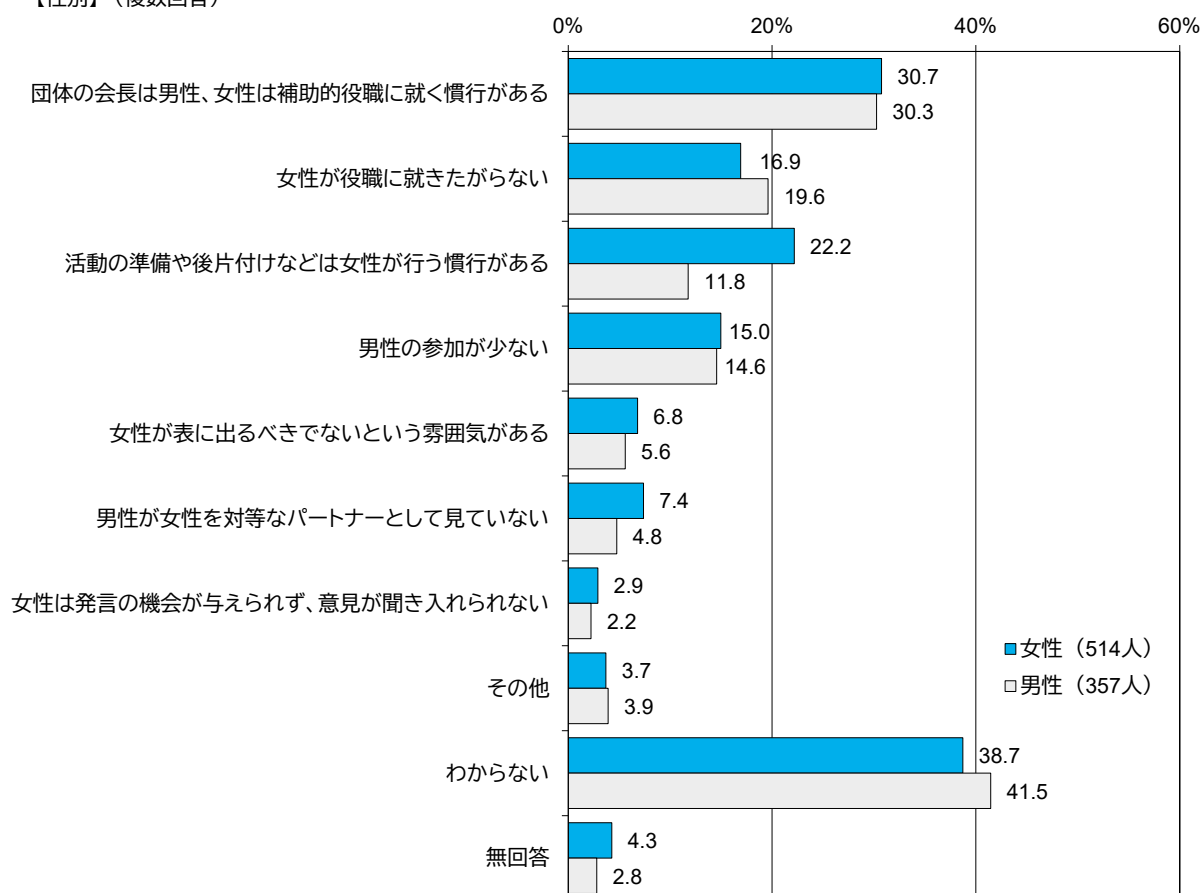
◆男女とも「わからない」が約4割、次いで「会長は男性、女性は補助役職に就く慣行がある」が3割以上

◆「準備や後片付けは女性が行う慣行がある」は女性が高い

性別では、男女とも「わからない」（女性 38.7%、男性 41.5%）が約4割で最も高く、次いで「団体の会長は男性、女性は補助的役職に就く慣行がある」（女性 30.7%、男性 30.3%）が3割以上となっています。

「活動の準備や後片付けなどは女性が行う慣行がある」は性別による違いが見られ、女性（22.2%）が男性（11.8%）より10.4ポイント高くなっています。

【性別】（複数回答）





◆50歳代以下は「わからない」、60歳代以上は「会長は男性、女性は補助役職に就く慣行がある」が最も高い

◆「わからない」は若い年代ほど高い

年代別では、50歳代以下は「わからない」が約4～6割、60歳代以上は「団体の会長は男性、女性は補助的役職に就く慣行がある」が約3～4割で最も高くなっています。

「わからない」は年代による違いが見られ、30歳代（66.0%）や18～29歳（56.7%）が約6割で高い一方、70歳代（23.5%）や80歳以上（24.1%）は3割未満となっており、概ね若い年代ほど高くなっています。

【年代別】（複数回答）

|                            | % | 18～<br>29歳 | 30歳<br>代 | 40歳<br>代 | 50歳<br>代 | 60歳<br>代 | 70歳<br>代 | 80歳<br>以上 |
|----------------------------|---|------------|----------|----------|----------|----------|----------|-----------|
| 人                          |   | 90         | 100      | 162      | 120      | 165      | 187      | 54        |
| 団体の会長は男性、女性は補助的役職に就く慣行がある  |   | 24.4       | 14.0     | 28.4     | 25.8     | 39.4     | 38.5     | 31.5      |
| 女性が役職に就きたがらない              |   | 6.7        | 7.0      | 9.3      | 24.2     | 26.1     | 24.6     | 20.4      |
| 活動の準備や後片付けなどは女性が行う慣行がある    |   | 11.1       | 10.0     | 16.0     | 21.7     | 20.0     | 20.3     | 24.1      |
| 男性の参加が少ない                  |   | 14.4       | 9.0      | 12.3     | 14.2     | 15.2     | 20.3     | 14.8      |
| 女性が表に出るべきでないという雰囲気がある      |   | 4.4        | 2.0      | 5.6      | 6.7      | 7.3      | 9.1      | 5.6       |
| 男性が女性を対等なパートナーとして見ていない     |   | 4.4        | 4.0      | 6.2      | 5.8      | 6.1      | 9.6      | 3.7       |
| 女性は発言の機会が与えられず、意見が聞き入れられない |   | 5.6        | 0.0      | 1.9      | 4.2      | 2.4      | 3.2      | 0.0       |
| その他                        |   | 5.6        | 5.0      | 3.7      | 3.3      | 3.0      | 3.7      | 1.9       |
| わからない                      |   | 56.7       | 66.0     | 48.1     | 39.2     | 30.9     | 23.5     | 24.1      |
| 無回答                        |   | 0.0        | 0.0      | 1.2      | 0.8      | 1.8      | 10.7     | 14.8      |

※ ■色表示は各年代で最も高い値

## 問18 男女共同参画推進のための法律・制度・事業の認知状況

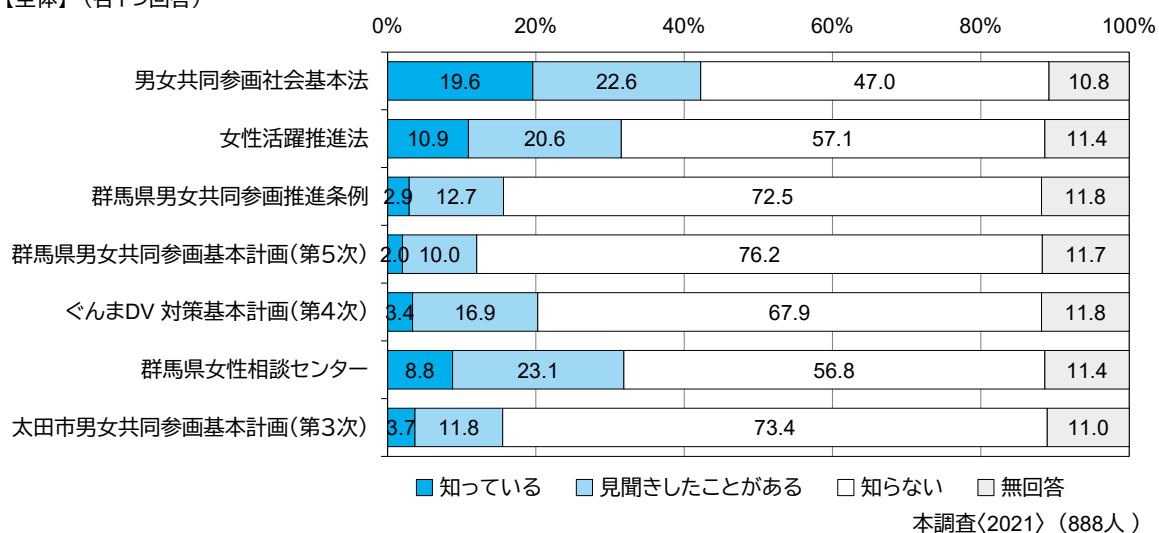
あなたは、男女共同参画推進のための、次の法律や制度や事業を知っていますか。  
(各1つ回答)

◆すべての項目で「知らない」が最も高い

◆認知度は「男女共同参画社会基本法」が4割以上、次いで「群馬県女性相談センター」「女性活躍推進法」が3割以上

すべての項目で「知らない」が最も高くなっています。「知っている」「見聞きしたことがある」を合わせた認知度は「男女共同参画社会基本法」(42.2%)が4割以上で最も高く、次いで「群馬県女性相談センター」「女性活躍推進法」(それぞれ31.9%、31.5%)が3割以上となっています。

【全体】(各1つ回答)



## ①男女共同参画社会基本法

◆認知度は4割以上で、前々回より高く、前回と同程度

◆性別による大きな違いは見られない

◆認知度は18～29歳が約8割で特に高い

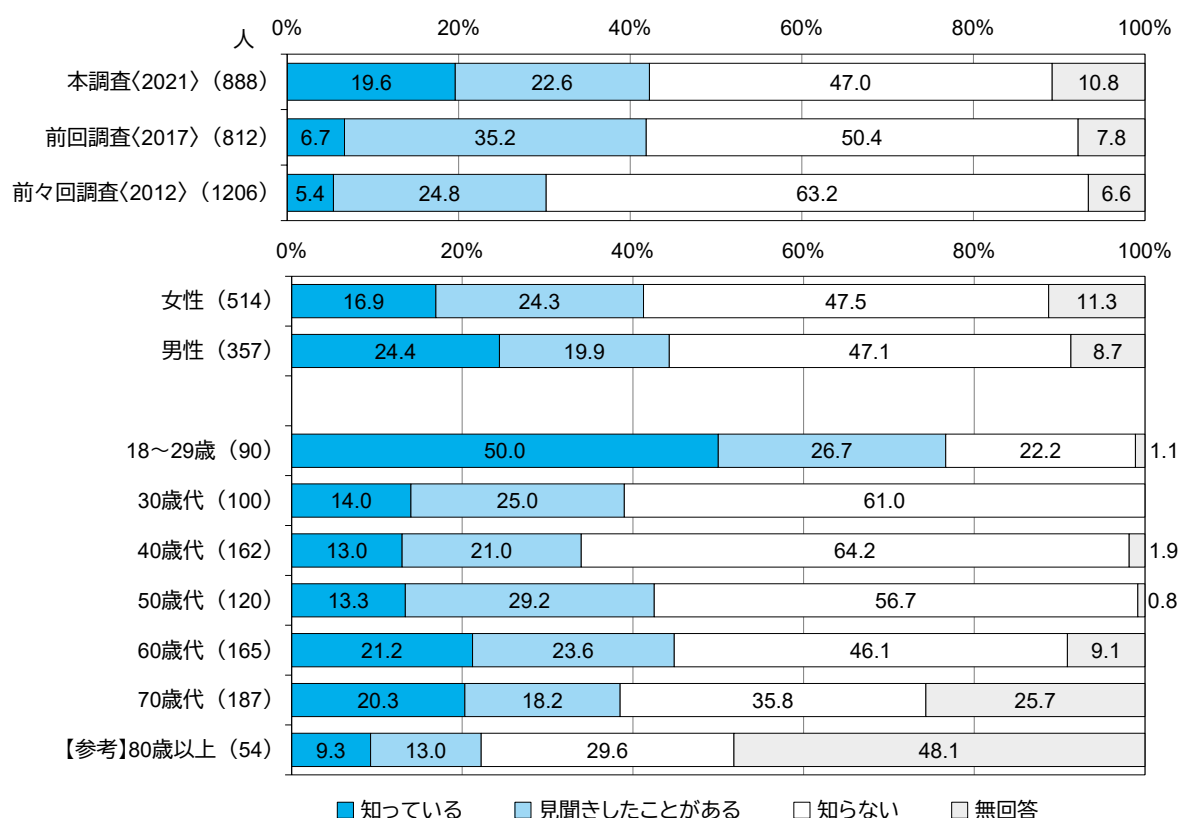
「知っている」(19.6%)は約2割、「見聞きしたことがある」(22.6%)は2割以上、これらを合わせた認知度(42.2%)は4割以上となっています。

過去2回の調査と比較すると、認知度は前回(41.9%)とは同程度で、前々回(30.2%)より12.0ポイント高くなっています。

性別による大きな違いは見られません。

年代別では、認知度は18～29歳代(76.7%)が約8割で特に高く、次いで50・60歳代(それぞれ42.5%、44.8%)が4割以上となっています。

【全体／前回・前々回との比較、性別、年代別】(1つ回答)



※前回調査は「聞いたことがある」「内容を知っている」「知らない」、前々回調査は「名前を聞いたことがある」「内容を知っている」「知らなかった」として設定  
 ※80歳以上は無回答が多いため参考表示

## ②女性活躍推進法

◆認知度は3割以上で、前回と同程度

◆性別による大きな違いは見られない

◆認知度は18～29歳が5割以上で特に高い

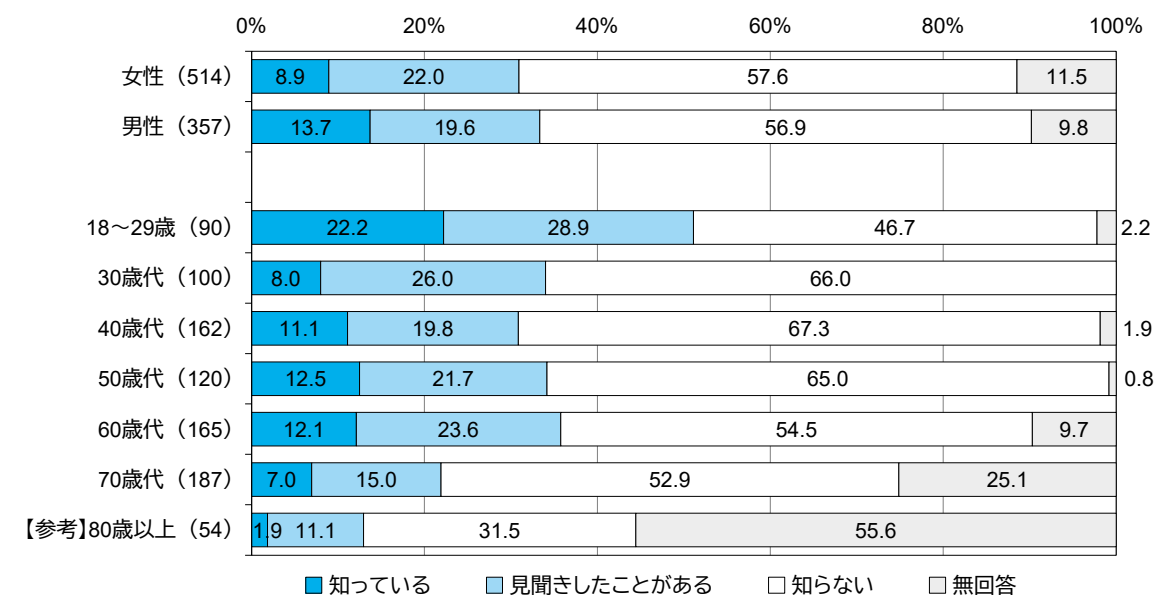
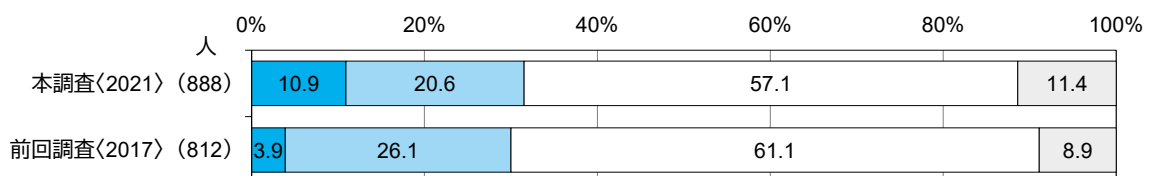
「知っている」(10.9%)は1割以上、「見聞きしたことがある」(20.6%)は2割以上、これらを合わせた認知度(31.5%)は3割以上となっています。

前回調査と比較すると、大きな変化は見られません。

性別による大きな違いは見られません。

年代別では、認知度は18～29歳代(51.1%)が5割以上で特に高く、次いで30～60歳代が3割以上となっています。

【全体／前回・前々回との比較、性別、年代別】(1つ回答)



※前回調査から設定。前回調査は「聞いたことがある」「内容を知っている」「知らない」として設定

※80歳以上は無回答が多いため参考表示

### ③群馬県男女共同参画推進条例

#### ◆認知度は1割以上で、過去2回の調査と同程度

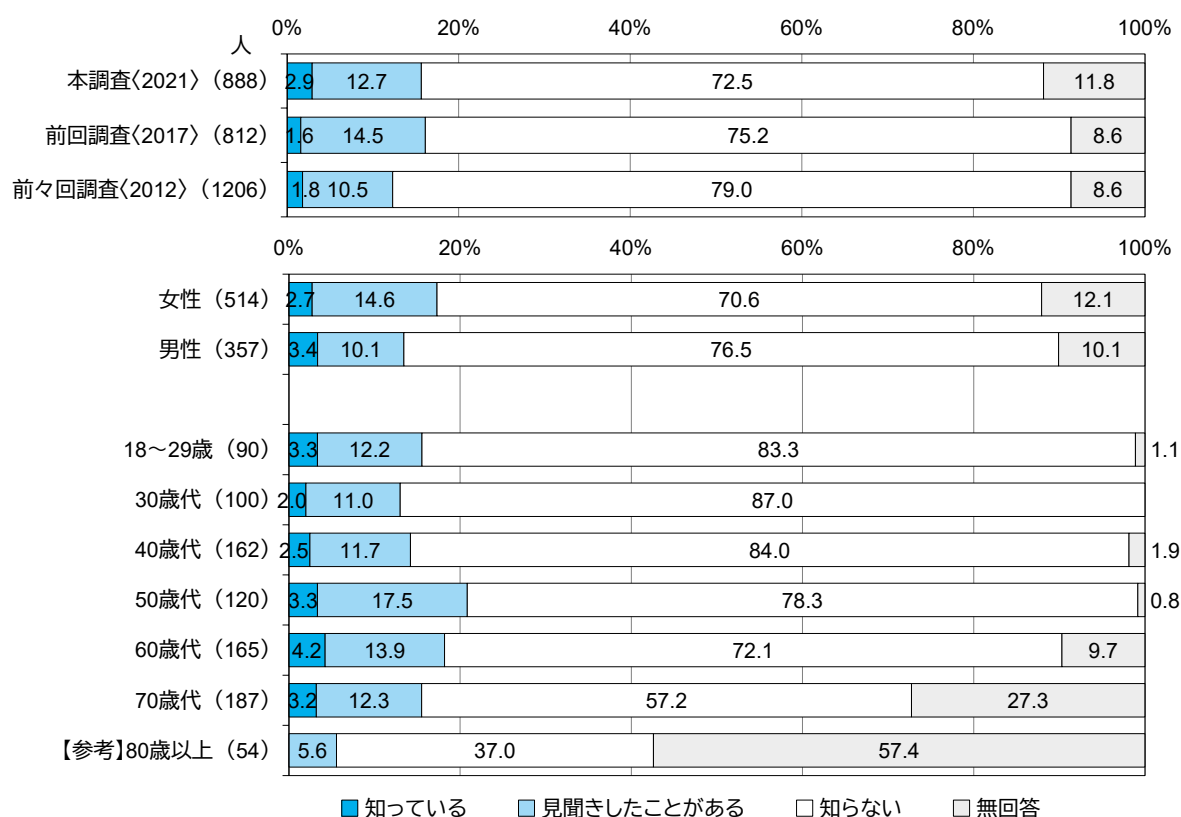
#### ◆性別や年代による大きな違いは見られない

「知っている」(2.9%)は1割未満、「見聞きしたことがある」(12.7%)は1割以上、これらを合わせた認知度(15.6%)は1割以上となっています。

過去2回の調査と比較すると、大きな変化は見られません。

性別や年代による大きな違いは見られません。

【全体／前回・前々回との比較、性別、年代別】(1つ回答)



※80歳以上は無回答が多いため参考表示

#### ④群馬県男女共同参画基本計画（第5次）

##### ◆認知度は1割以上で、過去2回の調査と同程度

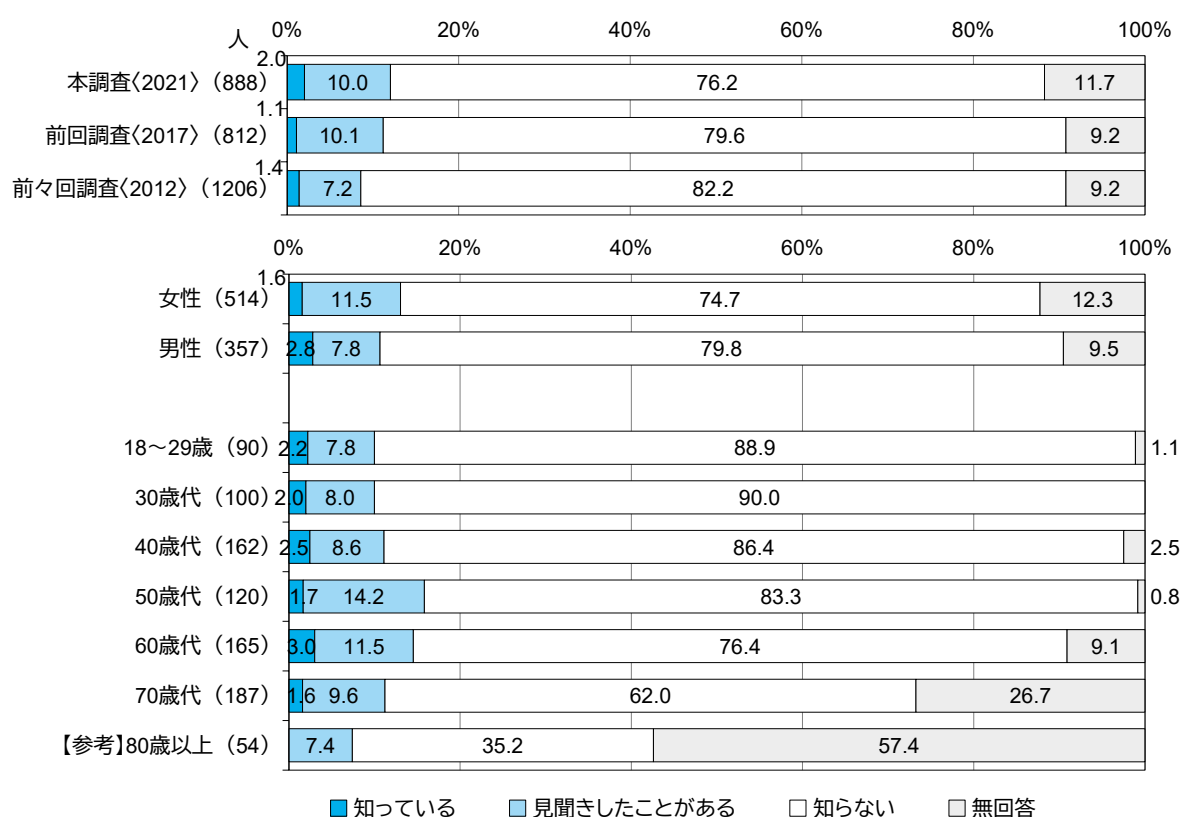
##### ◆性別や年代による大きな違いは見られない

「知っている」（2.0％）は1割未満、「見聞きしたことがある」（10.0％）は1割、これらを合わせた認知度（12.0％）は1割以上となっています。

過去2回の調査と比較すると、大きな変化は見られません。

性別や年代による大きな違いは見られません。

【全体／前回・前々回との比較、性別、年代別】（1つ回答）



※80歳以上は無回答が多いため参考表示

## ⑤ぐんま DV 対策基本計画（第4次）

### ◆認知度は2割以上で、過去2回の調査と同程度

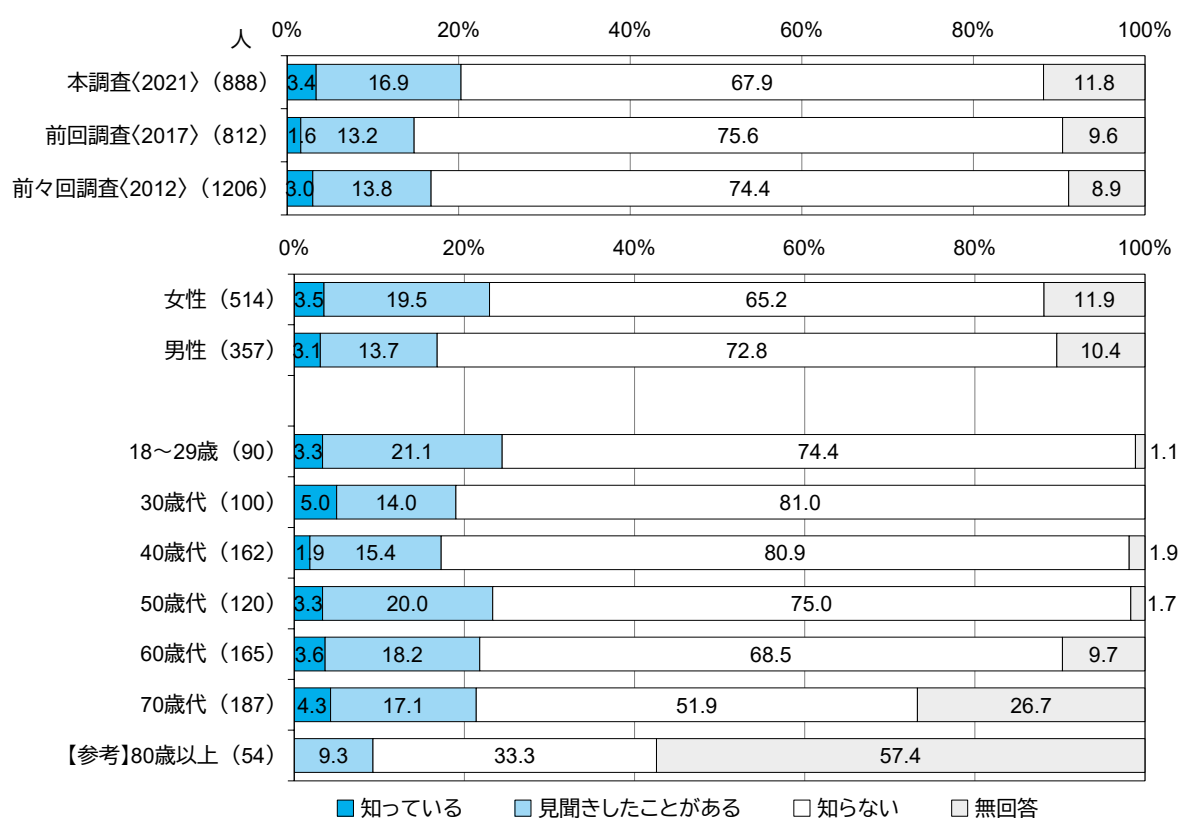
### ◆性別や年代による大きな違いは見られない

「知っている」（3.4％）は1割未満、「見聞きしたことがある」（16.9％）は約2割、これらを合わせた認知度（20.3％）は2割以上となっています。

過去2回の調査と比較すると、大きな変化は見られません。

性別や年代による大きな違いは見られません。

【全体／前回・前々回との比較、性別、年代別】（1つ回答）



※80 歳以上は無回答が多いため参考表示

## ⑥群馬県女性相談センター

◆認知度は3割以上で、過去2回の調査と同程度

◆認知度は女性が高い

◆年代による大きな違いは見られない

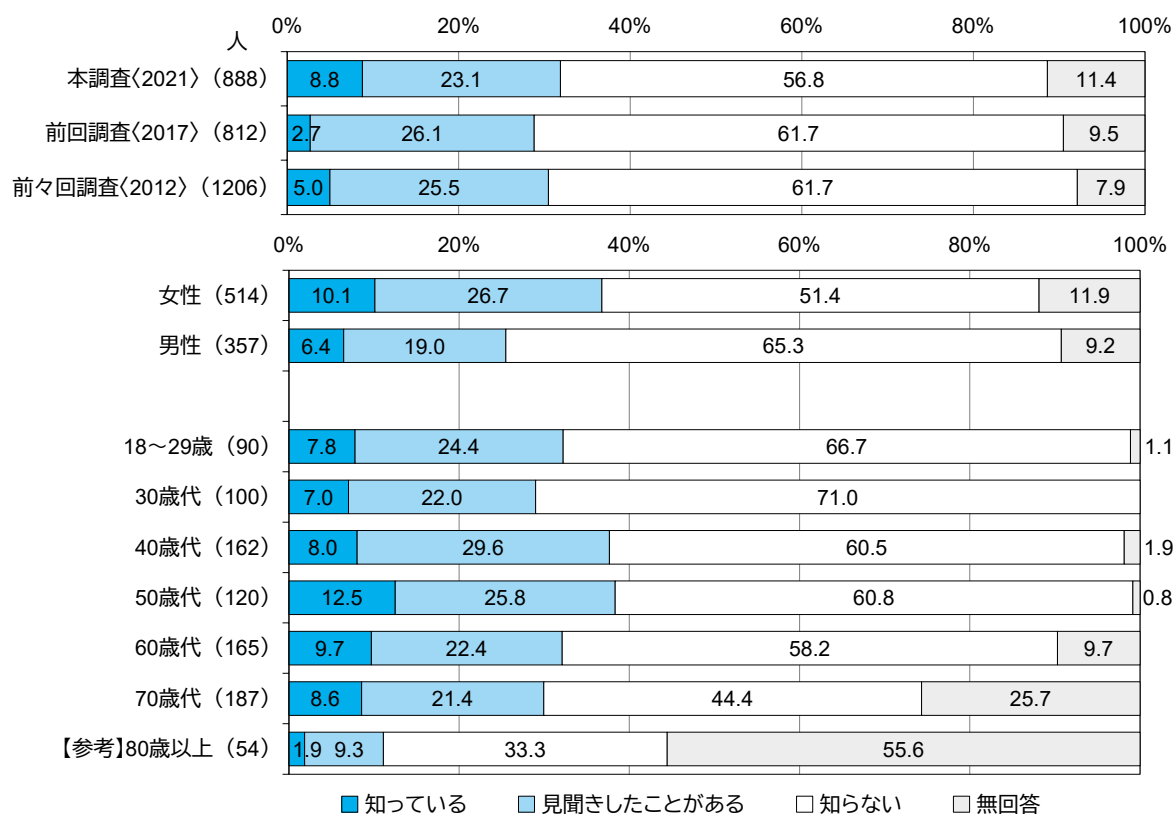
「知っている」(8.8%)は1割未満、「見聞きしたことがある」(23.1%)は2割以上、これらを合わせた認知度(31.9%)は3割以上となっています。

過去2回の調査と比較すると、大きな変化は見られません。

性別では、認知度は女性(36.8%)が男性(25.4%)より11.4ポイント高くなっています。

年代による大きな違いは見られません。

【全体／前回・前々回との比較、性別、年代別】(1つ回答)



※80歳以上は無回答が多いため参考表示



## ⑦太田市男女共同参画基本計画（第3次）

### ◆認知度は1割以上で、過去2回の調査と同程度

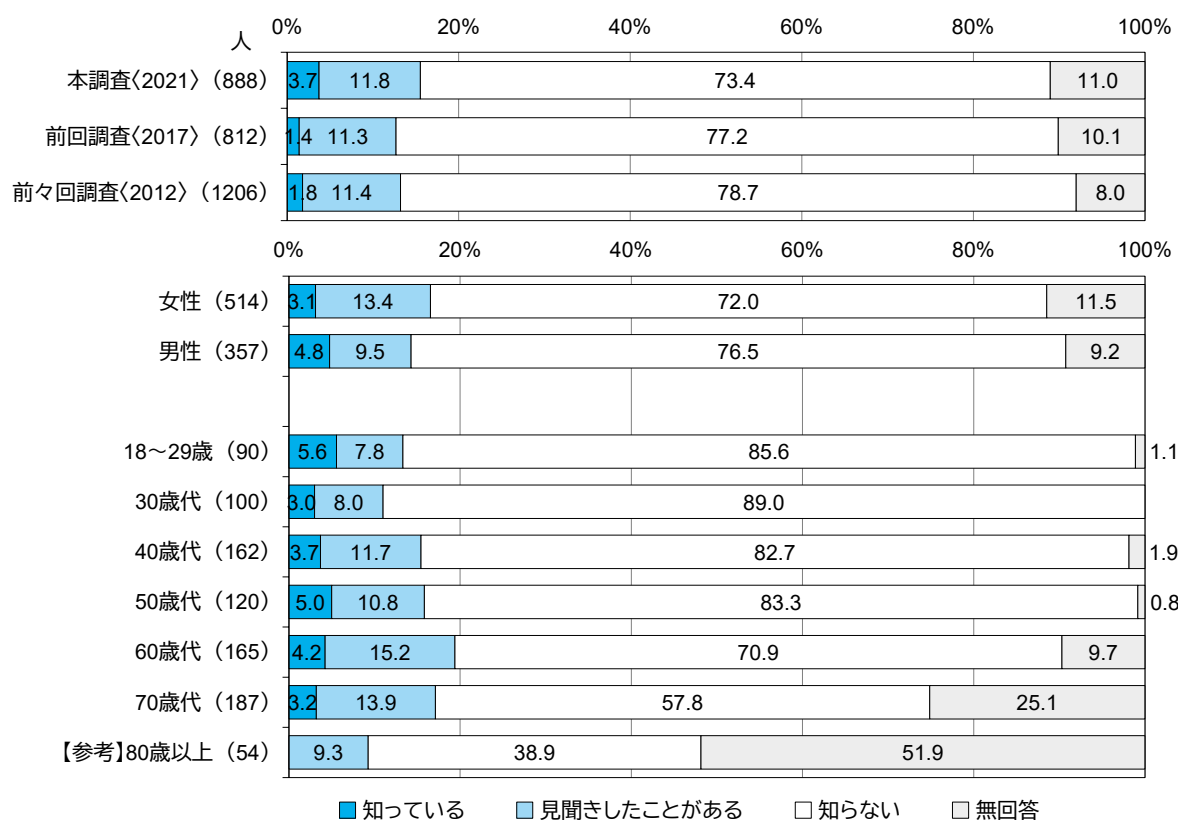
### ◆性別や年代による大きな違いは見られない

「知っている」（3.7％）は1割未満、「見聞きしたことがある」（11.8％）は1割以上、これらを合わせた認知度（15.5％）は1割以上となっています。

過去2回の調査と比較すると、大きな変化は見られません。

性別や年代による大きな違いは見られません。

【全体／前回・前々回との比較、性別、年代別】（1つ回答）

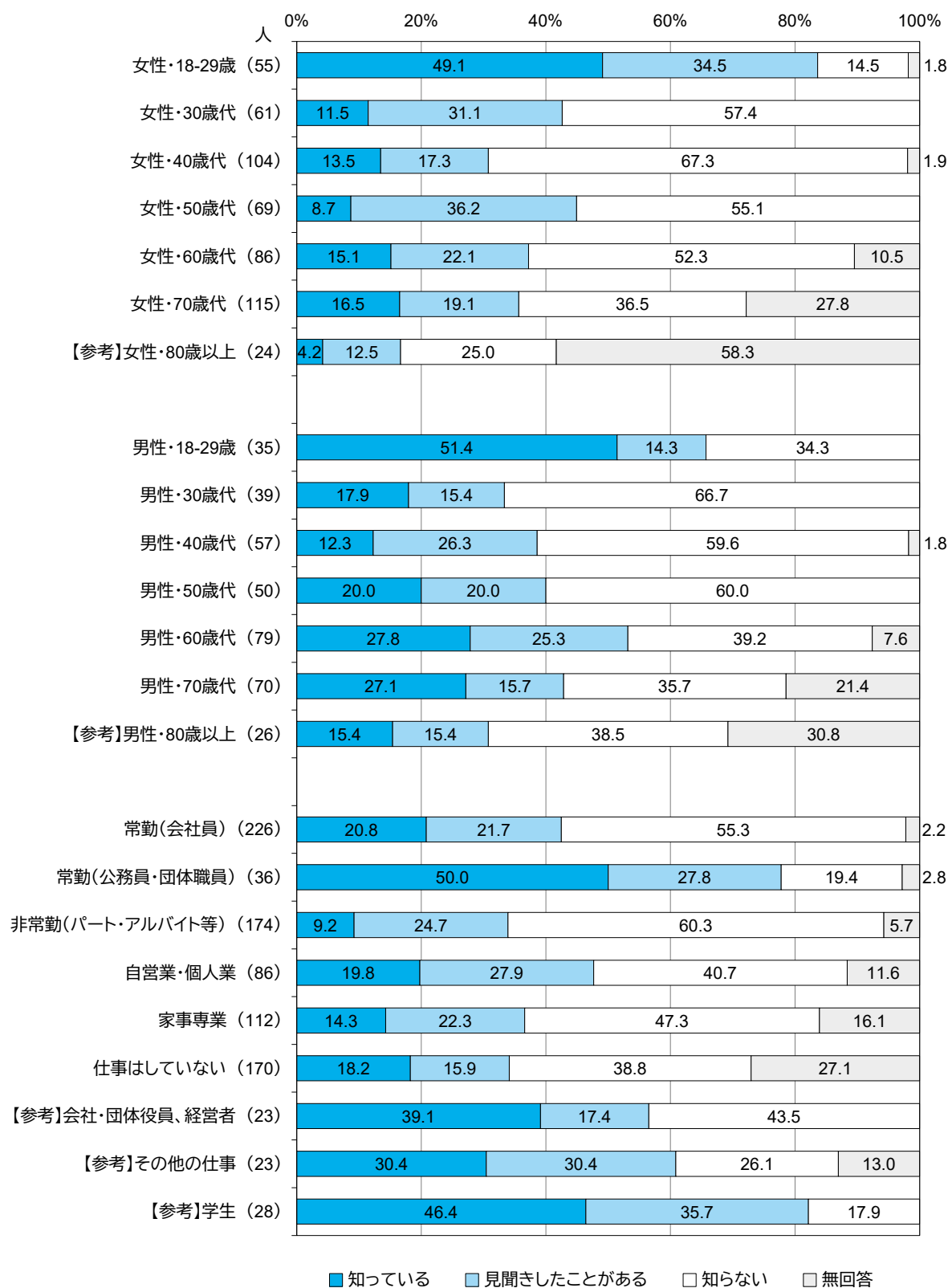


※80歳以上は無回答が多いため参考表示

〈参考：性・年代別、職業別〉

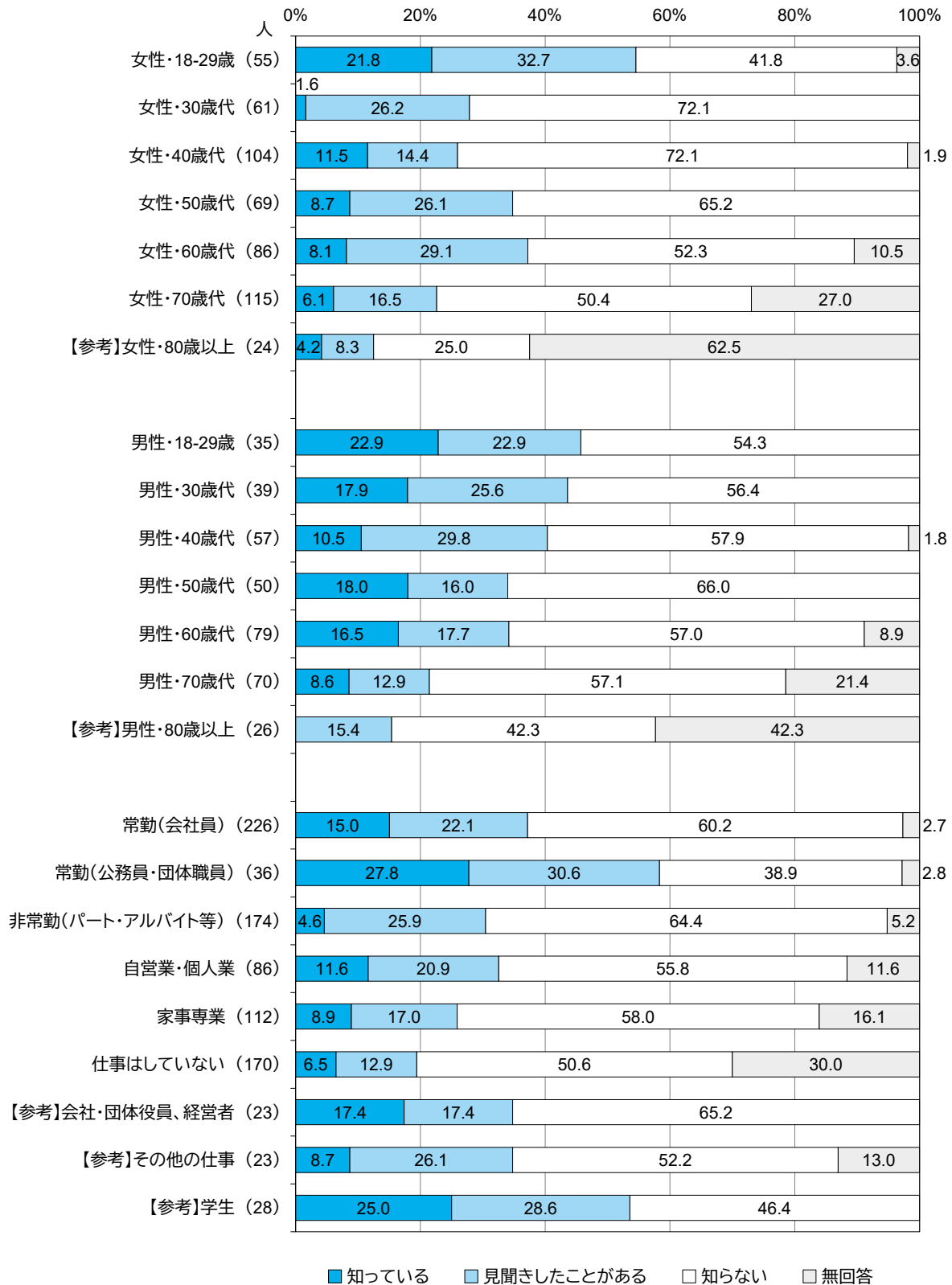
①男女共同参画社会基本法

【性・年代別、職業別】（1つ回答）



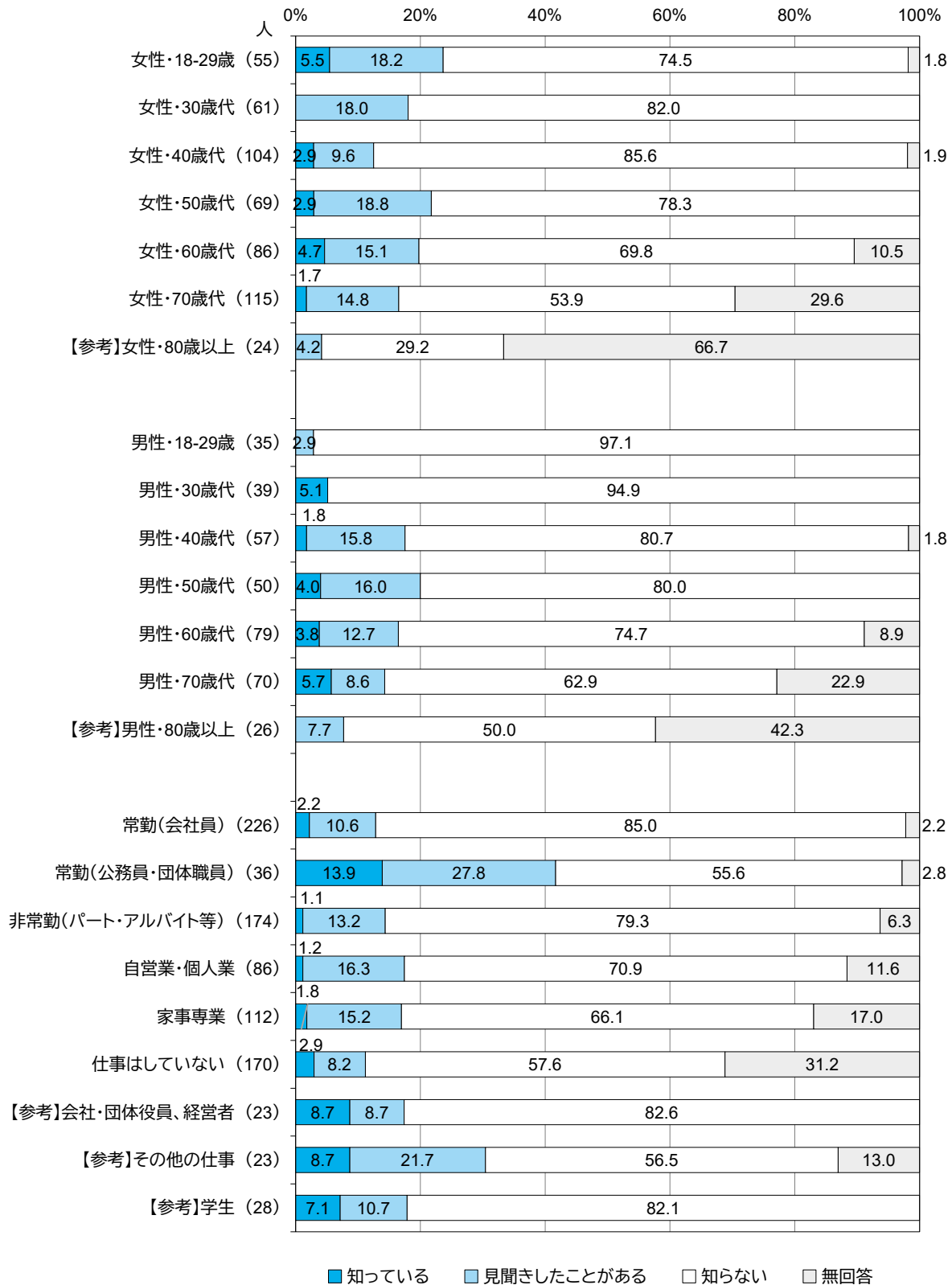
## ②女性活躍推進法

【性・年代別、職業別】（1つ回答）



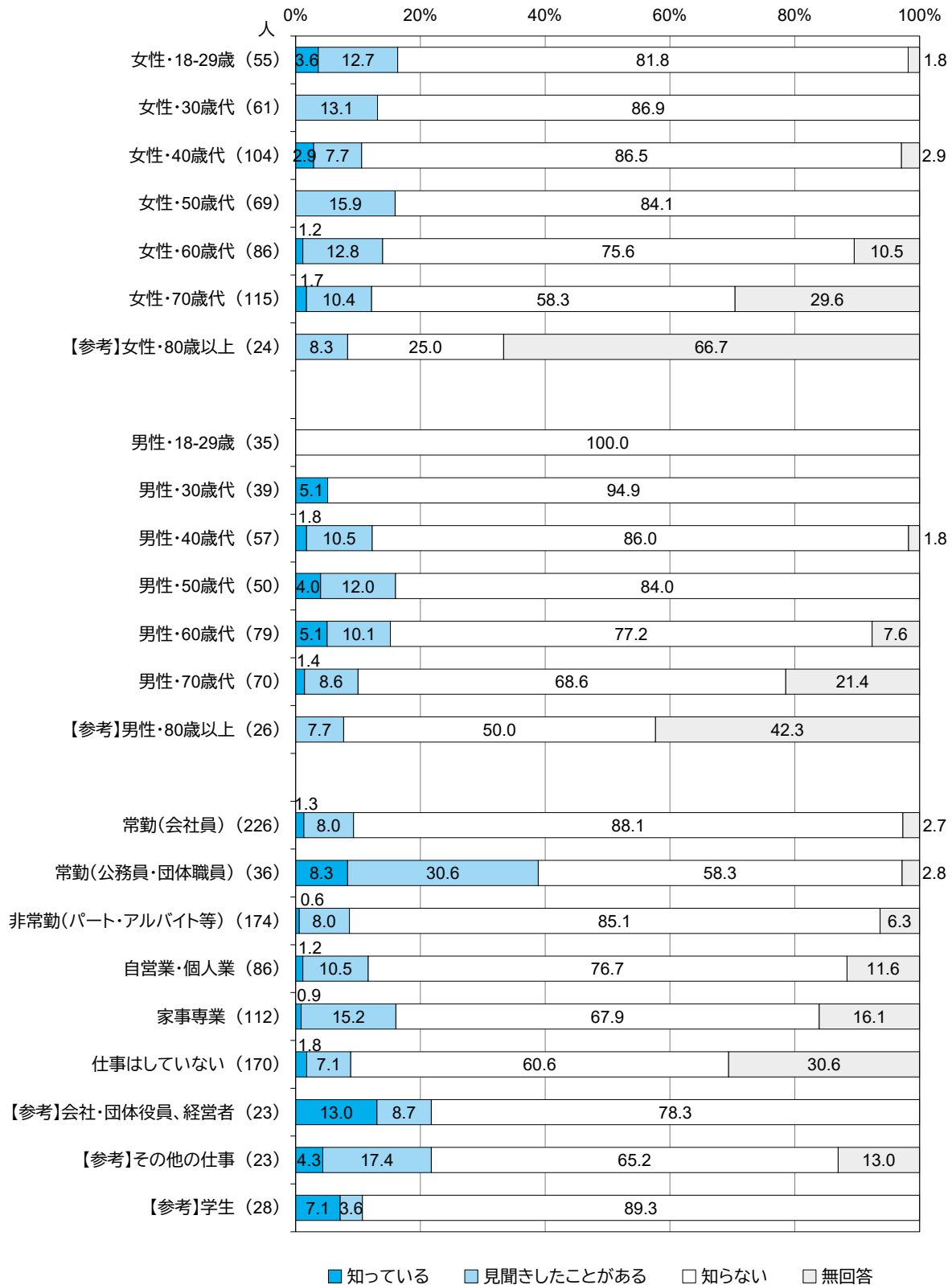
### ③群馬県男女共同参画推進条例

【性・年代別、職業別】（1つ回答）



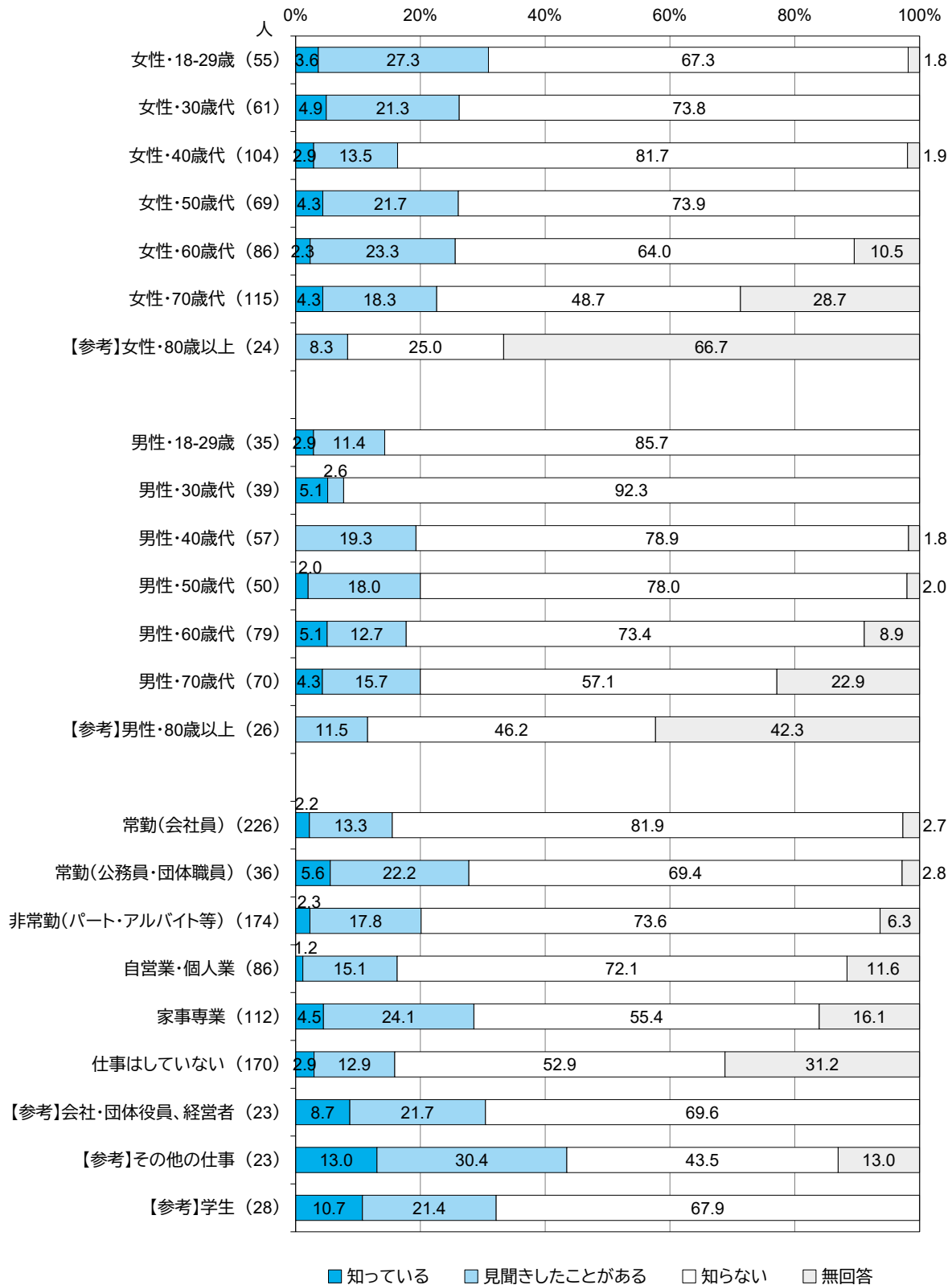
#### ④群馬県男女共同参画基本計画(第5次)

【性・年代別、職業別】(1つ回答)



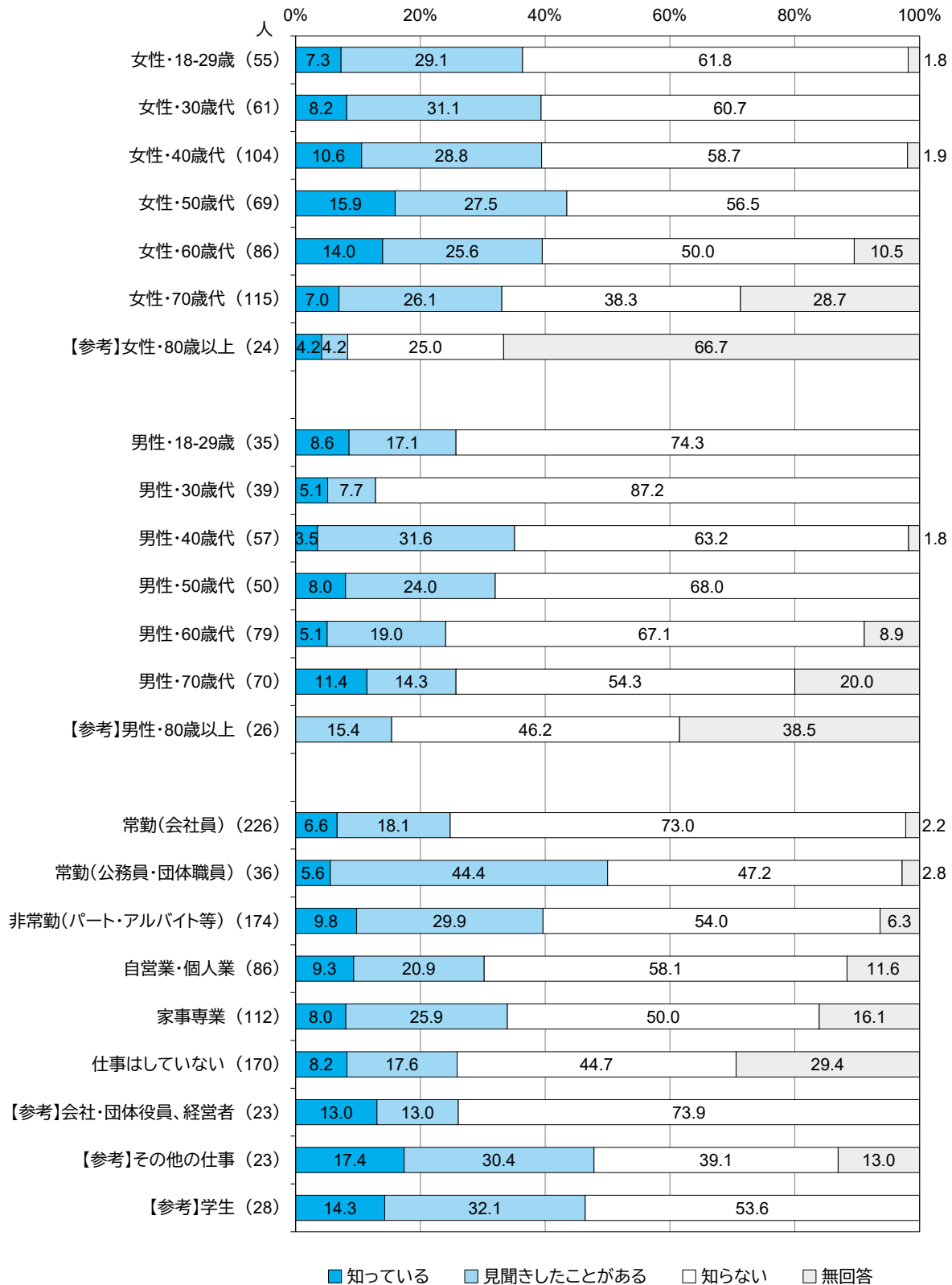
## ⑤ぐんま DV 対策基本計画(第4次)

【性・年代別、職業別】(1つ回答)



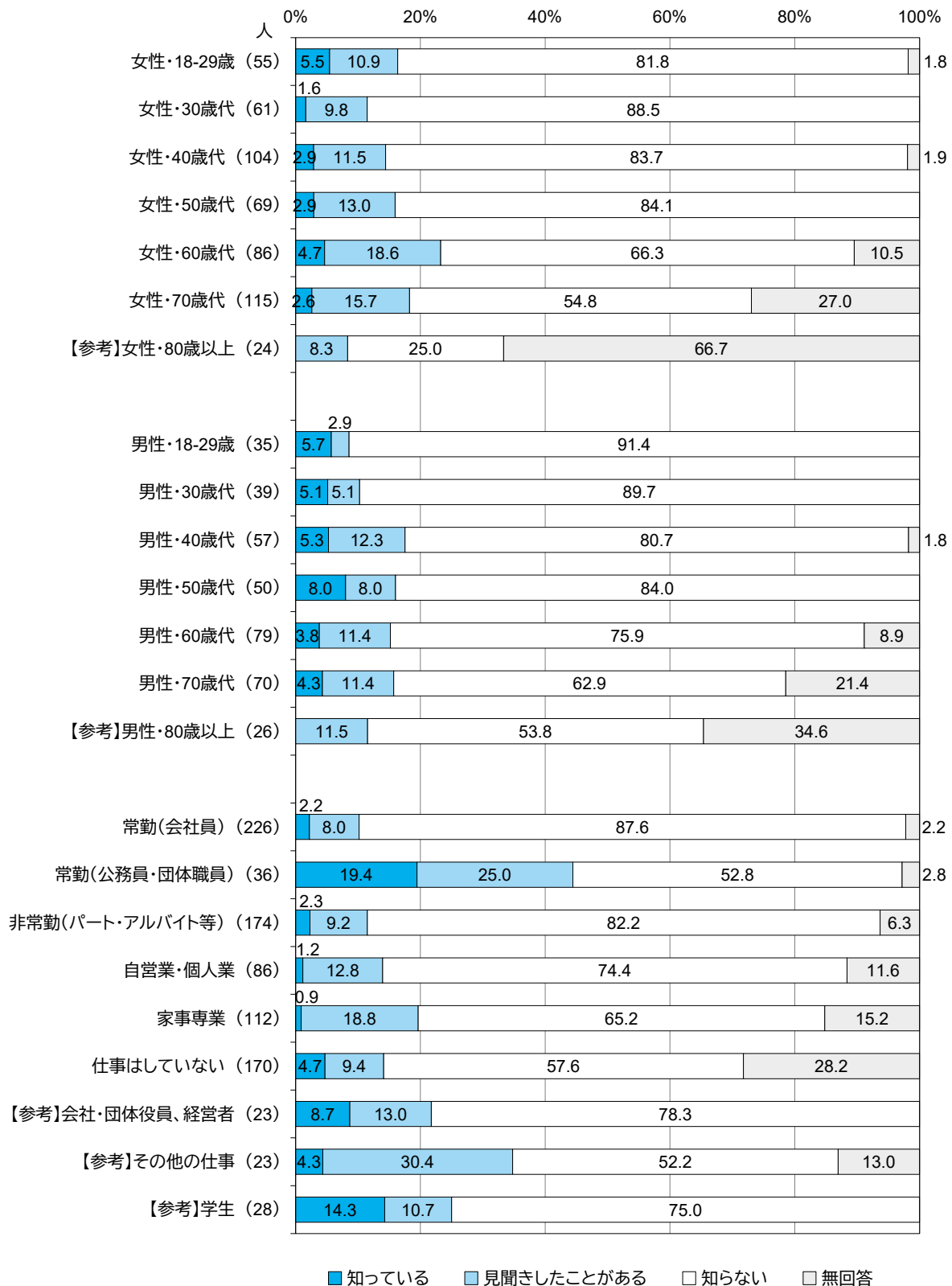
## ⑥群馬県女性相談センター

【性・年代別、職業別】（1つ回答）



# ⑦太田市男女共同参画基本計画(第3次)

【性・年代別、職業別】(1つ回答)





## 5. 女性に対する暴力の防止・被害者支援について

### 問19 DV経験・身近で見聞き等の有無

ドメスティック・バイオレンス（DV）の被害者は多くの場合、女性です。  
あなたはDVを経験したり身近で見聞きしたことがありますか。（複数回答）

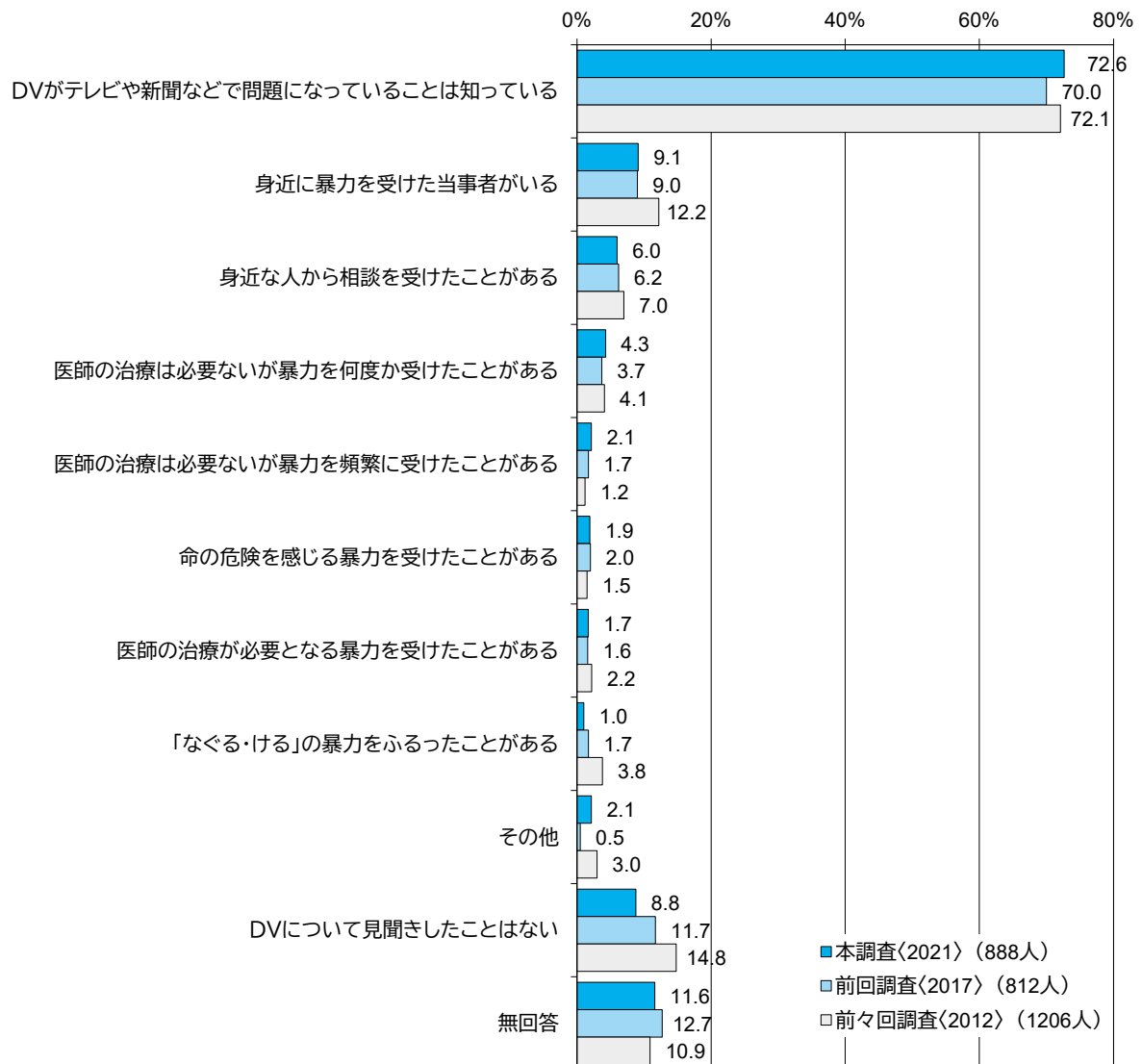
◆「テレビや新聞などで問題になっていることは知っている」が7割以上で特に高い

◆過去2回の調査からの大きな変化は見られない

「DVがテレビや新聞などで問題になっていることは知っている」（72.6%）が7割以上で特に高く、次いで「身近に暴力を受けた当事者がいる」（9.1%）が約1割となっています。

過去2回の調査と比較すると、大きな変化は見られません。

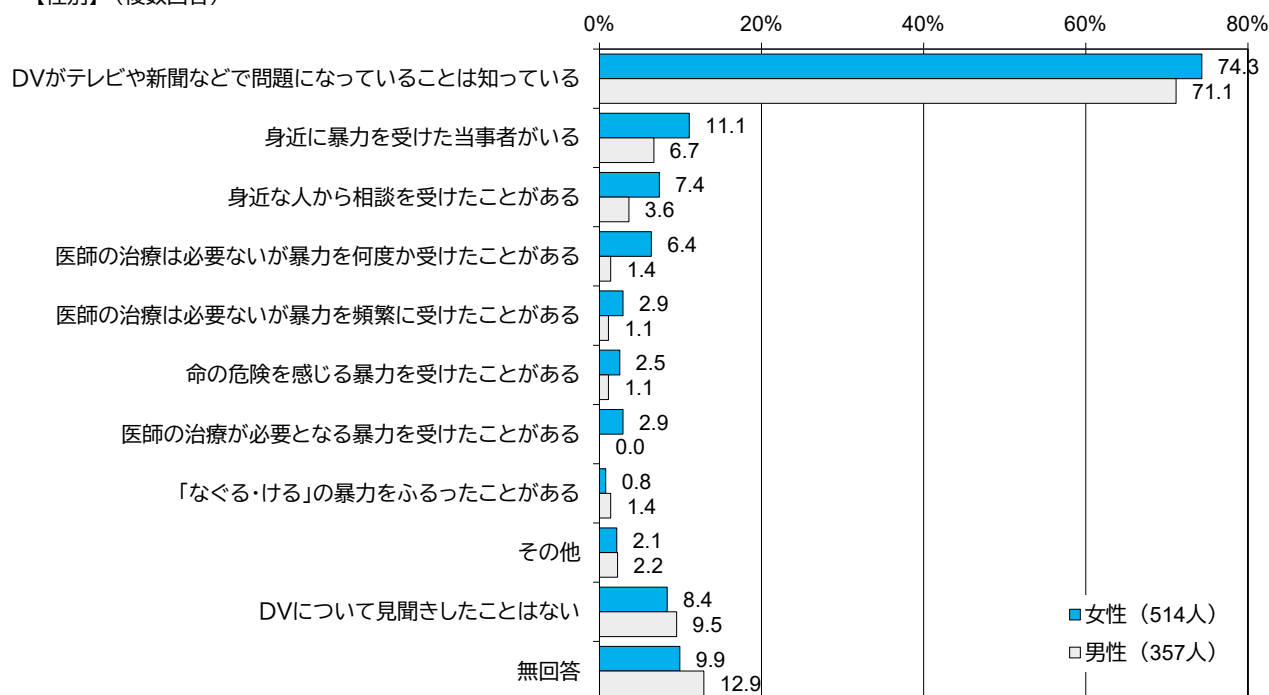
【全体／前回・前々回との比較】（複数回答）



## ◆ほとんどの項目で女性が男性より高い

性別による大きな違いは見られませんが、「『なぐる・ける』の暴力をふるったことがある」「その他」「DVについて見聞きしたことはない」を除くすべての項目で女性が男性より若干高くなっています。

【性別】（複数回答）



## ◆80歳以上は「テレビや新聞などで問題になっていることは知っている」が5割未満

年代別では、すべての年代で「DVがテレビや新聞などで問題になっていることは知っている」が最も高くなっていますが、その中で80歳以上（48.1%）は5割未満で低くなっています。

【年代別】（複数回答）

|                              | % | 18～29歳 | 30歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60歳代 | 70歳代 | 80歳以上 |
|------------------------------|---|--------|------|------|------|------|------|-------|
| 人                            |   | 90     | 100  | 162  | 120  | 165  | 187  | 54    |
| DVがテレビや新聞などで問題になっていることは知っている |   | 72.2   | 74.0 | 73.5 | 75.0 | 82.4 | 69.0 | 48.1  |
| 身近に暴力を受けた当事者がいる              |   | 7.8    | 13.0 | 12.3 | 7.5  | 9.1  | 7.5  | 3.7   |
| 身近な人から相談を受けたことがある            |   | 6.7    | 5.0  | 6.8  | 9.2  | 5.5  | 4.8  | 3.7   |
| 医師の治療は必要ないが暴力を何度か受けたことがある    |   | 2.2    | 6.0  | 5.6  | 5.0  | 2.4  | 5.3  | 1.9   |
| 医師の治療は必要ないが暴力を頻繁に受けたことがある    |   | 4.4    | 1.0  | 3.1  | 1.7  | 2.4  | 1.1  | 0.0   |
| 命の危険を感じる暴力を受けたことがある          |   | 5.6    | 1.0  | 2.5  | 0.8  | 3.0  | 0.5  | 0.0   |
| 医師の治療が必要となる暴力を受けたことがある       |   | 1.1    | 1.0  | 2.5  | 1.7  | 1.2  | 2.1  | 1.9   |
| 「なぐる・ける」の暴力をふるったことがある        |   | 2.2    | 1.0  | 1.2  | 0.8  | 0.6  | 1.1  | 0.0   |
| その他                          |   | 3.3    | 3.0  | 1.2  | 1.7  | 1.8  | 2.7  | 1.9   |
| DVについて見聞きしたことはない             |   | 16.7   | 11.0 | 8.6  | 12.5 | 4.2  | 3.7  | 14.8  |
| 無回答                          |   | 1.1    | 5.0  | 8.6  | 5.0  | 9.1  | 23.0 | 31.5  |

※色表示は各年代で最も高い値

## 問20 配偶者や恋人等から受けた暴力について相談の有無

あなたは配偶者や恋人などから受けた暴力について、相談したことがありますか。(複数回答)

問19で「命の危険を感じる暴力を受けたことがある」「医師の治療が必要となる暴力を受けたことがある」「医師の治療は必要ないが暴力を頻繁に受けたことがある」「医師の治療は必要ないが暴力を何度か受けたことがある」の選択者のみ

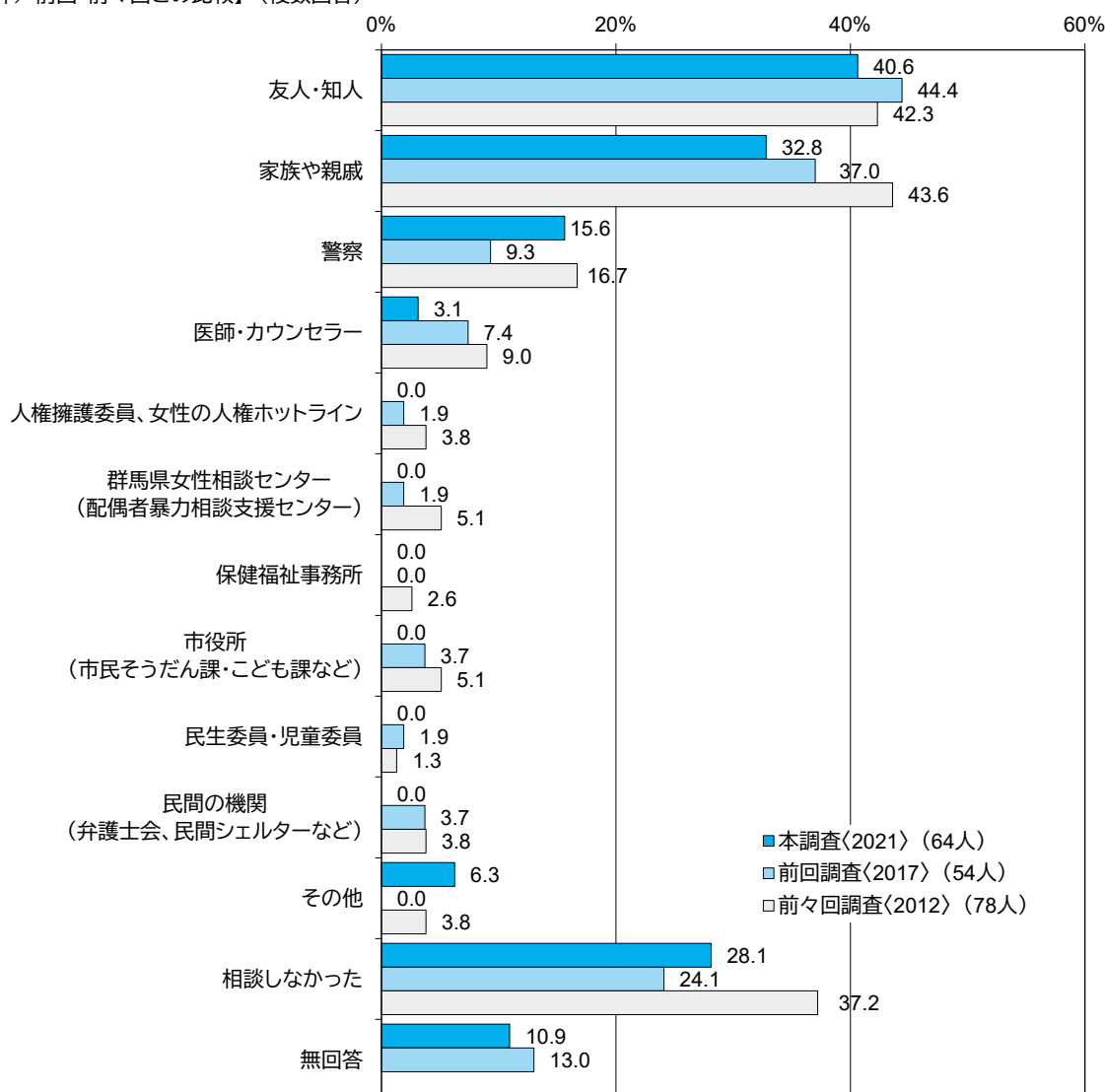
◆「友人・知人」が約4割で最も高く、次いで「家族や親戚」「相談しなかった」が約3割

◆過去2回の調査と比較して大きな変化は見られない

「友人・知人」(40.6%)が4割以上で最も高く、次いで「家族や親戚」「相談しなかった」(それぞれ32.8%、28.1%)が約3割で同程度となっています。

過去2回の調査と比較すると、大きな変化は見られませんが、「人権擁護委員、女性の人権ホットライン」など、前回まで回答が見られた複数の項目で、本調査では回答が見られません。

【全体／前回・前々回との比較】(複数回答)



※本調査では「人権擁護委員、女性の人権ホットライン」「群馬県女性相談センター(配偶者暴力相談支援センター)」「保健福祉事務所」「市役所(市民そうだん課・こども課など)」「民生委員・児童委員」「民間の機関(弁護士会、民間シェルターなど)」は回答が見られない

〈参考：性別、年代別〉

【性別、年代別】（複数回答）

|                            | 人数 | 女性 | 男性 | 18～<br>29 歳 | 30 歳<br>代 | 40 歳<br>代 | 50 歳<br>代 | 60 歳<br>代 | 70 歳<br>代 | 80 歳<br>以上 |
|----------------------------|----|----|----|-------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|
| 人                          | 55 | 9  | 9  | 9           | 7         | 14        | 8         | 8         | 15        | 2          |
| 友人・知人                      | 9  | 1  | 1  | 2           | 1         | 2         | 0         | 2         | 3         | 0          |
| 家族や親戚                      | 20 | 1  | 1  | 2           | 2         | 9         | 2         | 4         | 2         | 0          |
| 警察                         | 21 | 5  | 5  | 6           | 2         | 6         | 2         | 5         | 4         | 1          |
| 医師・カウンセラー                  | 0  | 0  | 0  | 0           | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         | 0          |
| 人権擁護委員、女性の人権ホットライン         | 0  | 0  | 0  | 0           | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         | 0          |
| 群馬県女性相談センター(配偶者暴力相談支援センター) | 0  | 0  | 0  | 0           | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         | 0          |
| 保健福祉事務所                    | 0  | 0  | 0  | 0           | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         | 0          |
| 市役所(市民そうだん課・こども課など)        | 0  | 0  | 0  | 0           | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         | 0          |
| 民生委員・児童委員                  | 0  | 0  | 0  | 0           | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         | 0          |
| 民間の機関(弁護士会、民間シェルターなど)      | 1  | 1  | 1  | 0           | 1         | 0         | 0         | 1         | 0         | 0          |
| その他                        | 4  | 0  | 0  | 0           | 0         | 1         | 0         | 0         | 3         | 0          |
| 相談しなかった                    | 17 | 1  | 1  | 2           | 2         | 1         | 3         | 2         | 7         | 1          |
| 無回答                        | 4  | 3  | 3  | 1           | 2         | 0         | 1         | 1         | 1         | 0          |

## 問21 DVに関する法律やDV被害者のための相談機関の認知状況

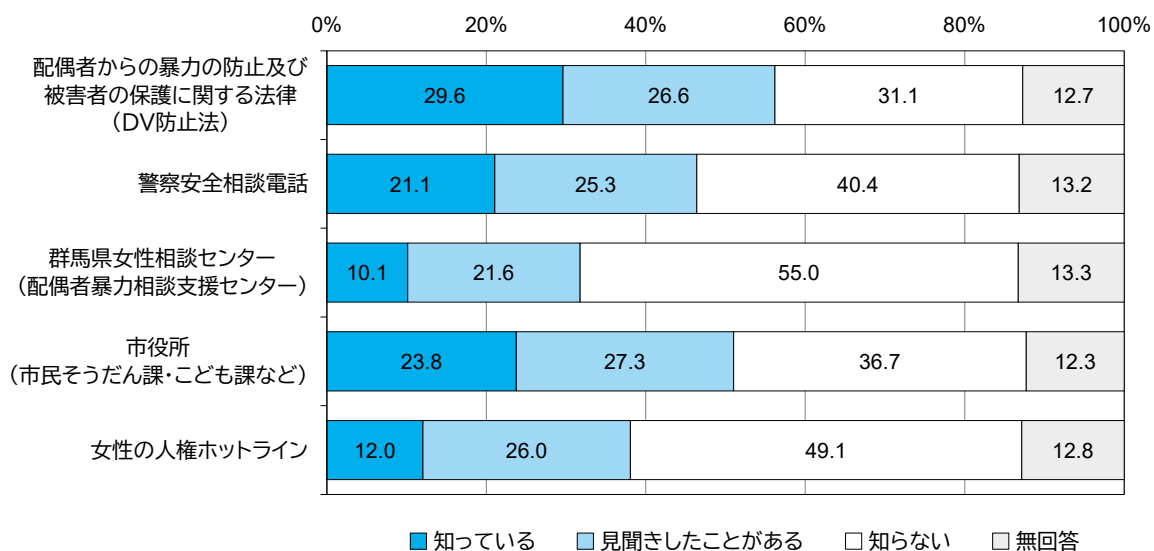
あなたは次にあげる、DVに関する法律やDV被害者のための相談機関を知っていますか。  
(各1つ回答)

◆すべての項目で「知らない」が最も高い

◆認知度は「DV防止法」「市役所」が5割以上

すべての項目で「知らない」が最も高くなっています。「知っている」「見聞きしたことがある」を合わせた認知度は、「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律（DV防止法）」（56.2％）が5割以上で最も高く、次いで高い「市役所（市民そうだん課・こども課など）」（51.1％）も5割以上となっています。

【全体】（各1つ回答）



本調査(2021) (888人)

## ①配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律（DV 防止法）

◆認知度は5割以上で、過去2回の調査より低い

◆認知度は女性が高い

◆年代による大きな違いは見られない

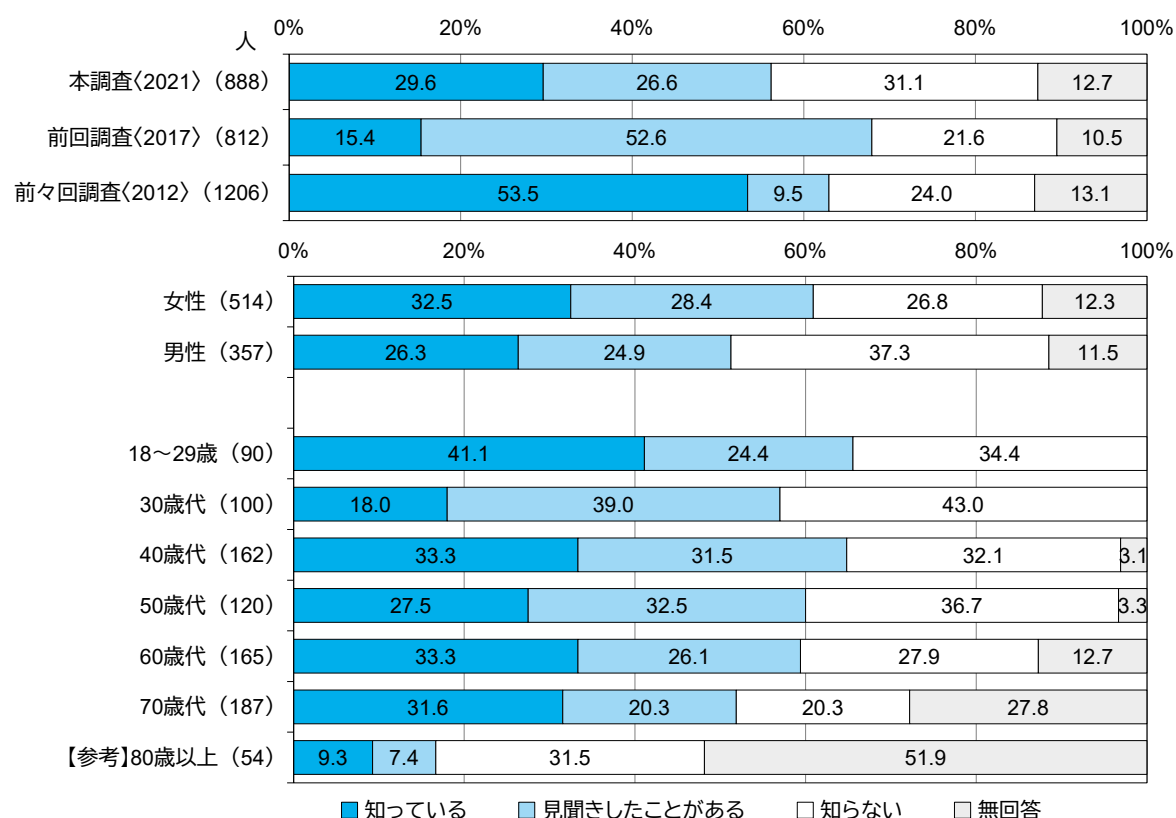
「知っている」「見聞きしたことがある」（それぞれ29.6%、26.6%）が約3割、これらを合わせた認知度（56.2%）は5割以上となっています。

過去2回の調査と比較すると、認知度は前回（68.0%）より11.8ポイント低く、前々回（63.0%）より若干低くなっています。

性別では、認知度は女性（60.9%）が男性（51.2%）より9.7ポイント高くなっています。

年代による大きな違いは見られませんが、30歳代は「知っている」（18.0%）が約2割で比較的低くなっています。

【全体／前回・前々回との比較、性別、年代別】（1つ回答）



※前々回調査は「名前を聞いたことがある」「内容を知っている」「知らなかった」として設定  
 ※80歳以上は無回答が多いため参考表示

## ②警察安全相談電話

### ◆認知度は4割以上で、前回より低く、前々回と同程度

### ◆性別や年代による大きな違いは見られない

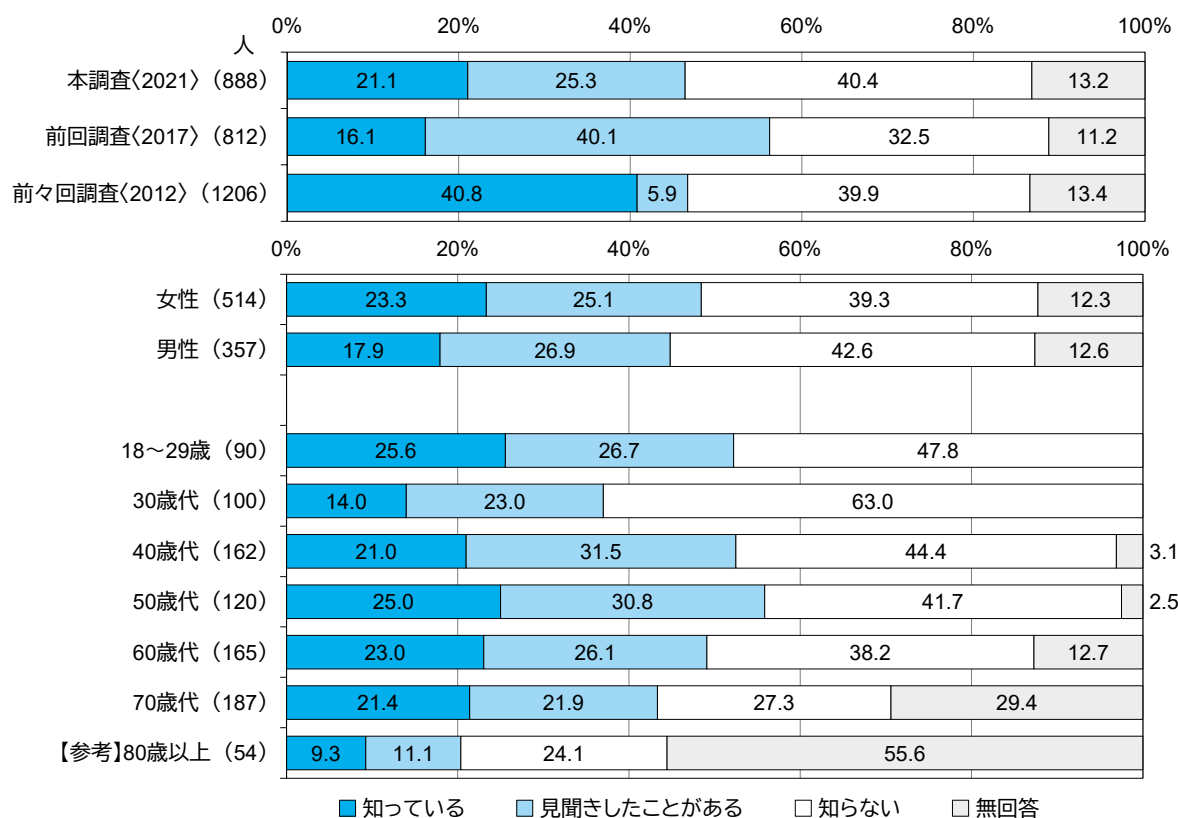
「知っている」「見聞きしたことがある」（それぞれ21.1%、25.3%）が2割以上、これらを合わせた認知度（46.4%）は4割以上となっています。

過去2回の調査と比較すると、認知度は前回（56.2%）より9.8ポイント低く、前々回（46.7%）と同程度になっています。

性別による大きな違いは見られません。

年代による大きな違いは見られませんが、30歳代は「知っている」（14.0%）が1割以上で比較的低くなっています。

【全体／前回・前々回との比較、性別、年代別】（1つ回答）



※前々回調査は「名前を聞いたことがある」「内容を知っている」「知らなかった」として設定  
 ※80歳以上は無回答が多いため参考表示

### ③群馬県女性相談センター（配偶者暴力相談支援センター）

◆認知度は3割以上で、前回より低く、前々回と同程度

◆認知度は女性が高く、40・50歳代が比較的高い

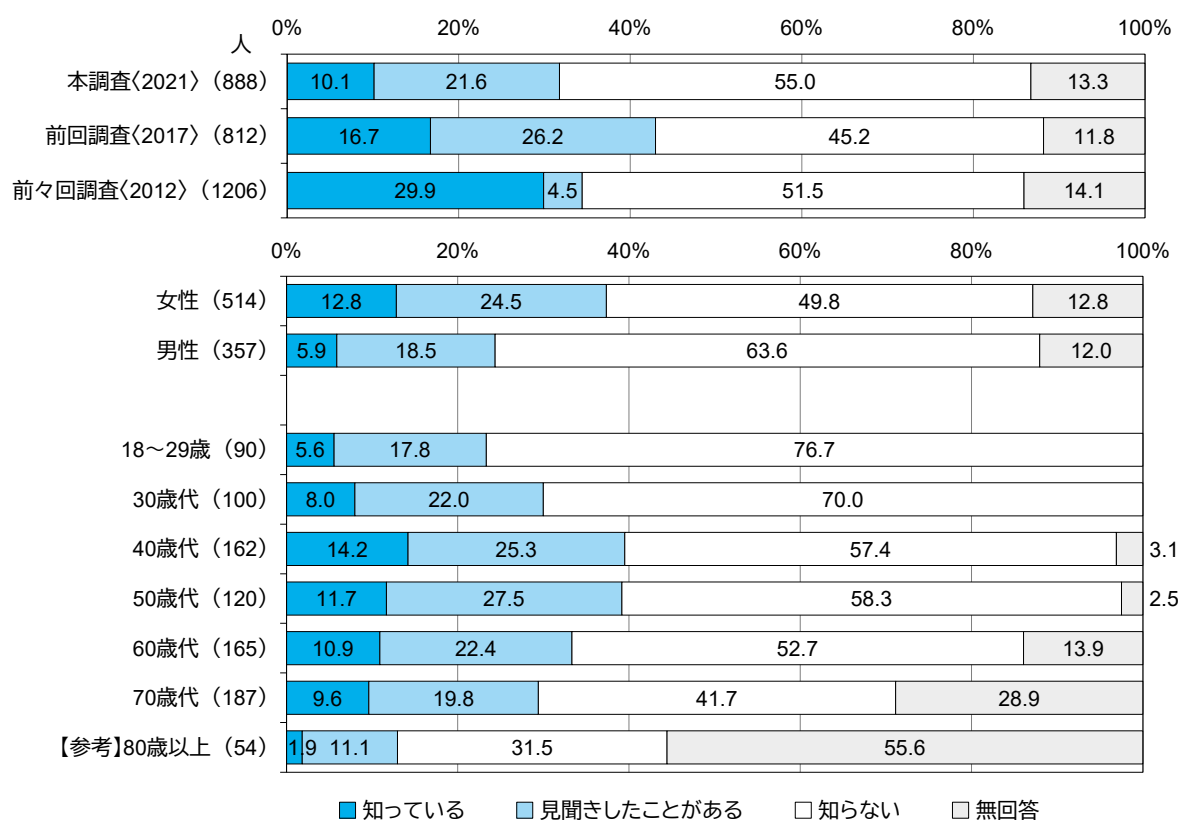
「知っている」（10.1％）が1割以上、「見聞きしたことがある」（21.6％）が2割以上、これらを合わせた認知度（31.7％）は3割以上となっています。

過去2回の調査と比較すると、認知度は前回（42.9％）より11.2ポイント低く、前々回（34.4％）と同程度になっています。

性別では、認知度は女性（37.3％）が男性（24.4％）より12.9ポイント高くなっています。

年代による大きな違いは見られませんが、その中で認知度は40・50歳代（それぞれ39.5％、39.2％）が約4割で比較的高くなっています。

【全体／前回・前々回との比較、性別、年代別】（1つ回答）



※前々回調査は「名前を聞いたことがある」「内容を知っている」「知らなかった」として設定  
 ※80歳以上は無回答が多いため参考表示



#### ④市役所（市民そうだん課・こども課など）

◆認知度は5割以上で、過去2回の調査と同程度

◆認知度は女性が高く、18～29歳・50歳代が比較的高い

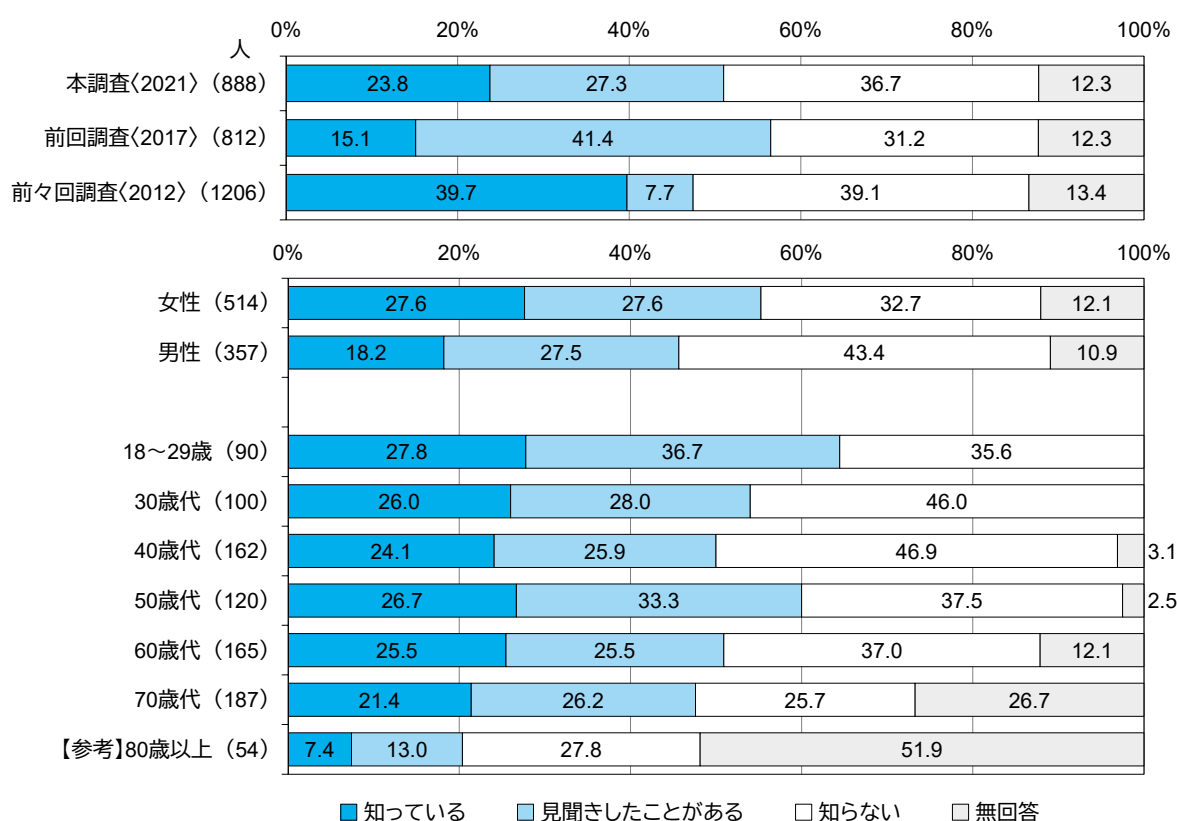
「知っている」（23.8%）が2割以上、「見聞きしたことがある」（27.3%）が約3割、これらを合わせた認知度（51.1%）は5割以上となっています。

過去2回の調査と比較すると、大きな変化は見られません。

性別では、認知度は女性（55.2%）が男性（45.7%）より9.5ポイント高くなっています。

年代による大きな違いは見られませんが、その中で認知度は18～29歳・50歳代（それぞれ64.5%、60.0%）が6割以上で比較的高くなっています。

【全体／前回・前々回との比較、性別、年代別】（1つ回答）



※前々回調査は「名前を聞いたことがある」「内容を知っている」「知らなかった」として設定  
 ※80歳以上は無回答が多いため参考表示

## ⑤女性の人権ホットライン

### ◆認知度は約4割で、前回より低く、前々回と同程度

### ◆認知度は女性が高く、70歳代が比較的低い

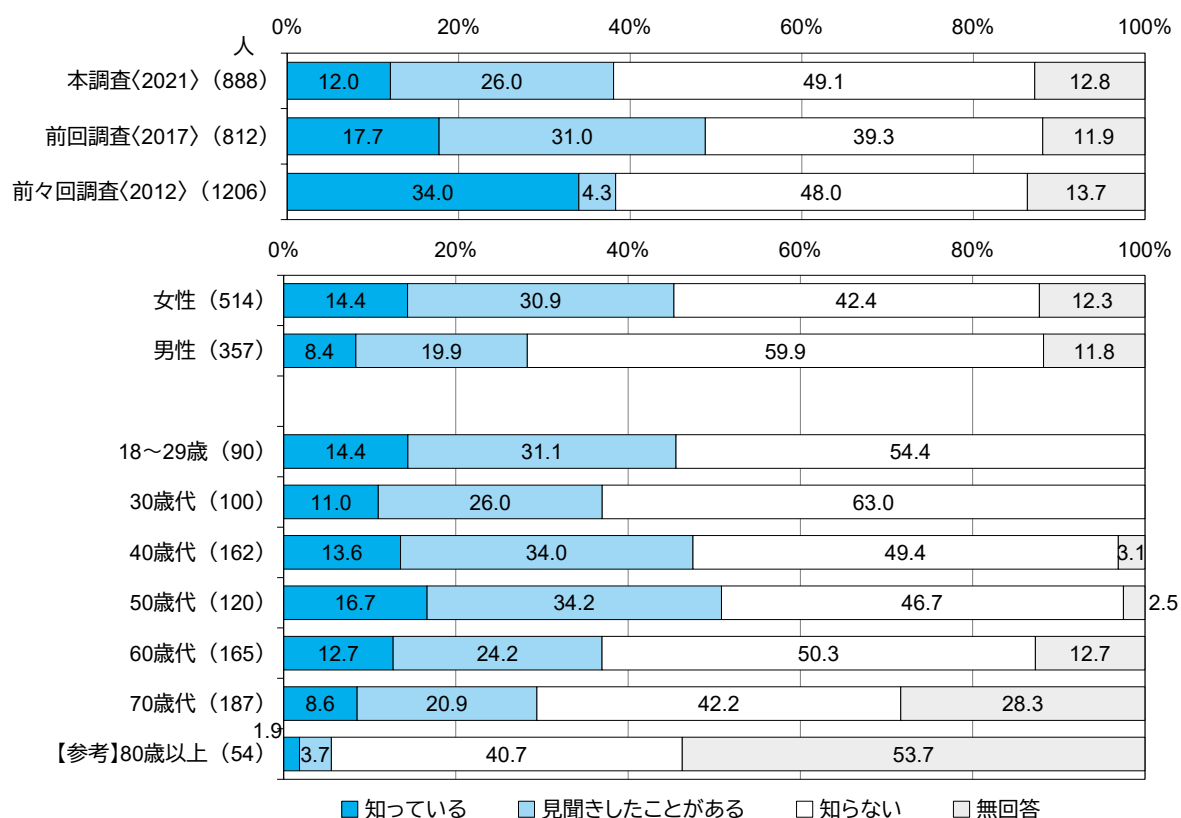
「知っている」(12.0%)が1割以上、「見聞きしたことがある」(26.0%)が2割以上、これらを合わせた認知度(38.0%)は約4割となっています。

過去2回の調査と比較すると、認知度は前回(48.7%)より10.7ポイント低く、前々回(38.3%)と同程度になっています。

性別では、認知度は女性(45.3%)が男性(28.3%)より17.0ポイント高くなっています。

年代による大きな違いは見られませんが、その中で認知度は70歳代(29.5%)が3割未満で比較的低くなっています。

【全体／前回・前々回との比較、性別、年代別】(1つ回答)

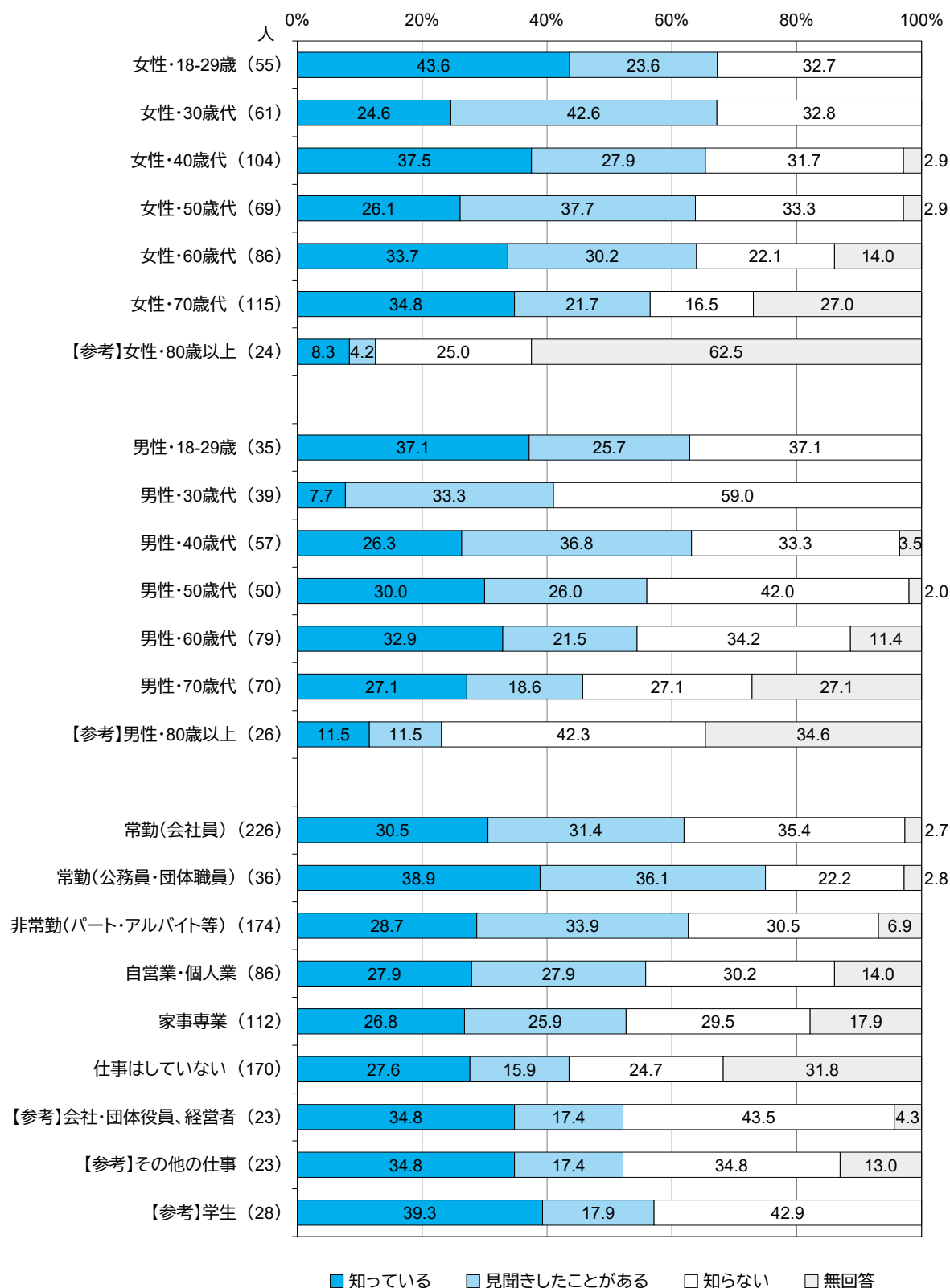


※前々回調査は「名前を聞いたことがある」「内容を知っている」「知らなかった」として設定  
 ※80歳以上は無回答が多いため参考表示

〈参考：性別・年代別、職業別〉

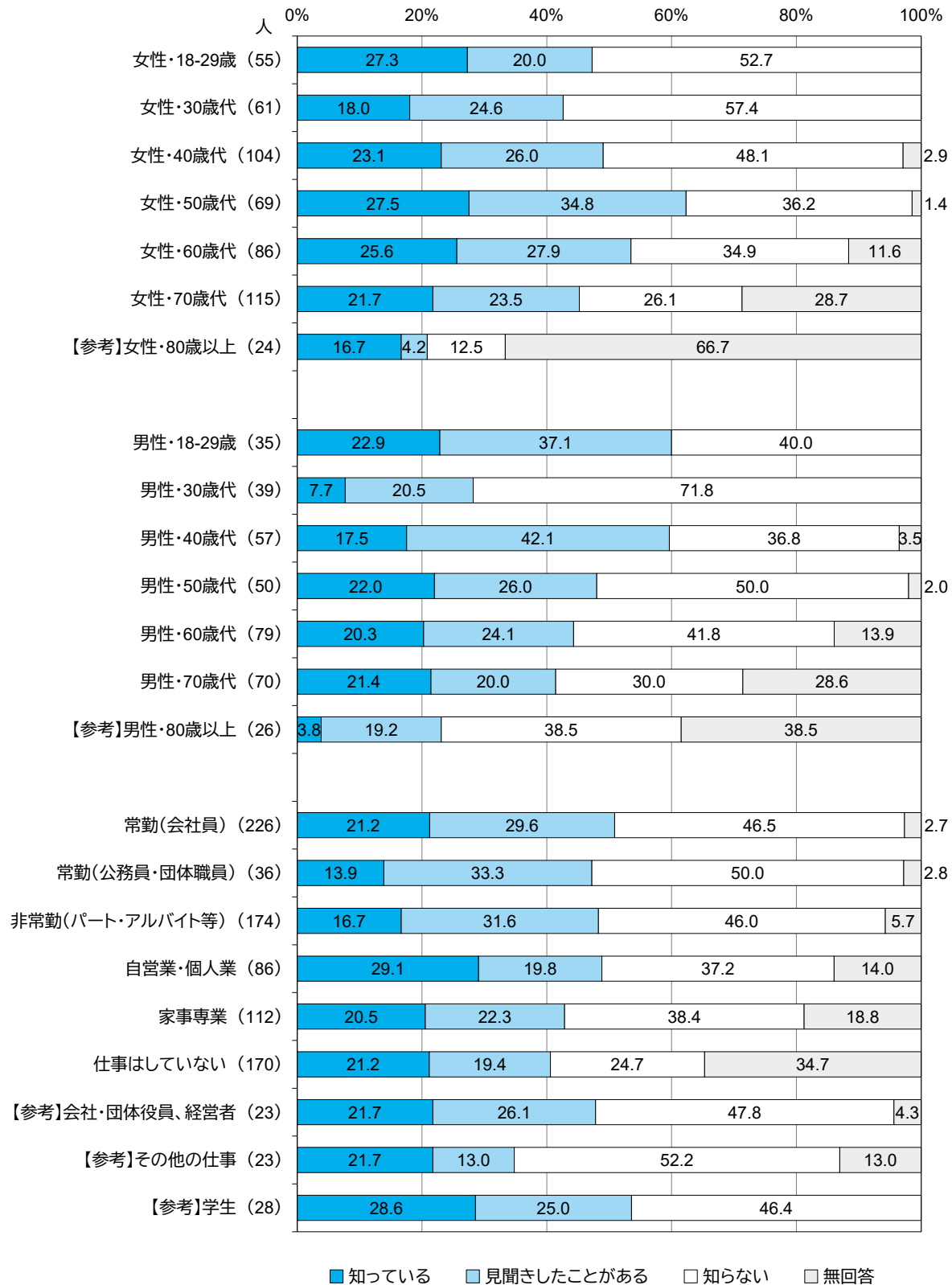
①配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律(DV 防止法)

【性・年代別、職業別】(1つ回答)



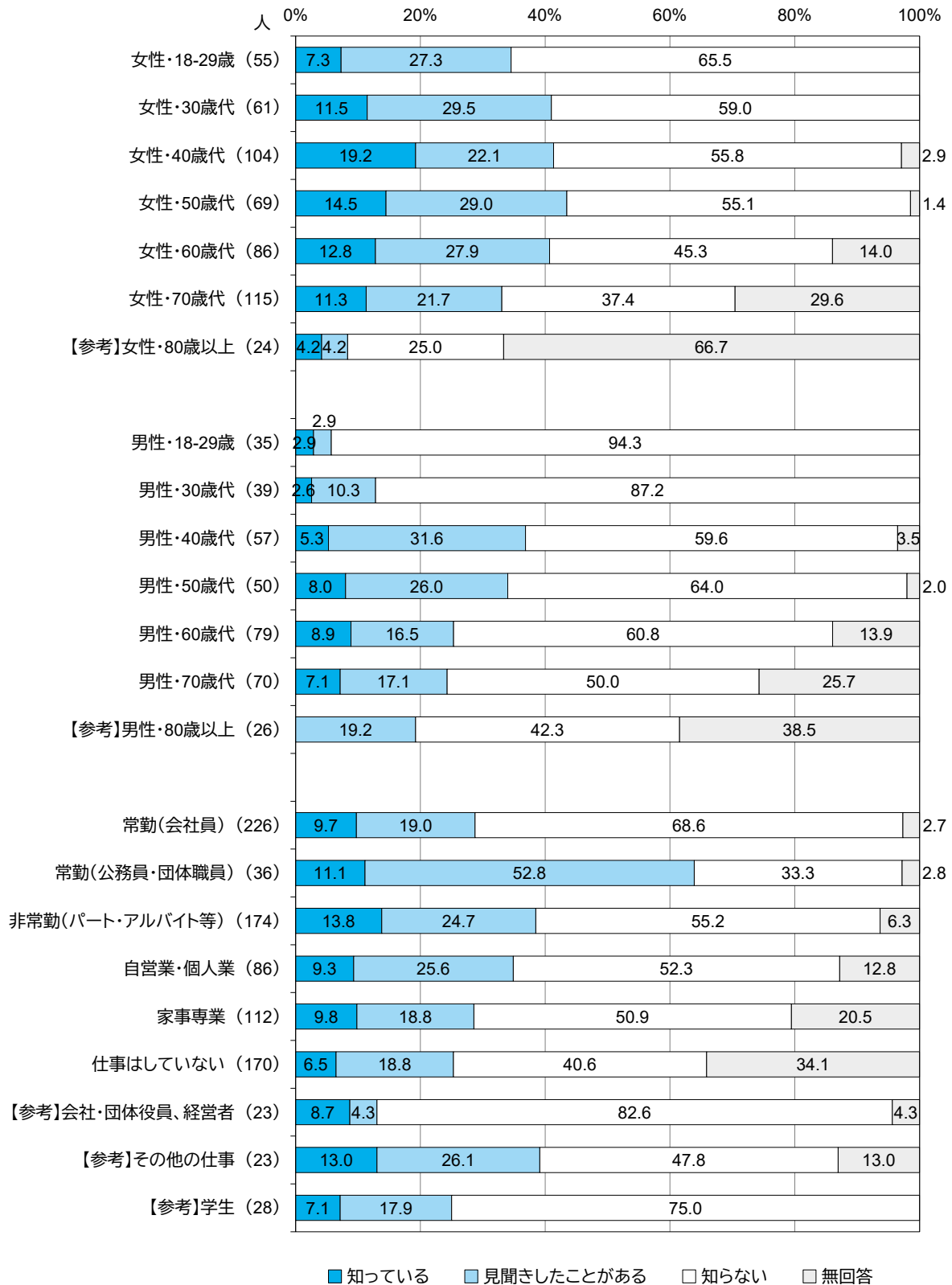
## ②警察安全相談電話

【性・年代別、職業別】（1つ回答）



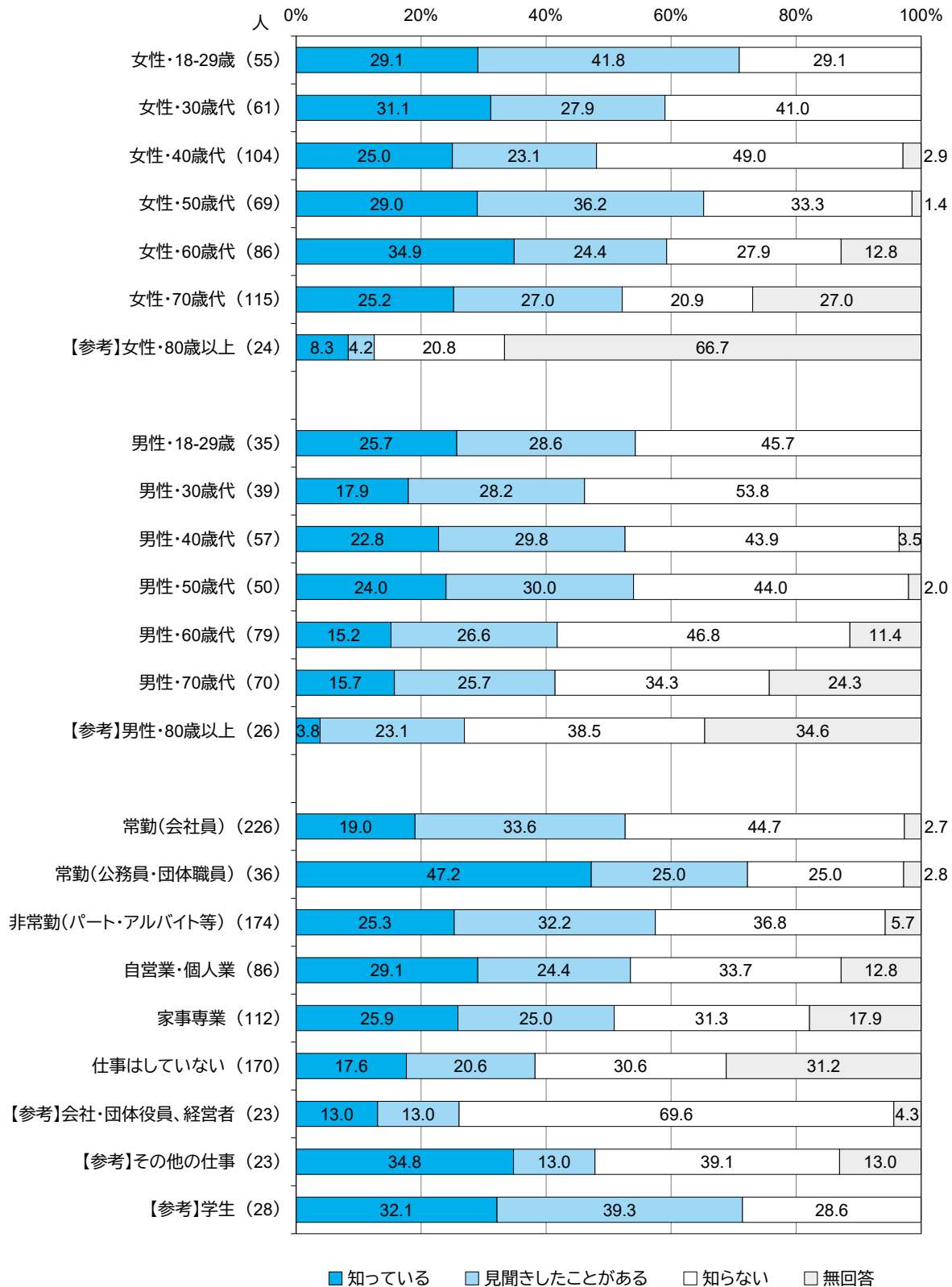
### ③群馬県女性相談センター(配偶者暴力相談支援センター)

【性・年代別、職業別】(1つ回答)



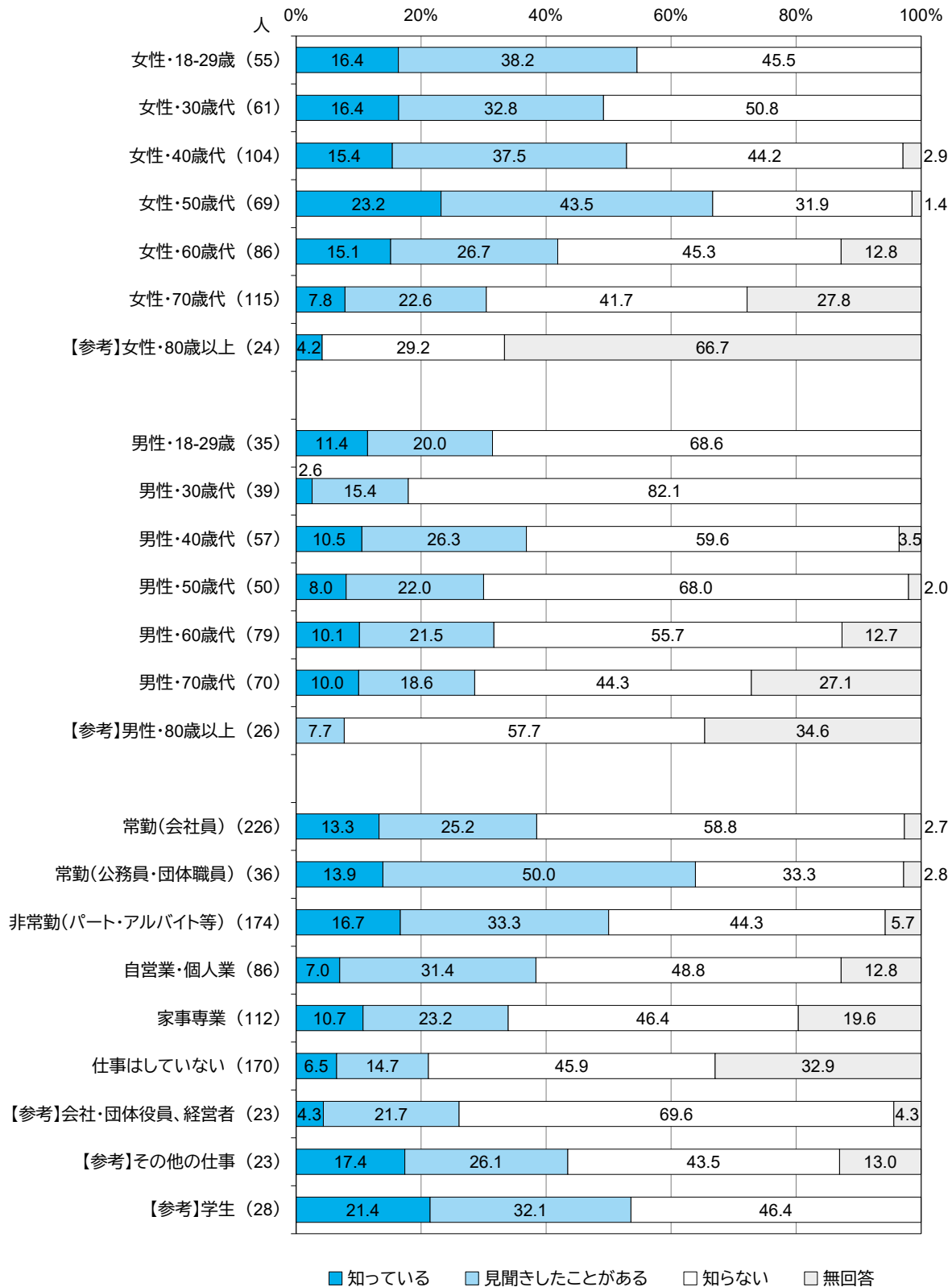
#### ④市役所(市民そうだん課・こども課など)

【性・年代別、職業別】(1つ回答)



## ⑤女性の人権ホットライン

【性・年代別、職業別】（1つ回答）



## 問22 セクシュアル・ハラスメントの有無

あなた自身または身近でのセクシュアル・ハラスメントについてお答えください。（1つ回答）

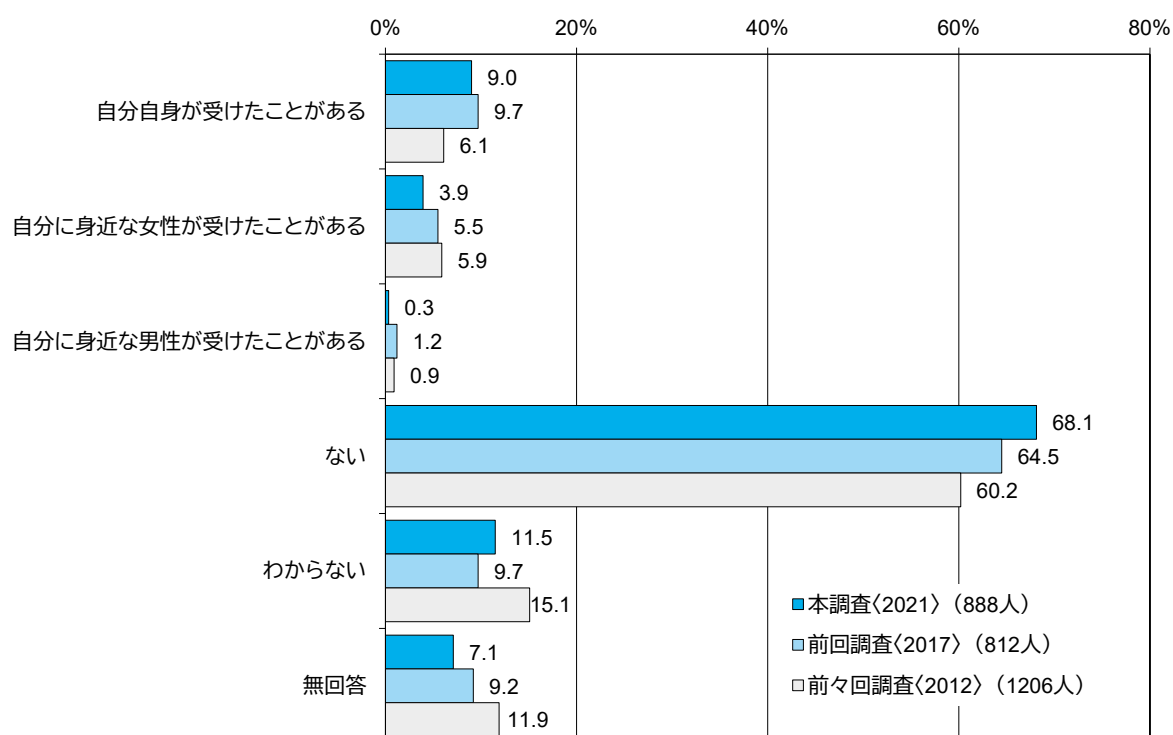
◆「ない」が約7割で最も高く、次いで「わからない」「自分自身が受けたことがある」が約1割

◆過去2回の調査からの大きな変化は見られない

「ない」（68.1%）が約7割で最も高く、次いで「わからない」「自分自身が受けたことがある」（それぞれ11.5%、9.0%）が約1割となっています。

過去2回の調査と比較すると、大きな変化は見られません。

【全体／前回・前々回との比較】（1つ回答）





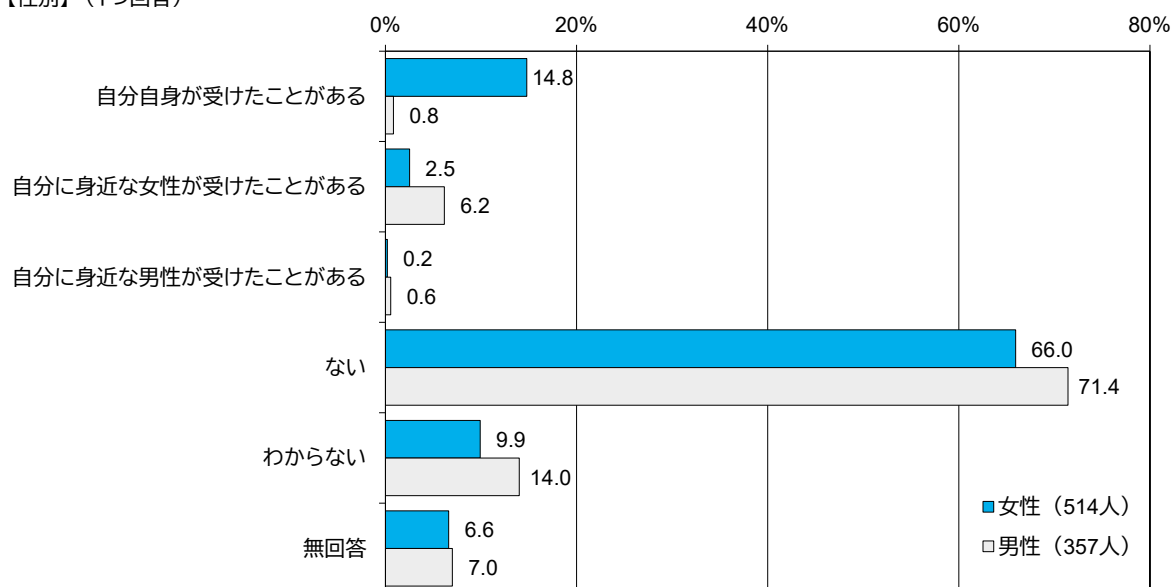
◆男女とも「ない」が約7割

◆「自分自身が受けたことがある」は女性が高い

性別では、男女とも「ない」（女性 66.0%、男性 71.4%）が約7割で最も高く、次いで女性は「自分自身が受けたことがある」（14.8%）、男性は「わからない」（14.0%）がそれぞれ1割以上となっています。

「自分自身が受けたことがある」は性別による違いが見られ、女性が男性（0.8%）より14.0ポイント高くなっています。

【性別】（1つ回答）



◆年代による大きな違いは見られない

◆「自分自身が受けた」は30歳代以上では若い年代ほど高い

年代別では、すべての年代で同様の傾向となっており、「ない」が最も高くなっています。

「自分自身が受けたことがある」は30歳代（20.0%）が2割で最も高く、18～29歳（8.9%）を除き若い年代ほど高くなっています。

【年代別】（1つ回答）

|                   | % | 18～29歳 | 30歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60歳代 | 70歳代 | 80歳以上 |
|-------------------|---|--------|------|------|------|------|------|-------|
| 人                 |   | 90     | 100  | 162  | 120  | 165  | 187  | 54    |
| 自分自身が受けたことがある     |   | 8.9    | 20.0 | 16.7 | 10.0 | 5.5  | 1.6  | 1.9   |
| 自分に身近な女性が受けたことがある |   | 5.6    | 3.0  | 3.7  | 5.8  | 7.3  | 0.5  | 0.0   |
| 自分に身近な男性が受けたことがある |   | 0.0    | 0.0  | 0.0  | 0.8  | 1.2  | 0.0  | 0.0   |
| ない                |   | 80.0   | 63.0 | 65.4 | 63.3 | 70.3 | 70.1 | 61.1  |
| わからない             |   | 5.6    | 14.0 | 11.1 | 15.8 | 9.7  | 13.4 | 9.3   |
| 無回答               |   | 0.0    | 0.0  | 3.1  | 4.2  | 6.1  | 14.4 | 27.8  |

※色表示は各年代で最も高い値

## 問23 セクシュアル・ハラスメントが行われた場所

そのセクシュアル・ハラスメントはどこで行われましたか。(複数回答)

問22で「自分自身に受けたことがある」「自分に身近な女性が受けたことがある」「自分に身近な男性が受けたことがある」の選択者のみ

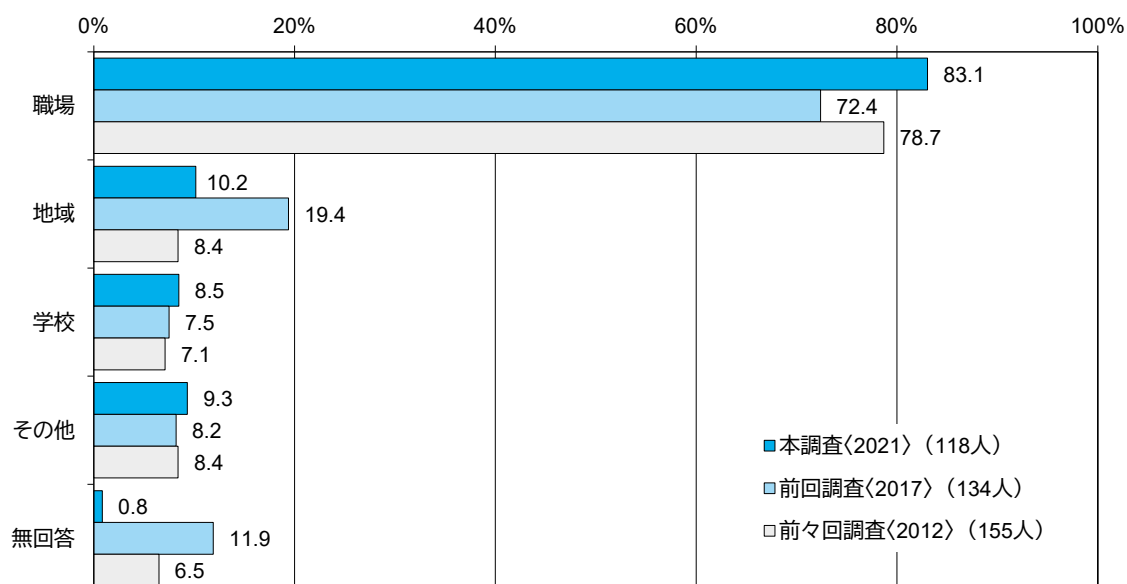
◆「職場」が8割以上で特に高く、過去2回の調査より高い

◆次いで「地域」が1割以上で、前回より低く、前々回と同程度

「職場」(83.1%)が8割以上で特に高く、次いで「地域」(10.2%)が1割以上となっています。

過去2回の調査と比較すると、「職場」は前回(72.4%)より10.7ポイント高く、前々回(78.7%)より若干高くなっています。一方、次いで高い「地域」は前回(19.4%)より9.2ポイント低く、前回(8.4%)と同程度になっています。

【全体／前回・前々回との比較】(複数回答)

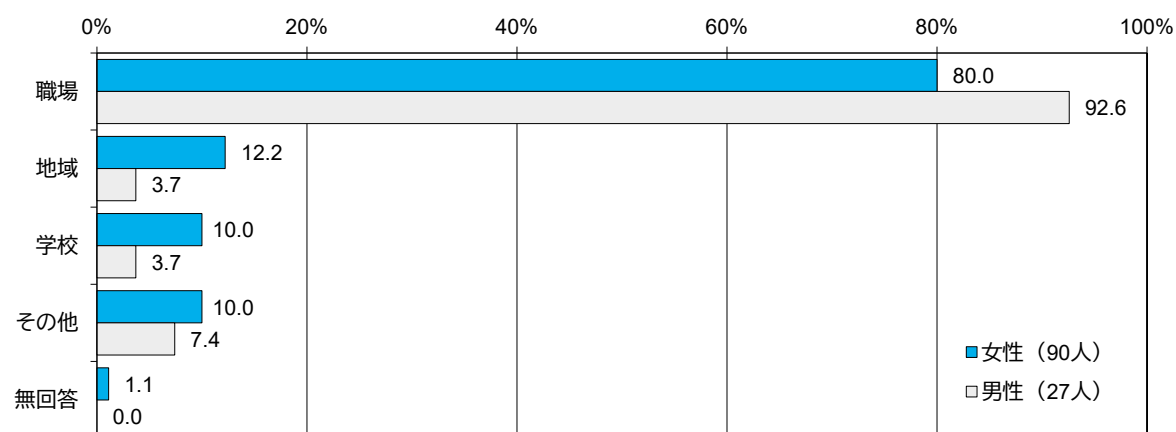


◆「職場」は男性が女性より高い

◆「地域」「学校」は女性が男性より若干高い

性別では、男女とも「職場」（女性 80.0%、男性 92.6%）が特に高く、男性は女性より 12.6 ポイント高くなっています。一方、「地域」「学校」「その他」はいずれも女性が男性より若干高くなっています。

【性別】（複数回答）



〈参考：年代別〉

年代別では、回答該当者が少ない年代があるため参考に見ると、ほとんどの年代が同様の傾向となっています。

【年代別】（複数回答）

| %   | 30 歳代 | 40 歳代 | 50 歳代 | 60 歳代 | 【参考】<br>18～29 歳 | 【参考】<br>70 歳代 | 【参考】<br>80 歳以上 |
|-----|-------|-------|-------|-------|-----------------|---------------|----------------|
| 人   | 23    | 33    | 20    | 23    | 13              | 4             | 1              |
| 職場  | 95.7  | 97.0  | 75.0  | 91.3  | 46.2            | 25.0          | 0.0            |
| 地域  | 4.3   | 9.1   | 15.0  | 4.3   | 15.4            | 25.0          | 100.0          |
| 学校  | 4.3   | 9.1   | 5.0   | 4.3   | 30.8            | 0.0           | 0.0            |
| その他 | 8.7   | 3.0   | 15.0  | 4.3   | 15.4            | 50.0          | 0.0            |
| 無回答 | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 0.0   | 7.7             | 0.0           | 0.0            |

## 6. 男女共同参画社会の形成について

### 問24 「女性が輝く社会」を実現するために太田市に望むこと

「女性が輝く社会」を実現していくために太田市に対してどのようなことを望みますか。  
(複数回答)

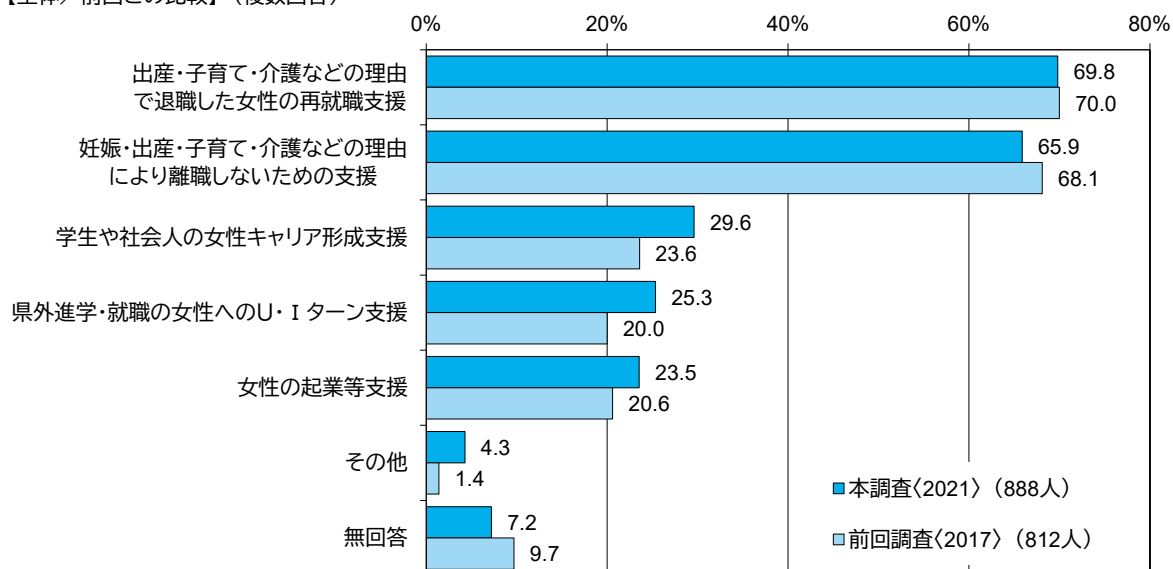
◆「女性の再就職支援」「離職しないための支援」が約7割で同程度に高い

◆前回からの大きな変化は見られない

「出産・子育て・介護などの理由で退職した女性の再就職支援」「妊娠・出産・子育て・介護などの理由により離職しないための支援」(それぞれ69.8%、65.9%)が約7割で同程度に高くなっています。

前回調査と比較すると、大きな変化は見られません。

【全体／前回との比較】(複数回答)

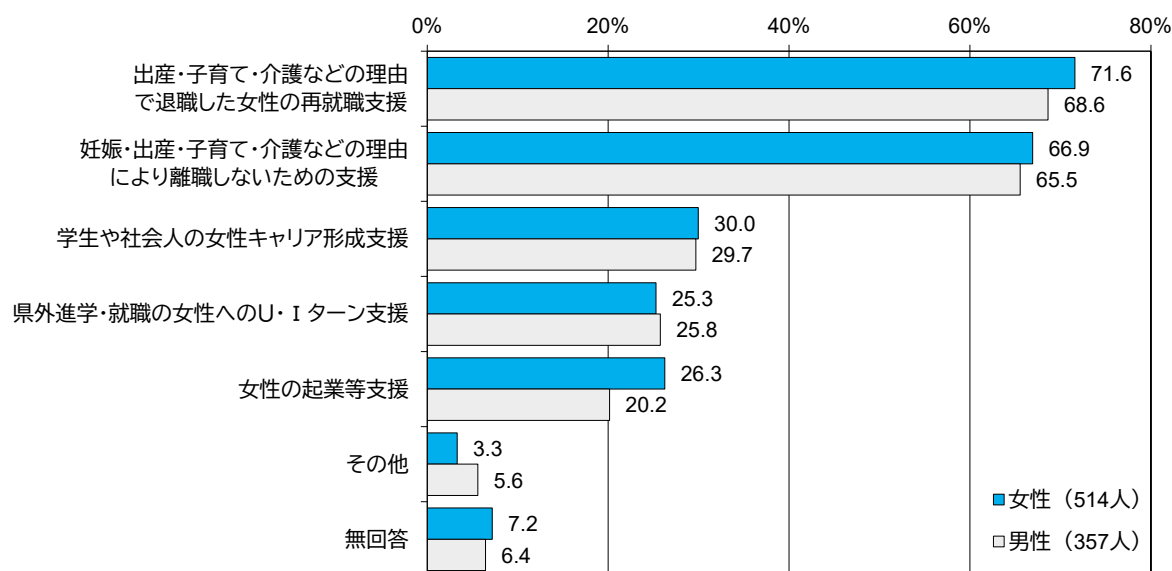


※前回調査から設定

## ◆性別による大きな違いは見られない

性別による大きな違いは見られませんが、その中で「女性の起業等支援」は女性（26.3%）が男性（20.2%）より若干高くなっています。

【性別】（複数回答）



## ◆30歳代・80歳以上は「離職しないための支援」が最も高い

## ◆「女性の再就職支援」は年代による違いが見られる

年代別では、30歳代・80歳以上を除き「出産・子育て・介護などの理由で退職した女性の再就職支援」が最も高く、30歳代・80歳以上は「妊娠・出産・子育て・介護などの理由により離職しないための支援」（それぞれ78.0%、57.4%）が最も高くなっています。

「出産・子育て・介護などの理由で退職した女性の再就職支援」は年代による違いが見られ、50歳代（79.2%）が約8割で最も高い一方、80歳以上（46.3%）は5割未満となっています。

【年代別】（複数回答）

|                                | % | 18～29歳 | 30歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60歳代 | 70歳代 | 80歳以上 |
|--------------------------------|---|--------|------|------|------|------|------|-------|
| 人                              |   | 90     | 100  | 162  | 120  | 165  | 187  | 54    |
| 出産・子育て・介護などの理由で退職した女性の再就職支援    |   | 72.2   | 70.0 | 69.1 | 79.2 | 75.8 | 65.8 | 46.3  |
| 妊娠・出産・子育て・介護などの理由により離職しないための支援 |   | 71.1   | 78.0 | 63.6 | 71.7 | 67.9 | 56.1 | 57.4  |
| 学生や社会人の女性キャリア形成支援              |   | 37.8   | 27.0 | 30.9 | 35.8 | 29.1 | 25.7 | 20.4  |
| 県外進学・就職の女性へのU・Iターン支援           |   | 28.9   | 20.0 | 22.8 | 30.8 | 26.7 | 23.0 | 29.6  |
| 女性の起業等支援                       |   | 31.1   | 25.0 | 21.6 | 29.2 | 20.0 | 24.1 | 13.0  |
| その他                            |   | 10.0   | 4.0  | 4.3  | 2.5  | 4.2  | 2.7  | 3.7   |
| 無回答                            |   | 0.0    | 3.0  | 3.7  | 3.3  | 4.8  | 13.9 | 29.6  |

※色表示は各年代で最も高い値

## 〈参考：職業別〉

【職業別】（複数回答）

|                                | 常勤<br>(会社員) | 常勤<br>(公務員・<br>団体職員) | 非常勤<br>(パート・<br>アルバイト等) | 自営業・<br>個人業 | 家事<br>専業 | 仕事は<br>してい<br>ない | 【参考】<br>会社・団体<br>役員、経営者 | 【参考】<br>その他<br>の仕事 | 【参考】<br>学生 |
|--------------------------------|-------------|----------------------|-------------------------|-------------|----------|------------------|-------------------------|--------------------|------------|
| 人                              | 226         | 36                   | 174                     | 86          | 112      | 170              | 23                      | 23                 | 28         |
| 出産・子育て・介護などの理由で退職した女性の再就職支援    | 74.3        | 58.3                 | 71.3                    | 69.8        | 74.1     | 59.4             | 73.9                    | 78.3               | 85.7       |
| 妊娠・出産・子育て・介護などの理由により離職しないための支援 | 75.7        | 69.4                 | 67.2                    | 60.5        | 57.1     | 54.7             | 82.6                    | 73.9               | 78.6       |
| 学生や社会人の女性キャリア形成支援              | 30.5        | 27.8                 | 31.0                    | 30.2        | 28.6     | 22.9             | 39.1                    | 39.1               | 50.0       |
| 県外進学・就職の女性へのU・Iターン支援           | 25.2        | 36.1                 | 28.7                    | 15.1        | 18.8     | 26.5             | 30.4                    | 26.1               | 39.3       |
| 女性の起業等支援                       | 25.7        | 13.9                 | 22.4                    | 30.2        | 18.8     | 20.6             | 34.8                    | 26.1               | 39.3       |
| その他                            | 5.8         | 2.8                  | 4.0                     | 1.2         | 3.6      | 4.1              | 4.3                     | 8.7                | 7.1        |
| 無回答                            | 1.8         | 2.8                  | 2.9                     | 9.3         | 10.7     | 17.1             | 4.3                     | 4.3                | 0.0        |

※ ■色表示は各職業等で最も高い値（対象者が少ない「会社・団体役員、経営者」「その他の仕事」「学生」を除く）

## 問25 「男女共同参画社会」を実現していくために太田市に望むこと

「男女共同参画社会」を実現していくために、太田市に対してどのようなことを望みますか。ご意見・ご要望などがございましたら、ご自由にお書きください。（自由記述）

➡ 別冊「自由回答報告書」に示します。

## IV 集計表

男女平等について

問1「社会の仕事は男性の役割、家事や子育てや介護は女性の役割」というように性別によって役割を固定的にとらえる考え方がありますが、どう思いますか。(1つだけに○)

|                | (n=888 人) | 人数  | 構成比率(%) |
|----------------|-----------|-----|---------|
| 同感する           |           | 66  | 7.4     |
| どちらかといえば同感する   |           | 172 | 19.4    |
| どちらかといえば同感できない |           | 207 | 23.3    |
| 同感できない         |           | 264 | 29.7    |
| どちらともいえない      |           | 133 | 15.0    |
| 無回答            |           | 46  | 5.2     |
| 計              |           | 888 | 100.0   |

問2 あなたは次のような場で、男女の地位は平等になっていると思いますか。①～⑧の各々についてお答えください。(それぞれ1つだけに○)

| 人数                      | 男性の方が非常に優遇されている | どちらかといえば男性の方が優遇されている | 平等になっている | どちらかといえば女性の方が優遇されている | 女性の方が非常に優遇されている | わからない | 無回答 | 計   |
|-------------------------|-----------------|----------------------|----------|----------------------|-----------------|-------|-----|-----|
| ①あなたの家庭では               | 68              | 327                  | 343      | 63                   | 11              | 65    | 11  | 888 |
| ②あなたの(あなたの家族や友人などの)職場では | 60              | 336                  | 247      | 64                   | 16              | 137   | 28  | 888 |
| ③あなたの町内会や地域活動の場では       | 62              | 273                  | 214      | 33                   | 4               | 286   | 16  | 888 |
| ④学校教育の場では               | 12              | 113                  | 327      | 28                   | 7               | 372   | 29  | 888 |
| ⑤政治の場では                 | 324             | 330                  | 64       | 12                   | 3               | 142   | 13  | 888 |
| ⑥法律や制度の上では              | 127             | 303                  | 192      | 38                   | 6               | 196   | 26  | 888 |
| ⑦社会通念・慣習・しきたりなどでは       | 216             | 457                  | 76       | 16                   | 3               | 101   | 19  | 888 |
| ⑧社会全体として                | 101             | 525                  | 92       | 16                   | 7               | 98    | 49  | 888 |

| 構成比率(%)<br>(n=888 人)    | 男性の方が非常に優遇されている | どちらかといえば男性の方が優遇されている | 平等になっている | どちらかといえば女性の方が優遇されている | 女性の方が非常に優遇されている | わからない | 無回答 | 計     |
|-------------------------|-----------------|----------------------|----------|----------------------|-----------------|-------|-----|-------|
| ①あなたの家庭では               | 7.7             | 36.8                 | 38.6     | 7.1                  | 1.2             | 7.3   | 1.2 | 100.0 |
| ②あなたの(あなたの家族や友人などの)職場では | 6.8             | 37.8                 | 27.8     | 7.2                  | 1.8             | 15.4  | 3.2 | 100.0 |
| ③あなたの町内会や地域活動の場では       | 7.0             | 30.7                 | 24.1     | 3.7                  | 0.5             | 32.2  | 1.8 | 100.0 |
| ④学校教育の場では               | 1.4             | 12.7                 | 36.8     | 3.2                  | 0.8             | 41.9  | 3.3 | 100.0 |
| ⑤政治の場では                 | 36.5            | 37.2                 | 7.2      | 1.4                  | 0.3             | 16.0  | 1.5 | 100.0 |
| ⑥法律や制度の上では              | 14.3            | 34.1                 | 21.6     | 4.3                  | 0.7             | 22.1  | 2.9 | 100.0 |
| ⑦社会通念・慣習・しきたりなどでは       | 24.3            | 51.5                 | 8.6      | 1.8                  | 0.3             | 11.4  | 2.1 | 100.0 |
| ⑧社会全体として                | 11.4            | 59.1                 | 10.4     | 1.8                  | 0.8             | 11.0  | 5.5 | 100.0 |

問3 (問2の⑧で「平等になっている」「わからない」以外の選択者のみお答えください)どのような要因が男女平等を阻んでいると思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

| (n=問2の⑧で「平等になっている」「わからない」以外を選択した 649 人) | 人数  | 構成比率(%) |
|-----------------------------------------|-----|---------|
| 女の子と男の子への期待や育て方の違い                      | 202 | 31.1    |
| 家庭での家事・子育て・介護は女性の役割であるという考え方や慣習         | 465 | 71.6    |
| 政治や重要な仕事は男性が担うという考え方や慣習                 | 440 | 67.8    |
| 女性を軽く、低く見る偏見                            | 266 | 41.0    |
| 意思決定の場への女性の参加が進んでいないこと                  | 345 | 53.2    |
| その他                                     | 30  | 4.6     |
| 無回答                                     | 7   | 1.1     |

男女の仕事と生活への関わり方について

問4 あなたは、仕事と家庭・地域での活動にどのように関わるのが望ましいと思いますか。女性・男性それぞれの関わり方についてお答えください。(それぞれ1つだけに○)

(1)女性の関わり方

| (n=888 人)                     | 人数  | 構成比率(%) |
|-------------------------------|-----|---------|
| 家庭生活又は地域活動よりも、仕事に専念する         | 4   | 0.5     |
| 家庭生活又は地域活動にも携わるが、あくまで仕事を優先させる | 71  | 8.0     |
| 家庭生活又は地域活動と仕事を同じように両立させる      | 219 | 24.7    |
| 仕事にも携わるが、家庭生活又は地域活動を優先させる     | 114 | 12.8    |
| 仕事よりも、家庭生活又は地域活動に専念する         | 18  | 2.0     |
| 人によって違うので一がいに言えない             | 439 | 49.4    |
| 無回答                           | 23  | 2.6     |
| 計                             | 888 | 100.0   |

(2)男性の関わり方

| (n=888 人)                     | 人数  | 構成比率(%) |
|-------------------------------|-----|---------|
| 家庭生活又は地域活動よりも、仕事に専念する         | 45  | 5.1     |
| 家庭生活又は地域活動にも携わるが、あくまで仕事を優先させる | 223 | 25.1    |
| 家庭生活又は地域活動と仕事を同じように両立させる      | 232 | 26.1    |
| 仕事にも携わるが、家庭生活又は地域活動を優先させる     | 23  | 2.6     |
| 仕事よりも、家庭生活又は地域活動に専念する         | 6   | 0.7     |
| 人によって違うので一がいに言えない             | 324 | 36.5    |
| 無回答                           | 35  | 3.9     |
| 計                             | 888 | 100.0   |

問5 現在のあなたの、仕事と家庭・地域での活動の関わり方はどれにあたりますか。(1つだけに○)

| (n=問 28 で「家事専業」「学生」「仕事はしていない」以外を選択した 568 人) | 人数  | 構成比率(%) |
|---------------------------------------------|-----|---------|
| 家庭生活又は地域活動よりも、仕事に専念している                     | 67  | 11.8    |
| 家庭生活又は地域活動にも携わるが、あくまで仕事を優先させている             | 200 | 35.2    |
| 家庭生活又は地域活動と仕事を同じように両立させている                  | 151 | 26.6    |
| 仕事にも携わるが、家庭生活又は地域活動を優先させている                 | 101 | 17.8    |
| 仕事よりも、家庭生活又は地域活動に専念している                     | 26  | 4.6     |
| その他                                         | 14  | 2.5     |
| 無回答                                         | 9   | 1.6     |

問6 今後、男性が女性とともに家事・育児・介護・看護・地域活動などをより積極的に担っていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

| (n=888 人)                                                   | 人数  | 構成比率(%) |
|-------------------------------------------------------------|-----|---------|
| 「男性が家事・育児・介護・看護や地域活動」を担うことへの男性自身の抵抗感をなくす                    | 501 | 56.4    |
| 「男性が家事・育児・介護・看護や地域活動」を担うことへの女性自身の抵抗感をなくす                    | 197 | 22.2    |
| 夫婦や家族間でのコミュニケーションをはかる                                       | 532 | 59.9    |
| 「家事・育児・介護・看護は女性の役割」というような固定的な考えを押しつけない                      | 598 | 67.3    |
| 労働時間短縮や休暇制度の普及により仕事以外の時間を多くもてるようにする                         | 399 | 44.9    |
| 国や地方自治体やNPO などが「男性が家事・育児・介護・看護・地域活動」に関心を高められるよう学習機会や情報を提供する | 251 | 28.3    |
| 国や地方自治体やNPO などが「男性が家事・育児・介護・看護」の技能を高めるられるよう学習機会や情報を提供する     | 183 | 20.6    |
| 「男性が家事・育児・介護・看護・地域活動」を行うための仲間・グループ作りをすすめる                   | 120 | 13.5    |
| 家庭生活や地域活動と仕事の両立について、男性が相談しやすい窓口を設ける                         | 200 | 22.5    |
| その他                                                         | 37  | 4.2     |
| 特に必要と思うことはない                                                | 16  | 1.8     |
| 無回答                                                         | 22  | 2.5     |



問7 次にあげる家庭生活のことについて、あなたの家庭ではどのように役割分担をしていますか。(未婚、お子さんのいない方はお考えをご回答ください)(それぞれ1つだけに○)

| 人数             | 主に夫 | どちらかと言えば夫 | 夫婦同じ位 | どちらかと言えば妻 | 主に妻 | 夫婦以外の支援 | していない | 無回答 | 計   |
|----------------|-----|-----------|-------|-----------|-----|---------|-------|-----|-----|
| ①生活費を得ること      | 376 | 181       | 157   | 9         | 15  | 1       | 17    | 132 | 888 |
| ②掃除・洗濯         | 19  | 14        | 171   | 156       | 384 | 6       | 6     | 132 | 888 |
| ③食事のしたく        | 18  | 6         | 109   | 133       | 481 | 5       | 7     | 129 | 888 |
| ④食事の後片付け、食器洗い  | 44  | 47        | 172   | 127       | 353 | 6       | 6     | 133 | 888 |
| ⑤子育て           | 4   | 6         | 224   | 166       | 236 | 1       | 84    | 167 | 888 |
| ⑥学校行事への参加      | 10  | 8         | 190   | 134       | 278 | 0       | 96    | 172 | 888 |
| ⑦介護・看護         | 7   | 9         | 177   | 93        | 174 | 25      | 211   | 192 | 888 |
| ⑧日常の買い物        | 15  | 15        | 207   | 155       | 273 | 2       | 6     | 215 | 888 |
| ⑨町内会など地域活動への参加 | 112 | 136       | 196   | 83        | 144 | 4       | 67    | 146 | 888 |

| 構成比率(%)<br>(n=888人) | 主に夫  | どちらかと言えば夫 | 夫婦同じ位 | どちらかと言えば妻 | 主に妻  | 夫婦以外の支援 | していない | 無回答  | 計     |
|---------------------|------|-----------|-------|-----------|------|---------|-------|------|-------|
| ①生活費を得ること           | 42.3 | 20.4      | 17.7  | 1.0       | 1.7  | 0.1     | 1.9   | 14.9 | 100.0 |
| ②掃除・洗濯              | 2.1  | 1.6       | 19.3  | 17.6      | 43.2 | 0.7     | 0.7   | 14.9 | 100.0 |
| ③食事のしたく             | 2.0  | 0.7       | 12.3  | 15.0      | 54.2 | 0.6     | 0.8   | 14.5 | 100.0 |
| ④食事の後片付け、食器洗い       | 5.0  | 5.3       | 19.4  | 14.3      | 39.8 | 0.7     | 0.7   | 15.0 | 100.0 |
| ⑤子育て                | 0.5  | 0.7       | 25.2  | 18.7      | 26.6 | 0.1     | 9.5   | 18.8 | 100.0 |
| ⑥学校行事への参加           | 1.1  | 0.9       | 21.4  | 15.1      | 31.3 | 0.0     | 10.8  | 19.4 | 100.0 |
| ⑦介護・看護              | 0.8  | 1.0       | 19.9  | 10.5      | 19.6 | 2.8     | 23.8  | 21.6 | 100.0 |
| ⑧日常の買い物             | 1.7  | 1.7       | 23.3  | 17.5      | 30.7 | 0.2     | 0.7   | 24.2 | 100.0 |
| ⑨町内会など地域活動への参加      | 12.6 | 15.3      | 22.1  | 9.3       | 16.2 | 0.5     | 7.5   | 16.4 | 100.0 |

問8 あなたの平日・休日の1日の生活時間をご記入ください。

|                  | 各回答者平均(時間) |     |
|------------------|------------|-----|
|                  | 平日         | 休日  |
| ①仕事・学業           | 7.0        | 1.2 |
| ②家事              | 3.1        | 3.8 |
| ③子育て             | 2.2        | 3.6 |
| ④介護・看護           | 0.4        | 0.5 |
| ⑤ボランティア活動・社会参加活動 | 0.3        | 0.3 |

就労について

問9 (現在仕事をしている方だけお答えください)あなたは今後も現在の仕事を続けたいと思いますか。(1つだけに○)

| (n=問28で「家事専業」「学生」「仕事はしていない」以外を選択した 568人) | 人数  | 構成比率(%) |
|------------------------------------------|-----|---------|
| 続けたい                                     | 371 | 65.3    |
| 別の仕事に就きたい                                | 73  | 12.9    |
| やめたい                                     | 33  | 5.8     |
| わからない                                    | 64  | 11.3    |
| 無回答                                      | 27  | 4.8     |
| 計                                        | 568 | 100.0   |

問10（現在仕事をしている方だけお答えください）あなたは働くうえで不安や困難を感じていることがありますか。（あてはまる番号すべてに○）

| (n=問 28 で「家事専業」「学生」「仕事はしていない」以外を選択した 568 人) |  | 人数  | 構成比率(%) |
|---------------------------------------------|--|-----|---------|
| 特になし                                        |  | 170 | 29.9    |
| 仕事上、過重なストレスがある                              |  | 153 | 26.9    |
| 仕事と子育ての両立が大変である                             |  | 75  | 13.2    |
| 仕事と介護・看護の両立が大変である                           |  | 26  | 4.6     |
| 仕事と家事の両立が大変である                              |  | 117 | 20.6    |
| 仕事と子育ての両立に不安があり、妊娠出産をためらっている・延期している         |  | 10  | 1.8     |
| 仕事が忙しくて休みがとれない                              |  | 61  | 10.7    |
| 職務上の適性や能力                                   |  | 72  | 12.7    |
| 自分の能力を伸ばしたり発揮するチャンスが十分与えられていない              |  | 41  | 7.2     |
| 自分の能力や努力や成果が正当に評価されていない                     |  | 65  | 11.4    |
| 1 性別や年齢が原因で不利な扱いを受けている                      |  | 16  | 2.8     |
| 家庭責任を負っていることが原因で不利な扱いを受けている                 |  | 3   | 0.5     |
| (非正規社員等の場合)正規社員等になれない                       |  | 15  | 2.6     |
| (非正規社員等の場合)正規社員等との待遇の違い                     |  | 36  | 6.3     |
| 勤務先の業績の影響による、雇用や雇用条件悪化の不安                   |  | 69  | 12.1    |
| 家庭責任よりも仕事を優先すべきという雰囲気強い                     |  | 42  | 7.4     |
| セクシュアルハラスメント、パワーハラスメントを受けている                |  | 22  | 3.9     |
| その他                                         |  | 36  | 6.3     |
| 無回答                                         |  | 30  | 5.3     |

問11（現在仕事をしていない方だけお答えください）あなたは今後仕事をしたいですか。（1つだけに○）

| (n=問 28 で「家事専業」「学生」「仕事はしていない」を選択した 310 人) |  | 人数  | 構成比率(%) |
|-------------------------------------------|--|-----|---------|
| 今すぐにはではないがいずれは仕事をしたい                      |  | 52  | 16.8    |
| 仕事に就きたいので現在求職中である                         |  | 15  | 4.8     |
| 仕事には就きたくない                                |  | 101 | 32.6    |
| わからない                                     |  | 55  | 17.7    |
| 無回答                                       |  | 87  | 28.1    |
| 計                                         |  | 310 | 100.0   |

問12 あなたはこれまでに、仕事を辞めたことがありますか。（1つだけに○）

| (n=888 人) |  | 人数  | 構成比率(%) |
|-----------|--|-----|---------|
| 辞めたことがある  |  | 559 | 63.0    |
| 辞めたことはない  |  | 233 | 26.2    |
| 働いたことがない  |  | 25  | 2.8     |
| 無回答       |  | 71  | 8.0     |
| 計         |  | 888 | 100.0   |

問13（問12の「辞めたことがある」の選択者のみお答えください）仕事を辞めた理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

| (問12で「辞めたことがある」を選択した n=559 人) |  | 人数  | 構成比率(%) |
|-------------------------------|--|-----|---------|
| 経済的に働く必要がなかった                 |  | 14  | 2.5     |
| 家事や子育てに専念したかった                |  | 73  | 13.1    |
| 家事や子育てとの両立が困難だった              |  | 70  | 12.5    |
| 高齢者や病人の介護・看護                  |  | 48  | 8.6     |
| 希望どおりの仕事ではなかった                |  | 87  | 15.6    |
| 希望どおりの労働条件ではなかった              |  | 115 | 20.6    |
| 勤め先の都合                        |  | 106 | 19.0    |
| 職場に結婚や出産による退職慣行があった           |  | 31  | 5.5     |
| 配偶者の転勤                        |  | 21  | 3.8     |
| 高齢                            |  | 68  | 12.2    |
| 家族が望まなかった                     |  | 14  | 2.5     |
| 仕事を持たない方が自由だと思った              |  | 16  | 2.9     |
| その他                           |  | 120 | 21.5    |
| 特に理由はない                       |  | 19  | 3.4     |
| 無回答                           |  | 3   | 0.5     |

問14 あなたは、一般的に女性が職業をもつことについてどのように思いますか。(1つだけに○)

| (n=888 人)                      | 人数  | 構成比率(%) |
|--------------------------------|-----|---------|
| 女性は職業をもたない方がよい                 | 10  | 1.1     |
| 結婚するまでは職業をもつ方がよい               | 23  | 2.6     |
| 子どもが生まれるまでは職業をもつ方がよい           | 40  | 4.5     |
| 子どもが生まれても職業を続ける方がよい            | 416 | 46.8    |
| 子どもが生まれたら職業をやめ、大きくなったら再びもつ方がよい | 262 | 29.5    |
| その他                            | 100 | 11.3    |
| 無回答                            | 37  | 4.2     |
| 計                              | 888 | 100.0   |

問15 あなたは、次にあげる制度を知っていますか。また利用したことがありますか。(①②それぞれ1つだけに○)

①「育児休業制度」

| (n=888 人)       | 人数  | 構成比率(%) |
|-----------------|-----|---------|
| 知っている。利用した      | 105 | 11.8    |
| 知っている。利用したことはない | 664 | 74.8    |
| 知らない            | 61  | 6.9     |
| 無回答             | 58  | 6.5     |
| 計               | 888 | 100.0   |

②「介護休業制度」

| (n=888 人)       | 人数  | 構成比率(%) |
|-----------------|-----|---------|
| 知っている。利用した      | 34  | 3.8     |
| 知っている。利用したことはない | 557 | 62.7    |
| 知らない            | 239 | 26.9    |
| 無回答             | 58  | 6.5     |
| 計               | 888 | 100.0   |

問16 (育児・介護休業制度を利用したことはない方だけお答えください)育児・介護休業制度を利用したことはない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

| (n=問 15①または②で「知っている。利用したことはない」を選択した 726 人) | 人数  | 構成比率(%) |
|--------------------------------------------|-----|---------|
| 経済的に生活が成り立たなくなる                            | 47  | 6.5     |
| 職場に休める雰囲気がない                               | 82  | 11.3    |
| 休みをとると勤務評価に影響する                            | 25  | 3.4     |
| 自分の仕事は代わりの人がいない                            | 70  | 9.6     |
| 一度休むと元の仕事に戻れない                             | 31  | 4.3     |
| 現在取り組んでいる仕事を続けたい                           | 6   | 0.8     |
| 妻や夫など家族の理解が得られない                           | 2   | 0.3     |
| 家族の協力で、利用しなくても対応できる                        | 94  | 12.9    |
| 職場にそのような制度があるか分からない                        | 45  | 6.2     |
| 対象となる子どもや要介護状態にある家族がいない                    | 311 | 42.8    |
| その他                                        | 75  | 10.3    |
| 無回答                                        | 126 | 17.4    |

地域での男女共同参画について

問17 町内会、ボランティアなどの「地域活動」での男女共同参画についてどのように思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

| (n=888 人)                  | 人数  | 構成比率(%) |
|----------------------------|-----|---------|
| 男性の参加が少ない                  | 131 | 14.8    |
| 男性が女性を対等なパートナーとして見ていない     | 55  | 6.2     |
| 女性が表に出るべきでないという雰囲気がある      | 57  | 6.4     |
| 女性は発言の機会が与えられず、意見が聞き入れられない | 23  | 2.6     |
| 女性が役職に就きたがらない              | 158 | 17.8    |
| 団体の会長は男性、女性は補助的役職に就く慣行がある  | 269 | 30.3    |
| 活動の準備や後片付けなどは女性が行う慣行がある    | 157 | 17.7    |
| その他                        | 34  | 3.8     |
| わからない                      | 352 | 39.6    |
| 無回答                        | 35  | 3.9     |

問18 あなたは、男女共同参画推進のための、次の法律や制度や事業を知っていますか。(それぞれ1つお選びください)

| 人数                 | 知っている | 見聞きしたことがある | 知らない | 無回答 | 計   |
|--------------------|-------|------------|------|-----|-----|
| 男女共同参画社会基本法        | 174   | 201        | 417  | 96  | 888 |
| 女性活躍推進法            | 97    | 183        | 507  | 101 | 888 |
| 群馬県男女共同参画推進条例      | 26    | 113        | 644  | 105 | 888 |
| 群馬県男女共同参画基本計画(第5次) | 18    | 89         | 677  | 104 | 888 |
| ぐんま DV 対策基本計画(第4次) | 30    | 150        | 603  | 105 | 888 |
| 群馬県女性相談センター        | 78    | 205        | 504  | 101 | 888 |
| 太田市男女共同参画基本計画(第3次) | 33    | 105        | 652  | 98  | 888 |

| 構成比率(%)<br>(n=888 人) | 知っている | 見聞きしたことがある | 知らない | 無回答  | 計     |
|----------------------|-------|------------|------|------|-------|
| 男女共同参画社会基本法          | 19.6  | 22.6       | 47.0 | 10.8 | 100.0 |
| 女性活躍推進法              | 10.9  | 20.6       | 57.1 | 11.4 | 100.0 |
| 群馬県男女共同参画推進条例        | 2.9   | 12.7       | 72.5 | 11.8 | 100.0 |
| 群馬県男女共同参画基本計画(第5次)   | 2.0   | 10.0       | 76.2 | 11.7 | 100.0 |
| ぐんま DV 対策基本計画(第4次)   | 3.4   | 16.9       | 67.9 | 11.8 | 100.0 |
| 群馬県女性相談センター          | 8.8   | 23.1       | 56.8 | 11.4 | 100.0 |
| 太田市男女共同参画基本計画(第3次)   | 3.7   | 11.8       | 73.4 | 11.0 | 100.0 |

女性に対する暴力の防止・被害者支援について

問19 ドメスティック・バイオレンス(DV)の被害者は多くの場合、女性です。あなたはDVを経験したり身近で見聞きしたことがありますか。(あてはまる番号すべてに○)

| (n=888 人)                    | 人数  | 構成比率(%) |
|------------------------------|-----|---------|
| 命の危険を感じる暴力を受けたことがある          | 17  | 1.9     |
| 医師の治療が必要となる暴力を受けたことがある       | 15  | 1.7     |
| 医師の治療は必要ないが暴力を頻繁に受けたことがある    | 19  | 2.1     |
| 医師の治療は必要ないが暴力を何度か受けたことがある    | 38  | 4.3     |
| 「なぐる・ける」の暴力をふるったことがある        | 9   | 1.0     |
| 身近な人から相談を受けたことがある            | 53  | 6.0     |
| 身近に暴力を受けた当事者がいる              | 81  | 9.1     |
| DVがテレビや新聞などで問題になっていることは知っている | 645 | 72.6    |
| DVについて見聞きしたことはない             | 78  | 8.8     |
| その他                          | 19  | 2.1     |
| 無回答                          | 103 | 11.6    |

問20 (問19で、「暴力を受けたことがある」の選択者のみお答えください)あなたは配偶者や恋人などから受けた暴力について、相談したことがありますか。(あてはまる番号すべてに○)

| (n=64 人)                   | 人数 | 構成比率(%) |
|----------------------------|----|---------|
| 警察                         | 10 | 15.6    |
| 家族や親戚                      | 21 | 32.8    |
| 友人・知人                      | 26 | 40.6    |
| 人権擁護委員、女性の人権ホットライン         | 0  | 0.0     |
| 群馬県女性相談センター(配偶者暴力相談支援センター) | 0  | 0.0     |
| 保健福祉事務所                    | 0  | 0.0     |
| 市役所(市民そうだん課・こども課など)        | 0  | 0.0     |
| 民生委員・児童委員                  | 0  | 0.0     |
| 民間の機関(弁護士会、民間シェルターなど)      | 0  | 0.0     |
| 医師・カウンセラー                  | 2  | 3.1     |
| その他                        | 4  | 6.3     |
| 相談しなかった(その理由)              | 18 | 28.1    |
| 無回答                        | 7  | 10.9    |

問21 あなたは次にあげる、DVに関する法律やDV被害者のための相談機関を知っていますか。(それぞれ1つお選びください)

| 人数                               | 知っている | 見聞きしたことがある | 知らない | 無回答 | 計   |
|----------------------------------|-------|------------|------|-----|-----|
| 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律(DV防止法) | 263   | 236        | 276  | 113 | 888 |
| 警察安全相談電話                         | 187   | 225        | 359  | 117 | 888 |
| 群馬県女性相談センター(配偶者暴力相談支援センター)       | 90    | 192        | 488  | 118 | 888 |
| 市役所(市民そうだん課・こども課など)              | 211   | 242        | 326  | 109 | 888 |
| 女性の人権ホットライン                      | 107   | 231        | 436  | 114 | 888 |

| 構成比率(%)<br>(n=888人)              | 知っている | 見聞きしたことがある | 知らない | 無回答  | 計     |
|----------------------------------|-------|------------|------|------|-------|
| 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律(DV防止法) | 29.6  | 26.6       | 31.1 | 12.7 | 100.0 |
| 警察安全相談電話                         | 21.1  | 25.3       | 40.4 | 13.2 | 100.0 |
| 群馬県女性相談センター(配偶者暴力相談支援センター)       | 10.1  | 21.6       | 55.0 | 13.3 | 100.0 |
| 市役所(市民そうだん課・こども課など)              | 23.8  | 27.3       | 36.7 | 12.3 | 100.0 |
| 女性の人権ホットライン                      | 12.0  | 26.0       | 49.1 | 12.8 | 100.0 |

問22 あなた自身または身近でのセクシュアル・ハラスメントについてお答えください。(1つだけに○)

| (n=888人)          | 人数  | 構成比率(%) |
|-------------------|-----|---------|
| 自分自身が受けたことがある     | 80  | 9.0     |
| 自分に身近な女性が受けたことがある | 35  | 3.9     |
| 自分に身近な男性が受けたことがある | 3   | 0.3     |
| ない                | 605 | 68.1    |
| わからない             | 102 | 11.5    |
| 無回答               | 63  | 7.1     |
| 計                 | 888 | 100.0   |

問23 (問22で、「ない」「わからない」以外の選択者のみお答えください)そのセクシュアル・ハラスメントはどこで行われましたか。(あてはまる番号すべてに○)

| (n=問22で「ない」「わからない」以外を選択した 118人) | 人数 | 構成比率(%) |
|---------------------------------|----|---------|
| 職場                              | 98 | 83.1    |
| 学校                              | 10 | 8.5     |
| 地域                              | 12 | 10.2    |
| その他                             | 11 | 9.3     |
| 無回答                             | 1  | 0.8     |

男女共同参画社会の形成について問

24 「女性が輝く社会」を実現していくために太田市に対してどのようなことを望みますか。(あてはまる番号すべてに○)

| (n=888人)                       | 人数  | 構成比率(%) |
|--------------------------------|-----|---------|
| 県外進学・就職の女性へのU・Iターン支援           | 225 | 25.3    |
| 出産・子育て・介護などの理由で退職した女性の再就職支援    | 620 | 69.8    |
| 妊娠・出産・子育て・介護などの理由により離職しないための支援 | 585 | 65.9    |
| 学生や社会人の女性キャリア形成支援              | 263 | 29.6    |
| 女性の起業等支援                       | 209 | 23.5    |
| その他                            | 38  | 4.3     |
| 無回答                            | 64  | 7.2     |

問25 「男女共同参画社会」を実現していくために、太田市に対してどのようなことを望みますか。ご意見・ご要望などがございましたら、ご自由にお書きください。(自由記述)

➡ 別冊「自由回答報告書」に示します。

あなたご自身について

問26 あなたの性別は(1つだけに○)

| (n=888 人) | 人数  | 構成比率(%) |
|-----------|-----|---------|
| 女性        | 514 | 57.9    |
| 男性        | 357 | 40.2    |
| その他       | 1   | 0.1     |
| 無回答       | 16  | 1.8     |
| 計         | 888 | 100.0   |

問27 あなたの年齢は(令和3年5月1日現在の満年齢)(1つだけに○)

| (n=888 人) | 人数  | 構成比率(%) |
|-----------|-----|---------|
| 18・19歳    | 15  | 1.7     |
| 20～29歳    | 75  | 8.4     |
| 30～39歳    | 100 | 11.3    |
| 40～49歳    | 162 | 18.2    |
| 50～59歳    | 120 | 13.5    |
| 60～69歳    | 165 | 18.6    |
| 70～79歳    | 187 | 21.1    |
| 80歳以上     | 54  | 6.1     |
| 無回答       | 10  | 1.1     |
| 計         | 888 | 100.0   |

| 女性(n=514 人) |         |
|-------------|---------|
| 人数          | 構成比率(%) |
| 8           | 1.6     |
| 47          | 9.1     |
| 61          | 11.9    |
| 104         | 20.2    |
| 69          | 13.4    |
| 86          | 16.7    |
| 115         | 22.4    |
| 24          | 4.7     |
| 0           | 0.0     |
| 514         | 100.0   |

| 男性(n=357 人) |         |
|-------------|---------|
| 人数          | 構成比率(%) |
| 7           | 2.0     |
| 28          | 7.8     |
| 39          | 10.9    |
| 57          | 16.0    |
| 50          | 14.0    |
| 79          | 22.1    |
| 70          | 19.6    |
| 26          | 7.3     |
| 1           | 0.3     |
| 357         | 100.0   |

問28 あなたの現在のご職業は(1つだけに○)

| (n=888 人)       | 人数  | 構成比率(%) |
|-----------------|-----|---------|
| 常勤(会社員)         | 226 | 25.5    |
| 常勤(公務員・団体職員)    | 36  | 4.1     |
| 非常勤(パート・アルバイト等) | 174 | 19.6    |
| 自営業・個人業         | 86  | 9.7     |
| 会社・団体役員、経営者     | 23  | 2.6     |
| 家事専業            | 112 | 12.6    |
| その他の仕事          | 23  | 2.6     |
| 学生              | 28  | 3.2     |
| 仕事はしていない        | 170 | 19.1    |
| 無回答             | 10  | 1.1     |
| 計               | 888 | 100.0   |

| 女性(n=514 人) |         |
|-------------|---------|
| 人数          | 構成比率(%) |
| 81          | 15.8    |
| 16          | 3.1     |
| 143         | 27.8    |
| 51          | 9.9     |
| 6           | 1.2     |
| 106         | 20.6    |
| 15          | 2.9     |
| 17          | 3.3     |
| 76          | 14.8    |
| 3           | 0.6     |
| 514         | 100.0   |

| 男性(n=357 人) |         |
|-------------|---------|
| 人数          | 構成比率(%) |
| 144         | 40.3    |
| 20          | 5.6     |
| 30          | 8.4     |
| 35          | 9.8     |
| 17          | 4.8     |
| 4           | 1.1     |
| 7           | 2.0     |
| 11          | 3.1     |
| 89          | 24.9    |
| 0           | 0.0     |
| 357         | 100.0   |